

# 令和7年度第1回四街道市多文化共生推進プラン策定懇談会

## 次第

日 時：令和7年5月18日（日）

10時00分～

場 所：四街道市文化センター 207号室

1. 委嘱状交付
2. 地域共創部長あいさつ
3. 開 会
4. 会長あいさつ
5. 副会長あいさつ
6. 会議の公開・非公開
7. 議 題
  - (1) 四街道市多文化共生推進プラン（骨子案）について
8. その他
9. 閉 会

プランの趣旨

・四街道市総合計画において多文化共生社会の推進を重点事業に掲げており、国籍や言語、文化が異なる人々が地域社会の一員として、みんなでもに支え合いながら自分らしく暮らしていけるよう、地域の現況や課題を整理し、多文化共生に関する市の方向性をとりまとめ、多文化共生を推進します。

・近年の国や県の外国人住民に関わる政策の動向や、本市の外国人市民の増加とニーズの多様化を踏まえ「四街道市多文化共生推進プラン」を策定します。

多文化共生を取り巻く現状

- (1) 国の動向 令和 2 年（2020 年）9 月に「地域における多文化共生推進プラン」を改訂しました。
- (2) 県の動向 令和 3 年（2021 年）3 月に、千葉県で日本語教育を推進するための具体的な取組をまとめた「千葉県地域日本語教育推進プラン」を策定しました。令和 2 年（2020 年）3 月に「千葉県多文化共生推進プラン」を策定し、その後同プランを改訂し、令和 6 年（2024 年）12 月に「千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン」を策定しました。
- (3) 四街道市の現状
- ①外国人市民の数：令和 7 年（2025 年）3 月時点で、3,923 人であり、平成 27 年（2015 年）から 10 年間で約 2,500 人増加しています。
- ②出身国別：アフガニスタンが全体の約 30%を占め、次に中国、ベトナム、フィリピン、台湾、インドネシア、韓国の順で多く、アフガニスタンとあわせて全体の約 75%を占めています。
- ③年代別：30～39 歳が 1 番多く全体の 23%、次に 20～29 歳が 22%、40～49 歳が 17%、50～59 歳が 12%と働く世代が 75%と多くなっています。

期 間

令和 8（2026）年度～ ※国際情勢や国、県における多文化共生に係る方針など、多文化共生を取り巻く状況の変化や制度の変更に柔軟に対応するため、期間を定めず、必要に応じて見直しを行います。

基本理念

誰もが住みやすく、活躍できる多文化共生社会を目指して

「四街道市総合計画」の基本構想では、新たなまちづくりの方向性を、「幸せつなぐ 未来への道しるべ」と定め、現役世代をはじめ、子どもから高齢者まで、さまざまな年代や立場からみたそれぞれが想う幸せな未来へとつなぐため、4つのまちづくりの道を設定しました。「人によりそうやさしい道」では、だれにとっても住みやすく、生涯活躍でき、みんなが主役の四街道であることを大切としています。国籍が異なる住民同士が互いの生活習慣や文化を理解し、地域社会の一員として支えあう多文化共生社会の実現を目指していきます。

| 基本方針             | 施策                        | 主な取り組み |
|------------------|---------------------------|--------|
| 1. コミュニケーション支援   | (1) 行政・生活情報の多言語等での情報発信の充実 |        |
|                  | (2) 多言語相談体制の推進            |        |
|                  | (3) 日本語教育の推進              |        |
| 2. 生活支援          | (1) 教育に関する支援              |        |
|                  | (2) 医療・保健・福祉・子育てに関する支援    |        |
|                  | (3) 防災・災害時の対策             |        |
| 3. 誰もが活躍できる地域づくり | (1) 多文化共生意識の啓発・醸成         |        |
|                  | (2) 外国人市民の社会参画支援          |        |

## 四街道市多文化共生推進プラン骨子案に係る補足説明資料

**1. 本市の現状**

外国籍市民の数は令和 7 年 3 月時点で、3,923 人であり、平成 27 年から 10 年間で約 2,500 人増加しています。本市人口の約 4 %を占めます。今後も増加傾向にあると考えています。

出身国別では、アフガニスタンが、1,213 人（30.9%）で一番多く、次いで中国が 670 人（17.0%）、以下ベトナム、フィリピン、台湾、インドネシア、韓国の順です。本市は日本一アフガニスタン人が在住しているという特徴があります。これは、本市を初め近隣で展開されているヤード業が盛んであることが大きな要因となっています。

年代別では、20 歳から 59 歳の働く世代が 75%と多くなっています。

在留資格別外国人数は、家族滞在が一番多く、次いで永住者が多い傾向にあります。アンケート調査（外国人向け問 45）では、「本市に住み続けたい」という方が約 75%でした。

本市に住む外国籍市民は約 70 の出身国からなり、様々なバックグラウンド（言語、文化、宗教、習慣等）を持っています。特に 3 割を占めるアフガニスタン人は、言語、宗教等において日本人市民とお互いに理解するのに一定のハードルがあります。

**2. これまでの本市の取組**

本市では、教育に関する支援として、学校の要請に応じて語学指導員を派遣するとともに、市国際交流協会と連携して日本語支援ボランティアを派遣しています。

行政・生活情報の多言語支援として、ごみ分別アプリを多言語対応する他、市ホームページの多言語化や多言語による庁舎案内サービスも実施しています。

医療に関する支援は、119 番通報した際に通報者・ちば消防共同指令センターと多言語通訳コールセンターとの 3 者通話を実施しています。

このように、学校教育現場、行政・生活情報の発信、緊急時の対応等において多言語対応に努めています。

**3. 今後の課題****（1）コミュニケーション支援**

現在、本市では窓口サービス部門や税部門、福祉サービス部門、健康こども部門等、多くの部署で外国人市民と関わる業務があります。「電話や窓口対応で相手に伝わりにくい場面がある。」「市民向けの通知や情報が外国人市民に正しく理解されているかわからない。」といった懸案事項があります。翻訳機の使用や、電話通訳サービス（出入国在留管理庁提供）を利用するなどの対応をしているが、円滑な案内が難しいケースが多いことが現状です。

また、外国人市民向けの通知を多言語化することは際限がないこともありますが、学校現場での保護者宛て多言語通知文の作成や指定ごみ袋に 4 か国語の表記をする

などインパクトの大きいところから多言語対応をしています。

今後も優先順位の高いところから順に多言語情報発信を充実していくことが必要です。

アンケート調査（日本人向け 12）において、外国人市民に係る困りごととして「地域のルールが守られていない」という声が多く、こうした課題に対して多言語での情報発信の必要性を改めて感じます。

アンケート調査（外国人向け問 42）において、「市役所の窓口で自分の国のことばを使いたい。」という声があり、市役所での多言語相談体制の推進が求められています。

同じくアンケート調査（外国人向け問 42）において、多くの外国人籍市民が「日本語の勉強をもっとサポートしてほしい。」と思っており、日本語教育の更なる推進も必要であります。

## （2）生活支援

アンケート調査（外国人向け問 38）において、「あなたの子どもは日本語をどのくらいできますか」の問いに対して「ほとんどできない」が約 1 割います。今後も、教育に関する支援として、語学指導員の派遣や日本語ボランティアの派遣等を実施していく必要があります。課題としては、指導員等の継続的な人員確保が挙げられます。

検診、予防接種、医療機関などで言語による壁により正確な問診の実施等が困難な状況にあり、対応に多くの時間を要するなどが生じています。アンケート調査（外国人向け問 9）において、生活に困っていることや不安なこととして「子どもを産むことや育てること」「病院の使い方」「福祉制度がわからない」が合わせて約 28% います。

防災・災害時の対策としては、アンケート調査（外国人向け問 33）において、約 4 割の方が、「地震や台風のとくに逃げるところを知らない。」という結果になっており、防災関連情報の伝達の困難さがうかがえます。併せて備蓄食料（ハラル対応等）の整備も課題の一つです。

## （3）誰もが活躍できる地域づくり

アンケート調査（日本人向け問 15）においては、地域に外国人が増えることに対して「文化や習慣の違いからトラブルが増える」というマイナスな印象を持っている方が多くいる一方、「異文化体験の機会が増える」などのプラスの印象を持っている方も多くいます。このように外国人市民に対する感情が交錯する中、国籍等に関わらず住民同士が地域の一員として支え合う地域づくりのために、多文化共生意識の啓発・醸成が必要になってきます。

アンケート調査（外国人向け問 11）において、「区・自治会にはいない。」方が約 56% という状況であり、またアンケート調査（区・自治会長向け問 7）において、57% の方が「外国人市民に区・自治会に加入すること」を期待しております。外国人市民への自治会活動への理解を促進するなど社会参画支援の必要性があります。

市民意識調査結果及び区・自治会長アンケート結果（概要）

1. 市民意識調査結果（概要）

（1）目的

四街道市の方向性を示すうえで地域の現況や多文化共生に対する認識を把握し、より市の現状に合ったプランの策定のための重要な基礎資料として活用する目的とする。

（2）調査対象者

日本人市民 1,200 人、外国人市民 1,400 人 合計 2,600 人

（3）回答者数（回収率）

日本人市民 545 人（45.4%）、外国人市民 413 人（29.5%）

（4）設問に対する回答から見える課題等の骨子案（基本方針、施策）への反映状況

（ア）日本人向け調査（設問数 20 問）

①市民意識調査の総評

日本人市民は、外国人市民に対して、どちらかというとき親しみを感じていない人のほうが多くいる。

「多文化共生という言葉・考え方」については、まだ 5 割強の方々に言葉がしっかりと認識されていないという現状である。

なお、外国人市民との関わりで困ったこと、お願いしたいこととして、「地域でのルールへの遵守」「日本文化・習慣への理解」「日本語への理解」が多い傾向にある。

②設問に対する回答状況と骨子案（基本方針・施策）への反映状況 （主なものを抜粋）

・【記載例（骨子案への反映状況）】

「基本方針【3. 誰もが活躍でき多文化共生の地域づくり】、施策【（1）多文化共生意識の啓発・醸成】」は、「3－（1）」と表記する

(注) 回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は回答率が 100%を超える場合があります。なお、複数回答の設問の回答率の合計欄は  
 ブランクとします。

問 5 近くに住む外国人に親しみを感じていますか

| N o | 選択肢              | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 親しみを感じる          |           | 45  | 11.7    |
| 2   | どちらかと言えば親しみを感じる  |           | 42  | 11.0    |
| 3   | どちらとも言えない        |           | 145 | 37.9    |
| 4   | どちらかと言えば親しみを感じない | 3 - (1)   | 59  | 15.4    |
| 5   | 親しみを感じない         | 3 - (1)   | 90  | 23.5    |
| —   | 無回答              |           | 2   | 0.5     |
| 合計  |                  |           | 383 | 100     |

問 1 2 外国人住民とのかかわりで困ったことはありますか ※複数選択可

| N o | 選択肢                  | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|----------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 地域のルールが守られない         | 1 - (1)   | 121 | 22.2    |
| 2   | コミュニケーションが取れない       | 1 - (3)   | 122 | 22.4    |
| 3   | 外国人住民による騒音がある        | 1 - (1)   | 50  | 9.2     |
| 4   | 子どもの行動やほかの子どもとの関係のこと | 2 - (1)   | 37  | 6.8     |
| 5   | 特にない                 |           | 299 | 54.9    |
| 6   | そのほか                 |           | 42  | 7.7     |
| —   | 無回答                  |           | 13  | 2.4     |
| 合計  |                      |           | 545 |         |

問 1 4 「多文化共生」という言葉・考え方について、どの程度ご存じでしたか

| N o | 選択肢        | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|------------|-----------|-----|---------|
| 1   | よく知っている    |           | 59  | 10.8    |
| 2   | 少し知っている    |           | 121 | 22.2    |
| 3   | 言葉だけは知っている | 3 - (1)   | 171 | 31.4    |
| 4   | 知らない       | 3 - (1)   | 191 | 35.0    |
| —   | 無回答        |           | 3   | 0.6     |
| 合計  |            |           | 545 | 100     |

問 1 5 地域に外国人住民が増えることでどのような影響があると思いますか ※複数選択可

| N o | 選択肢                | 骨子案への反映状況       | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|--------------------|-----------------|-----|---------|
| 1   | 国際理解・異文化体験の機会が増える  |                 | 236 | 43.3    |
| 2   | 働き手が増える            |                 | 155 | 28.4    |
| 3   | 人口が増えて地域に活気が出る     |                 | 88  | 16.1    |
| 4   | 文化や習慣の違いからトラブルが増える | 3 - (1)、3 - (2) | 316 | 58.0    |
| 5   | 住環境や治安が悪くなる        | 3 - (1)、3 - (2) | 202 | 37.1    |
| 6   | 日本人の仕事が減る          |                 | 38  | 7.0     |
| 7   | 影響は特になり            |                 | 48  | 8.8     |
| 8   | そのほか               |                 | 31  | 5.7     |
| —   | 無回答                |                 | 5   | 0.9     |
| 合計  |                    |                 | 545 |         |

(イ)外国人向け調査（設問数 4 5 問）

①市民意識調査の総評

今後も四街道市に住み続けたという方が 7 割を超え定住化の傾向にあり、そして市に求めることとしては、日本語教室の充実や多言語での情報発信があげられる。

また、災害時にどのような対応すればよいかの理解が十分でないことが課題としてわかる。

②設問に対する回答状況と骨子案（基本方針・施策）への反映状況 （主なものを抜粋）

問 9 あなたが、生活で困っていることや不安なことはどれですか ※複数選択可

| N o | 選択肢                   | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比（%） |
|-----|-----------------------|-----------|-----|--------|
| 1   | 仕事探し                  | 3－（2）     | 39  | 9.4    |
| 2   | 会社での仕事やほかの人との関係       | 3－（1）     | 18  | 4.4    |
| 3   | バス・電車などが使いづらい         |           | 23  | 5.6    |
| 4   | 子どもを産むことや育てること        | 2－（2）     | 20  | 4.8    |
| 5   | 子どもの学校・教育             | 2－（1）     | 38  | 9.2    |
| 6   | 税金や保険料をはらうこと          | 2－（2）     | 79  | 19.1   |
| 7   | 病院の使い方                | 2－（2）     | 46  | 11.1   |
| 8   | 地震や台風のと看どうすればいいかわからない | 2－（3）     | 34  | 8.2    |
| 9   | 近所の人との付き合い            | 3－（2）     | 24  | 5.8    |
| 10  | 日本語                   | 1－（3）     | 151 | 36.6   |
| 11  | 相談できるところがわからない        | 1－（2）     | 48  | 11.6   |
| 12  | 福祉制度がわからない            | 2－（2）     | 48  | 11.6   |
| 13  | とくにない                 |           | 113 | 27.4   |



|    |      |  |     |     |
|----|------|--|-----|-----|
| 14 | そのほか |  | 20  | 4.8 |
| —  | 無回答  |  | 13  | 3.1 |
| 合計 |      |  | 413 |     |

問 1 1 自治会に入っていますか

| N o | 選択肢    | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|--------|-----------|-----|---------|
| 1   | 入っている  |           | 77  | 18.6    |
| 2   | 入っていない | 3 - (2)   | 233 | 56.4    |
| 3   | わからない  |           | 88  | 21.3    |
| —   | 無回答    |           | 15  | 3.6     |
| 合計  |        |           | 413 | 100     |

問 2 4 (問 22 今、日本語を勉強していますかで「いいえ」と回答した方) これから、日本語を勉強したいですか

| N o | 選択肢           | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|---------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 勉強したい         | 1 - (3)   | 38  | 17.1    |
| 2   | チャンスがあれば勉強したい | 1 - (3)   | 94  | 42.3    |
| 3   | 日本語の勉強は必要ない   |           | 45  | 20.3    |
| 4   | わからない         |           | 39  | 17.6    |
| —   | 無回答           |           | 7   | 3.2     |
| 合計  |               |           | 222 | 100     |

問 2 9 あなたは、どれに登録していますか ※複数回答可

| N o | 選択肢                  | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|----------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 市の LINE              |           | 26  | 6.3     |
| 2   | 市の Facebook          |           | 39  | 9.4     |
| 3   | 市の Instagram         |           | 20  | 4.8     |
| 4   | 四街道市 Youtube 公式チャンネル |           | 8   | 1.9     |
| 5   | メール配信サービス「よめーる」      | 2 - (3)   | 18  | 4.4     |
| 6   | 登録していない              | 2 - (3)   | 295 | 71.4    |
| 7   | そのほか                 |           | 13  | 3.1     |
| —   | 無回答                  |           | 21  | 5.1     |
| 合計  |                      |           | 413 |         |

問 3 3 地震や台風のとくに逃げるところを知っていますか

| N o | 選択肢   | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|-------|-----------|-----|---------|
| 1   | 知っている |           | 247 | 59.8    |
| 2   | 知らない  | 2 - (3)   | 156 | 37.8    |
| —   | 無回答   |           | 10  | 2.4     |
| 合計  |       |           | 413 | 100     |

問 3 8 あなたの子どもは日本語をどのくらいできますか (1 人目の子ども)

| N o | 選択肢                      | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|--------------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 日本語の授業が分かる               |           | 122 | 48.8    |
| 2   | 日本語の授業はむずかしいが、日常生活では困らない | 2 - (1)   | 17  | 6.8     |

|    |                  |         |     |      |
|----|------------------|---------|-----|------|
| 3  | 日常生活でときどき困ることがある | 2 - (1) | 6   | 2.4  |
| 4  | ほとんどできない         | 2 - (1) | 26  | 10.4 |
| 5  | どれくらいできるかわからない   |         | 41  | 16.4 |
| —  | 無回答              |         | 38  | 15.2 |
| 合計 |                  |         | 250 | 100  |

問 4 2    どのようなサービスがほしいですか    ※複数回答可

| No | 選択肢                         | 骨子案への反映状況               | 回答数 | 構成比 (%) |
|----|-----------------------------|-------------------------|-----|---------|
| 1  | 市のことを自分の国のことばで知りたい          | 1 - (1)                 | 107 | 25.9    |
| 2  | 市役所の窓口で自分の国のことばを使いたい        | 1 - (2)                 | 84  | 20.3    |
| 3  | 外国人の子どもの勉強をもっとサポートしてほしい     | 2 - (1)                 | 71  | 17.2    |
| 4  | 日本語の勉強をもっとサポートしてほしい         | 1 - (3)                 | 166 | 40.2    |
| 5  | 生活の相談をもっとしたい、しやすくしてほしい      | 1 - (2)                 | 78  | 18.9    |
| 6  | 日本人ともっと話したい、ともだちになりたい       | 1 - (3)、3 - (1)、3 - (2) | 82  | 19.9    |
| 7  | 四街道市での生活のルールや文化をもっと勉強したい    | 1 - (1)                 | 79  | 19.1    |
| 8  | 自分の国の文化などを日本人に知ってほしい        | 3 - (1)                 | 64  | 15.5    |
| 9  | 地震や台風がおきたときにどうすればいいかおしえてほしい | 2 - (3)                 | 81  | 19.6    |
| 10 | そのほか                        |                         | 30  | 7.3     |
| —  | 無回答                         |                         | 56  | 13.6    |
| 合計 |                             |                         | 413 |         |

## 問 4 5 これからも四街道市に住み続けたいですか

| N o | 選択肢   | 骨子案への反映状況                                           | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|-------|-----------------------------------------------------|-----|---------|
| 1   | はい    | 1 - (3)、2 - (1)、2 - (2)、<br>2 - (3)、3 - (1)、3 - (2) | 306 | 74.1    |
| 2   | いいえ   |                                                     | 5   | 1.2     |
| 3   | わからない |                                                     | 84  | 20.3    |
| —   | 無回答   |                                                     | 18  | 4.4     |
| 合計  |       |                                                     | 413 | 100     |

## 2. 区・自治会長向けアンケート調査結果（概要）

## (1) 目的

四街道市の方向性を示すうえで地域の現況や多文化共生に対する認識を把握し、より市の現状に合ったプランの策定のための重要な基礎資料として活用する目的とする。

## (2) 調査対象者

87 区・自治会長

## (3) 回答者数（回収率）

区・自治会長 86 人（98.9%）

## (4) 設問数

17 問

## (5) 設問に対する回答から見える課題等の骨子案（基本方針、施策）への反映状況

## ①アンケート調査結果の総評

「外国人市民に対して衝突や治安の悪化など不安を感じる」方が多くいると同時に「外国人市民と交流したい、外国の言葉、文化・習慣を知

る機会が増えると感じる」というプラスの印象を持つ方も多くいる。

また、市民向けアンケートと同様に外国人市民に対して困っていることは「地域でのルールへの遵守」と「コミュニケーションの問題」が多いという結果です。

②設問に対する回答状況と骨子案（基本方針・施策）への反映状況（主なものを抜粋）

問 3 - 2 （外国籍住民のことで困っていること等が「ある」と回答した方）それはどのようなことですか ※複数回答可

| N o | 選択肢          | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|--------------|-----------|-----|---------|
| 1   | ゴミの問題        | 1 - (1)   | 19  | 82.6    |
| 2   | 騒音や地域での過ごし方  | 1 - (1)   | 7   | 30.4    |
| 3   | 自治会への未加入     | 3 - (2)   | 6   | 26.1    |
| 4   | ペットの飼育       |           | 0   | 0.0     |
| 5   | コミュニケーションの問題 | 1 - (3)   | 9   | 39.1    |
| 6   | そのほか         |           | 4   | 17.4    |
| —   | 無回答          |           | 0   | 0.0     |
| 合計  |              |           | 45  |         |

問 4 貴区・自治会で生活している外国籍住民に対し、区・自治会長としてどのようにお考えですか。貴区・自治会に外国籍住民がいない場合は、今後外国籍住民が転入してきた場合を想定してご回答ください。 ※複数選択可

| N o | 選択肢                       | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|---------------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 外国の言葉、文化、習慣を知る機会が増えると感じる  |           | 33  | 38.4    |
| 2   | 外国籍住民と交流したいと感じる           |           | 19  | 22.1    |
| 3   | 地域社会を担うパートナーが増え、地域が活性化すると |           | 10  | 11.6    |

|    |                                  |         |     |      |
|----|----------------------------------|---------|-----|------|
|    | 感じる                              |         |     |      |
| 4  | 治安が悪化する可能性があり不安を感じる              | 3 - (1) | 28  | 32.6 |
| 5  | 習慣や文化の違いによる衝突が起こるかもしれないと不安を感じる   | 3 - (1) | 43  | 50.0 |
| 6  | 無関心や偏見により地域内に分断が生じるかもしれないと不安を感じる | 3 - (1) | 16  | 18.6 |
| 7  | 特にない                             |         | 14  | 16.3 |
| 8  | そのほか                             |         | 7   | 8.1  |
| —  | 無回答                              |         | 1   | 1.2  |
| 合計 |                                  |         | 171 |      |

問 5 貴区・自治会で生活している外国籍住民とともに暮らしやすい地域・社会にするため、貴区・自治会として外国籍住民にどのようなことを期待していますか。外国籍住民がいない場合は、外国籍住民が転入していきした場合を想定してお答えください。 ※複数選択可

| N o | 選択肢               | 骨子案への反映状況           | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|-------------------|---------------------|-----|---------|
| 1   | 日本の文化や習慣などを理解すること | 1 - (1)             | 52  | 60.5    |
| 2   | 日本・地域の生活ルールを守ること  | 1 - (1)             | 70  | 81.4    |
| 3   | 日本語を理解できるよう勉強すること | 1 - (3)             | 34  | 39.5    |
| 4   | 地域のイベントなどに参加すること  | 3 - (1)、3 - (2)     | 37  | 43.0    |
| 5   | 母語や文化を紹介すること      | 3 - (1)、3 - (2)     | 15  | 17.4    |
| 6   | 区・自治会に参加すること      | 3 - (2)             | 48  | 55.8    |
| 7   | 挨拶をすること           | 1 - (1)、(3)、2 - (1) | 46  | 53.5    |

|    |      |  |     |     |
|----|------|--|-----|-----|
| 8  | 特にない |  | 3   | 3.5 |
| 9  | そのほか |  | 1   | 1.2 |
| —  | 無回答  |  | 0   | 0.0 |
| 合計 |      |  | 306 |     |

問 7 地域の外国籍住民に対し、貴区・自治会に加入してほしいと思われませんか。※複数回答可

| N o | 選択肢       | 骨子案への反映状況       | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|-----------|-----------------|-----|---------|
| 1   | 強く思う      | 3 - (1)、3 - (2) | 13  | 15.1    |
| 2   | まあ思う      | 3 - (1)、3 - (2) | 36  | 41.9    |
| 3   | どちらとも言えない |                 | 26  | 30.2    |
| 4   | あまり思わない   |                 | 5   | 5.8     |
| 5   | まったく思わない  |                 | 2   | 2.3     |
| 6   | わからない     |                 | 5   | 5.8     |
| 7   | そのほか      |                 | 1   | 1.2     |
| —   | 無回答       |                 | 3   | 3.5     |
| 合計  |           |                 | 91  |         |

問 8 貴区・自治会で生活している外国籍住民とともに暮らしやすい地域・社会にするため、市はどのようなことをしたらよいと思いますか。

※複数回答可

| N o | 選択肢                               | 骨子案への反映状況 | 回答数 | 構成比 (%) |
|-----|-----------------------------------|-----------|-----|---------|
| 1   | 区・自治会が外国籍住民に関する事項について相談できる市の窓口の設置 |           | 43  | 50.0    |

|    |                                                      |         |     |      |
|----|------------------------------------------------------|---------|-----|------|
| 2  | 外国籍住民が相談できる市の窓口の設置                                   | 1 - (2) | 52  | 60.5 |
| 3  | 多言語版文書の情報提供                                          | 1 - (1) | 47  | 54.7 |
| 4  | 日本国籍住民に対する多文化共生や外国籍住民に関する勉強会の開催                      | 3 - (1) | 12  | 14.0 |
| 5  | 日本国籍住民に対する多文化共生・異文化理解に関する啓発情報の提供                     | 3 - (1) | 15  | 17.4 |
| 6  | 日本国籍住民と外国籍住民がともに参加する防災訓練の実施                          | 2 - (3) | 28  | 32.6 |
| 7  | 区・自治会や日本国籍住民に対する「やさしい日本語」勉強会の開催                      | 3 - (2) | 21  | 24.4 |
| 8  | 区・自治会が作成した文書を多言語翻訳する支援                               | 1 - (1) | 26  | 30.2 |
| 9  | 区・自治会や日本国籍住民と外国籍住民の異文化交流の機会の提供                       | 3 - (1) | 14  | 16.3 |
| 10 | 外国籍住民に対するゴミ出しや近所づきあいなどの日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどに関する勉強会の開催 | 3 - (1) | 55  | 64.0 |
| 11 | 外国籍住民に対する区・自治会への加入促進                                 | 3 - (2) | 32  | 37.2 |
| 12 | 外国籍住民に対する日本語の学習機会の提供                                 | 1 - (3) | 17  | 19.8 |
| 13 | そのほか                                                 |         | 6   | 7.0  |
| —  | 無回答                                                  |         | 1   | 1.2  |
| 合計 |                                                      |         | 369 |      |



多文化共生推進プラン策定に係るスケジュール

R7.4.21

| 内容                        | 令和6年度 |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 令和7年度 |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
|---------------------------|-------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-------|---|----|---|---|---|----|----|----|---|---|----|
|                           | 4     | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4     | 5 | 6  | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3  |
| 市民意識調査委託                  |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 契約依頼                      |       |   |   | → |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 調査委託に係る入札                 |       |   |   |   |   | → |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 調査委託契約(工期)                |       |   |   |   |   |   | →  |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケート調査票の翻訳               |       |   |   |   |   |   | →  |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケートの実施 ※受託業者            |       |   |   |   |   |   |    |    | →  |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケート結果の翻訳                |       |   |   |   |   |   |    |    |    | → |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケート調査票(原本)を受託業者へ渡す      |       |   |   |   |   |   |    | →  |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケート対象者の抽出(郵送用タックシールの作成) |       |   |   |   |   |   |    | →  |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| お礼状(督促)の郵送 ※受託業者          |       |   |   |   |   |   |    |    | →  |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 区・自治会長(アンケート調査)           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 区・自治会長へのアンケート調査           |       |   |   |   |   |   |    |    | →  |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| アンケートの取りまとめ               |       |   |   |   |   |   |    |    |    | → |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 庁内(照会)                    |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 各所属の現状、課題、今後について(照会)      |       |   |   |   |   |   |    |    |    | → |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 照会に対する取りまとめ               |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   | → |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 施策に基づく主な取り組み(照会)          |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   | →  |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定本部会(庁内組織)※メンバーは副参事      |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定本部会要綱の策定・施行             |       |   |   |   |   |   |    |    |    | → |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定本部会の開催(骨子案、素案及び案の作成)    |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       | → |    |   | → |   | →  |    |    |   |   |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定懇談会                     |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定懇談会設置要綱の策定・施行           |       |   |   |   |   |   |    |    |    | → |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 委員の選定                     |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   | → |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 公募委員募集要項策定                |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   | → |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 公募委員の募集(市政だより 3/1号)       |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   | → |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 公募委員選考委員会                 |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | →     |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定懇談会の開催 ※市民参加に該当         |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       | → |    |   | → |   | →  |    |    |   |   |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 市民参加                      |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| パブコメの実施                   |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    | → |   |    |
| パブコメの意見に対する市としての回答        |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   | → |    |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| プラン策定                     |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 骨子案の策定                    |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   | → |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 素案の策定                     |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   | →  |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 案の策定(→パブコメの実施)            |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   | → |   |    |    |    |   |   |    |
| 策定の市長決裁・公表                |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   | →  |
|                           |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 議会報告(総務常任委員会協議会)          |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   |    |   |   |   |    |    |    |   |   |    |
| 議会報告(総務常任委員会協議会)          |       |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |       |   | ①→ |   |   |   |    |    | ②→ |   |   | ③→ |

※議会報告 ①アンケート調査結果、骨子案、スケジュール ②案(→パブコメの実施) ③多文化共生推進プランデータ配布

四街道市  
多文化共生市民意識調査  
報 告 書

令和 7 年 3 月  
四 街 道 市



# 目 次

|       |                                   |    |
|-------|-----------------------------------|----|
| I     | 調査の概要 .....                       | 1  |
| 1     | 調査目的 .....                        | 3  |
| 2     | 調査の実施状況 .....                     | 3  |
| 3     | 調査項目 .....                        | 3  |
| 4     | 地区の構成 .....                       | 4  |
| 5     | 国籍・地域の構成 .....                    | 4  |
| 6     | 本報告書を読む際の留意点 .....                | 4  |
| 7     | 分析記述の基本的考え方 .....                 | 4  |
| II    | 日本人向け調査 .....                     | 6  |
| 1     | あなたのことについて .....                  | 7  |
| (1)   | 年齢 .....                          | 7  |
| (2)   | 性別 .....                          | 7  |
| (3)   | お住まいの地域 .....                     | 8  |
| (3-1) | お住まいの地域（地区別） .....                | 9  |
| 2     | 地域等で生活する外国人について .....             | 10 |
| (4)   | お住まいの地域に外国人は住んでいますか.....          | 10 |
| (5)   | 親しみを感じているか .....                  | 12 |
| (6)   | 外国人との交流 .....                     | 16 |
| (7)   | どのようなときにやり取りしたか.....              | 20 |
| (8)   | やり取りをした時の言語 .....                 | 21 |
| (9)   | やり取りが全くない理由 .....                 | 22 |
| (10)  | 外国人住民との付き合い .....                 | 23 |
| (11)  | 付き合いのある場所 .....                   | 27 |
| (12)  | 外国人住民とのかかわりで困ったこと.....            | 28 |
| (13)  | 外国人住民が困っていると思うこと.....             | 29 |
| 3     | 多文化共生について .....                   | 30 |
| (14)  | 「多文化共生」という言葉・考え方について.....         | 30 |
| (15)  | 外国人住民が増えた場合の影響.....               | 34 |
| (16)  | 外国人住民との交流をする際の課題.....             | 35 |
| (17)  | 地域で外国人住民と共に暮らすために、外国人住民に望むこと..... | 36 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| (18) 地域で外国人住民と共に暮らすために、自分ができること..... | 37 |
| (19) 地域で外国人住民と共に暮らすために、必要な取り組み.....  | 38 |
| 4 やさしい日本語について .....                  | 39 |
| (20) 「やさしい日本語」について.....              | 39 |
| 5 そのほか .....                         | 43 |
| (21) 多文化共生に関わるご意見等.....              | 43 |

### Ⅲ 外国人向け調査 ..... 44

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1 あなたのことにについて .....         | 45 |
| (1) 国籍・地域 .....             | 45 |
| (1-1) 国籍・地域 .....           | 46 |
| (2) 性別 .....                | 46 |
| (3) 年齢 .....                | 47 |
| (4) 在留資格 .....              | 47 |
| (5-1) 日本の居住年数 .....         | 48 |
| (5-2) 四街道市の居住年数 .....       | 48 |
| (6) お住まいの地区 .....           | 49 |
| (6-1) お住まいの地域（地区別） .....    | 50 |
| (7) 住宅 .....                | 50 |
| 2 四街道市での生活について .....        | 51 |
| (8) 四街道市に住んでいる理由.....       | 51 |
| (9) 生活で困っていることや不安なこと.....   | 52 |
| (10) 生活で困ったときに相談する人.....    | 53 |
| (11) 自治会への加入状況 .....        | 54 |
| (12) 日本人との会話 .....          | 57 |
| (13) 話さない理由 .....           | 60 |
| (14) 地域の活動やまちづくりの活動.....    | 61 |
| (15) 不快な思いをしたことがあるか.....    | 64 |
| (16) どのようなことで不快な思いをしたか..... | 67 |
| 3 ことばについて .....             | 68 |
| (17) いつもの生活でよく使うことば.....    | 68 |
| (18) 日本語の理解度 .....          | 69 |
| (19) 日本語の会話能力 .....         | 72 |
| (20) 日本語をどれくらい読めるか.....     | 75 |
| (21) 日本語をどれくらい書けるか.....     | 76 |
| (22) 日本語を勉強しているか .....      | 77 |

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| (23) 日本語を勉強している理由.....           | 80  |
| (24) 日本語を勉強したいか .....            | 81  |
| 4 あなたの仕事について .....               | 84  |
| (25) 就労状況 .....                  | 84  |
| (26) 雇用形態 .....                  | 87  |
| (27) 仕事内容 .....                  | 90  |
| 5 情報、インフォメーションについて .....         | 93  |
| (28) 四街道市の情報をどうやって知るか.....       | 93  |
| (29) 市の公式 SNS などへの登録状況.....      | 94  |
| (30) 四街道市の情報の発信について.....         | 95  |
| 6 健康診断や病院でのことばについて .....         | 98  |
| (31) 定期健康診断の受診状況 .....           | 98  |
| (32) 病院に行く場合について .....           | 101 |
| 7 地震や台風について .....                | 102 |
| (33) 地震や台風のときに逃げるところ.....        | 102 |
| (34) 地震や台風のことを知る方法.....          | 105 |
| 8 子どものことについて .....               | 106 |
| (35) 子どもの人数 .....                | 106 |
| (36) 子どもの勉強する場（1 人目の子ども） .....   | 107 |
| (37) 子どもの勉強する場（2 人目の子ども） .....   | 110 |
| (38) 子どもの日本語について（1 人目の子ども） ..... | 113 |
| (39) 子どもの日本語について（2 人目の子ども） ..... | 116 |
| (40) 家族の中での言葉の問題 .....           | 119 |
| (41) 家族の中での言葉の問題の具体的な内容.....     | 122 |
| 9 行政サービス、市のサービスについて .....        | 123 |
| (42) 四街道市に望むサービス .....           | 123 |
| (43) 四街道市国際交流協会（YOCCA）の認知度.....  | 124 |
| 10 そのほか .....                    | 127 |
| (44) これからの日本での予定 .....           | 127 |
| (45) 四街道市への定住意向 .....            | 130 |



# I 調査の概要





## 1 調査目的

四街道市の方向性を示すうえで地域の現況や多文化共生に対する認識を把握し、より市の現状に合ったプランの策定のための重要な基礎資料として活用する目的で調査を実施いたしました。

## 2 調査の実施状況

調査時期 令和 6 年 12 月 1 日～令和 6 年 12 月 13 日  
調査対象者 日本人:1,200 名  
外国人:1,400 名  
合 計:2,600 名

## 3 調査項目

本調査の調査項目は、以下のとおりです。

日本人向け調査

| 調査項目          |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. あなたのことについて | 2. 地域等で生活する外国人について |
| 3. 多文化共生について  | 4. やさしい日本語について     |

外国人向け調査

| 調査項目                 |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. あなたのことについて        | 2. 四街道市での生活について     |
| 3. ことばについて           | 4. あなたの仕事について       |
| 5. 情報、インフォメーションについて  | 6. 健康診断や病院でのことばについて |
| 7. 地震や台風について         | 8. 子どものこと           |
| 9. 行政サービス、市のサービスについて | 10. その他             |

## 4 地区の構成

地域特性を把握するため、町会(地域)区分を下記6地区に分類しています。

| 地区名 | 地域名                                |
|-----|------------------------------------|
| 地区A | 亀崎、物井、長岡、千代田、池花、もねの里               |
| 地区B | 栗山、内黒田、萱橋、大日、つくし座、さちが丘             |
| 地区C | 下志津新田、四街道、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央            |
| 地区D | 鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ               |
| 地区E | 山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら |
| 地区F | 吉岡、鷹の台                             |

## 5 国籍・地域の構成

出身地ごとの特性を把握するため、選択肢の国名ごとに下記8地域に分類しています。

| 分類地域名 | 該当する国名（問1の選択肢）               |
|-------|------------------------------|
| 南アジア  | アフガニスタン、パキスタン、ネパール、スリランカ、インド |
| 東アジア  | 中国、韓国、モンゴル、台湾                |
| 東南アジア | ベトナム、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ   |
| 北アメリカ | カナダ、アメリカ                     |
| 南アメリカ | ブラジル                         |
| ヨーロッパ | イギリス                         |
| アフリカ  | ウガンダ                         |
| その他   | その他                          |

## 6 本報告書を読む際の留意点

- 図表中の「n」は、その設問への回答対象数を表しています。
- 図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、いずれも回答率(%)を表示しています。
- 回答率(%)は小数点以下第一位までを表示しています。したがって、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は、回答率が100.0%を超える場合があります。
- 本報告書での分析記述の考え方については、「7 分析記述の基本的考え方」のとおりとします。

## 7 分析記述の基本的考え方

- 本調査の全体の結果、全体と各属性を中心に分析記述を行っています。
- 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとします。

|      |                  |                    |
|------|------------------|--------------------|
| 文章表現 | 20.1～20.9%：約2割   | 26.5～27.9%：2割半ばを超え |
|      | 21.0～23.9%：2割を超え | 28.0～28.9%：3割近く    |
|      | 24.0～26.4%：2割半ば  | 29.0～29.9%：約3割     |

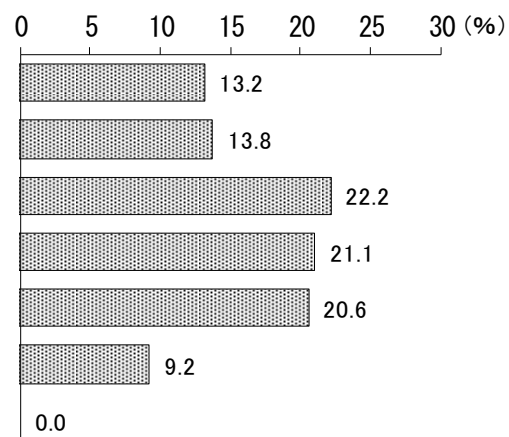


## Ⅱ 日本人向け調査

# 1 あなたのことについて

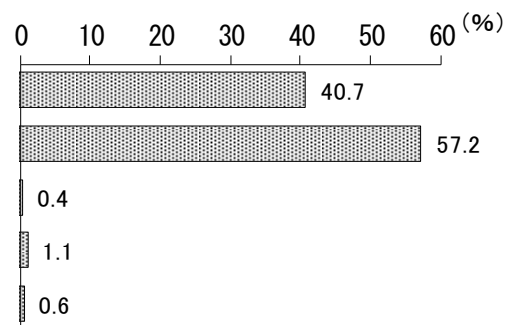
## (1) 年齢

|           | 基数  | 構成比   |
|-----------|-----|-------|
| 1 10代・20代 | 72  | 13.2% |
| 2 30代     | 75  | 13.8  |
| 3 40代     | 121 | 22.2  |
| 4 50代     | 115 | 21.1  |
| 5 60代     | 112 | 20.6  |
| 6 70代以上   | 50  | 9.2   |
| (無 回 答)   | 0   | 0.0   |
| 合 計       | 545 | 100.0 |



## (2) 性別

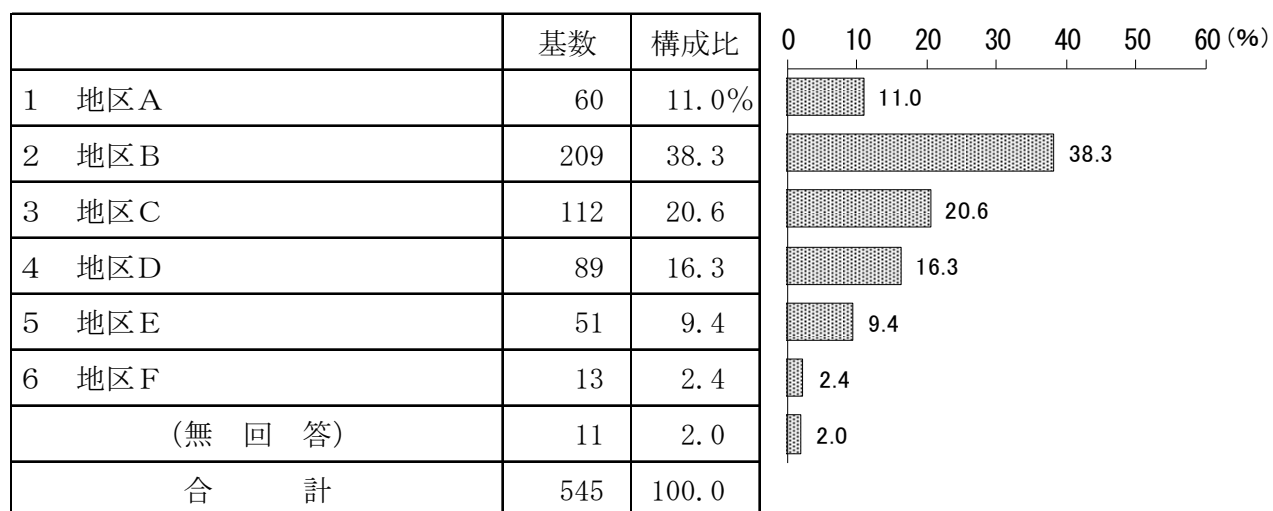
|          | 基数  | 構成比   |
|----------|-----|-------|
| 1 男性     | 222 | 40.7% |
| 2 女性     | 312 | 57.2  |
| 3 そのほか   | 2   | 0.4   |
| 4 答えたくない | 6   | 1.1   |
| (無 回 答)  | 3   | 0.6   |
| 合 計      | 545 | 100.0 |



### (3) お住まいの地域



### (3-1) お住まいの地域（地区別）



| 地区名 | 地域名                                |
|-----|------------------------------------|
| 地区A | 亀崎、物井、長岡、千代田、池花、もねの里               |
| 地区B | 栗山、内黒田、萱橋、大日、つくし座、さちが丘             |
| 地区C | 下志津新田、四街道、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央            |
| 地区D | 鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ               |
| 地区E | 山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら |
| 地区F | 吉岡、鷹の台                             |

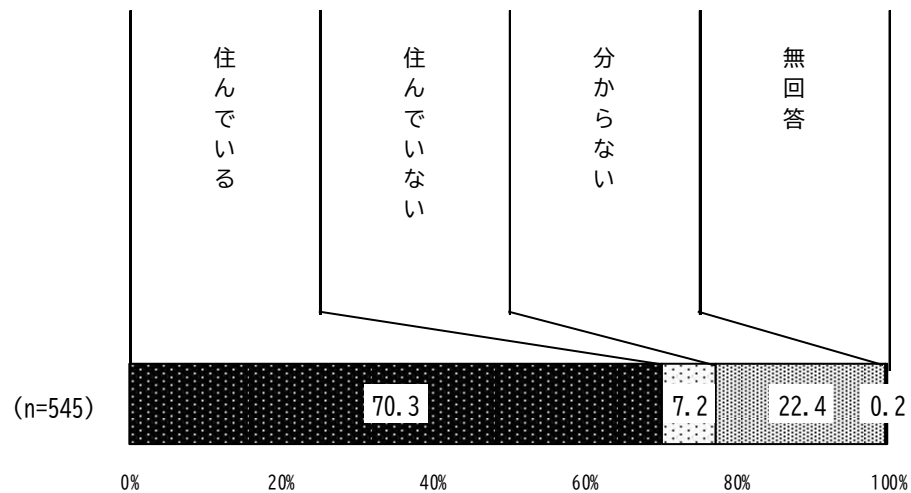


## 2 地域等で生活する外国人について

### (4) お住まいの地域に外国人は住んでいますか

Q4. お住まいの地域に外国人は住んでいますか

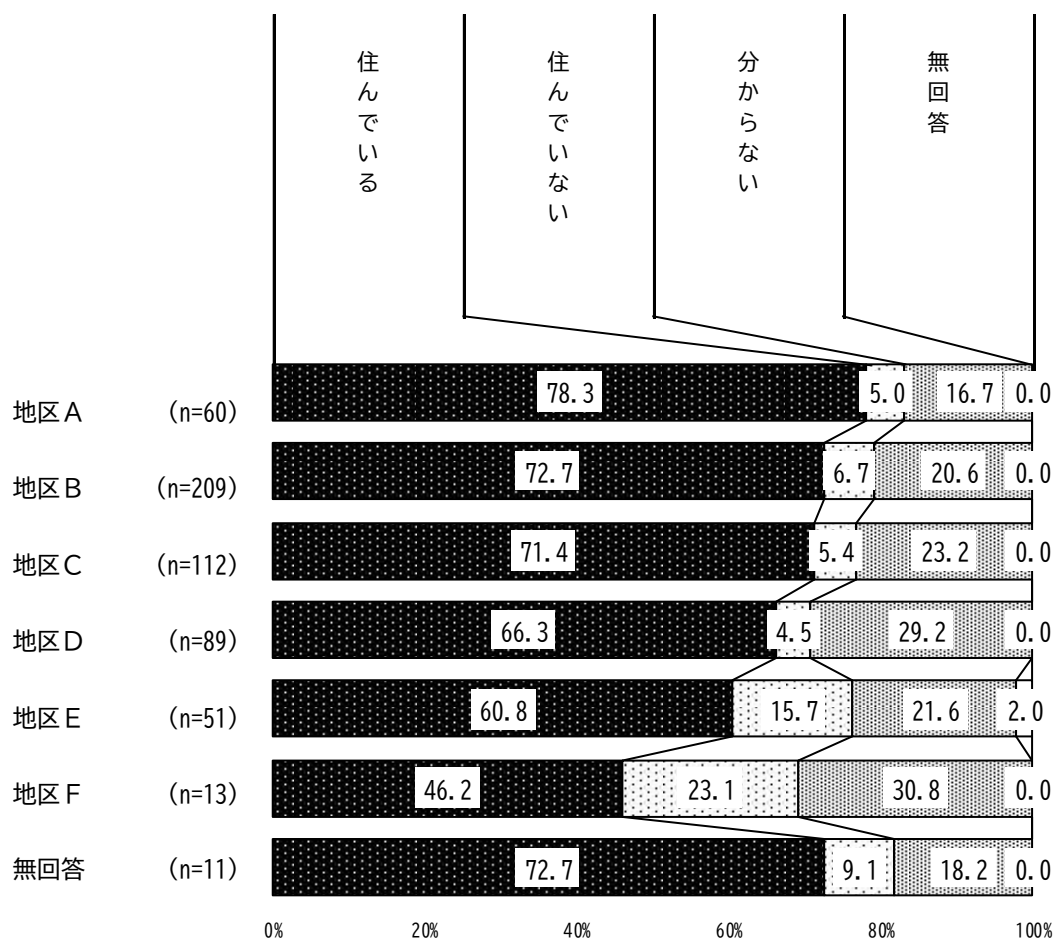
<図表 4 - 1>



#### <調査結果>

お住まいの地域に外国人は住んでいるか聞いたところ、「住んでいる」(70.3%)が約7割と最も高く、次いで、「分からない」(22.4%)、「住んでいない」(7.2%)となっています。

<図表 4 - 2>居住地区別



<調査結果>

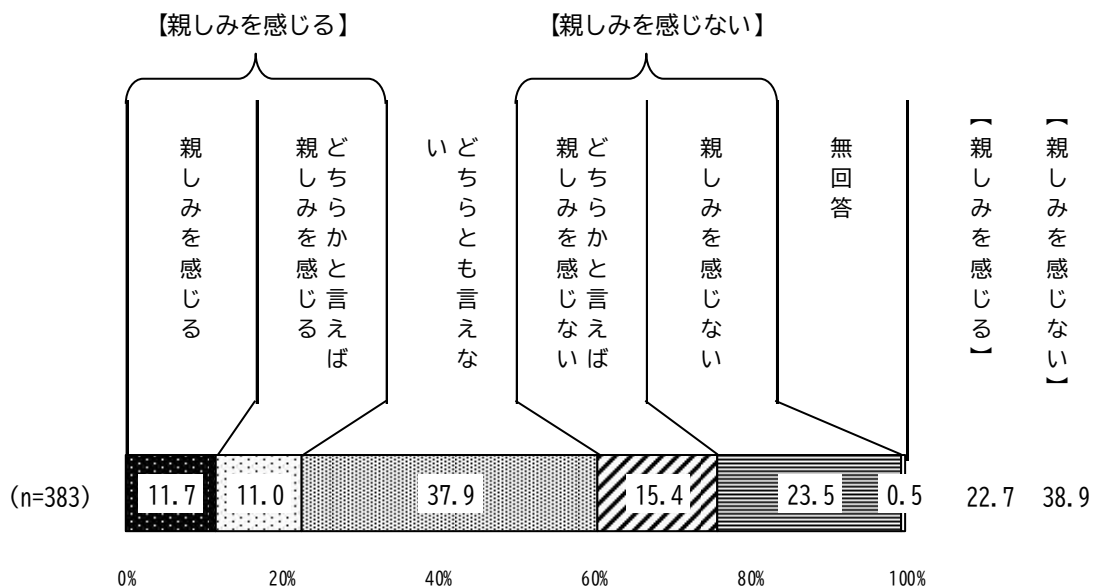
居住地区別に見ると、地区Fを除く地域では「住んでいる」が6割を超えており、地区Aでは「住んでいる」(78.3%)が8割近くとなっています。

## (5) 親しみを感じているか

(Q4で「住んでいる」を選択した方にお聞きします。)

Q5. 近くに住む外国人に親しみを感じていますか

<図表 5 - 1>

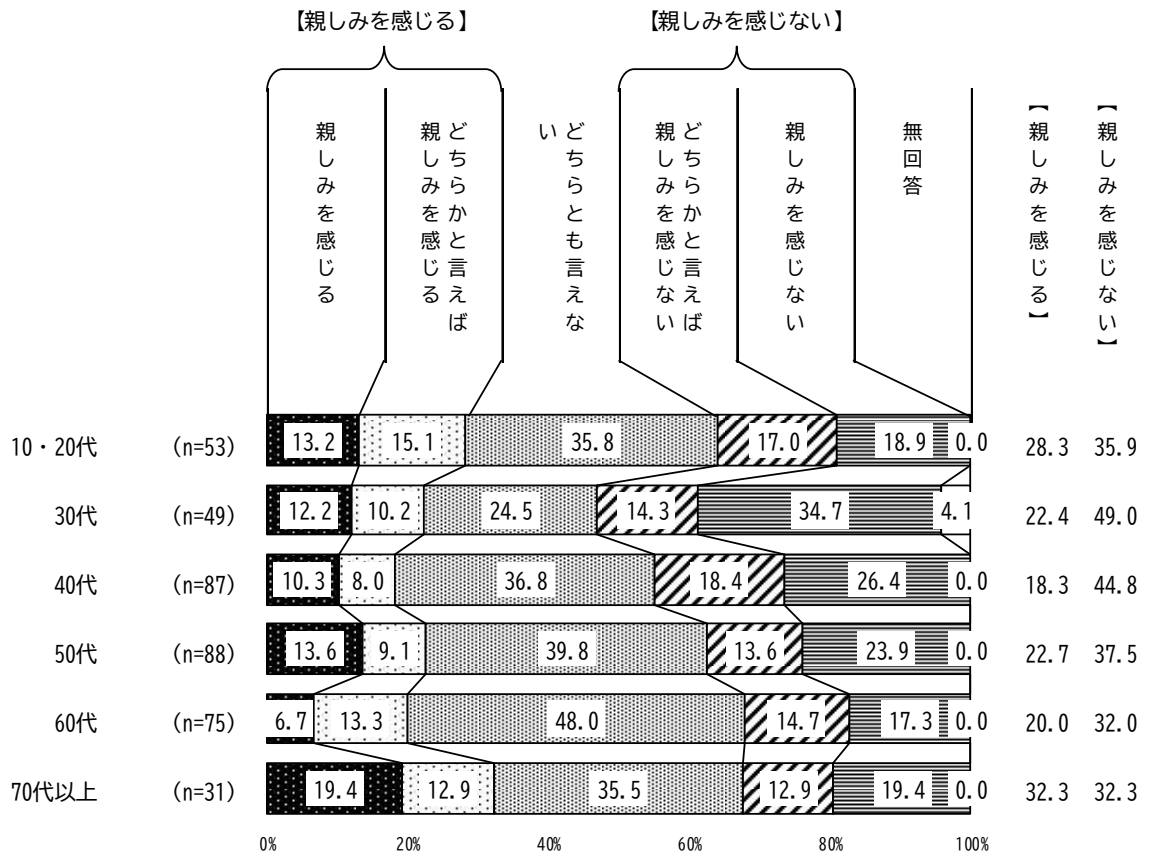


### <調査結果>

近くに住む外国人に親しみを感じているか聞いたところ、「どちらとも言えない」(37.9%)が3割半ばを超えて最も高くなっています。次いで「親しみを感じない」(23.5%)、「どちらかと言えば親しみを感じない」(15.4%)となっています。

また【親しみを感じる】の割合は、【親しみを感じない】と比較すると16.2%低くなっています。

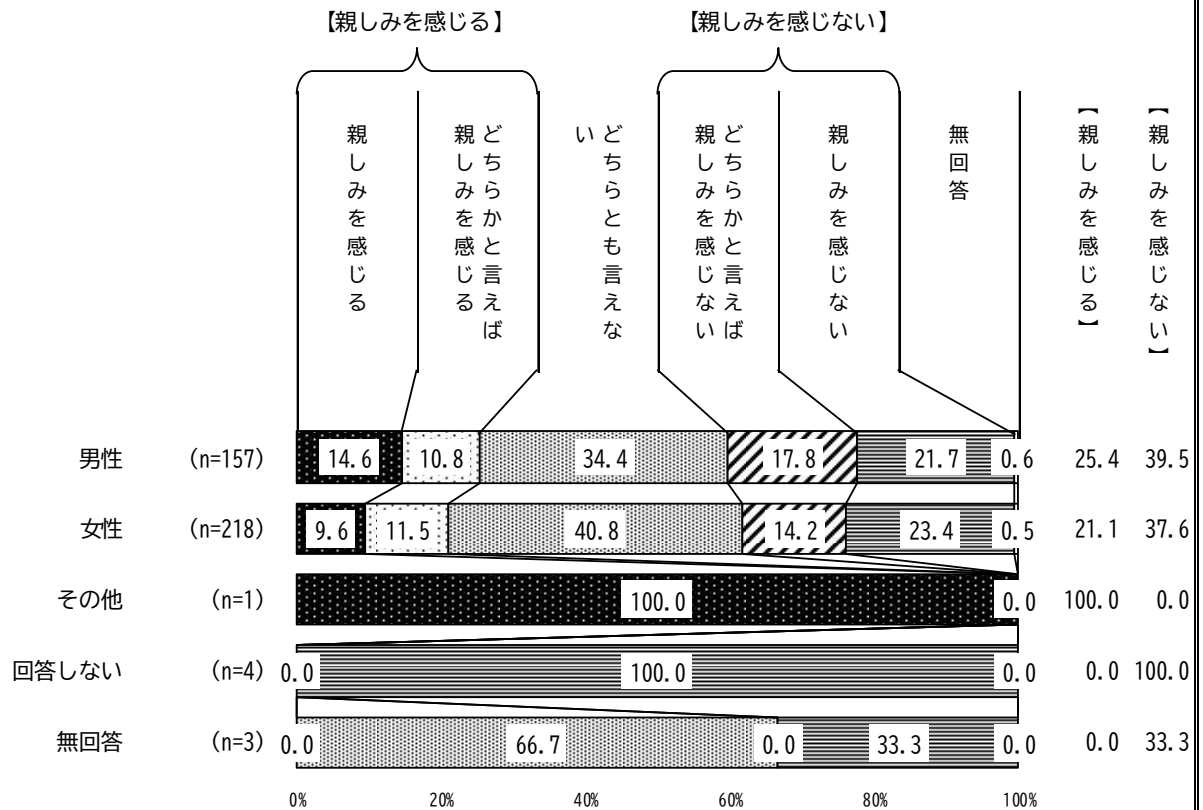
<図表 5 - 2>年齢別



<調査結果>

年齢別に見ると、70代以上を除く年齢で【親しみを感ずない】の割合が【親しみを感ずる】の割合を上回っています。

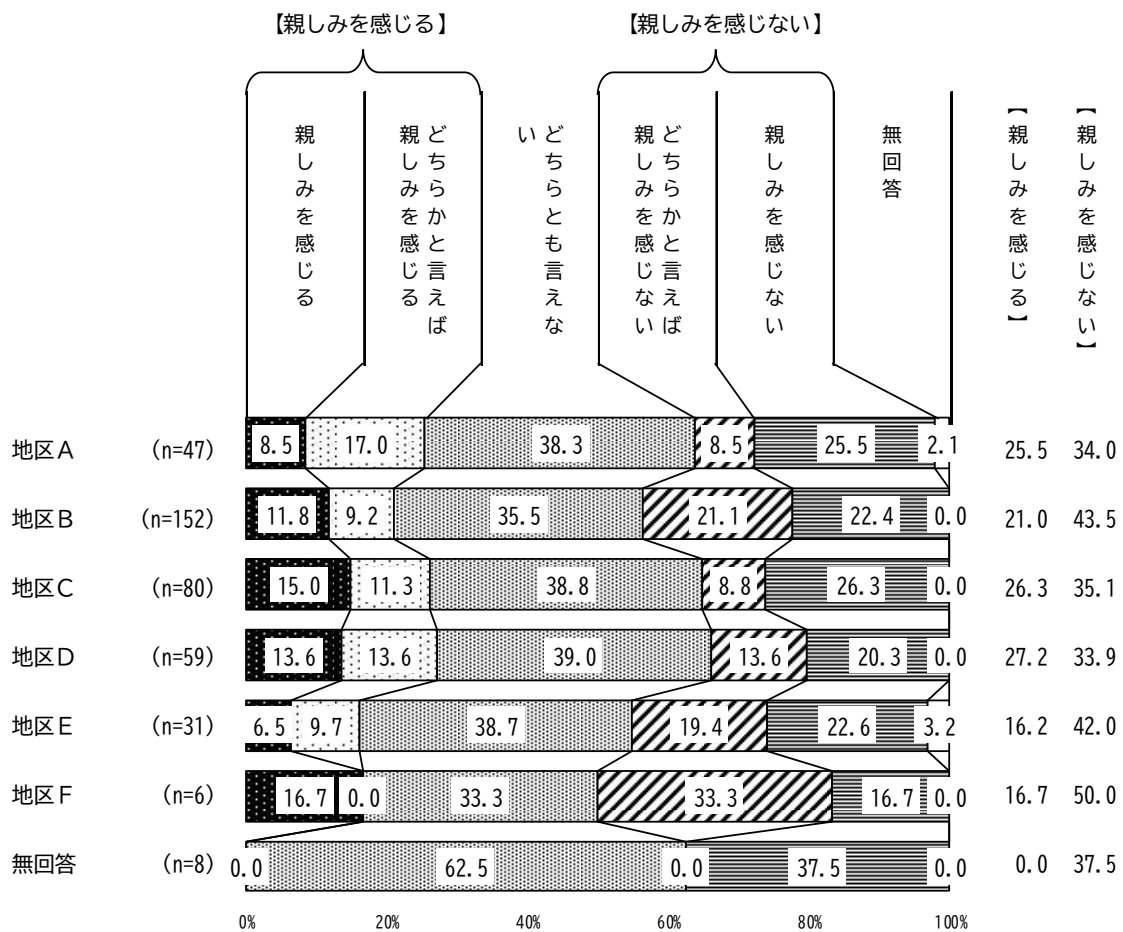
<図表 5 - 3>性別



<調査結果>

性別に見ると、男女ともに【親しみを感ずない】の割合が【親しみを感ずる】の割合を上回っています。【親しみを感ずる】と答えた男性の割合は、女性と比較すると4.3%高くなっています。

<図表 5-4>住居地区別



### <調査結果>

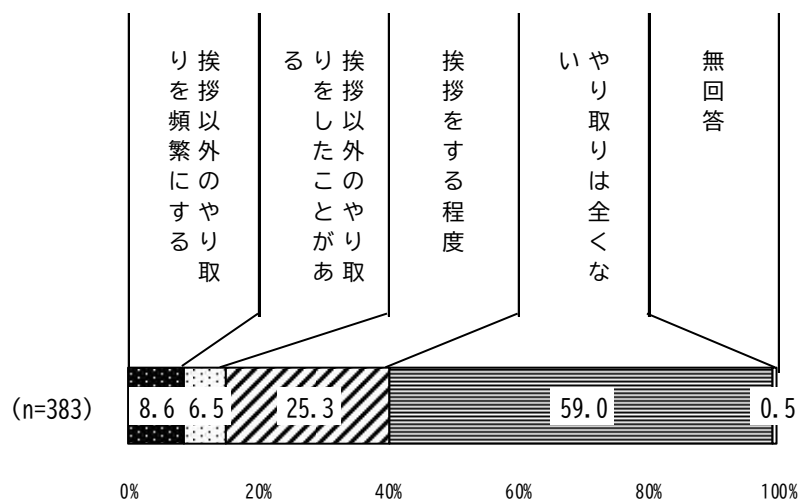
居住地区別に見ると、すべての居住地区で【親しみを感じない】の割合が【親しみを感じる】の割合を上回っています。

## (6) 外国人との交流

(Q4で「住んでいる」を選択した方にお聞きします。)

Q6. 近くに住む外国人と交流はありますか

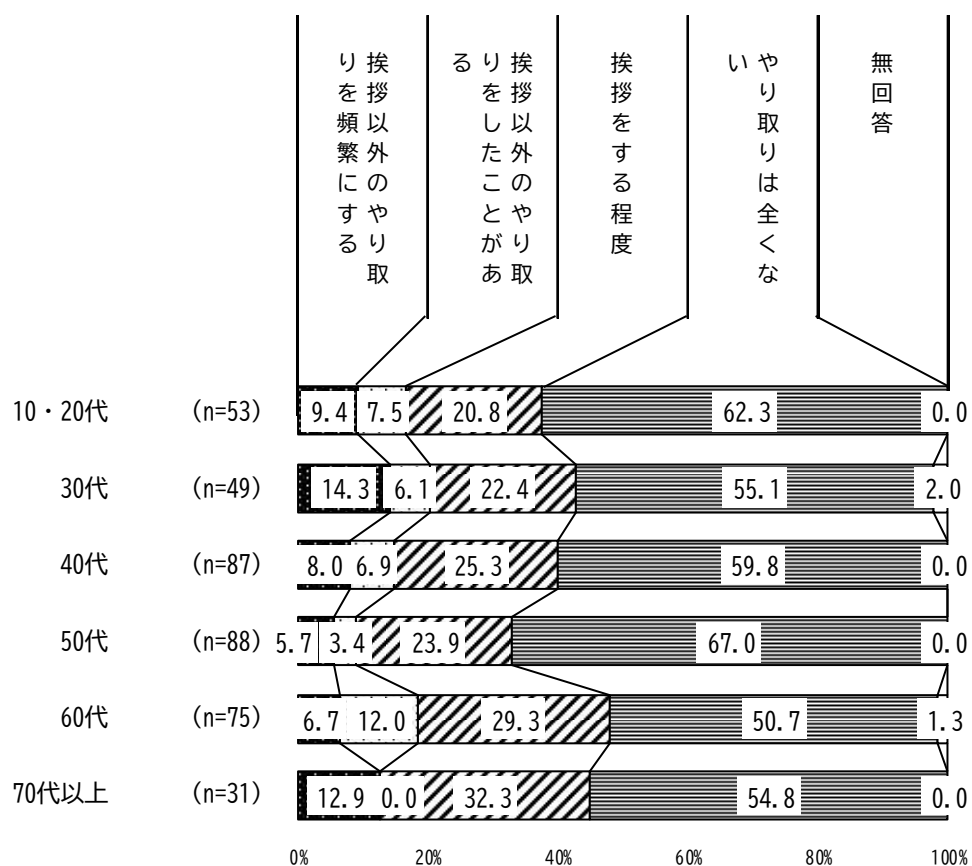
<図表 6-1>



### <調査結果>

近くに住む外国人と交流があるか聞いたところ、「やり取りは全くない」(59.0%)が約6割で最も高くなっています。次いで「挨拶をする程度」(25.3%)、「挨拶以外のやり取りを頻繁にする」(8.6%)となっています。

<図表 6 - 2>年齢別

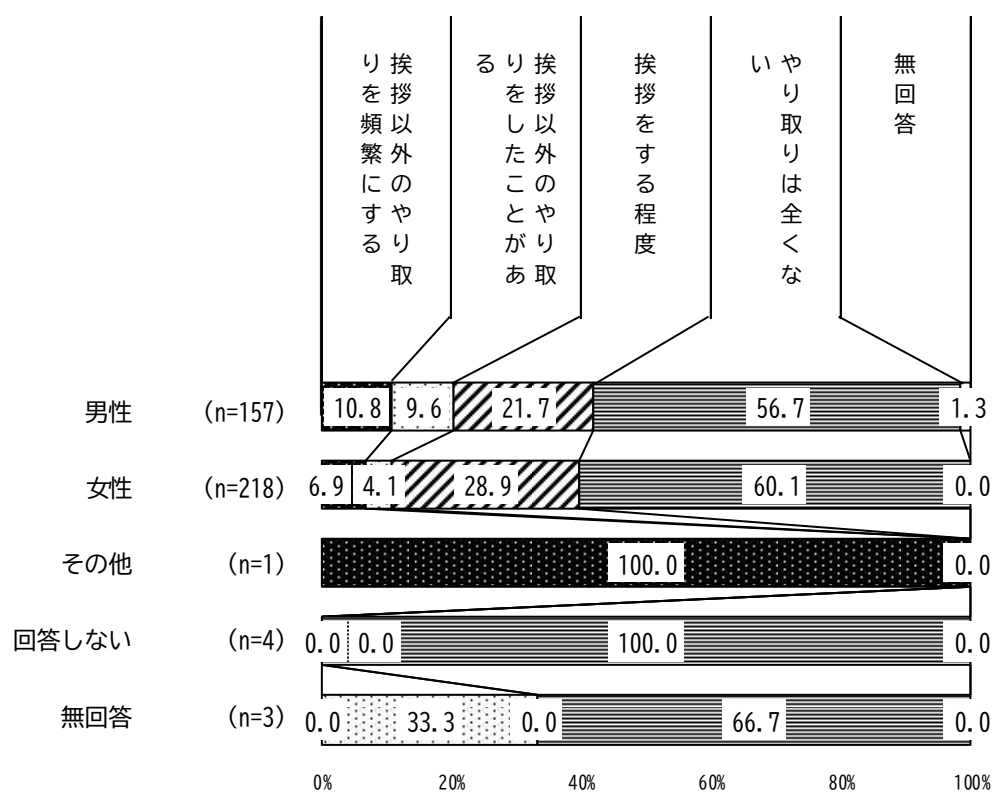


<調査結果>

年齢別に見ると、すべての年齢で「やり取りは全くない」が最も高くなっています。



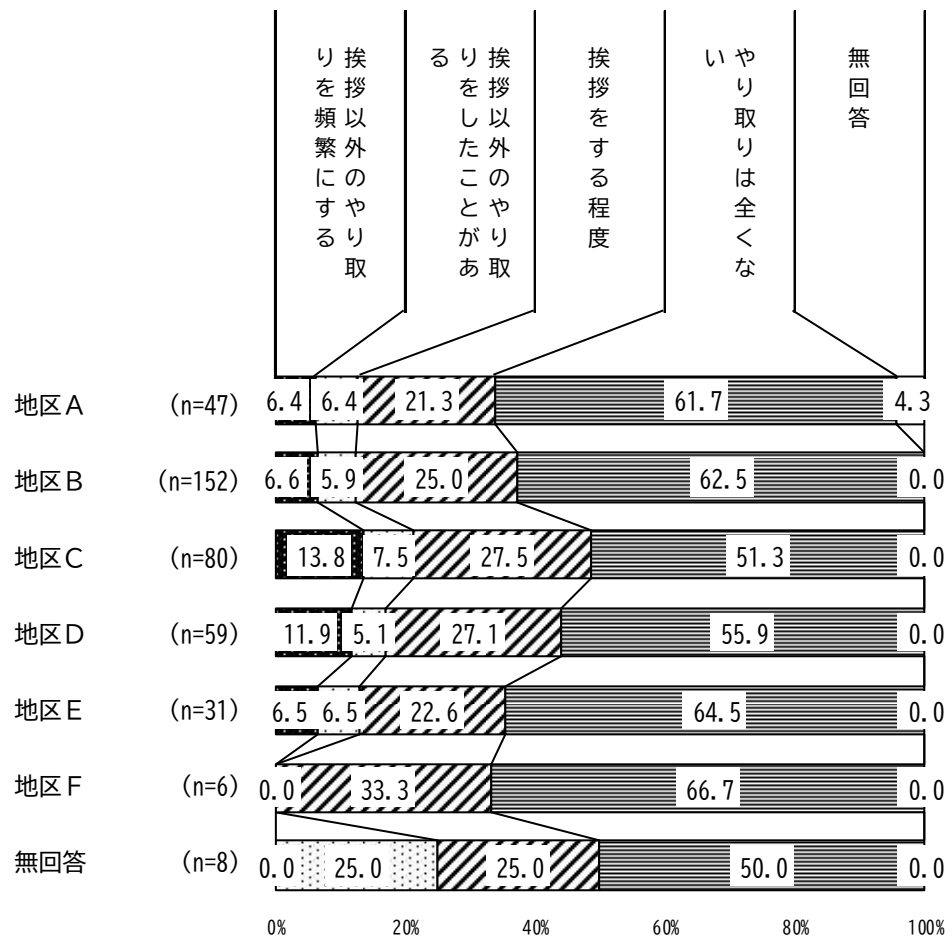
<図表 6 - 3>性別



<調査結果>

性別に見ると、男女ともに「やり取りは全くない」の割合が最も高くなっています。

<図表 6 - 4> 住居地区別



<調査結果>

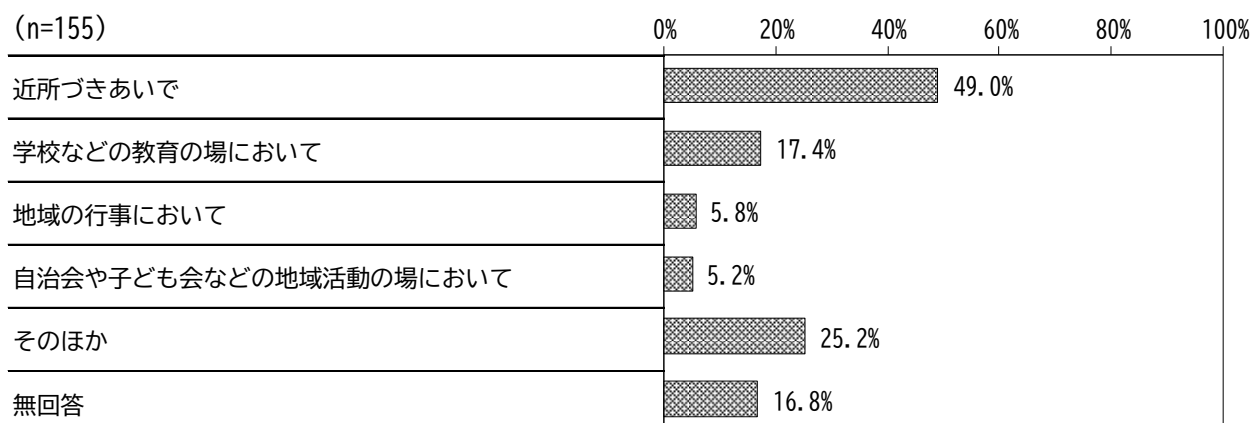
居住地区別に見ると、すべての居住地区で「やり取りは全くない」の割合が最も高くなっています。

## (7) どのようなときにやり取りしたか

(Q6で「やり取りは全くない」以外を選択した方にお聞きします。)

Q7. どのようなときにやり取りをしましたか \*複数選択可

<図表 7>



### <調査結果>

どのようなときにやり取りをしたか聞いたところ、「近所づきあいで」(49.0%)が約5割で最も高くなっています。次いで「そのほか」(25.2%)、「学校などの教育の場において」(17.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ごみ出しの際
- ・公園・飲食店
- ・主人が外国人のため
- ・犬の散歩ですれ違う時

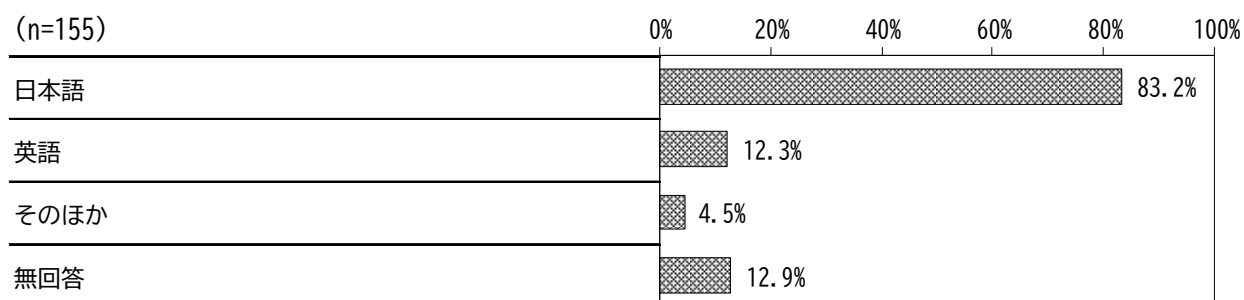
など

## (8) やり取りをした時の言語

(Q6で「やり取りは全くない」以外を選択した方にお聞きます。)

Q8. 何語でやり取りをしましたか／していますか \*複数選択可

<図表 8>



### <調査結果>

何語でやり取りをしたか聞いたところ、「日本語」(83.2%)が8割を超え最も高くなっています。次いで、「英語」(12.3%)、「そのほか」(4.5%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

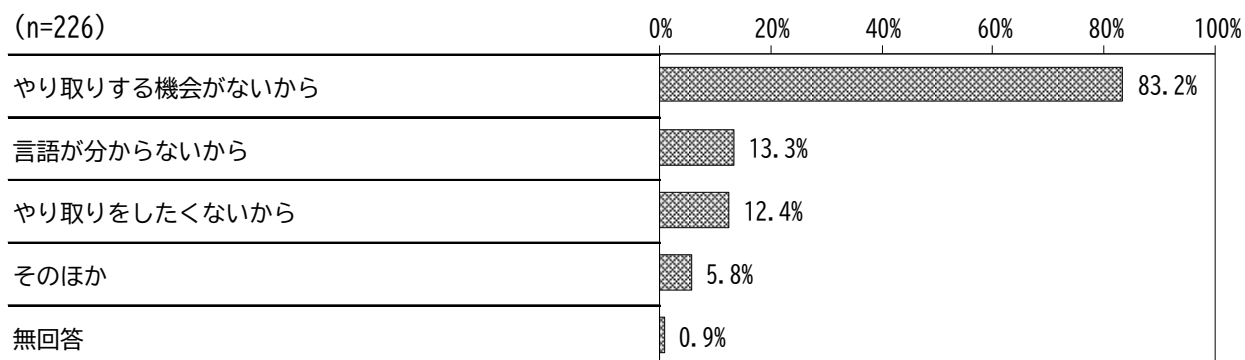
- ・会釈のみ
- ・中国語
- ・アイコンタクト、手をあげる程度

## (9) やり取りが全くない理由

(Q6 で「やり取りは全くない」を選択した方にお聞きします。)

Q9. 理由をお聞かせください \*複数選択可

<図表 9>



### <調査結果>

やり取りが全くない理由を聞いたところ、「やり取りする機会がないから」(83.2%)が8割を超え最も高くなっています。次いで、「言語が分からないから」(13.3%)、「やり取りをしたくないから」(12.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

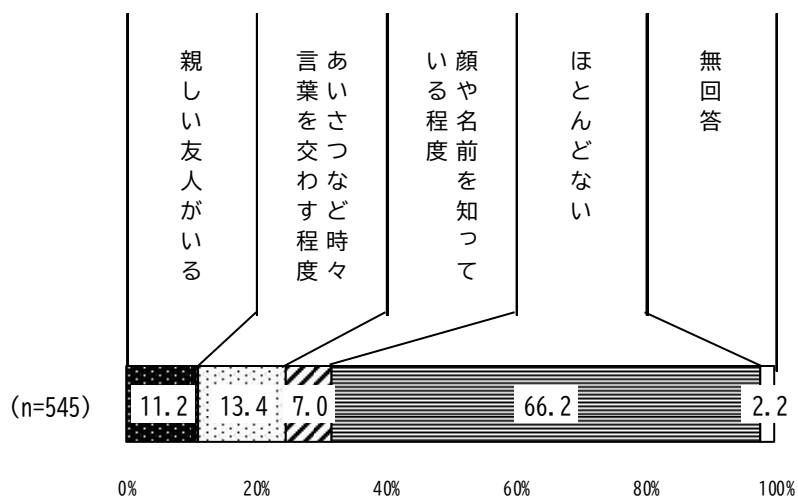
- ・挨拶をしても無視する。ゴミ出しなどで声をかけても二言目には日本語分からないといって逃げるようにその場を立ち去ってしまう。やり取り以前の問題だと思う。
- ・日ごろ接する機会がない。
- ・うるさかったり迷惑だから。
- ・挨拶をしても返ってこない。

など

## (10) 外国人住民との付き合い

Q10. お住まいの地域以外で外国人住民との付き合いはありますか

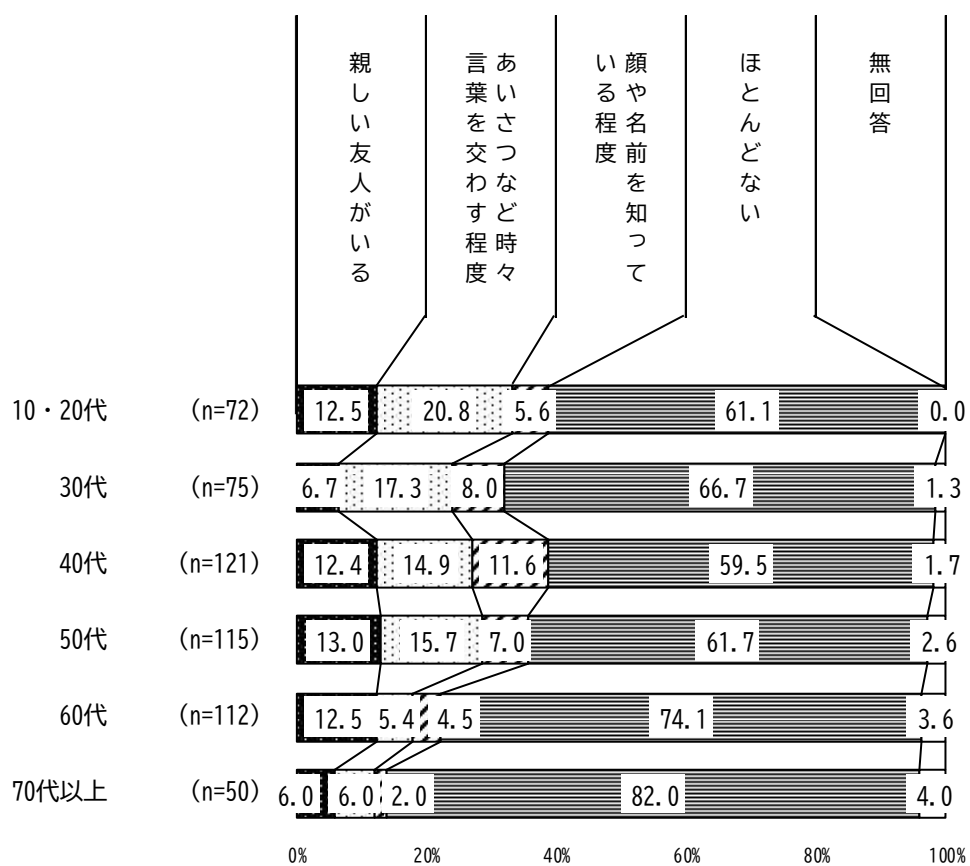
<図表 10-1>



### <調査結果>

お住まいの地域以外で外国人住民との付き合いがあるか聞いたところ、「ほとんどない」(66.2%)が6割半ばを超え最も高くなっています。次いで「あいさつなど時々言葉を交わす程度」(13.4%)、「親しい友人がいる」(11.2%)となっています。

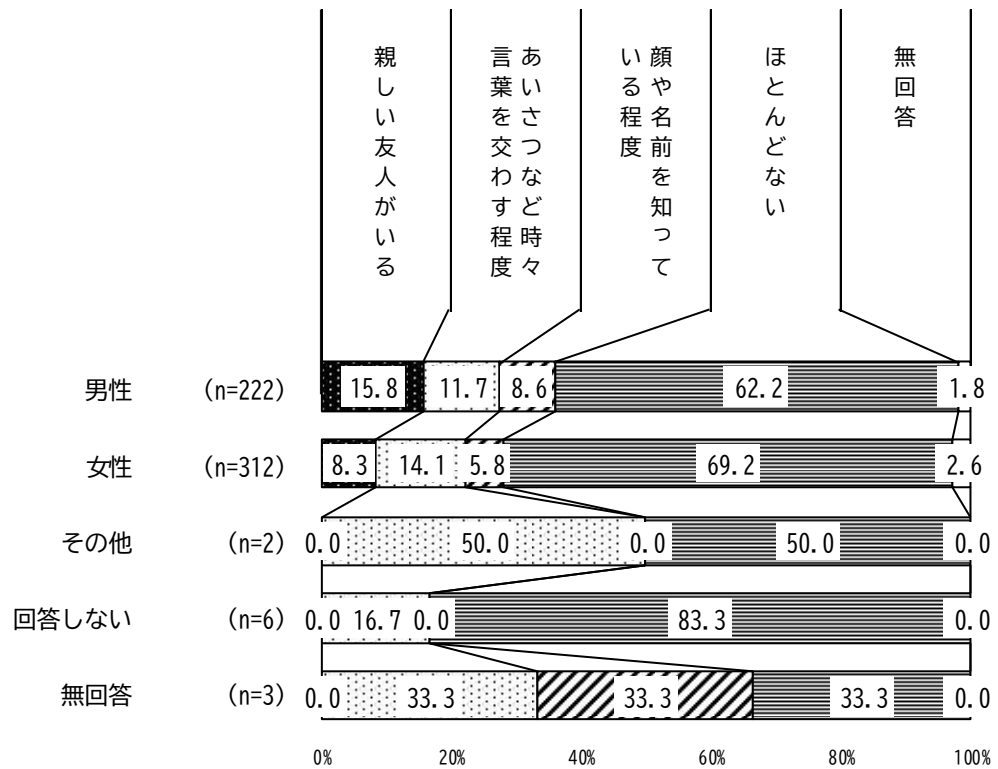
<図表 10 - 2>年齢別



<調査結果>

年齢別に見ると、すべての年齢で「ほとんどない」が最も高くなっています。

<図表 10 - 3> 性別

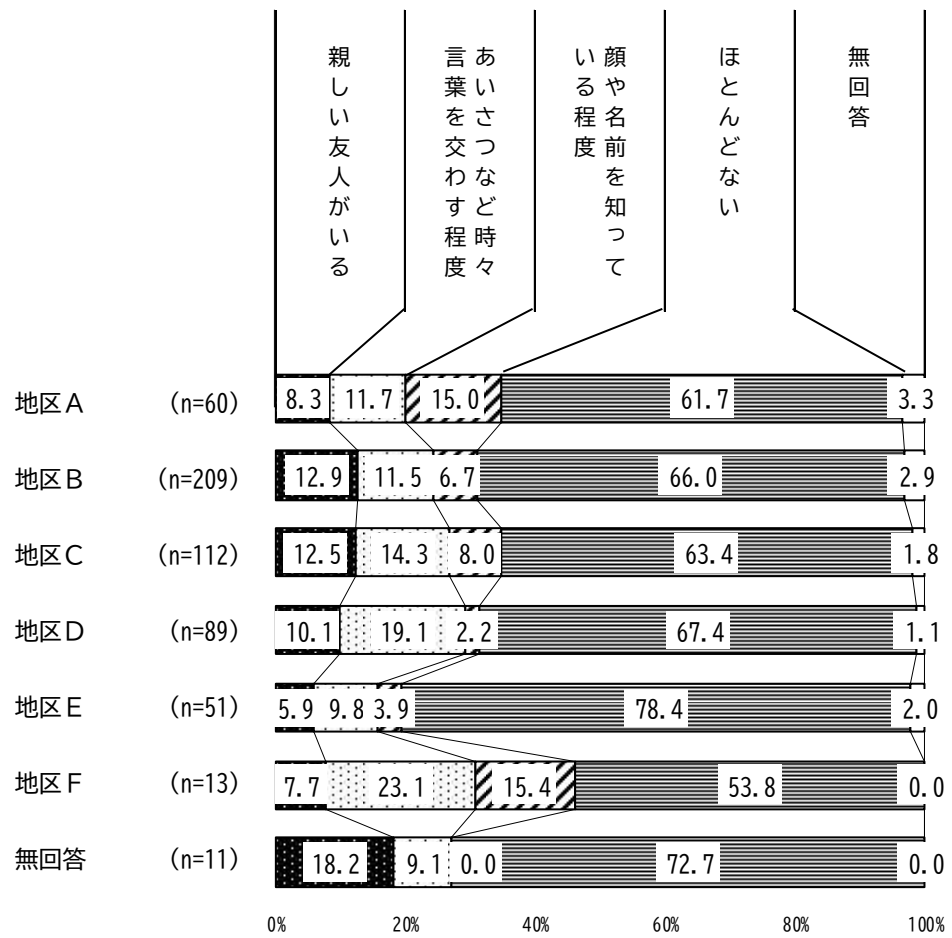


<調査結果>

性別に見ると、男女ともに「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。



<図表 10 - 4> 住居地区別



<調査結果>

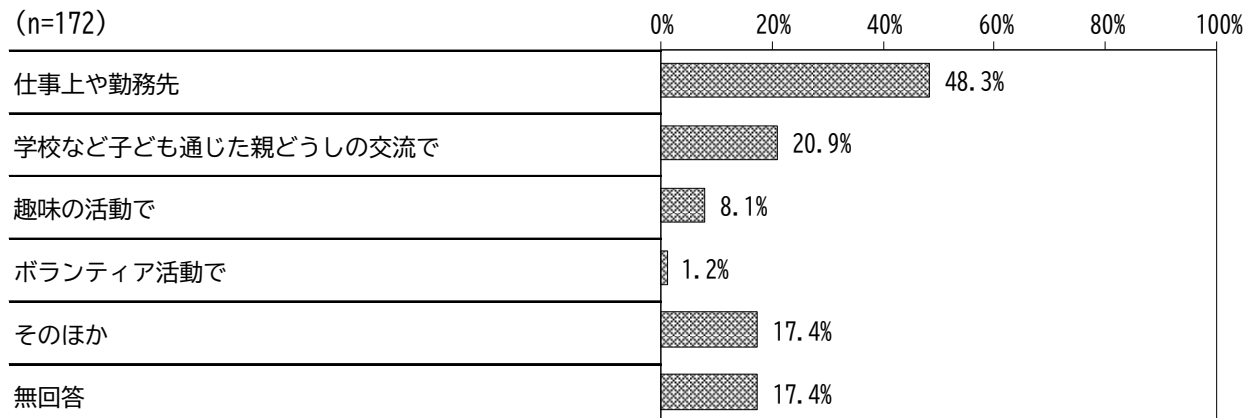
居住地区別に見ると、すべての居住地区で「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

## (11) 付き合いのある場所

(Q10で「ほとんどない」以外を選択した方にお聞きします。)

Q11. どのようなところで付き合いがありますか \*複数選択可

<図表 11>



### <調査結果>

どのようなところで付き合いがあるか聞いたところ、「仕事上や勤務先」(48.3%)が5割近くで最も高くなっています。次いで、「学校など子どもを通じた親どうしの交流で」(20.9%)、「そのほか」(17.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

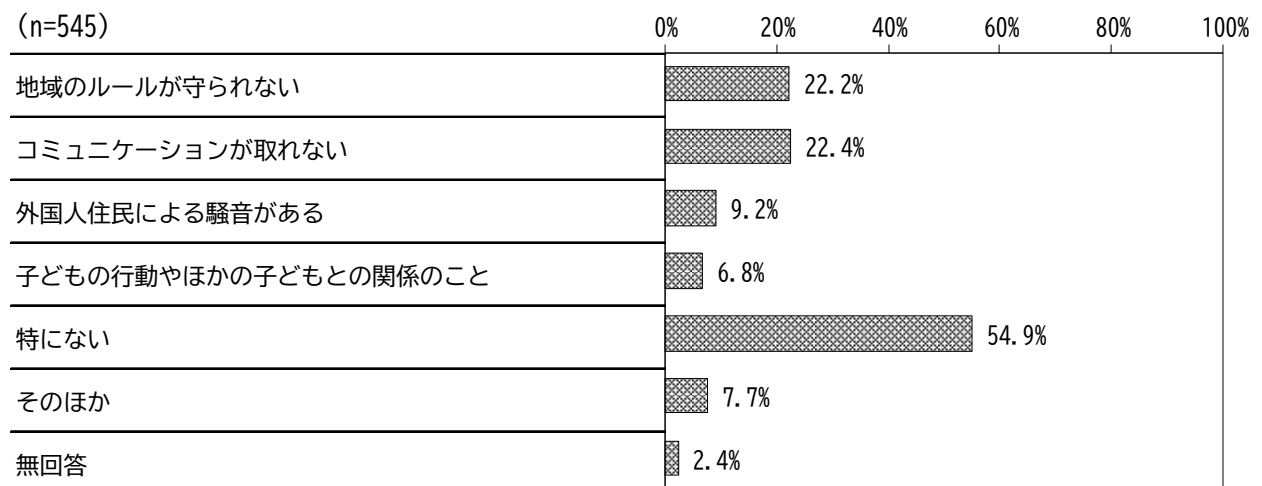
- ・ 同級生
- ・ 夫婦
- ・ 母の友達
- ・ 学校の友達
- ・ 妻の知り合い。
- ・ 留学していた時期に知り会った友達

など

## (12) 外国人住民とのかかわりで困ったこと

Q12. 外国人住民とのかかわりで困ったことはありますか \*複数選択可

<図表 12>



### <調査結果>

外国人住民とのかかわりで困ったことがあるか聞いたところ、「特にない」(54.9%)が5割半ばで最も高くなっています。次いで、「コミュニケーションが取れない」(22.4%)、「地域のルールが守られない」(22.2%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

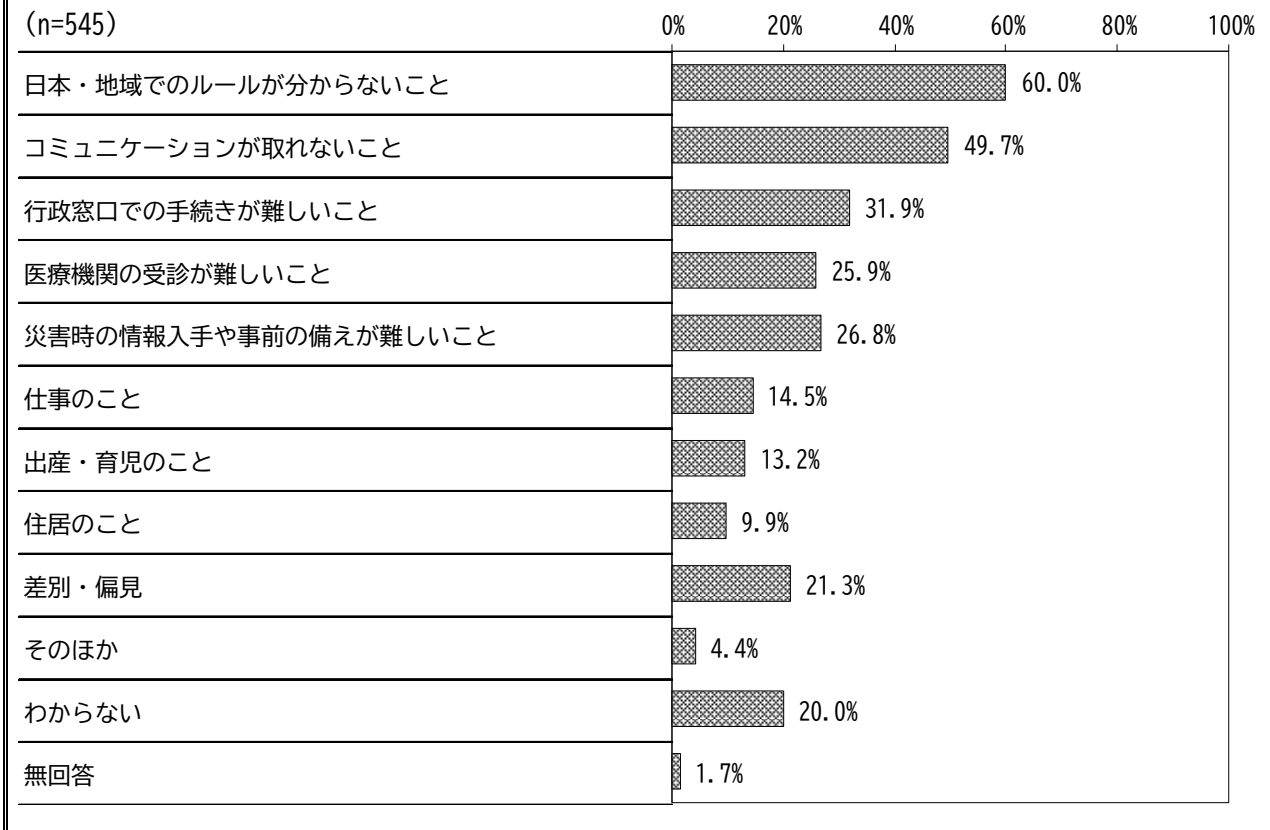
- ・ たばこの吸い殻ポイ捨て、空き缶放置。
- ・ 親が子どもを注意せずうるさい。
- ・ ヤードが多い地域の為、夜は大人でも少し怖い。街灯が少ない。
- ・ 権利の主張が強く、一切妥協しない。互譲の精神が欠如。
- ・ ゴミ箱に出した古着を漁ったり、長時間早朝から車のエンジンをかける、人の敷地に無断で入る、外で大声で電話をかける等、あげればきりが無い。
- ・ 日本語が分からないふりをしてルールを破る。鼻水を素手でつかんで、公園に投げ捨てていて汚い。公園で外国人の子どもに押されたりする。売り物に口をつけてそのまま戻す。
- ・ 夜中、大声で話しながら歩いている。

など

### (13) 外国人住民が困っていると思うこと

Q13. 外国人住民がどんなことに困っていると思いますか \*複数選択可

<図表 13>



#### <調査結果>

外国人住民がどんなことに困っていると思うか聞いたところ、「日本・地域でのルールが分からないこと」(60.0%)が6割で最も高くなっています。次いで、「コミュニケーションが取れないこと」(49.7%)、「行政窓口での手続きが難しいこと」(31.9%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ 法律知識不足、政治参加（選挙権）
- ・ マナーについて
- ・ 妥協を強要され、権利が制限される。
- ・ 色々あると思います。ホームシックとか、祖国の心配（アフガニスタンなど）。

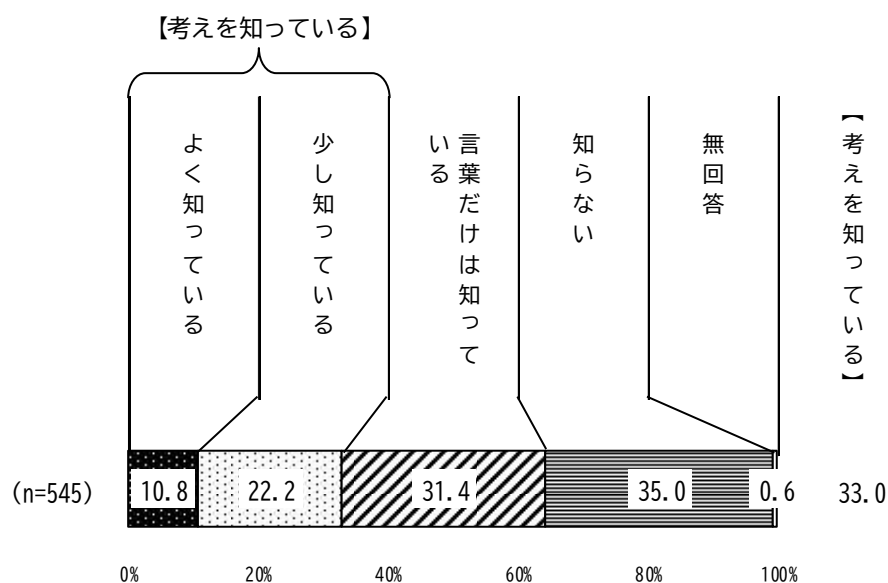
など

### 3 多文化共生について

#### (14)「多文化共生」という言葉・考え方について

Q14.「多文化共生」という言葉・考え方について、どの程度ご存じでしたか

<図表 14-1>

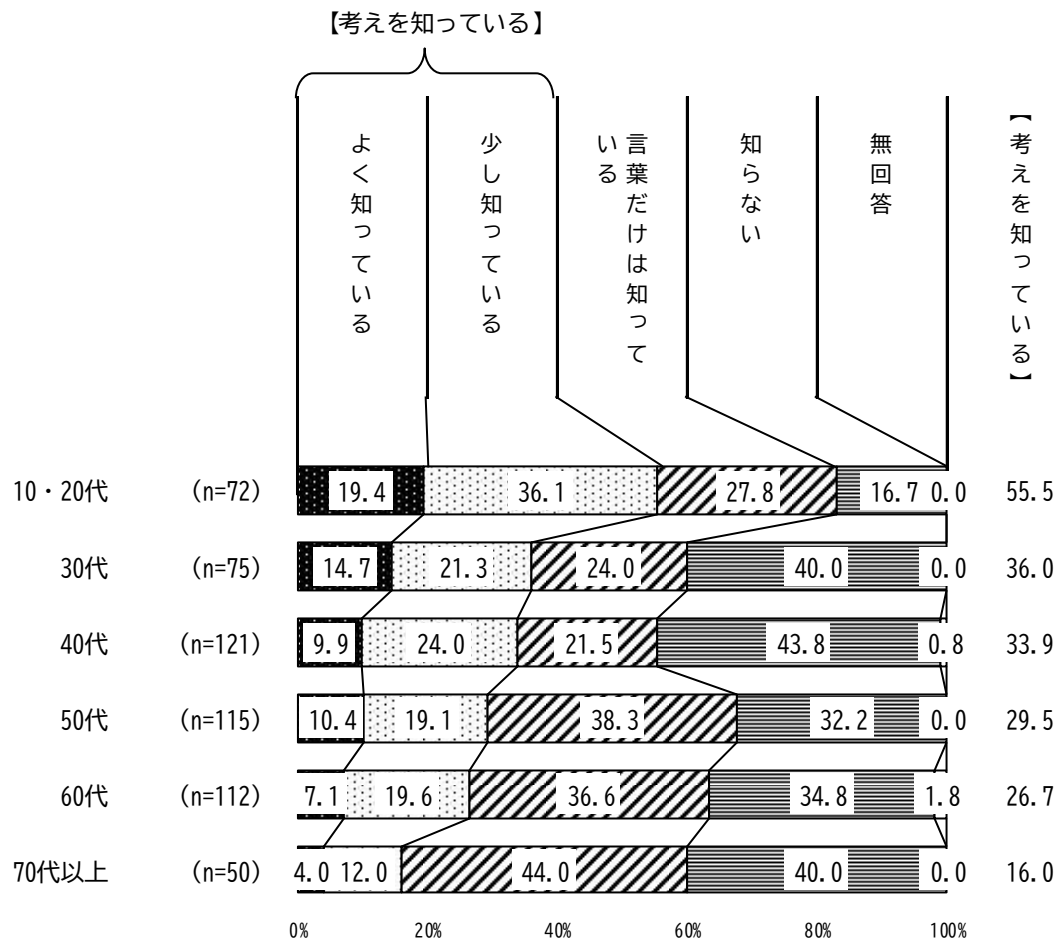


#### <調査結果>

「多文化共生」という言葉・考え方について、どの程度知っているか聞いたところ、「知らない」(35.0%)が3割半ばを超え最も高くなっています。次いで「言葉だけは知っている」(31.4%)、「少し知っている」(22.2%)となっています。

「多文化共生」という言葉の考え方を【知っている】割合は3割を超えています。

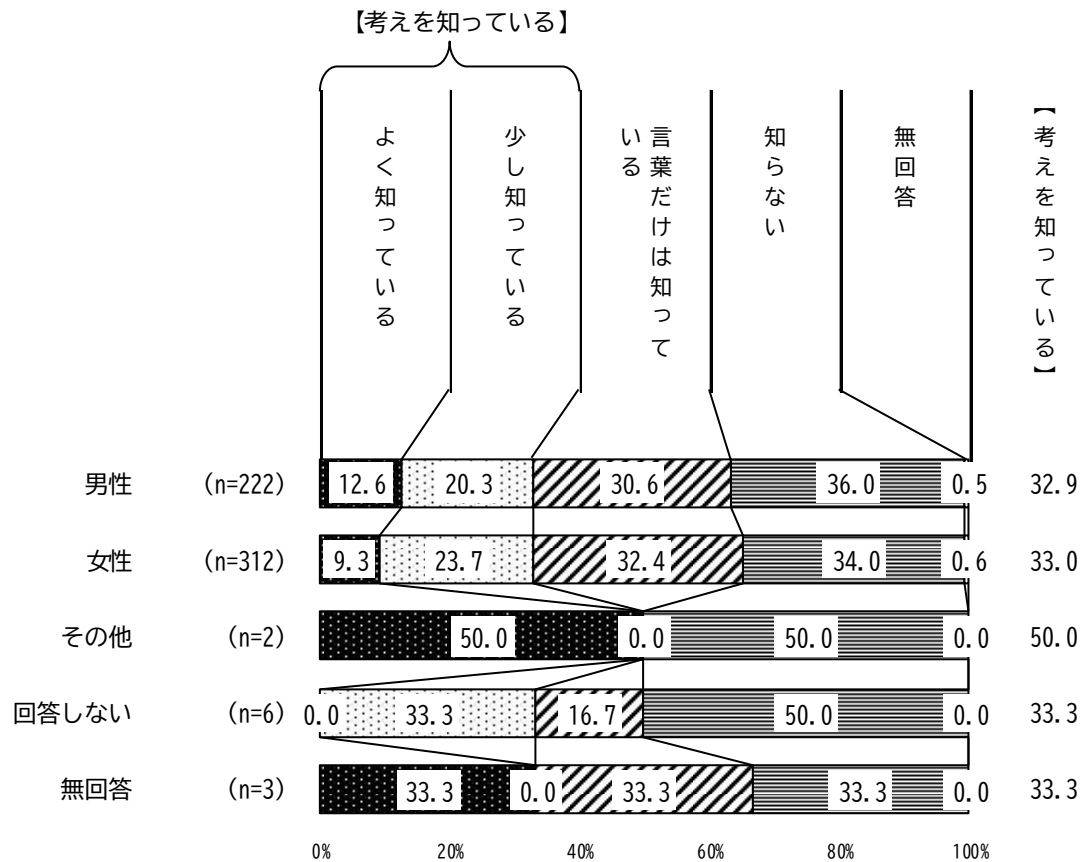
<図表 14 - 2>年齢別



<調査結果>

年齢別に見ると、10・20代では【考えを知っている】割合が5割半ばとなっています。一方、年齢が高くなるにつれて【考えを知っている】割合は減少し、70代以上では1割半ばとなっています。

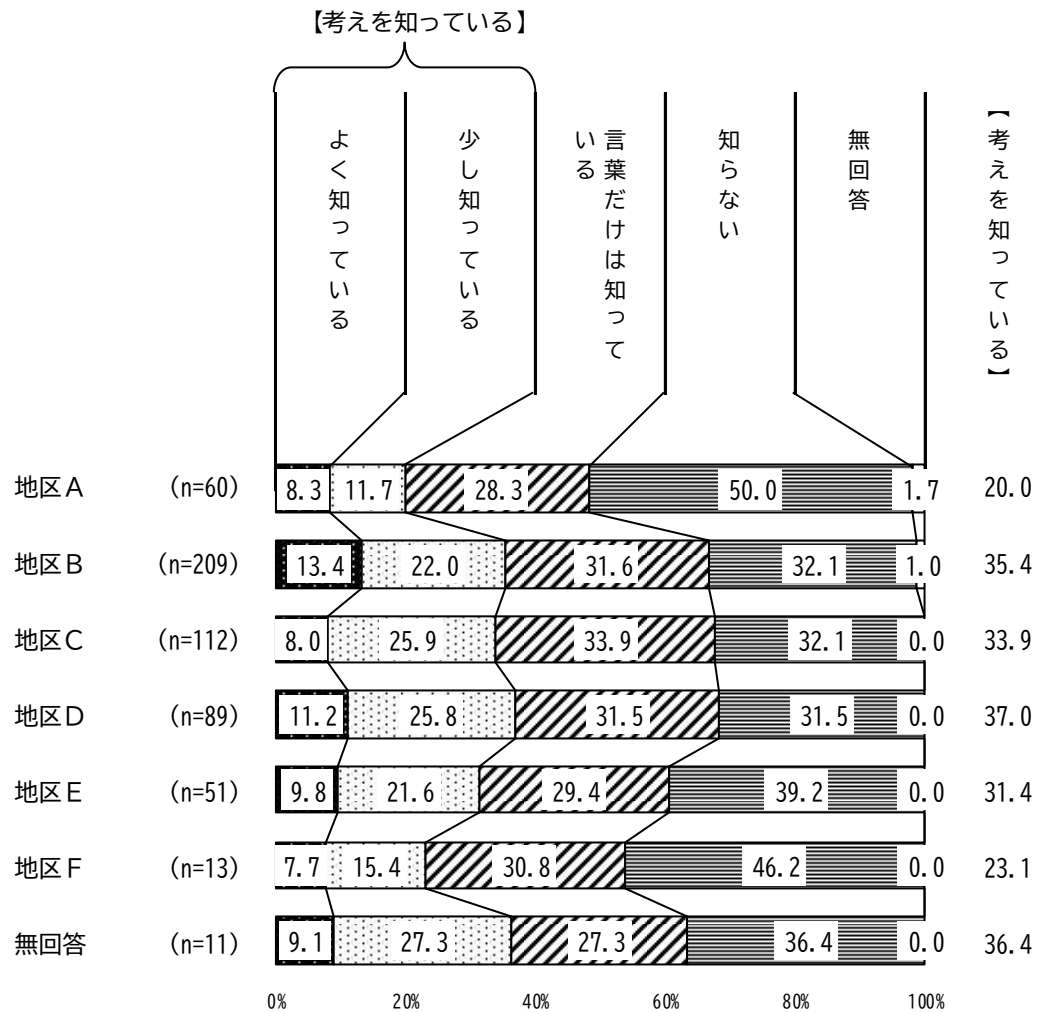
<図表 14 - 3>性別



<調査結果>

性別に見ると、男女ともに【考えを知っている】割合は3割を超えています。

<図表 14 - 4> 住居地区別



<調査結果>

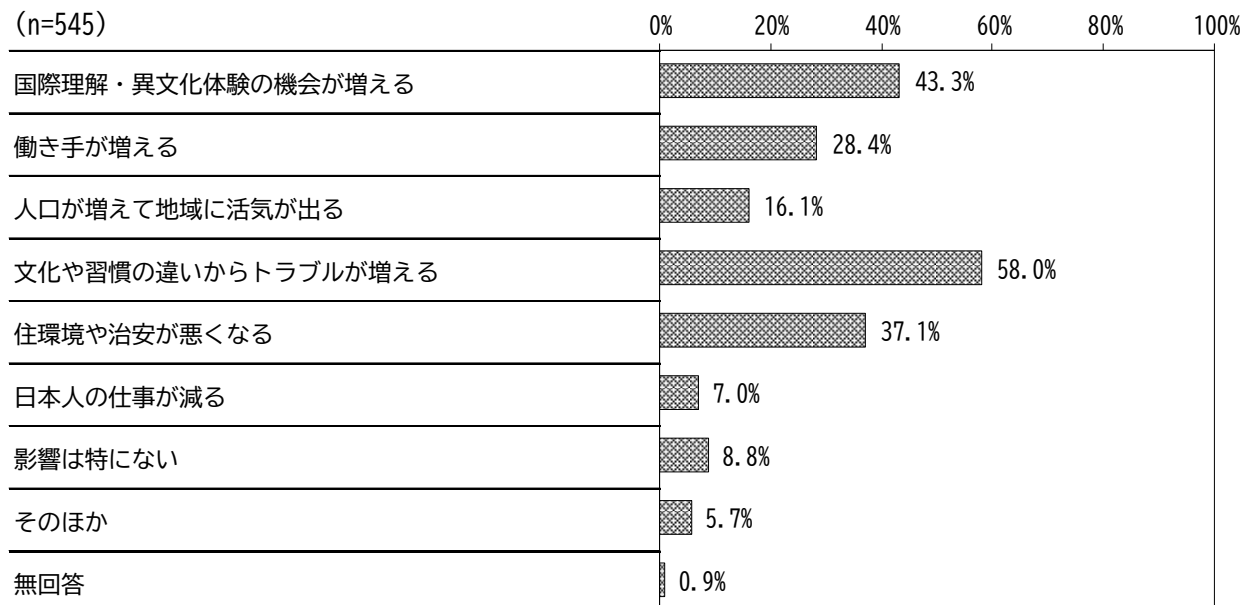
居住地区別に見ると、地区Aと地区Fでは【考えを知っている】割合は2割台、それ以外の地域では3割台となっています。



## (15) 外国人住民が増えた場合の影響

Q15. 地域に外国人住民が増えることでどのような影響があると思いますか＊複数選択可

<図表 15>



### <調査結果>

地域に外国人住民が増えることでどのような影響があるか聞いたところ、「文化や習慣の違いからトラブルが増える」(58.0%)が6割近くで最も高くなっています。次いで、「国際理解・異文化体験の機会が増える」(43.3%)、「住環境や治安が悪くなる」(37.1%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

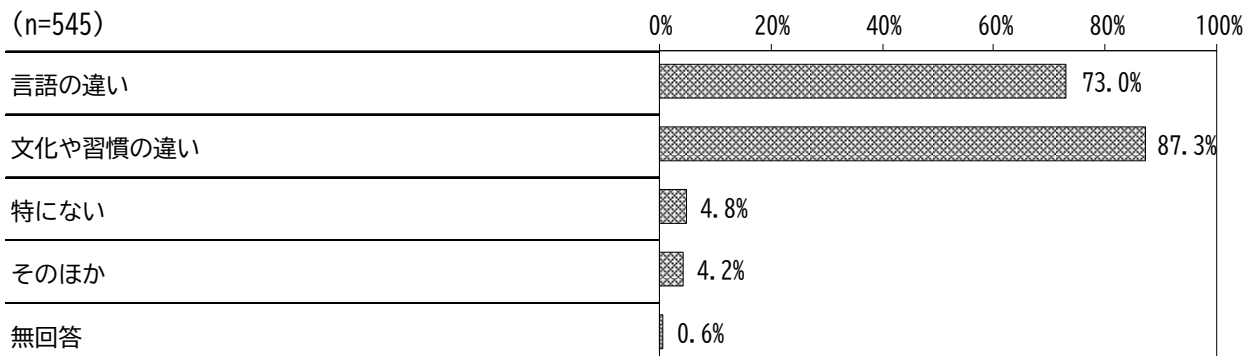
- ・文化の変容
- ・良い面がある一方でトラブルが起きやすい面もあるかと思います。
- ・ヤードの仕事に従事している人が多そうなので、土壌汚染が気になり。
- ・外国人は若い人が多く、日本人はお年寄りが多い。外国人と日本人の分断が起きているように感じる。
- ・マナーを守れない人もいるし暴力的な子どももいる。
- ・土地や家屋の資産価値が下がる。子ども（日本人）の安全が守れない。

など

## (16) 外国人住民との交流をする際の課題

Q16. 外国人住民との交流をするにあたり、どんな課題があると思われますか\*複数選択可

<図表 16>



### <調査結果>

外国人住民との交流をするにあたり、どんな課題があるか聞いたところ、「文化や習慣の違い」（87.3%）が8割半ばを超え最も高くなっています。次いで、「言語の違い」（73.0%）となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

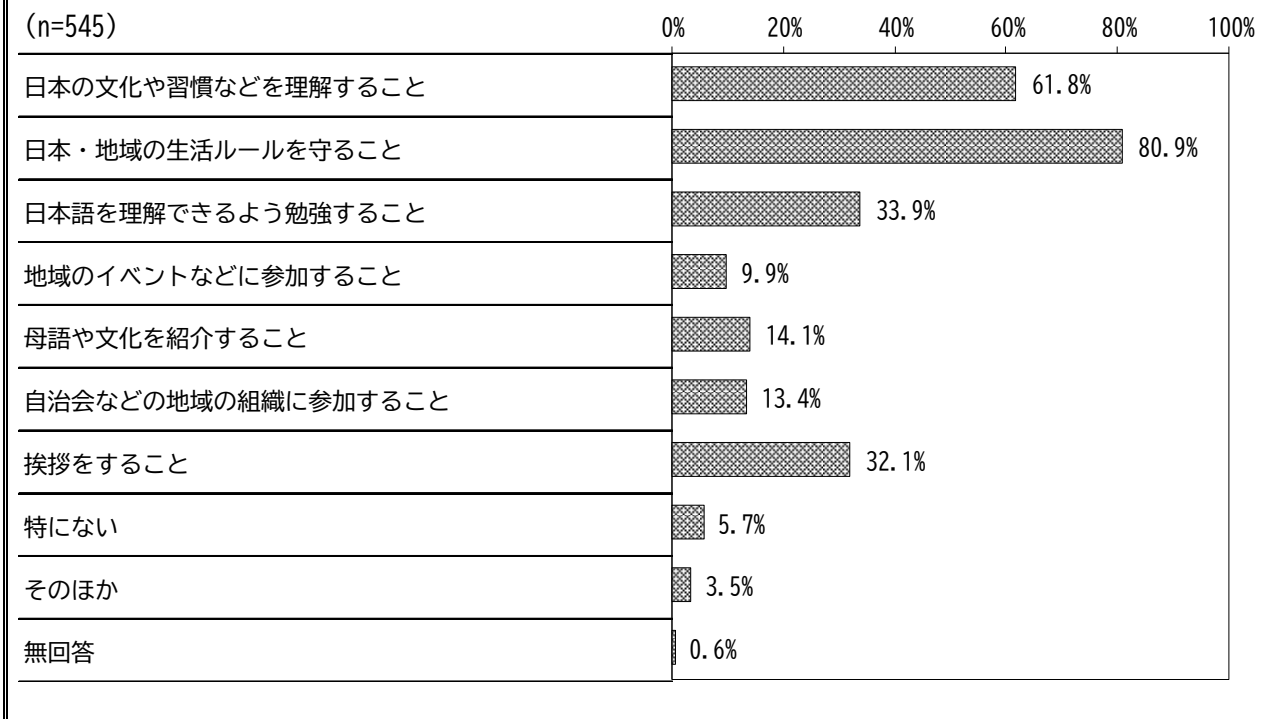
- ・法の順法意識の違い。犯罪の増加。
- ・日本人側のみに交流の課題を求めるのではなく、地域に後から入ってきた外国人にこそ交流の気持ちを求めるべきだと思う。
- ・差別・偏見はある。外国人は怖いと感じる。
- ・日本人との交流を望まない人たちでコミュニティが形成されているのを見かけるので、溝は埋まらなさそう。
- ・自国の仲間とコミュニティを作ること、日本語を覚えなくて生活できてしまう。
- ・宗教理解
- ・ものの考え方、価値観の違い。

など

## (17) 地域で外国人住民と共に暮らすために、外国人住民に望むこと

Q17. 地域で外国人住民と共に暮らすために、外国人住民に望むことはありますか\*複数選択可

<図表 17>



### <調査結果>

地域で外国人住民と共に暮らすために、外国人住民に望むことがあるか聞いたところ、「日本・地域の生活ルールを守ること」（80.9％）が約8割で最も高くなっています。次いで、「日本の文化や習慣などを理解すること」（61.8％）、「日本語を理解できるよう勉強すること」（33.9％）となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ マナーを守る事。
- ・ 同じ国の人たちでかたまらないで、個人的に日本人と仲良くするようにしてほしい。
- ・ 宗教的なことが分からないので、どう接するべきかわからない（特にアラビア系）。
- ・ 望むのではなく生活（共生）しやすい環境を作ることが必要と感じる。
- ・ 政治的、歴史に関する意見は控え、お互いに尊重し合うべき。
- ・ 不法滞在はしないでほしい。

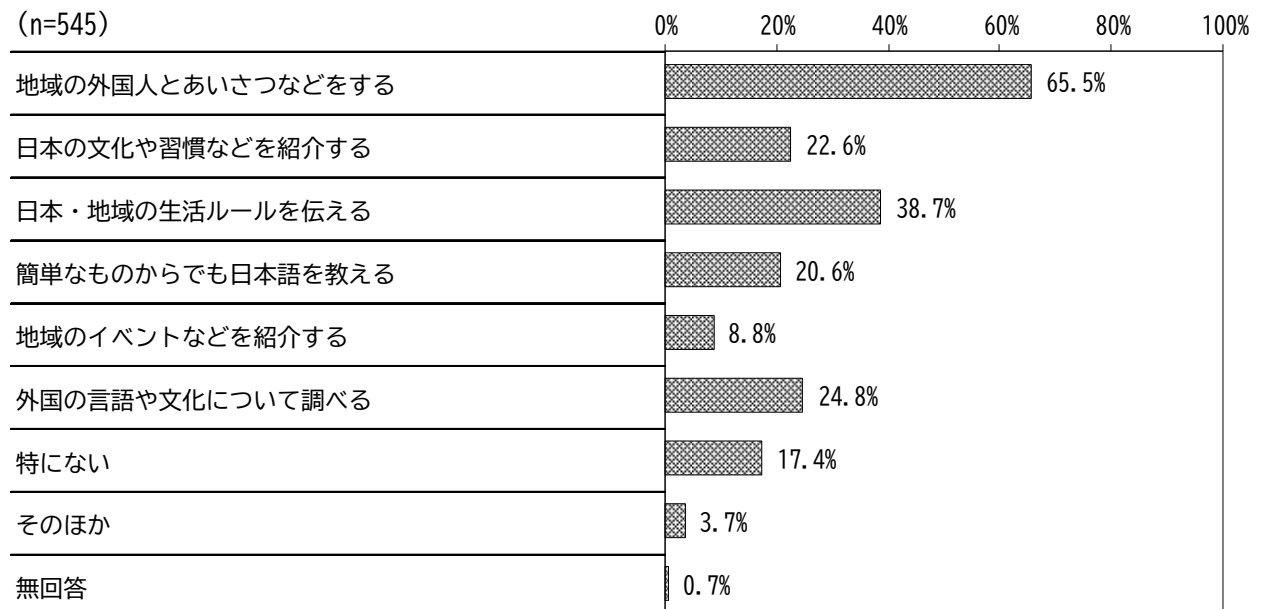
など

## (18) 地域で外国人住民と共に暮らすために、自分ができること

Q18. 地域で外国人住民と共に暮らすために、自分ができることは何だと思いますか

\*複数選択可

<図表 18>



### <調査結果>

地域で外国人住民と共に暮らすために、自分ができることは何だと思うか聞いたところ、「地域の外国人とあいさつなどをする」(65.5%)が6割半ばで最も高くなっています。次いで、「日本・地域の生活ルールを伝える」(38.7%)、「外国の言語や文化について調べる」(24.8%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・外国人住民の方が具体的に何に困っていてどうしていいか等、彼らのニーズを知らないため、お互いを知る必要がある。出会ったときにあいさつとかぐらいはできそう。
- ・相手の文化もわかってあげること。
- ・助け合いを心がける。
- ・日ごろから幅広く関心を持つくらいならできそう。
- ・簡単なものからでも相手の国の言葉を覚える。

など

## (19) 地域で外国人住民と共に暮らすために、必要な取り組み

---

- ・受け入れる側のオープンな気持ち。
- ・地域のイベント等の中で交流できる機会をつくる。
- ・お互いが心地よく暮らせるコミュニケーションの取り方。
- ・お互いがゆずりあって文化の違いも理解して生活する。
- ・子ども会活動に親子でとか参加しやすいようにする。食事（子ども食堂の取り組みなど）。
- ・雇用で一定数の外国人を採用する。
- ・日本語指導が必要な子どもたちのために日本語教室を開くなど。
- ・自治会や行政の取組
- ・禁止事項などを言葉で伝えるのは限界があるから、英語などの表記の看板などを置く。
- ・行政による、他の地域と差別化した多様性を積極的に受け入れる地域である事の土壌作り（市民の意識作り、市外への発信）。
- ・地域のルールをしっかりと理解してもらい、積極的に行事に参加してもらう。
- ・行政の取り組み（外国人住民が困らないような対応）。
- ・行政の方が入って、言葉など通じないと無理だと思います。
- ・SNS などを通じて外国人住民が困った際にはすぐに対応できるシステムをつくる。
- ・互いの批判ではなく互いに何をしてあげるかを考えること。語学交流など。
- ・日本という国の歴史やそれに基づいて育ってきた文化を知ってもらい、ルールや日本人について理解してもらう。
- ・行政が仲介となって、交流の機会を作ればよいのでは。
- ・異文化を理解しながら生きていける社会を目指す。コミュニケーションの支援、生活の支援、イベントへの参加を通して地域社会での多文化共生を目指す。
- ・通訳が出来る人をすぐ紹介してくれるシステムを作してほしい（市役所に電話したら同時通訳してくれる etc）
- ・雇用で一定数の外国人を採用する。
- ・外国人がではなく、日本人が外国に行った時の気持ちを分かってもらえるような場（講演会やコミュニケーションの場）を設ける。
- ・様々な仕組みや生活の基本を分かりやすく伝える。
- ・いつでもウェルカムですよと、お互いに心がけること。
- ・ポスター等の多言語表示。
- ・日本人側から、英語（他言語も OK）記載もしていく。（翻訳）
- ・学校で語学の勉強を取り入れる。公共の場にも英語、中国語、韓国語を取り入れる。
- ・日本人と外国人の交流する機会を増やす。外国人に日本語や日本の文化・ルールを教える。外国人の若者グループ集団の治安面をしっかりと対応してほしい。
- ・行政が地域で日本人市民と外国人市民の会合を開き、ルールなどを指導し交流を深める。
- ・相手・自分を知る機会を設け、コミュニケーションを継続する場が必要。
- ・まず外国人住民が身近な人たちだと感じることで、交流の場を作ることが必要。
- ・日本に住む際に「日本のマナーブック」のようなものを配布する。
- ・日本語を教えてくれる場所がもっとあるといいと思います。
- ・言語の壁を取りのぞくための翻訳ツールの活用（スマホアプリの活用と使えるアプリの紹介）
- ・ルールを教える、お知らせすることが大切だと思います。（ごみ出しなどのルールを守るなど、基本的な生活のルールを守るなど）
- ・相手を理解するために交流する機会を増やす。気軽に通える日本語教室を作る。
- ・多言語の看板やピクトグラムを用いた看板。多文化の食を体験できる交流会。
- ・お互いの文化や言葉を理解し合えるように地域で集う場をもうけ、コミュニケーションを取れるようにすることが大事だと思う。
- ・行政が相互交流の場を設ける取り組みが必要と思われる。
- ・言葉の違いを内容などわかりやすく自分なりに理解するか、交流の場などあったらどうか。

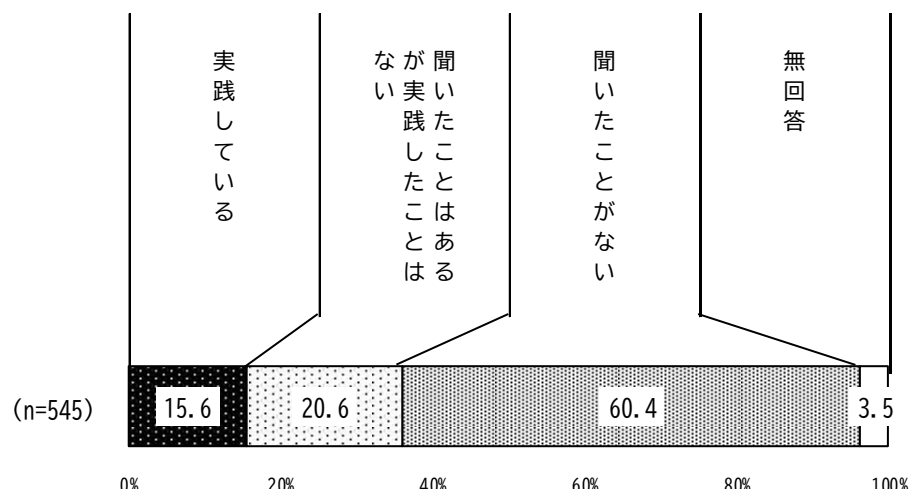
など

## 4 やさしい日本語について

### (20)「やさしい日本語」について

Q20.「やさしい日本語」をご存じですか

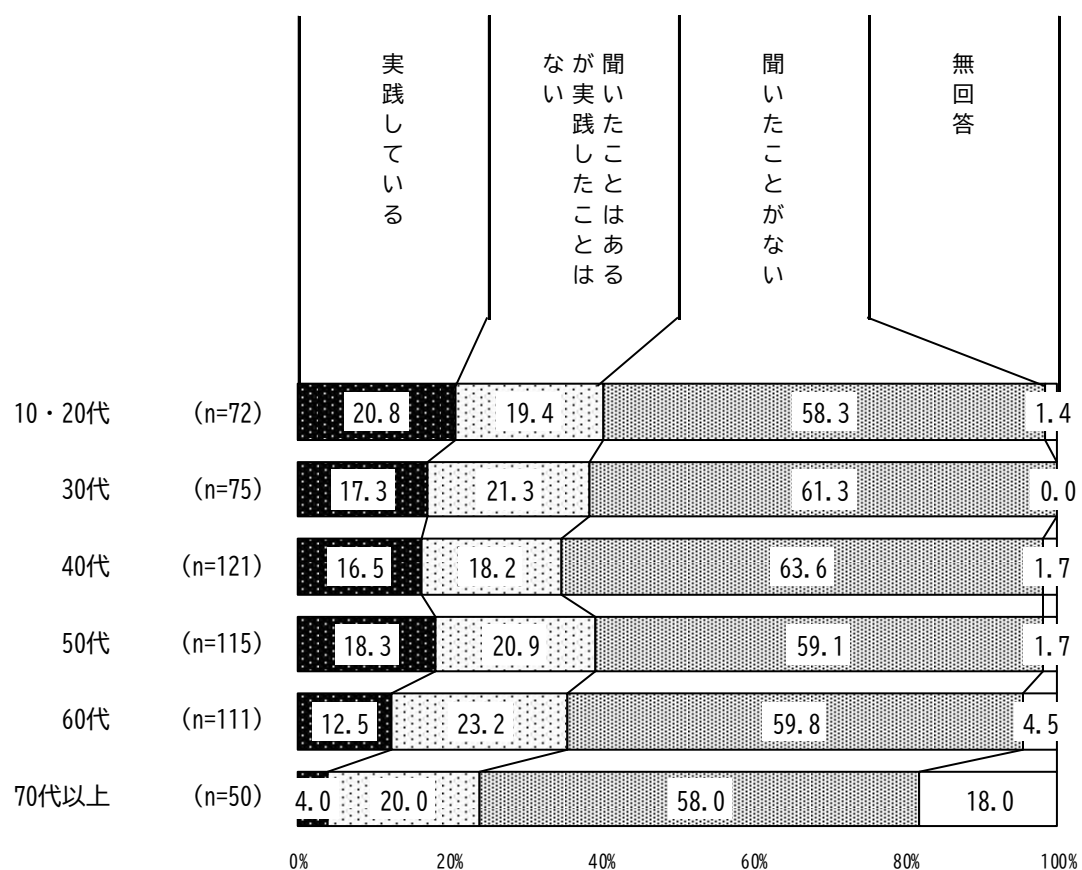
<図表 20-1>



#### <調査結果>

「やさしい日本語」という言葉を知っているか聞いたところ、「聞いたことがない」(60.4%)が約6割で最も高くなっています。次いで「聞いたことはあるが実践したことはない」(20.6%)、「実践している」(15.6%)となっています。

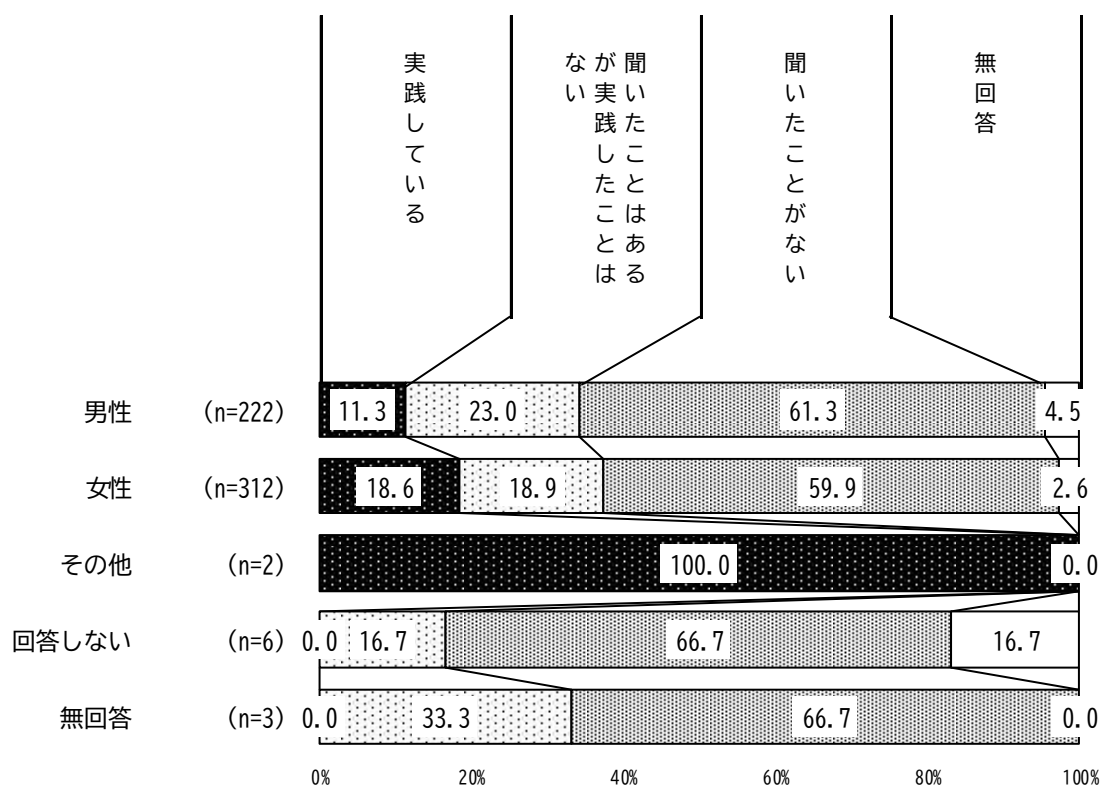
<図表 20 - 2>年齢別



<調査結果>

年齢別に見ると、すべての年齢で「聞いたことがない」が最も高くなっています。

<図表 20 - 3>性別

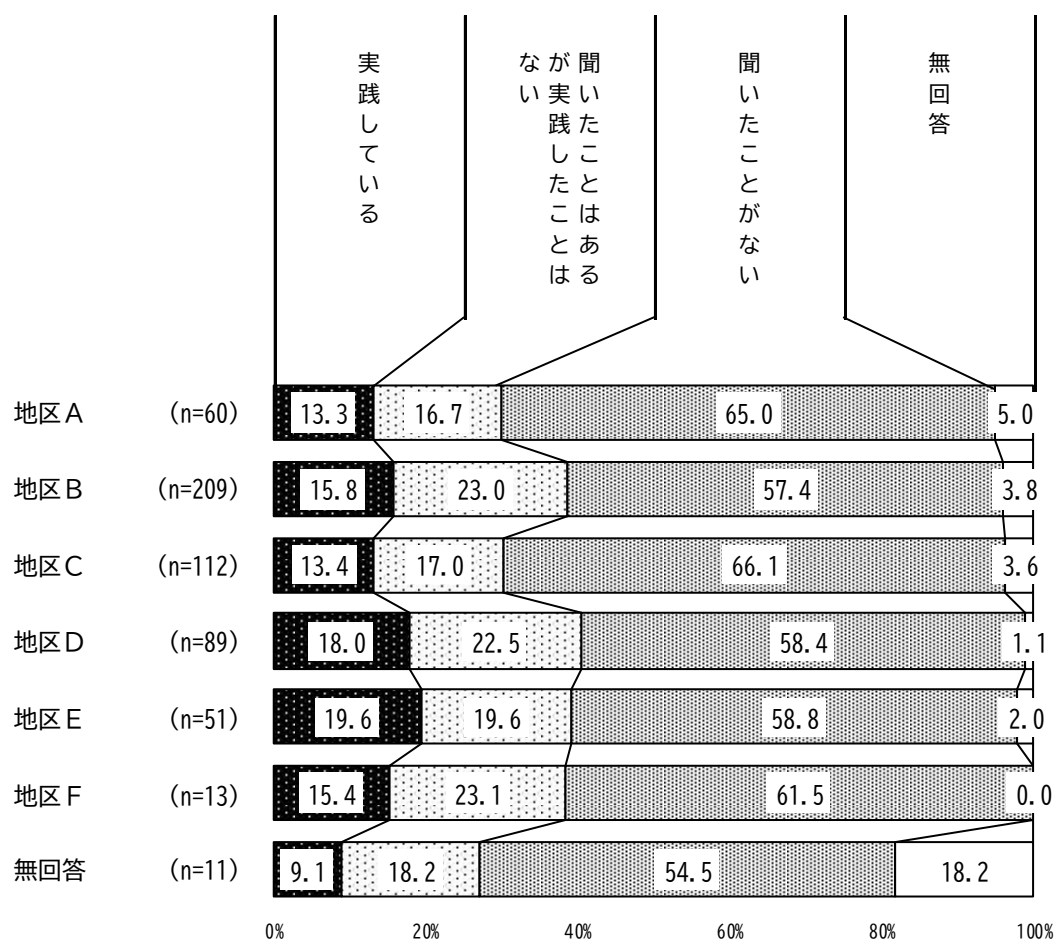


<調査結果>

性別に見ると、男女ともに「聞いたことがない」が最も高くなっています。



<図表 20 - 4>住居地区別



<調査結果>

居住地区別に見ると、すべての居住地区で「聞いたことがない」が最も高くなっています。

## 5 そのほか

### (21) 多文化共生に関わるご意見等

---

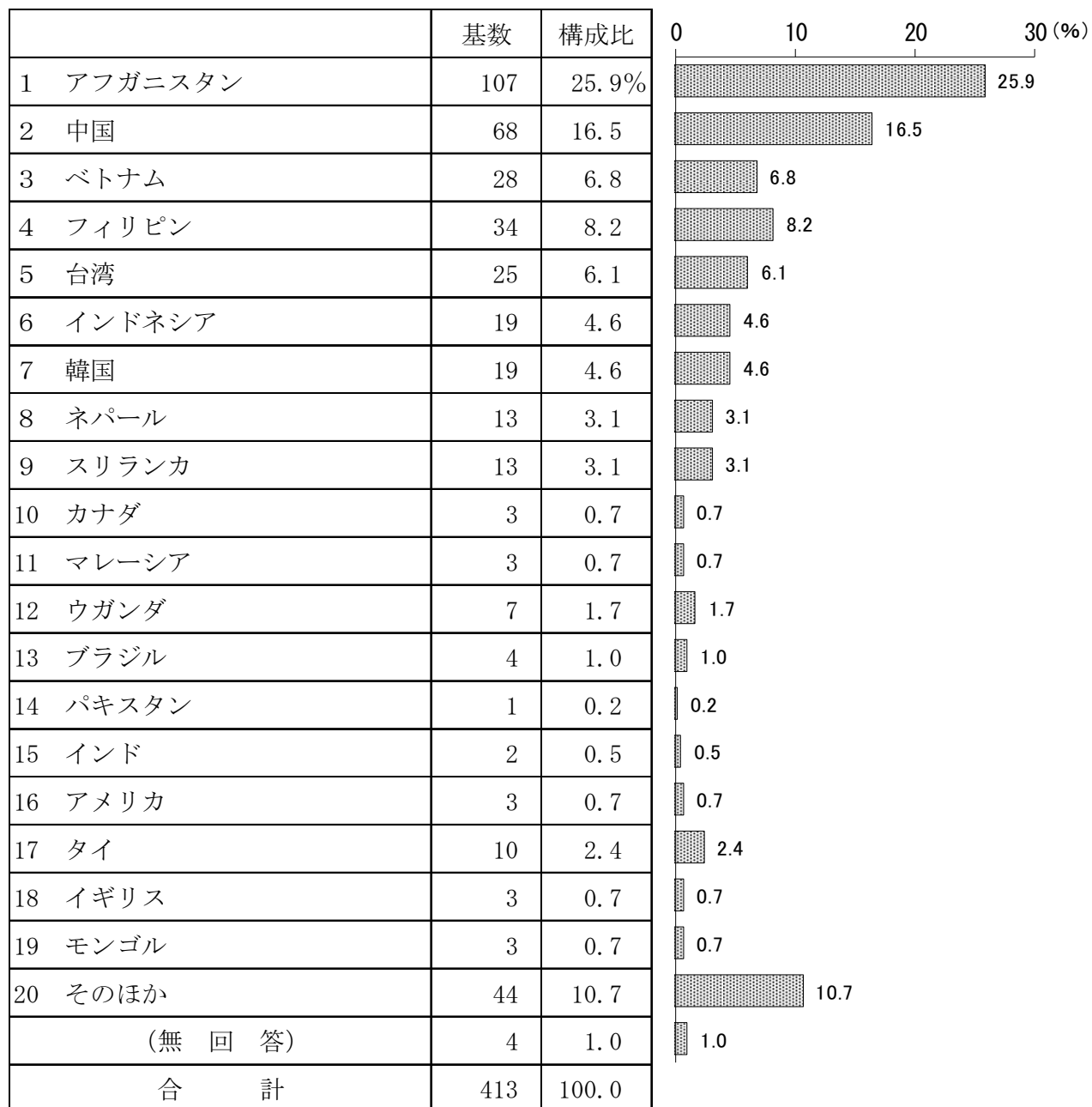
- ・多文化共生は供に文化を知る事が交流となり、色々な知識をお互いに知り、また話し合える事となると思う。
- ・四街道市には外国の人が3700人を超えているということを初めて知りました。そこで、私たちにできることは、外国の文化等の多様性を知り、それを認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、互いの人権に配慮した行動をとることが大切だと思います。
- ・自分も含めてですが、外国人市民に対する偏見があるように思います。外国人による強盗や傷害事件などのニュースによる影響があり、ゴミ捨てのルールが守られていなかったりすると近くにすむ外国人では？と疑ってしまうことがあります。外国人市民に対して日本や地域のルールをどのように伝えているのかなどオープンにしてお互いを正しく理解するところから始める必要があると思います。
- ・日本人は多文化共生にまだまだ理解が足りないと感じる。
- ・四街道市の産業を踏まえると、外国人が住みやすい地域づくりが必要であり、他地域よりもリードすることで、四街道市の強みになるのでは。
- ・お互いに尊重し合うことが大切。
- ・近年、日本に居住する外国の方がかなり増えてきていると思います。子どもたちは学校などで日本語を学習する機会が与えられますが、大人（保護者）が日本語を話すこと（理解すること）ができず、お互いに大変な思いをする場面をよく見かけます。そういった方が日本語を学べる場を設けられたら良いのではないかと思います。積極的にそういった勉強の場（Community）をアピールして、少しでも意欲的に参加してもらえると、お互いに過ごしやすくなるのではないかと思います。
- ・異なった習慣や文化との交わる経験の乏しい日本人市民には、取組みにはよくよく理解が必要であり、行政からの説明が重要である。
- ・外国人が増える事に不安を感じる。不安が解消される様な取り組みが必要だと思います。
- ・自分勝手を直す。他人への思いやりを覚える。
- ・日本人が外国人に阿る事はない。日本で仕事をするなら最低限の日本語はマスターして欲しい。
- ・日本の文化やルールを理解しようと努力している外国人住民もたくさんいるが、「日本語がわからないから」「日本人じゃないから」とルール違反を当たり前だという態度の外国人住民もいてとても残念です。大日のヤード街がどんどん治安が悪くなっていて、心配です。
- ・外国籍の方と関わる機会がないのですが、何かサポートできることがあれば取り組みたいと思います。
- ・外国の方は家族を呼び寄せて、住み、そこに根付き、自分たちのコミュニティを広げていくと思うので、〇〇タウンのように異文化が集中する地域が市内にできるのは、地域も発展するのでいいと思います。ですが、そこにコミュニティ外の方が住みにくくなるのは避けなければならないと思います。
- ・行政に期待します。同じ人間同士、お互いにゆずりあって生活できるのが理想的。
- ・偏見や差別は良くないと思いますが、感覚の違いはあるので、難しい面があるなと感じます。
- ・お互いの文化を受け入れることが出来なかったら、共生は無理だと思う。
- ・多文化共生は大事なことですが、日本や街が日本らしくなくなってしまうのではないかと不安になる事があります。外国人住民の方もそうですが、日本人が日本で住みやすいと思えるような環境であるべきとも考えます。
- ・多文化共生を推進していただくことはとてもいいことだと思います。ただ、一つの国の人々が集団になって住まれるのは心配ですが、いろんな国の方が住みやすくなれる地域になればうれしいです。
- ・とにかく「知ること」だと思います。お互いを知ることによって理解が進むのだと思いますが、そのきっかけがなかなかない。
- ・最近の四街道はヤードが多く、偏見になってしまうかもしれませんが、漠然とした怖さを感じてしまいます。多文化共生の一步はその怖さを取り除くことなのではないかなと思います。

など

### Ⅲ 外国人向け調査

# 1 あなたのことについて

## (1) 国籍・地域

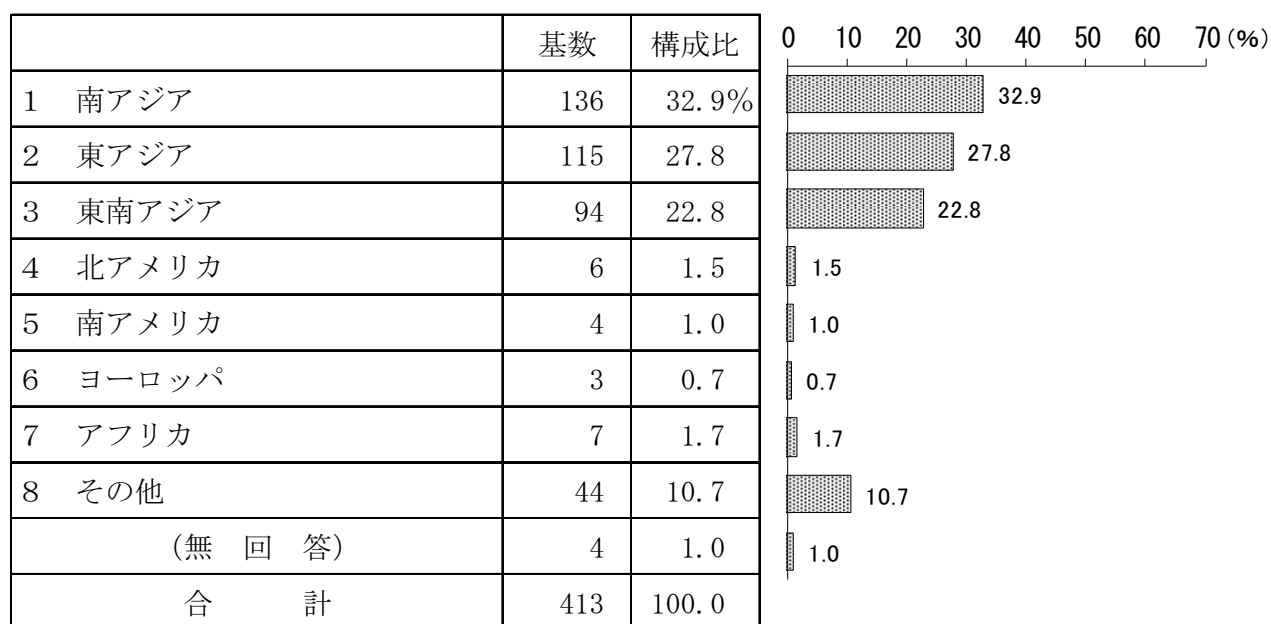


「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ロシア
- ・フランス
- ・イラン
- ・エジプト
- ・ペルー
- ・キルギス
- ・ドイツ
- ・デンマーク

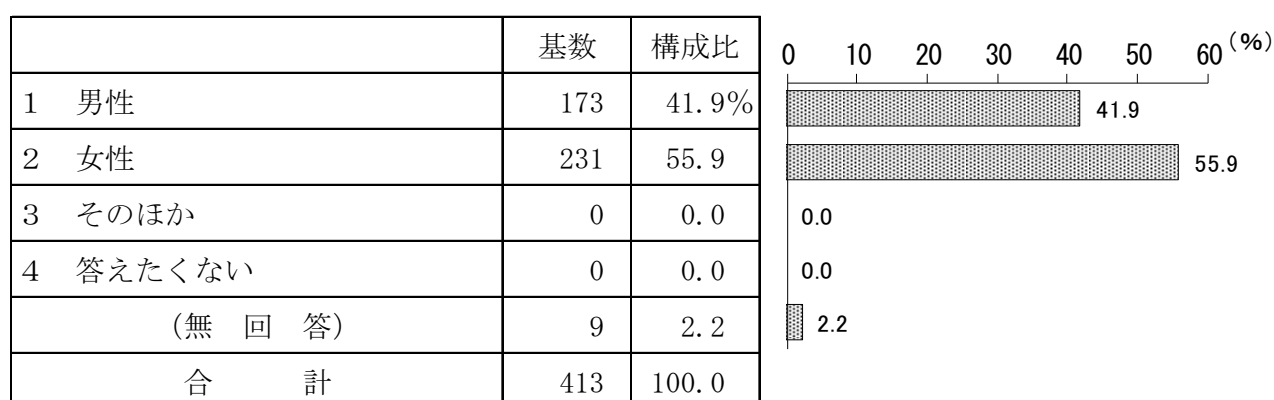
など

## (1-1) 国籍・地域



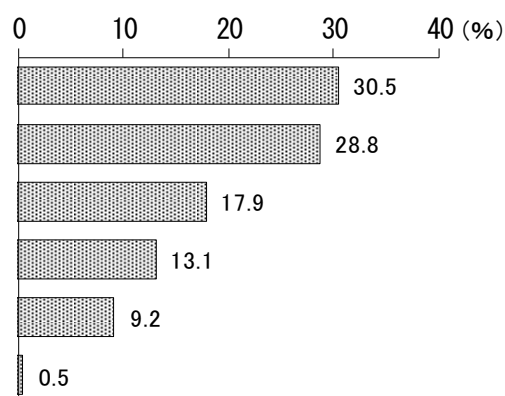
| 分類地域名 | 該当する国名（問1の選択肢）               |
|-------|------------------------------|
| 南アジア  | アフガニスタン、パキスタン、ネパール、スリランカ、インド |
| 東アジア  | 中国、韓国、モンゴル、台湾                |
| 東南アジア | ベトナム、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ   |
| 北アメリカ | カナダ、アメリカ                     |
| 南アメリカ | ブラジル                         |
| ヨーロッパ | イギリス                         |
| アフリカ  | ウガンダ                         |
| その他   | その他                          |

## (2) 性別



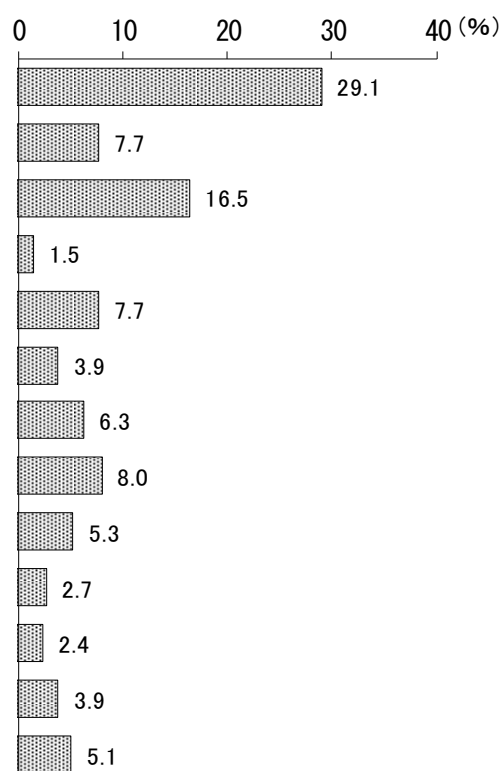
### (3) 年齢

|           | 基数  | 構成比   |
|-----------|-----|-------|
| 1 10代・20代 | 126 | 30.5% |
| 2 30代     | 119 | 28.8  |
| 3 40代     | 74  | 17.9  |
| 4 50代     | 54  | 13.1  |
| 5 60代以上   | 38  | 9.2   |
| (無 回 答)   | 2   | 0.5   |
| 合 計       | 413 | 100.0 |



### (4) 在留資格

|                | 基数  | 構成比   |
|----------------|-----|-------|
| 1 永住者          | 120 | 29.1% |
| 2 家族滞在         | 32  | 7.7   |
| 3 技術・人文知識・国際業務 | 68  | 16.5  |
| 4 留学           | 6   | 1.5   |
| 5 定住者          | 32  | 7.7   |
| 6 永住者の配偶者等     | 16  | 3.9   |
| 7 日本人の配偶者等     | 26  | 6.3   |
| 8 特定技能         | 33  | 8.0   |
| 9 技能実習         | 22  | 5.3   |
| 10 経営・管理       | 11  | 2.7   |
| 11 特定活動        | 10  | 2.4   |
| 12 そのほか        | 16  | 3.9   |
| (無 回 答)        | 21  | 5.1   |
| 合 計            | 413 | 100.0 |



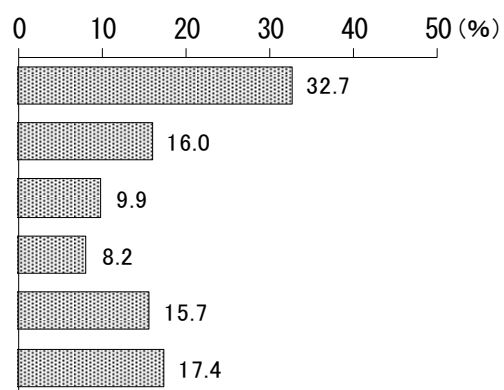
「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・医療
- ・介護
- ・高度専門
- ・指導員

など

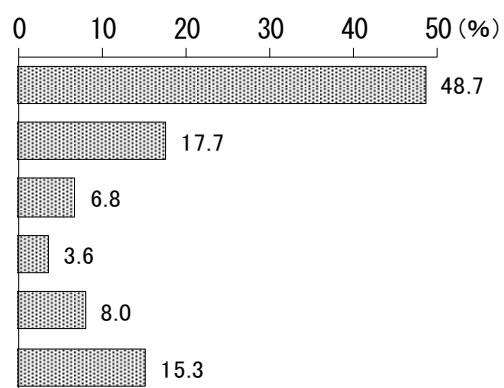
### (5-1) 日本の居住年数

|          | 基数  | 構成比   |
|----------|-----|-------|
| 1 1～5年   | 135 | 32.7% |
| 2 6～10年  | 66  | 16.0  |
| 3 11～15年 | 41  | 9.9   |
| 4 16～20年 | 34  | 8.2   |
| 5 21年以上  | 65  | 15.7  |
| (無 回 答)  | 72  | 17.4  |
| 合 計      | 413 | 100.0 |



### (5-2) 四街道市の居住年数

|          | 基数  | 構成比   |
|----------|-----|-------|
| 1 1～5年   | 201 | 48.7% |
| 2 6～10年  | 73  | 17.7  |
| 3 11～15年 | 28  | 6.8   |
| 4 16～20年 | 15  | 3.6   |
| 5 21年以上  | 33  | 8.0   |
| (無 回 答)  | 63  | 15.3  |
| 合 計      | 413 | 100.0 |

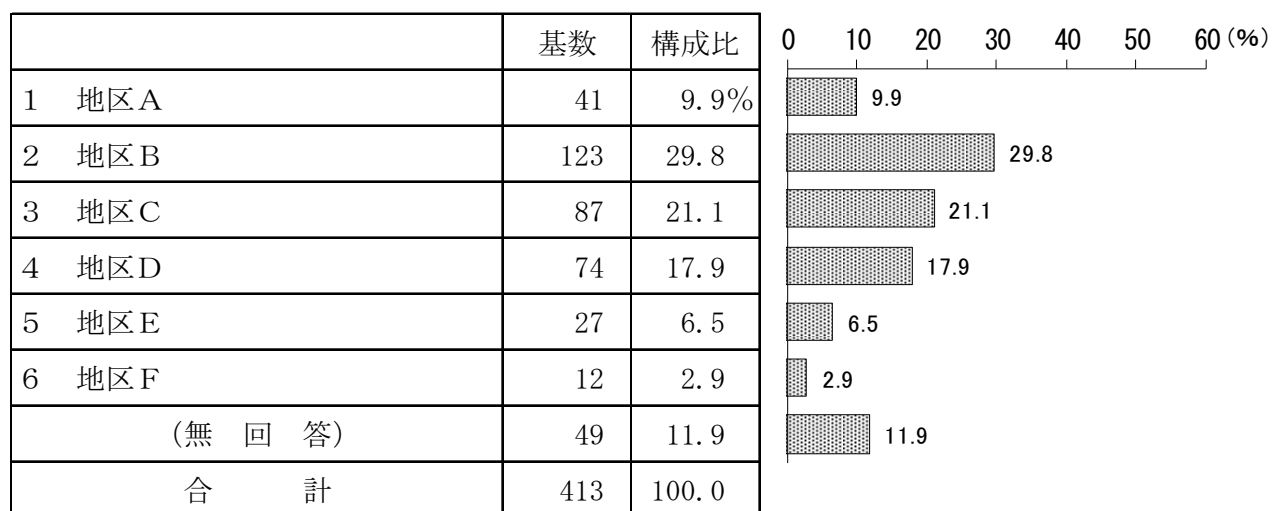


## (6) お住まいの地区



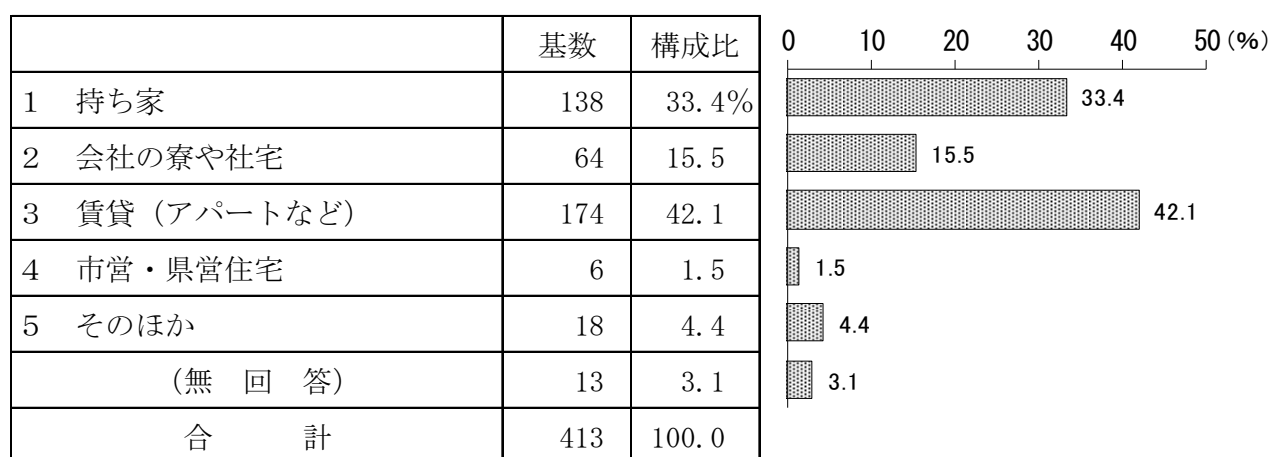


## (6-1) お住まいの地域（地区別）



| 地区名 | 地域名                                |
|-----|------------------------------------|
| 地区A | 亀崎、物井、長岡、千代田、池花、もねの里               |
| 地区B | 栗山、内黒田、萱橋、大日、つくし座、さちが丘             |
| 地区C | 下志津新田、四街道、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央            |
| 地区D | 鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ               |
| 地区E | 山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら |
| 地区F | 吉岡、鷹の台                             |

## (7) 住宅



「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ 寺
- ・ 息子の家

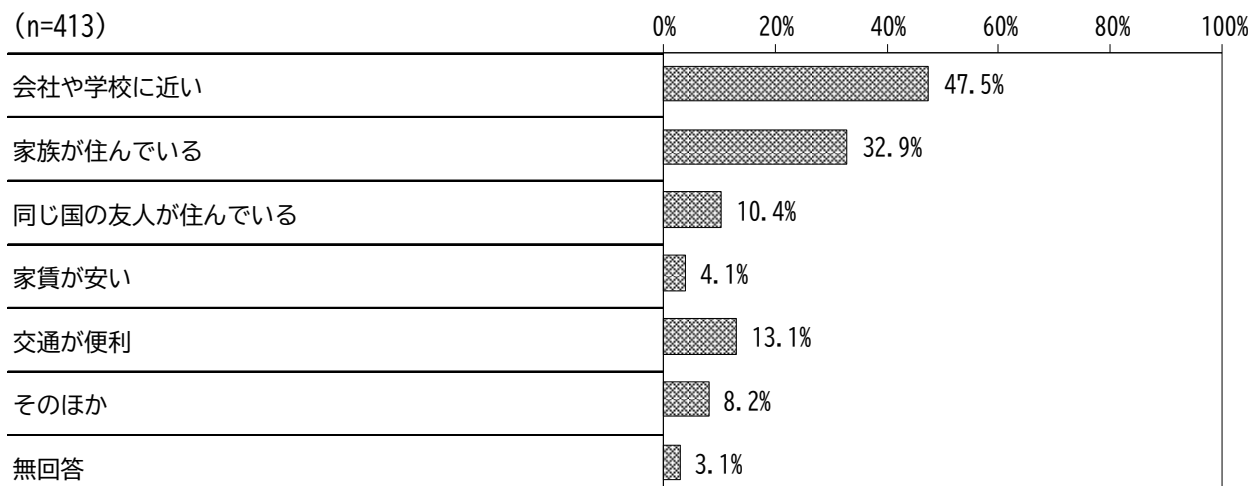
など

## 2 四街道市での生活について

### (8) 四街道市に住んでいる理由

Q8. あなたはなぜ四街道市に住んでいますか(○はいくつでも)

<図表8>



#### <調査結果>

なぜ四街道市に住んでいるか聞いたところ、「会社や学校に近い」(47.5%)が4割半ばを超え最も高くなっています。次いで、「家族が住んでいる」(32.9%)、「交通が便利」(13.1%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

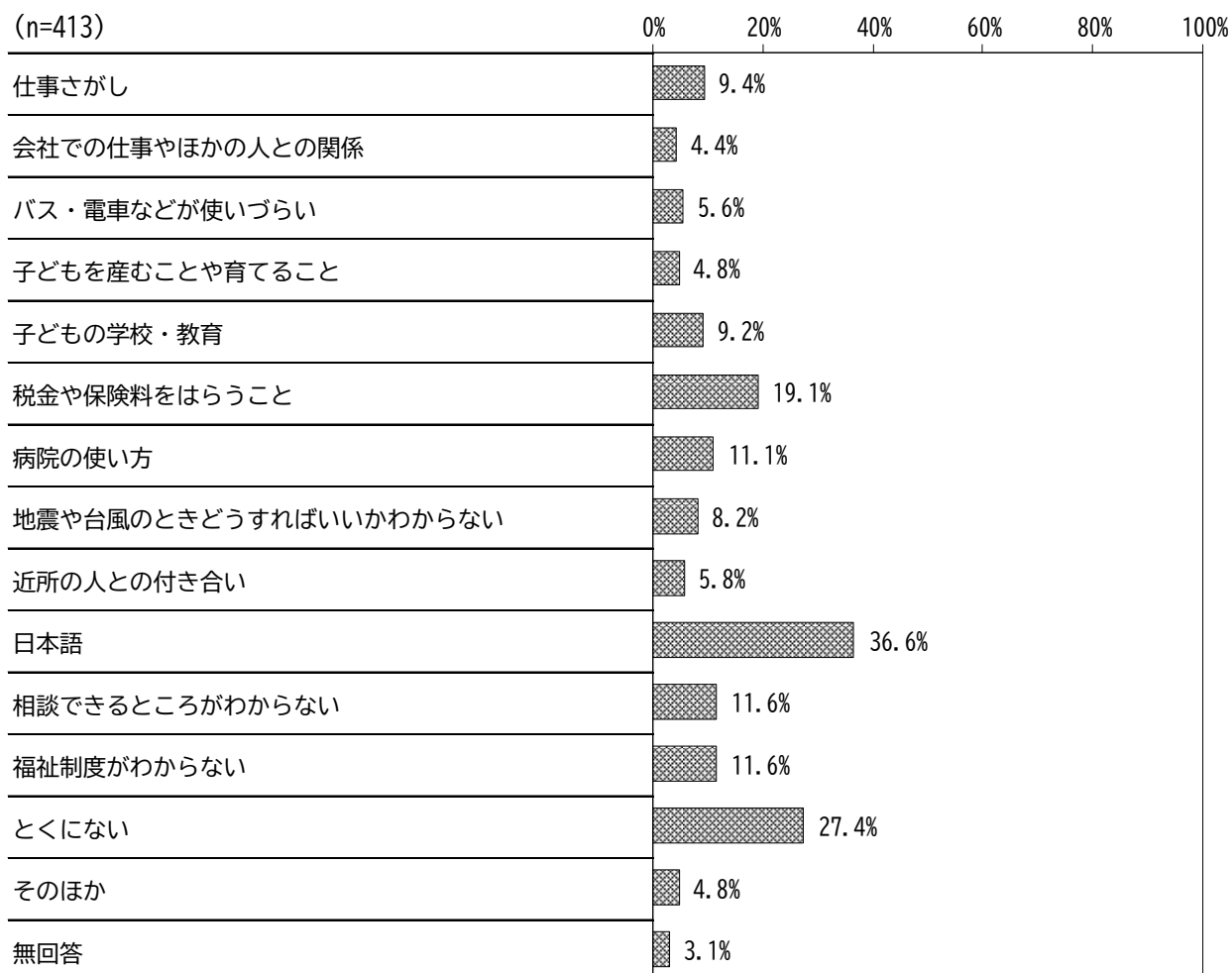
- ・会社の寮や社宅
- ・たまたま。
- ・会社から転勤した。
- ・家を買ったから。
- ・COVID19の影響のため。
- ・特別な理由ないです。
- ・会社の決めた寮。

など

## (9) 生活で困っていることや不安なこと

Q9. あなたが、生活で困っていることや不安なことはどれですか(○はいくつでも)

<図表9>



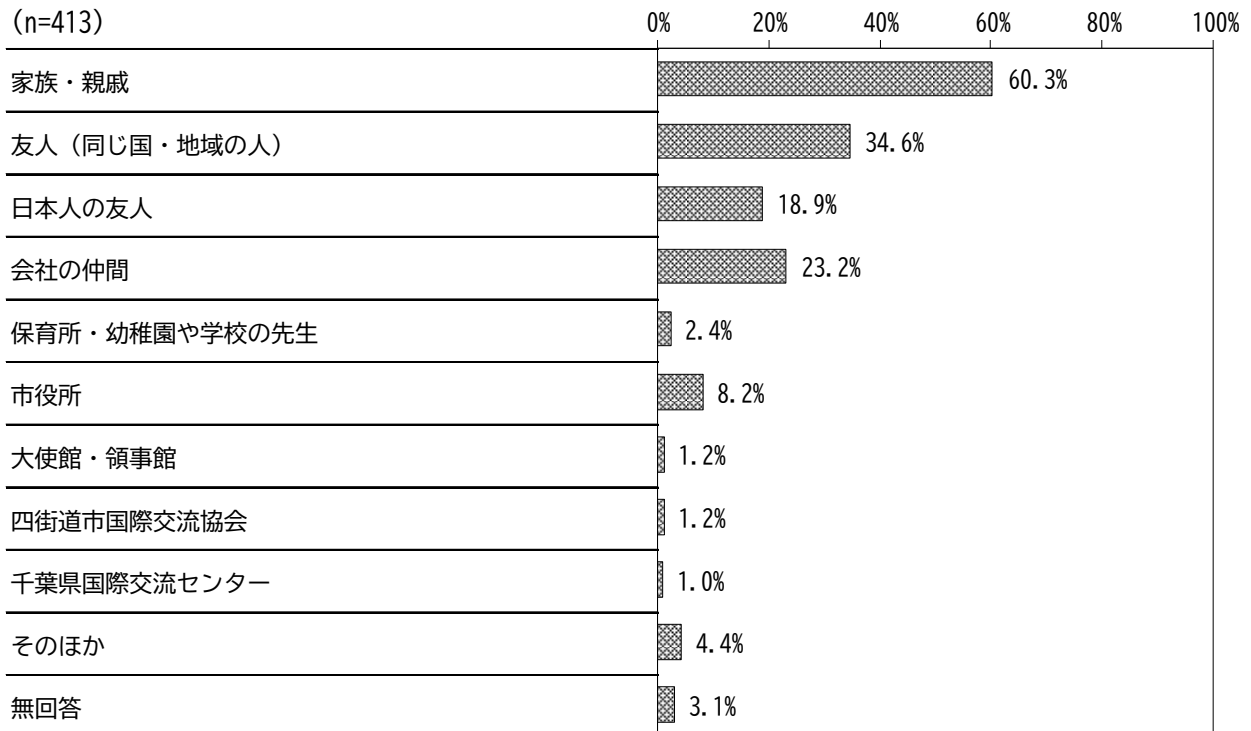
### <調査結果>

生活で困っていることや不安なことを聞いたところ、「日本語」(36.6%)が3割半ばを超え最も高くなっています。次いで、「税金や保険料をはらうこと」(19.1%)、「相談できるところがわからない」(11.6%)、「福祉制度がわからない」(11.6%)となっています。「とくにない」(27.4%)は2割半ばを超えています。

## (10) 生活で困ったときに相談する人

Q10. あなたは生活で困ったときにだれに相談しますか(○はいくつでも)

<図表 10>



### <調査結果>

生活で困ったときにだれに相談しているか聞いたところ、「家族・親族」(60.3%)が約6割と最も高くなっています。次いで、「友人(同じ国・地域の人)」(34.6%)、「会社の仲間」(23.2%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

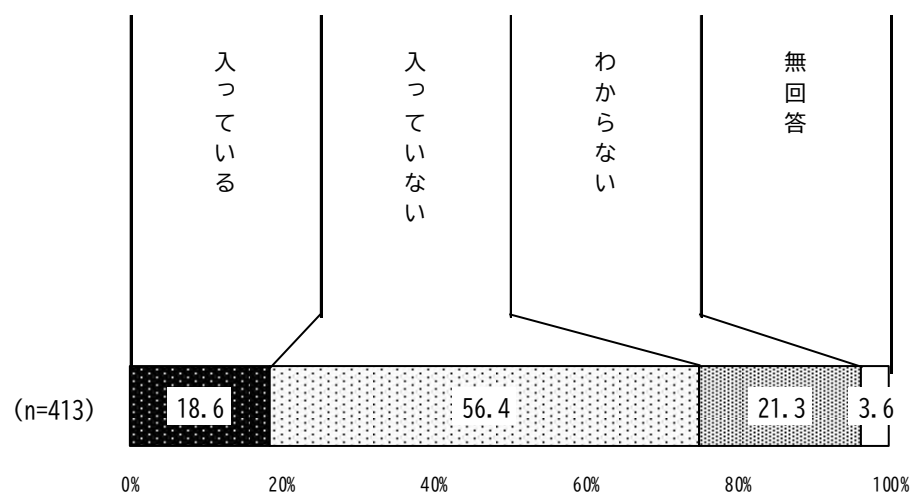
- ・ 日本人の友人(英語を話せます)
- ・ 誰に聞いたらよいかわからない
- ・ 近所の方
- ・ 組合

など

## (11) 自治会への加入状況

Q11. 自治会に入っていますか

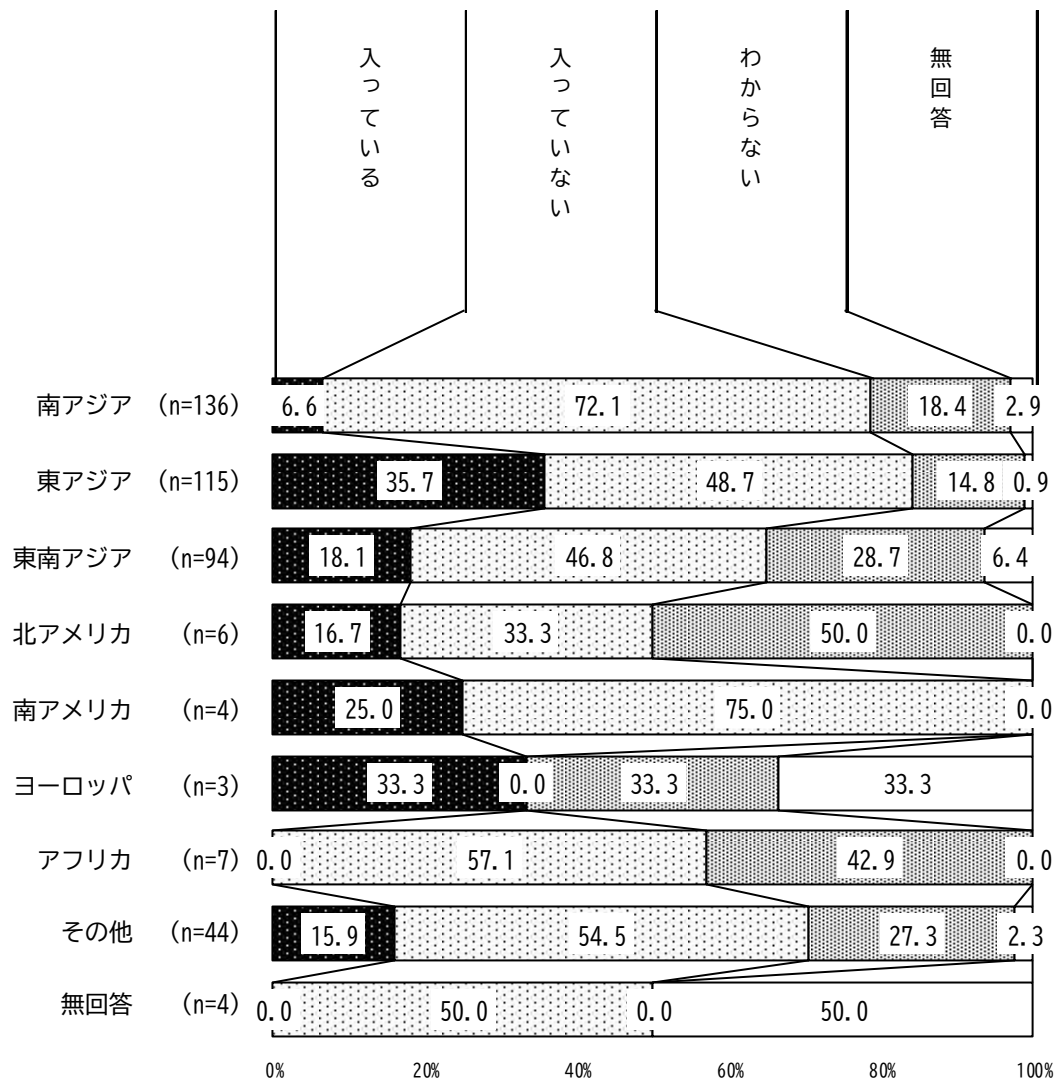
<図表 11-1>



### <調査結果>

自治会に入っているか聞いたところ、「入っていない」(56.4%)が5割半ばで最も高くなっています。次いで「わからない」(21.3%)、「入っている」(18.6%)となっています。

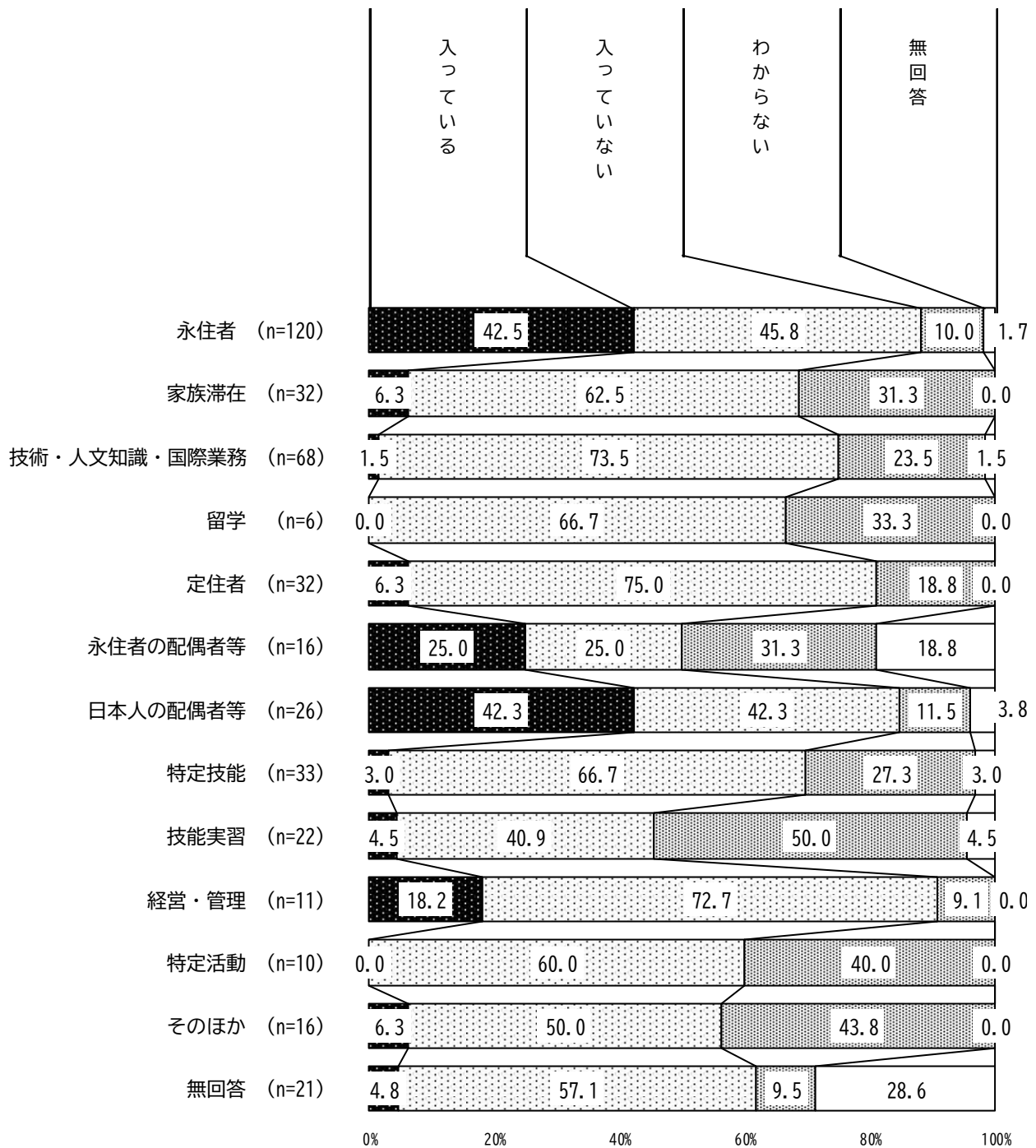
<図表 11 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、ヨーロッパ出身では回答に差がありませんでしたが、それ以外の国籍地域では「入っていない」が最も多くなっています。

<図表 11 - 3>在留資格別



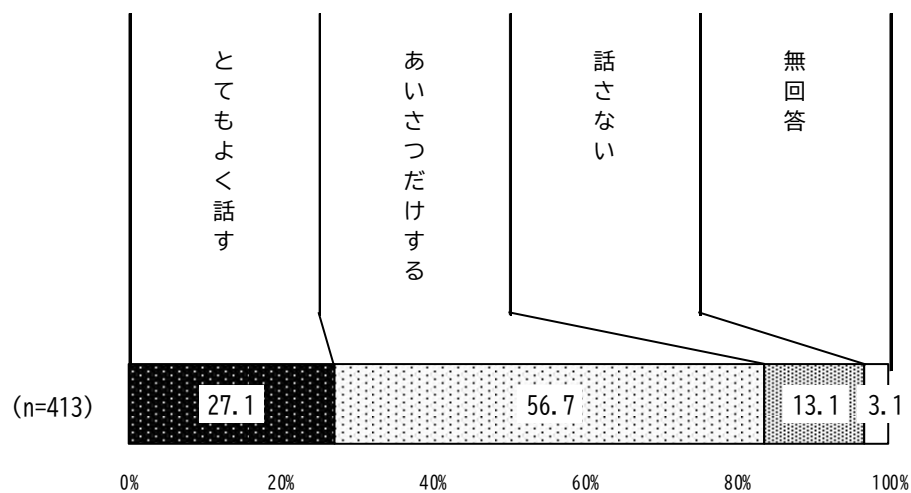
<調査結果>

在留資格別に見ると、永住者の配偶者等と技能実習では「わからない」が最も高くなっています。一方、それ以外の在留資格では「入っていない」が最も高くなっています。永住者と日本人の配偶者等では「入っている」が4割台となっています。

## (12) 日本人との会話

Q12. 近くに住んでいる日本人と話しますか

<図表 12-1>

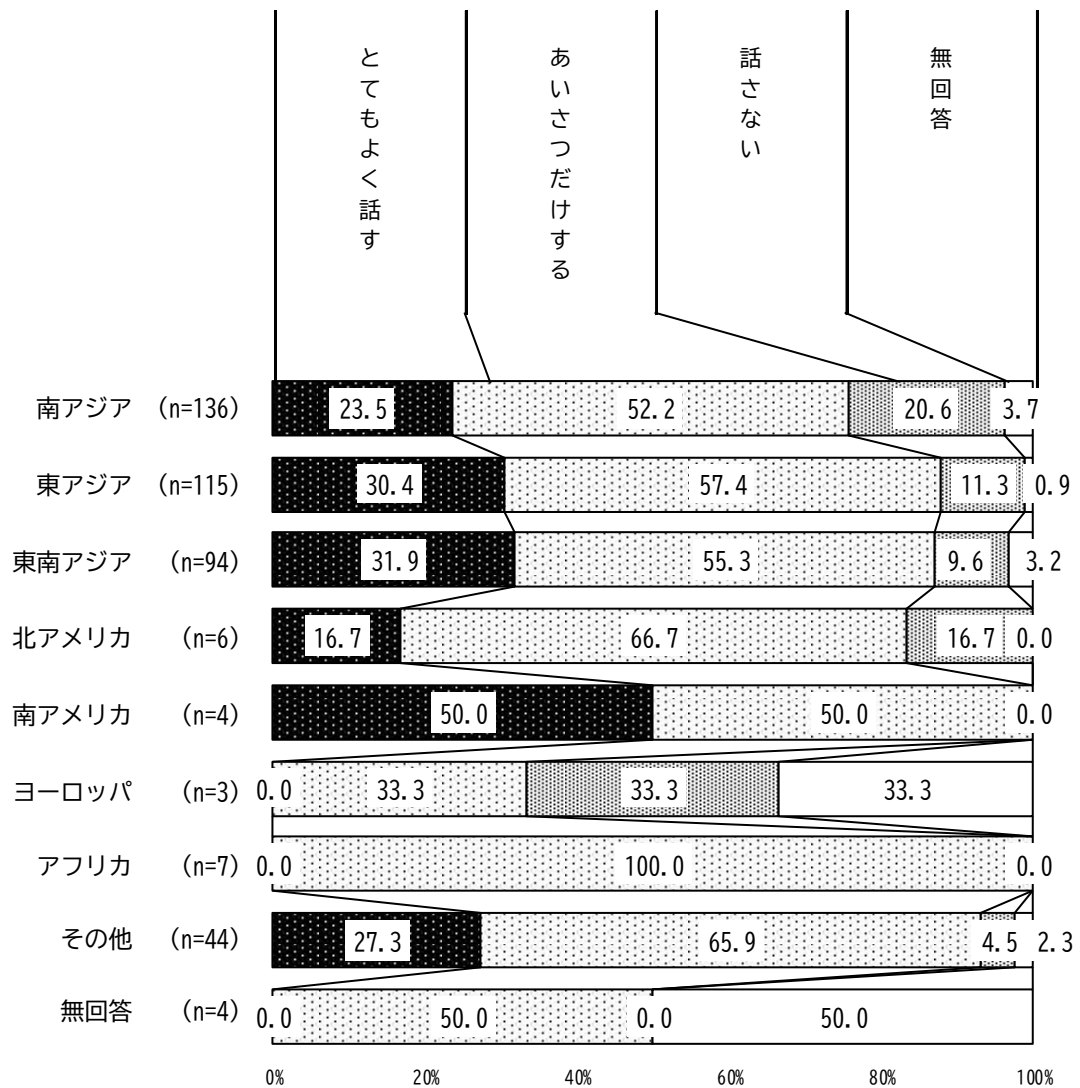


### <調査結果>

近くに住んでいる日本人と話すか聞いたところ、「あいさつだけする」(56.7%)が5割半ばを超え最も高くなっています。次いで「とてもよく話す」(27.1%)、「話さない」(13.1%)となっています。



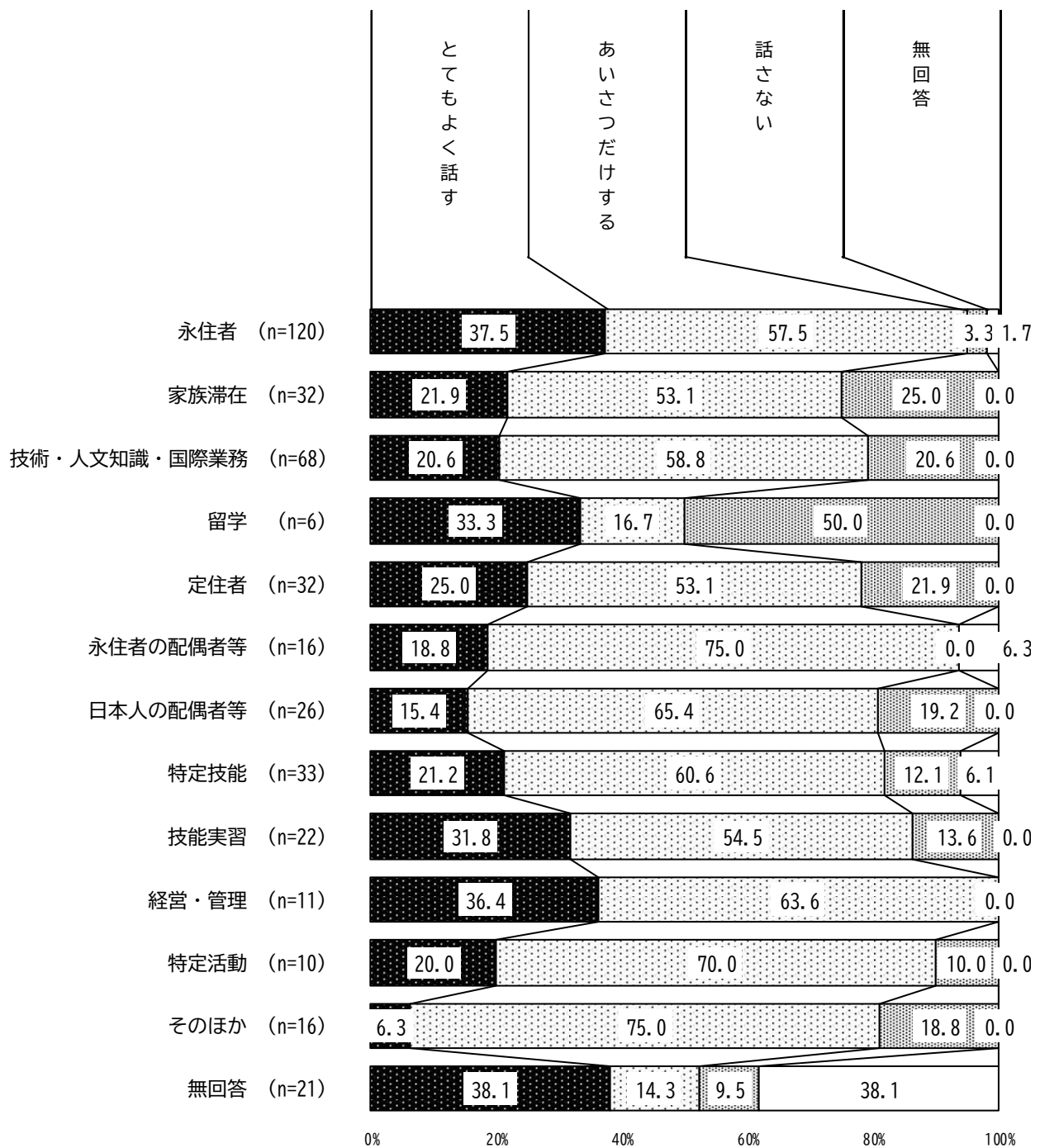
<図表 12 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アメリカ出身、ヨーロッパ出身では回答に差がありませんでしたが、それ以外の国籍地域では「あいさつだけする」が最も多くなっています。

<図表 12 - 3>在留資格別



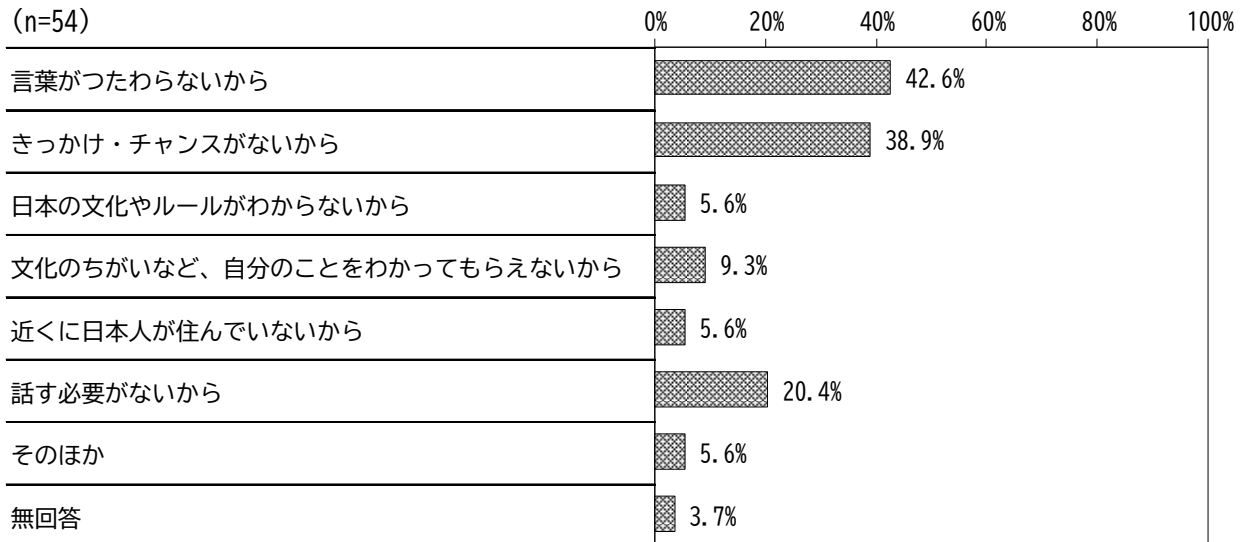
<調査結果>

在留資格別に見ると、留学では「話さない」が最も高くなっています。一方、それ以外の在留資格では「あいさつだけする」が最も高くなっています。

### (13) 話さない理由

Q13. Q12 で「話さない」と答えた方:なぜですか(○はいくつでも)

<図表 13>



#### <調査結果>

Q12 で話さないと答えた方に理由を聞いたところ、「言葉がつたわないから」(42.6%)が4割を超え最も高くなっています。次いで、「きっかけ・チャンスがないから」(38.9%)、「話す必要がないから」(20.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

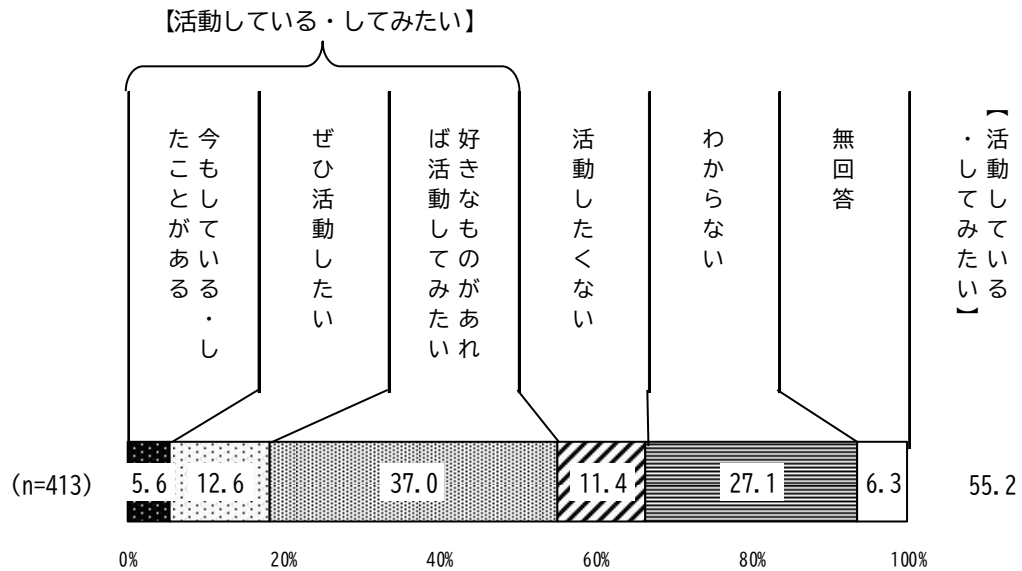
- ・ 差別がある。
- ・ チャンスない。
- ・ 普段から近隣同志の交流がないから。

など

## (14) 地域の活動やまちづくりの活動

Q14. 地域の活動やまちづくりの活動をしてみたいですか

<図表 14-1>

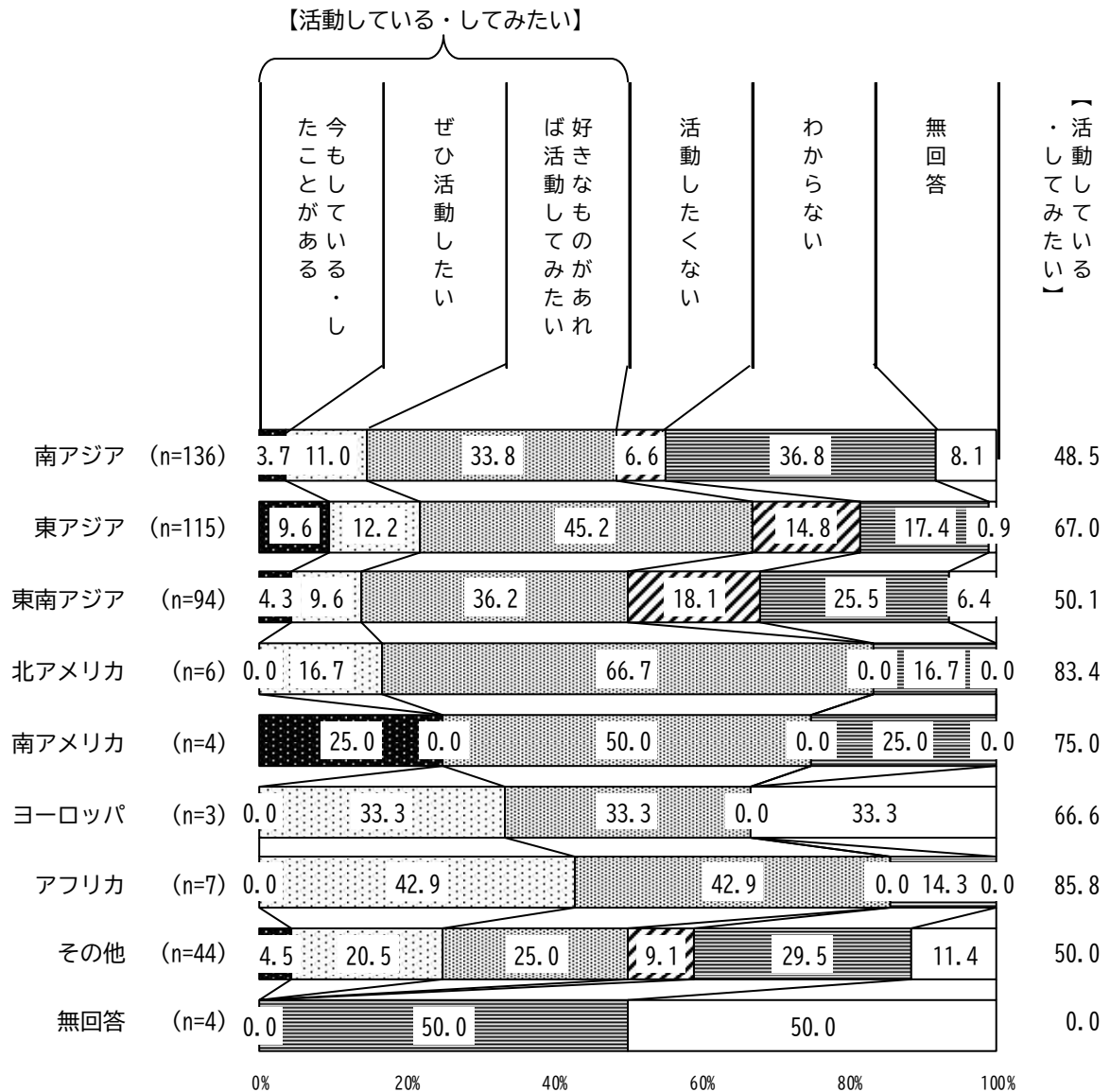


### <調査結果>

地域の活動やまちづくりの活動をしてみたいか聞いたところ、「好きなものがある・あれば活動してみたい」(37.0%)が3割半ばを超え最も高くなっています。次いで「わからない」(27.1%)、「活動したくない」(11.4%)となっています。

【活動している・してみたい】割合は5割半ばとなっています。

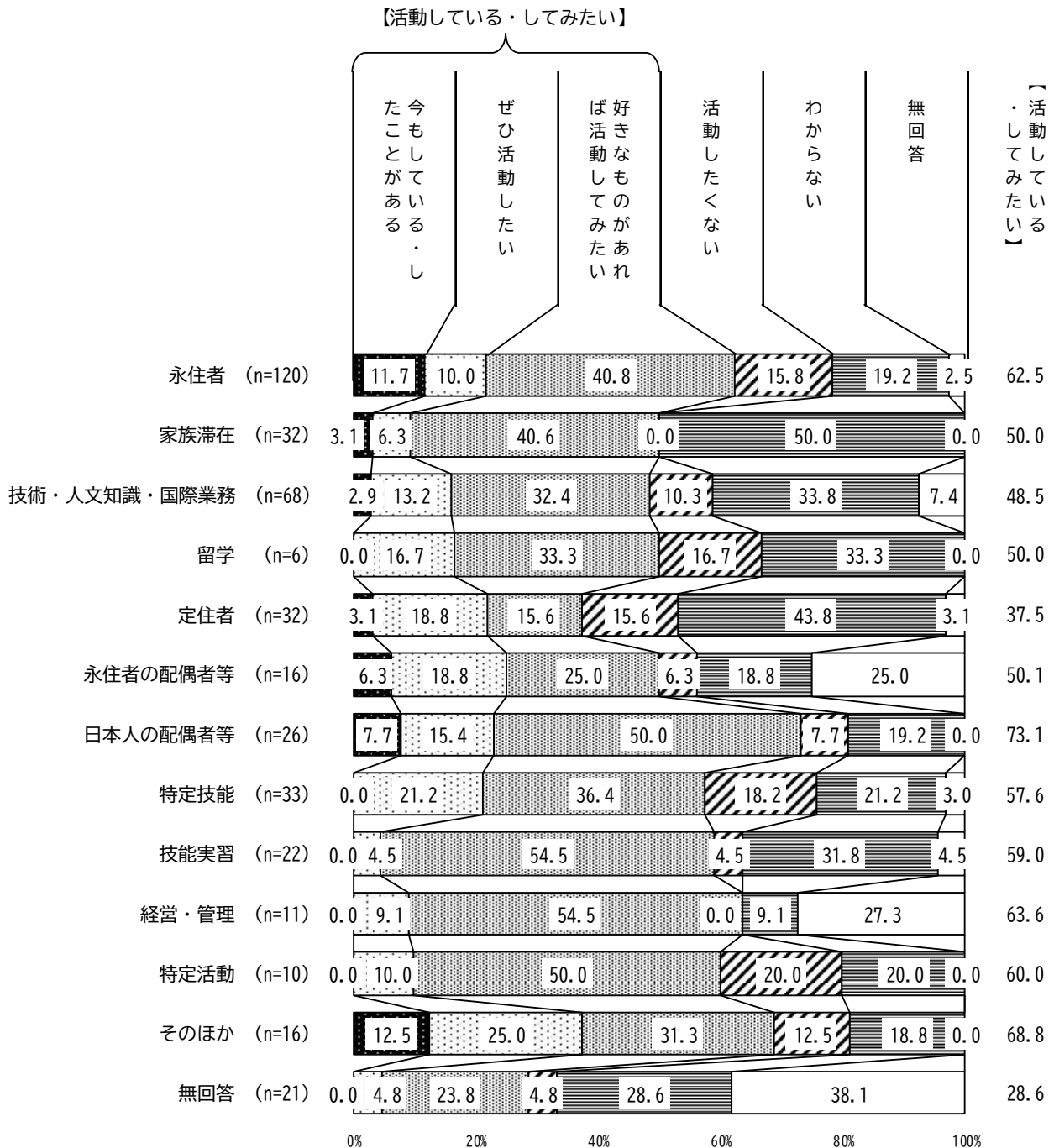
<図表 14 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、【活動している・してみたい】割合は南アメリカ出身以外で5割を超えています。

<図表 14 - 3>在留資格別



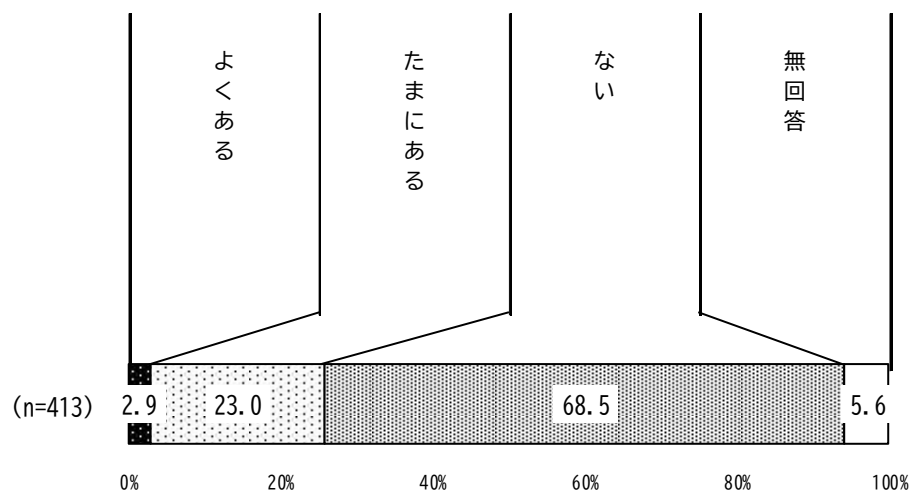
<調査結果>

在留資格別に見ると、【活動している・してみたい】は技術・人文知識・国際業務と定住者以外では5割を超えており、日本人の配偶者等では7割を超えています。

## (15) 不快な思いをしたことがあるか

Q15. あなたは、自分の住んでいるところや会社で不快な思いをしたことがありますか

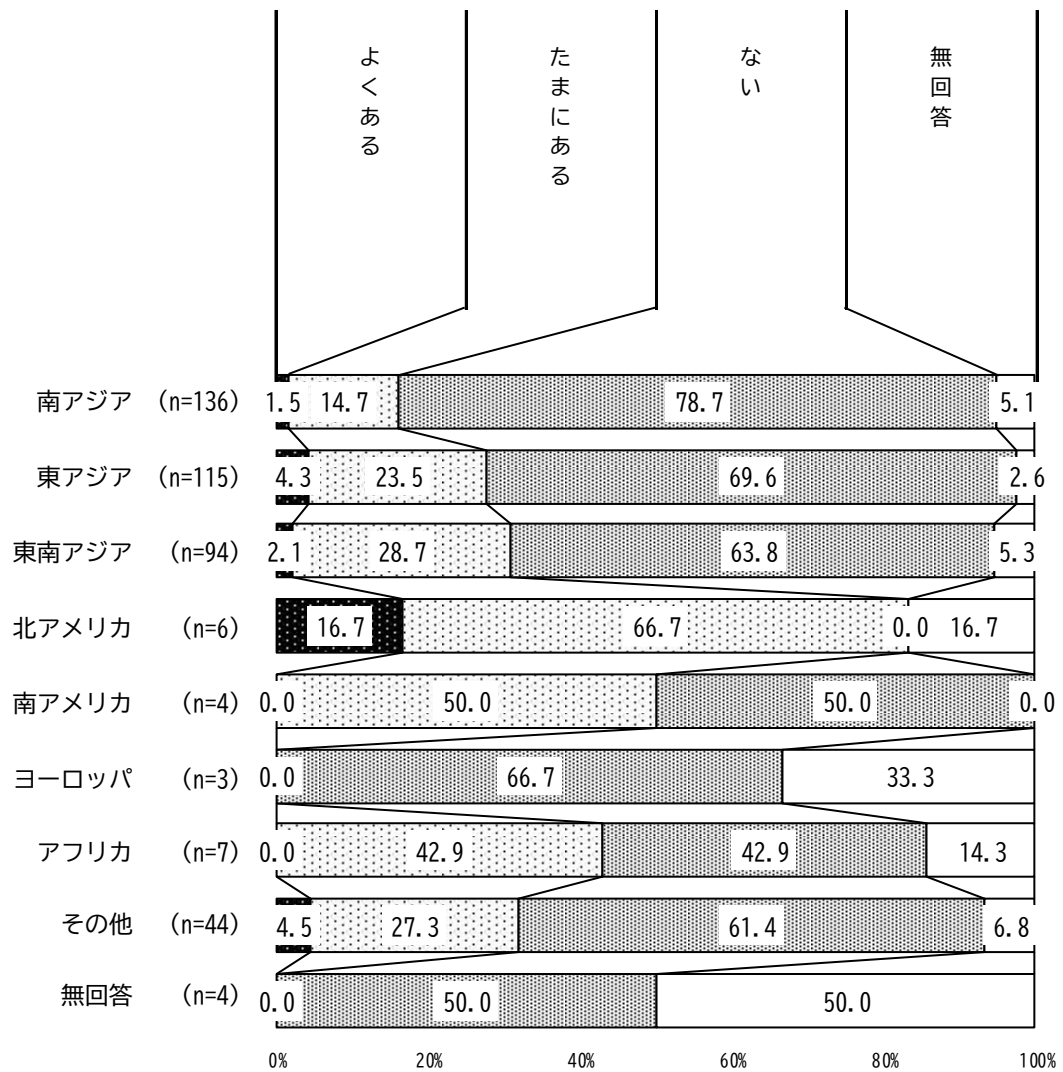
<図表 15-1>



### <調査結果>

自分の住んでいるところや会社で不快な思いをしたことがあるか聞いたところ、「ない」(68.5%)が7割近くで最も高くなっています。次いで「たまにある」(23.0%)、「よくある」(2.9%)となっています。

<図表 15 - 2>国籍地域別

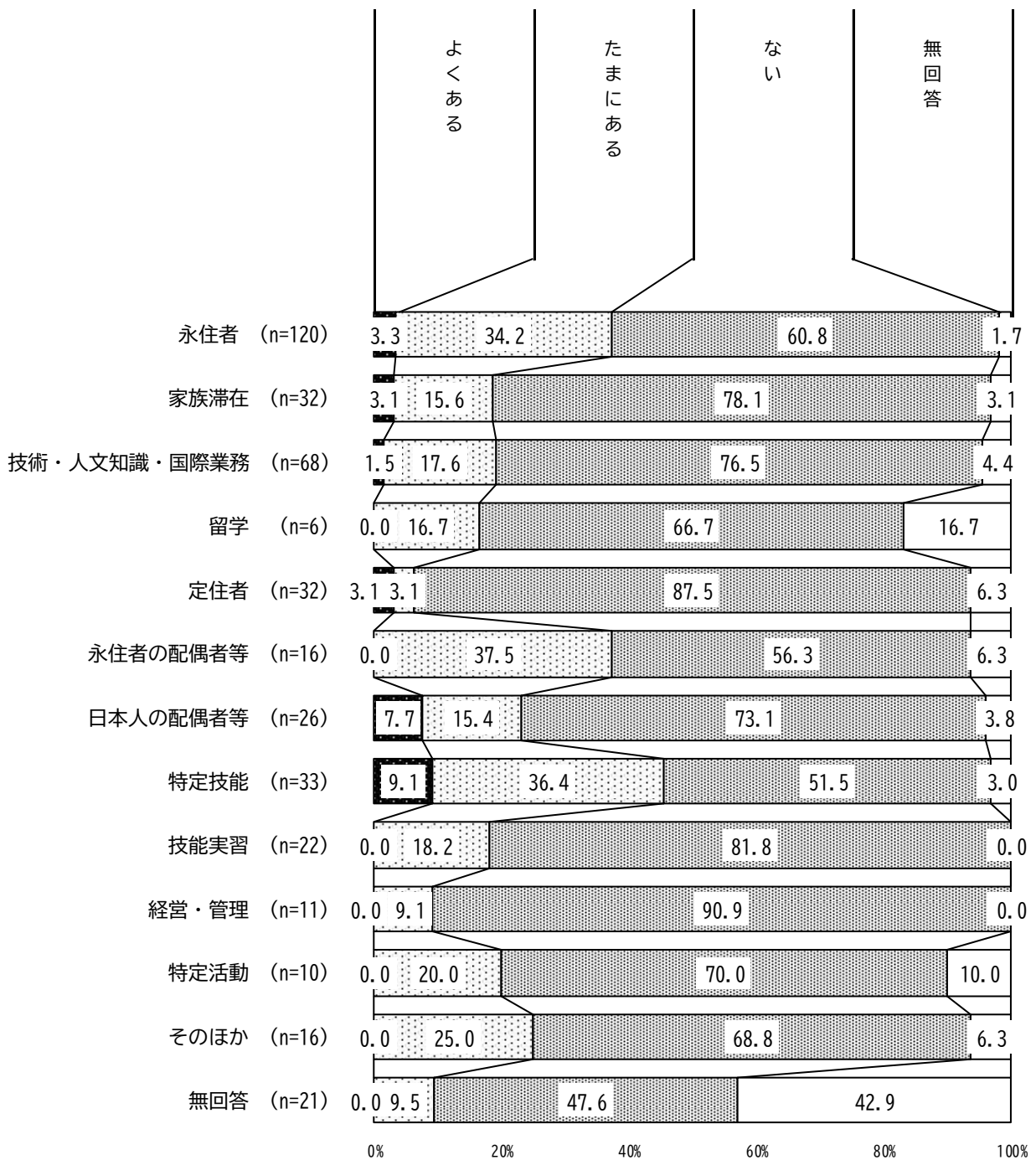


<調査結果>

国籍地域別に見ると、北アメリカ出身では「たまにある」が最も高くなっており、南アジア出身、東アジア出身、東南アジア出身、ヨーロッパ出身、その他の国籍地域では「ない」が最も高くなっています。



<図表 15 - 3> 在留資格別



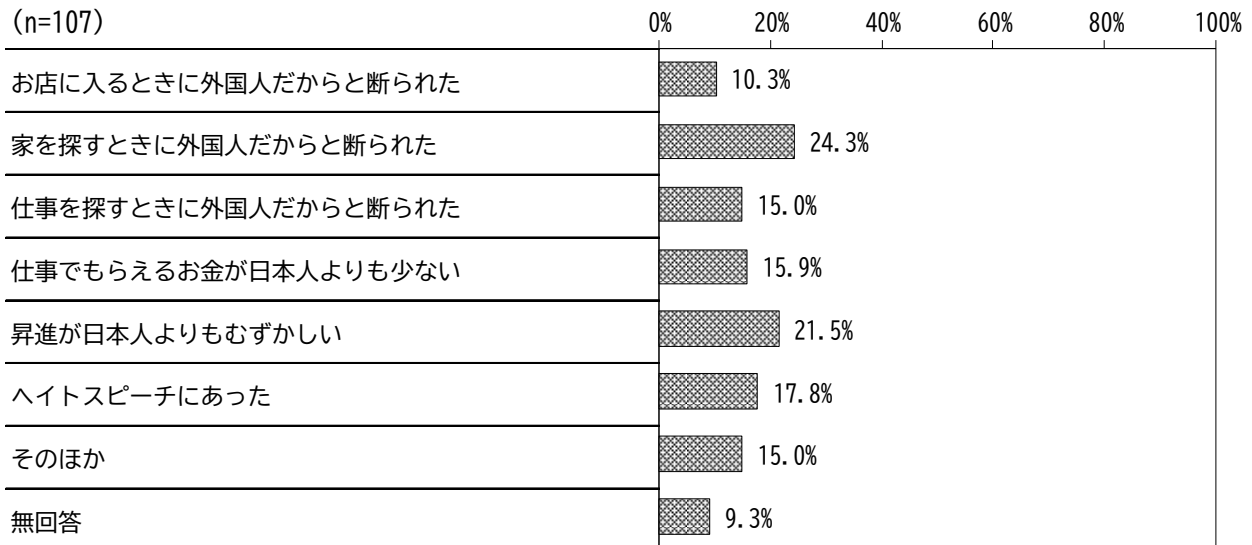
<調査結果>

在留資格別に見ると、すべての在留資格で「ない」が最も高くなっています。

## (16) どのようなことで不快な思いをしたか

Q16. Q15 で「よくある」「たまにある」と答えた方:どのようなことですか(○はいくつでも)

<図表 16>



### <調査結果>

Q15 で「よくある」「たまにある」と答えた方に、どのようなことで不快な思いをしたか聞いたところ、「家を探すときに外国人だからと断られた」(24.3%)が2割半ばと最も高くなっています。次いで、「昇進が日本人よりもむずかしい」(21.5%)、「ヘイトスピーチにあった」(17.8%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・白人(黄色人)よりも差別される。
- ・私は敬語を使っているけど外国人だからとタメ口で話される。
- ・もし白人又は黒人であれば人種差別に遭うことは全くかほとんどありません。でもアジアの他の人種だと人種差別に遭うことがあります。日本語が話せないと余計にそうです。でも世界中のどこでも不愉快な経験はあると思うので、(人種差別は)無視するようにしています。そして最良の生活をしようとしています。
- ・日本人は私に対してとても親切です。ですが、未だ打ち解けない感じがします。

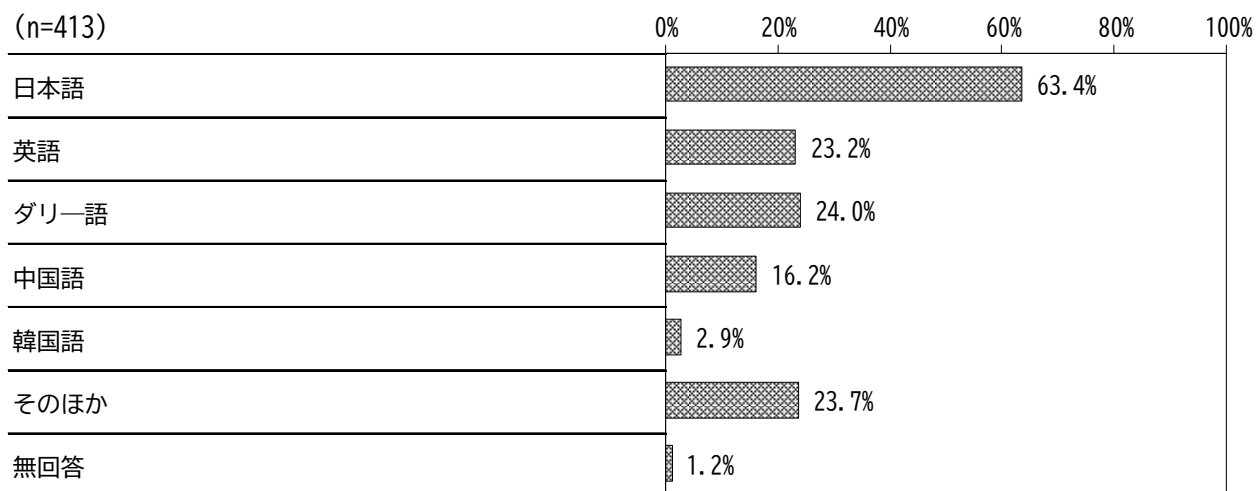
など

### 3 ことばについて

#### (17) いつもの生活でよく使うことば

Q17. あなたがいつもの生活でよく使うことばはどれですか(○はいくつでも)

<図表 17>



#### <調査結果>

いつもの生活でよく使うことばを聞いたところ、「日本語」(63.4%)が6割を超えと最も高くなっています。次いで、「ダリー語」(24.0%)、「そのほか」(23.7%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

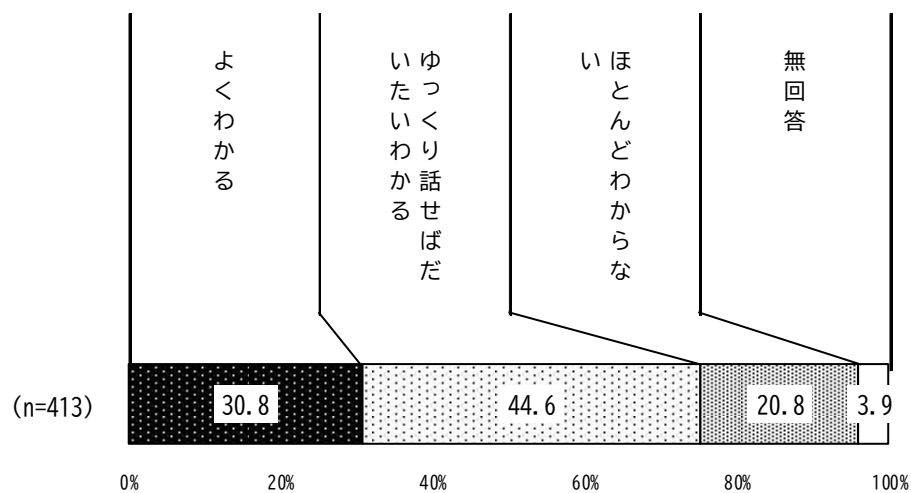
- ・フィリピン語
- ・タガログ語
- ・ベンガル語
- ・シンハラ語
- ・ウガンダ語
- ・ドイツ語

など

## (18) 日本語の理解度

Q18. あなたは、日本語を聞いてどれくらいわかりますか

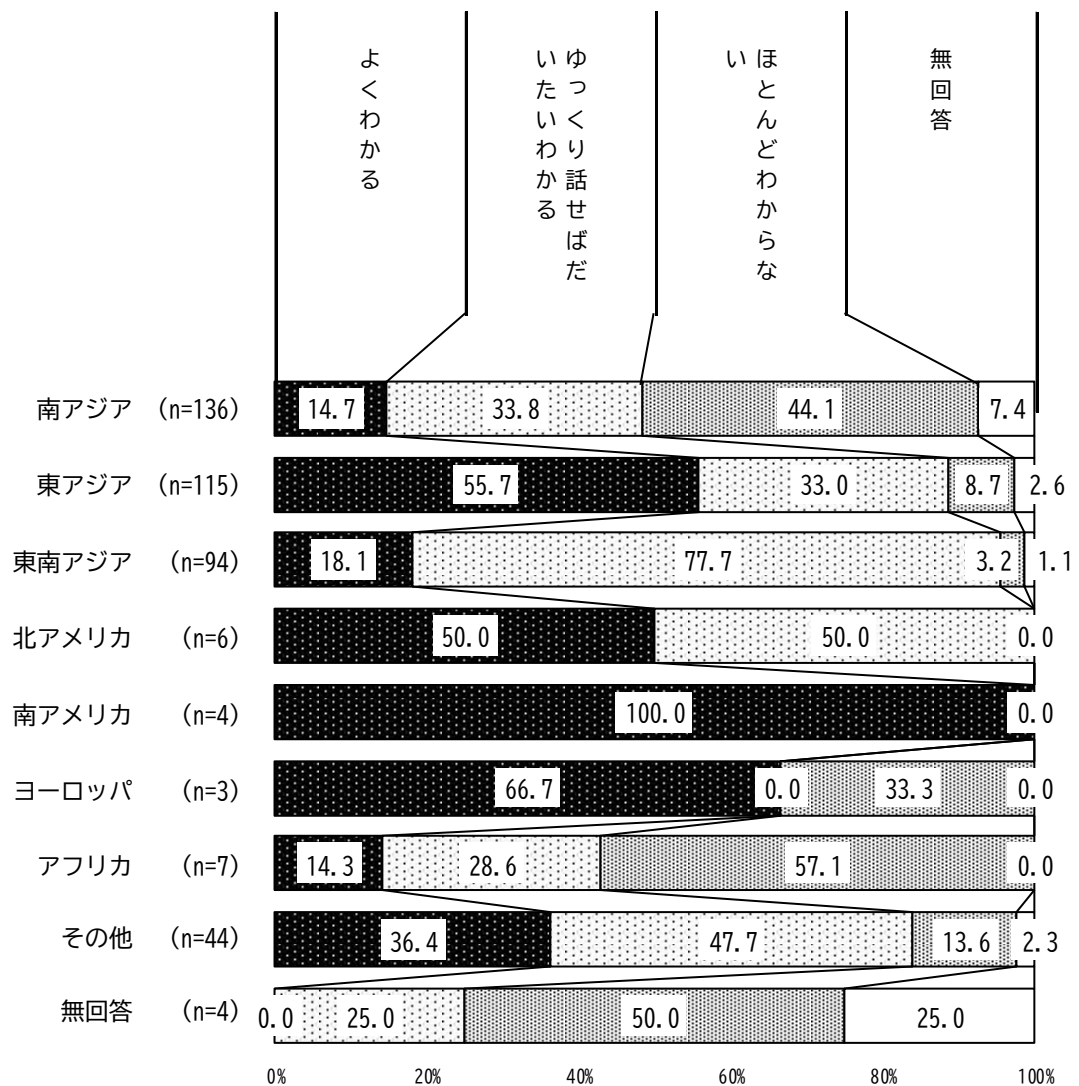
<図表 18-1>



### <調査結果>

日本語を聞いてどれくらいわかるか聞いたところ、「ゆっくり話せばだいたいわかる」(44.6%)が4割半ばで最も高くなっています。次いで「よくわかる」(30.8%)、「ほとんどわからない」(20.8%)となっています。

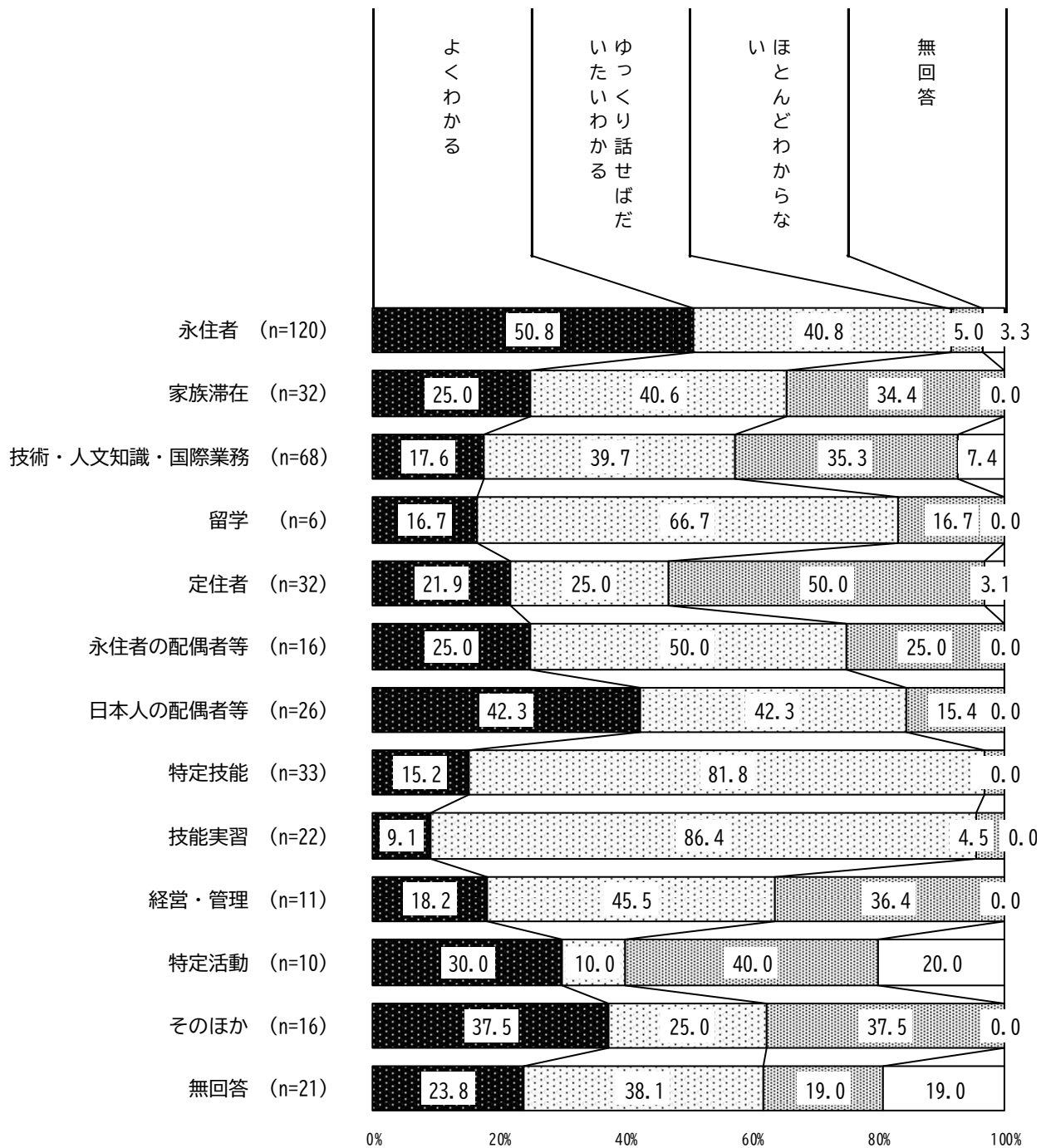
<図表 18 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身、南アメリカ出身、ヨーロッパ出身では「よくわかる」が、東南アジア出身、その他の国籍地域では「ゆっくり話せばだいたいわかる」が、南アジア出身、アフリカ出身では「ほとんどわからない」最も高くなっています。

<図表 18 - 3>在留資格別



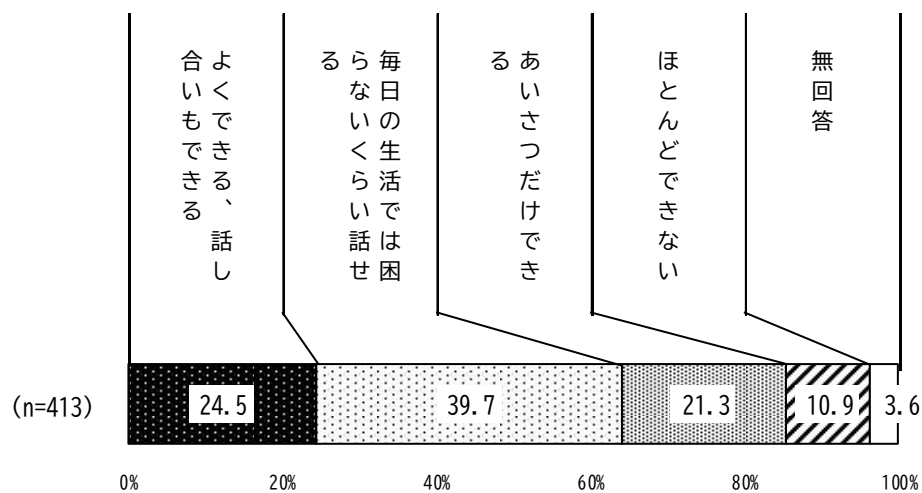
<調査結果>

在留資格別に見ると、永住者では「よくわかる」が、定住者と特定活動では「ほとんどわからない」が、それ以外の在留資格では「ゆっくり話せばだいたいわかる」が最も高くなっています。

## (19) 日本語の会話能力

Q19. あなたは、日本語がどれくらい話せますか

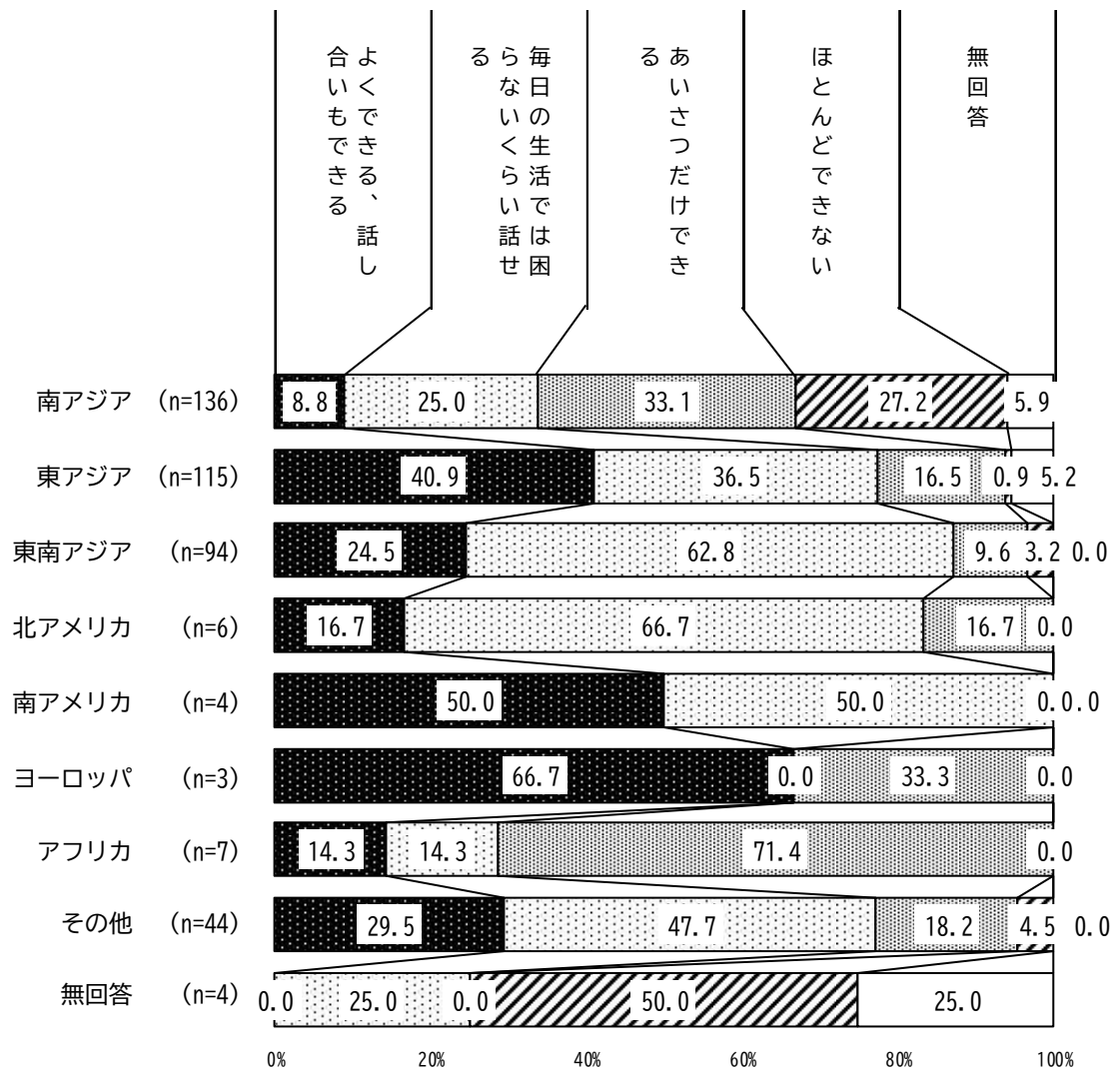
<図表 19-1>



### <調査結果>

日本語がどのくらい話せるか聞いたところ、「毎日の生活では困らないくらい話せる」(39.7%)が約4割で最も高くなっています。次いで「よくできる、話し合いもできる」(24.5%)、「あいさつだけできる」(21.3%)となっています。

<図表 19 - 2>国籍地域別

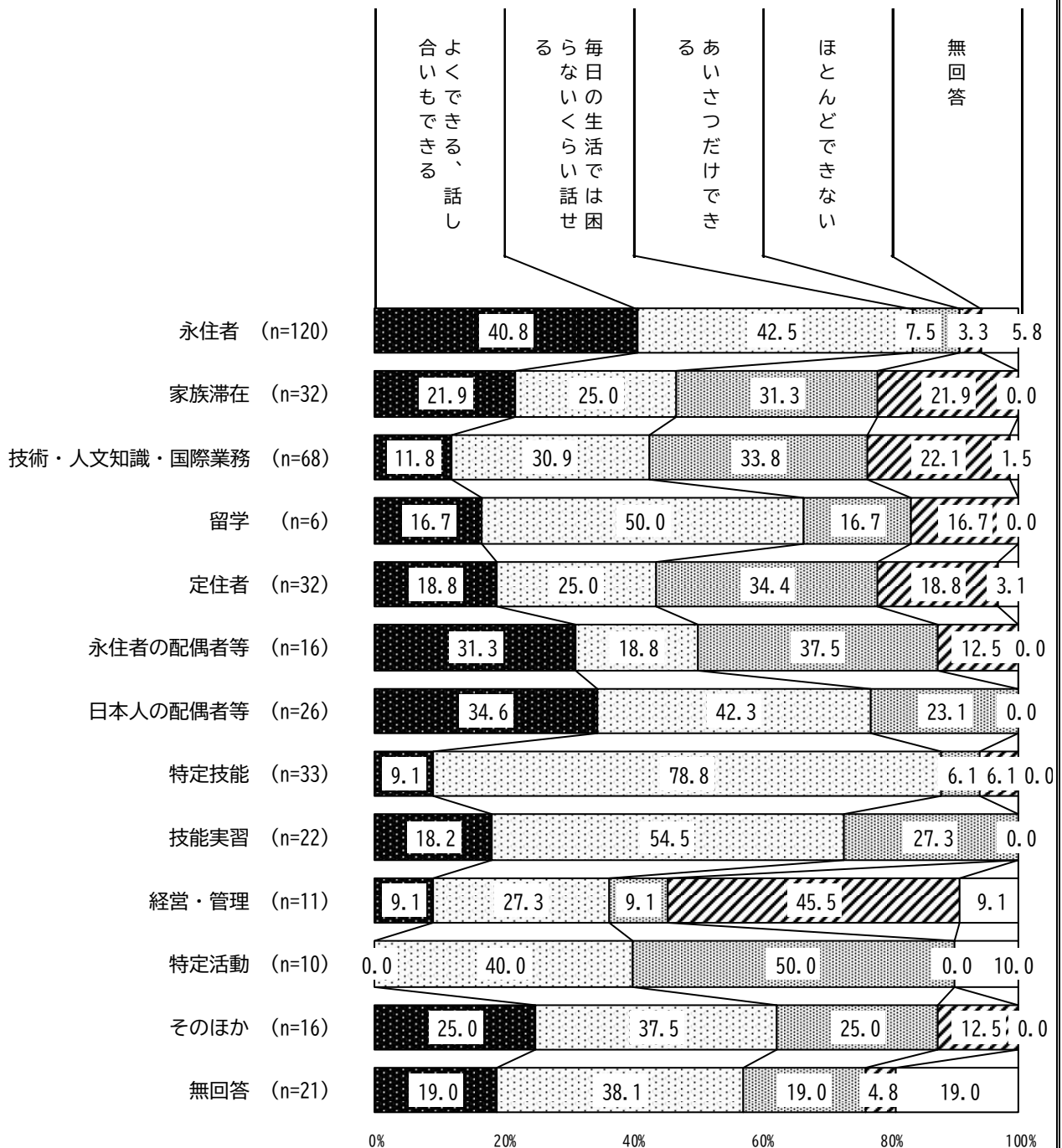


<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身、ヨーロッパ出身では「よくできる、話し合いもできる」が、東南アジア出身、北アメリカ出身、その他の国籍地域出身では「毎日の生活では困らないくらい話せる」が、南アジア出身、アフリカ出身では「あいさつだけできる」が最も高くなっています。



<図表 19 - 3>在留資格別



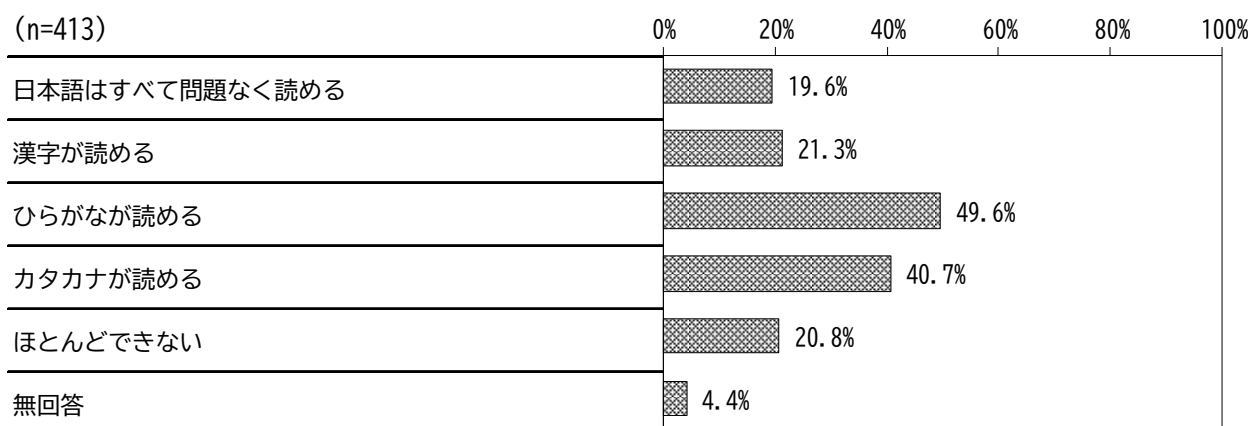
<調査結果>

在留資格別に見ると、永住者、留学、日本人の配偶者等、特定技能、技能実習、そのほかの在留資格では「毎日の生活では困らないくらい話せる」が、家族滞在、技術・人文知識・国際業務、定住者、永住者の配偶者等、特定活動では「あいさつだけでできる」が、経営・管理では「ほとんどできない」がそれぞれ最も高くなっています。

## (20) 日本語をどれくらい読めるか

Q20. あなたは、日本語がどれくらい読めますか(○はいくつでも)

<図表 20>



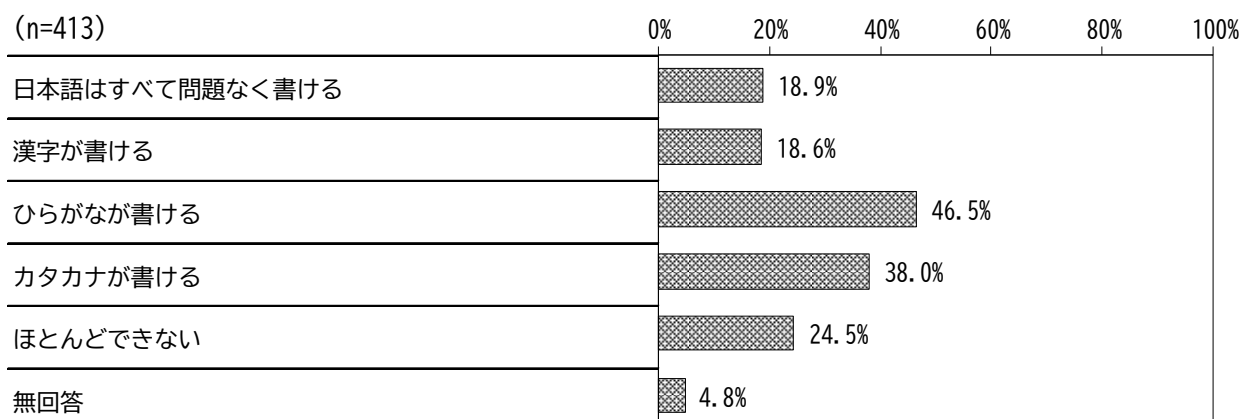
### <調査結果>

日本語がどれくらい読めるか聞いたところ、「ひらがなが読める」(49.6%)が約5割と最も高くなっています。次いで、「カタカナが読める」(40.7%)、「漢字が読める」(21.3%)となっています。

## (21) 日本語をどれくらい書けるか

Q21. あなたは、日本語がどれくらい書けますか(○はいくつでも)

<図表 21>



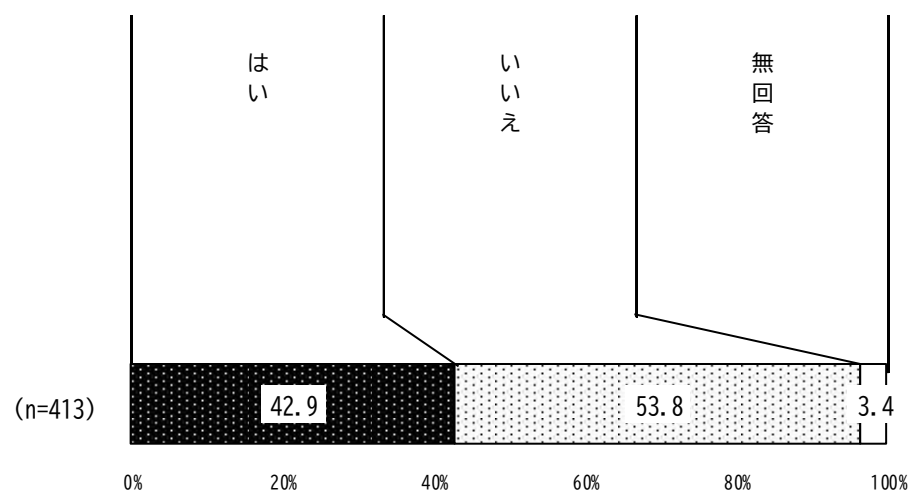
### <調査結果>

日本語がどれくらい書けるか聞いたところ、「ひらがなが書ける」(46.5%)が4割半ばを超え最も高くなっています。次いで、「カタカナが書ける」(38.0%)、「ほとんどできない」(24.5%)となっています。

## (22) 日本語を勉強しているか

Q22. 今、日本語を勉強していますか

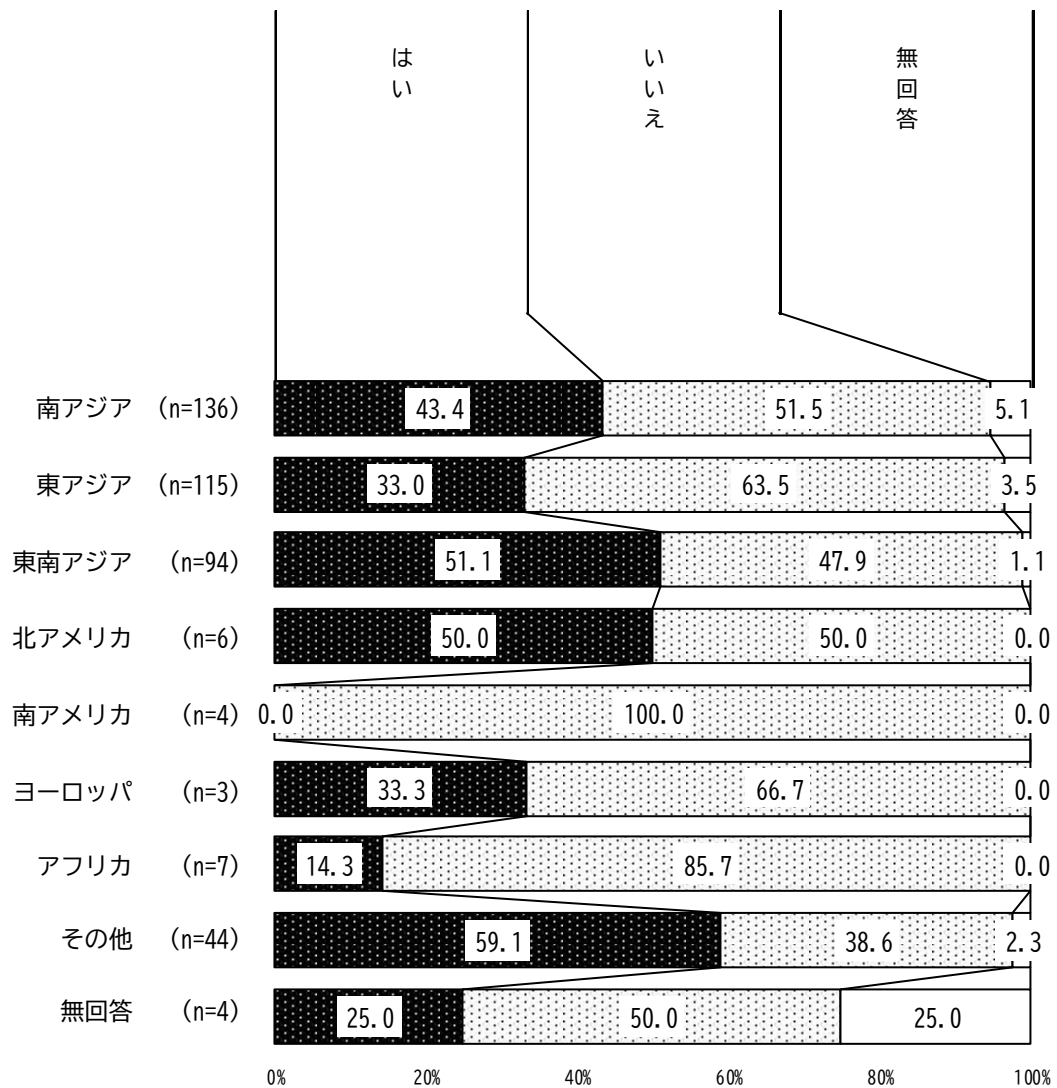
<図表 22-1>



### <調査結果>

今、日本語を勉強しているか聞いたところ、「いいえ」(53.8%)が5割を超え最も高くなっています。

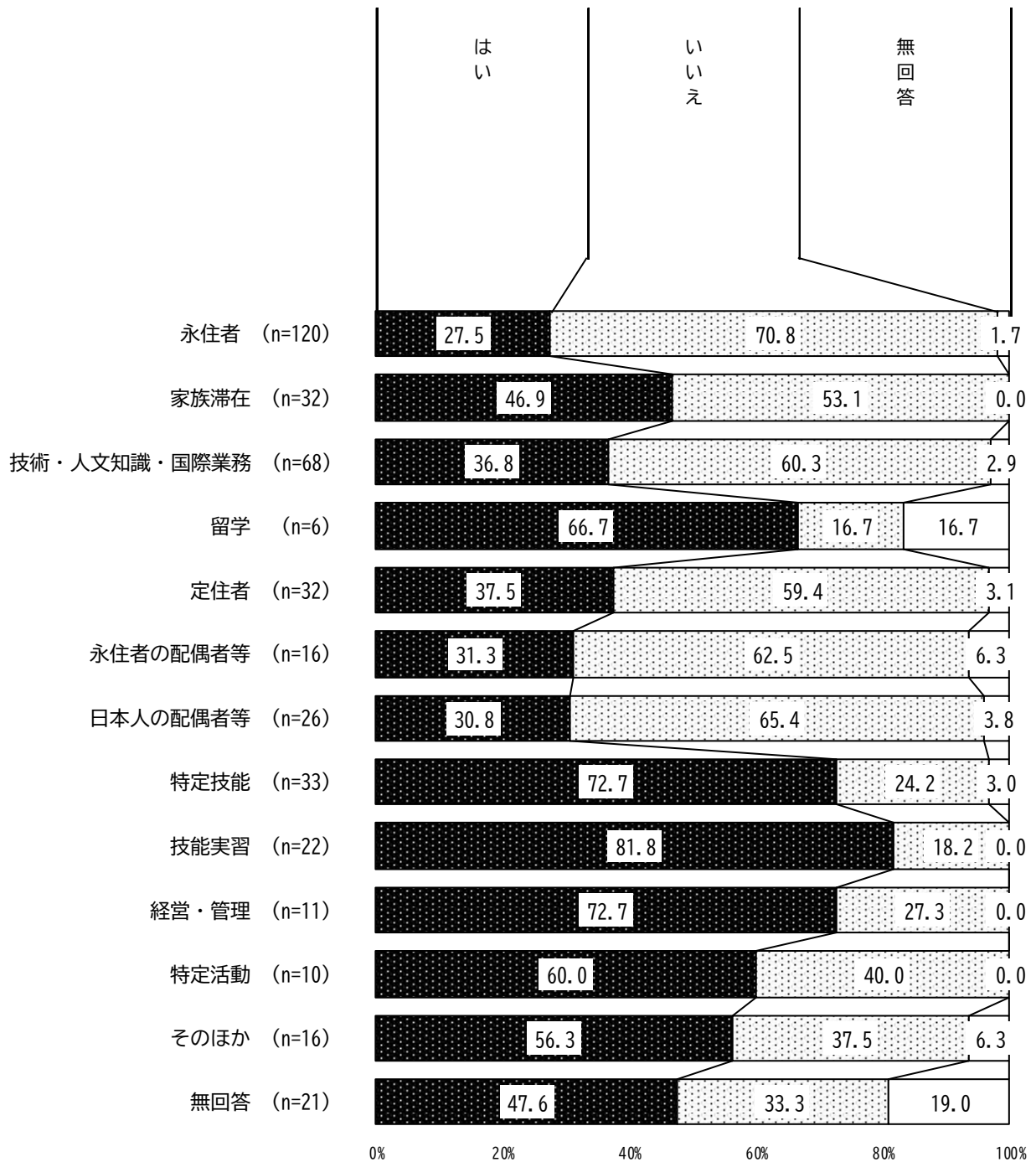
<図表 22 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、東南アジア出身とその他の国籍地域出身では「はい」が最も高くなっており、それ以外の地域では「いいえ」が最も高くなっています。

<図表 22 - 3> 在留資格別



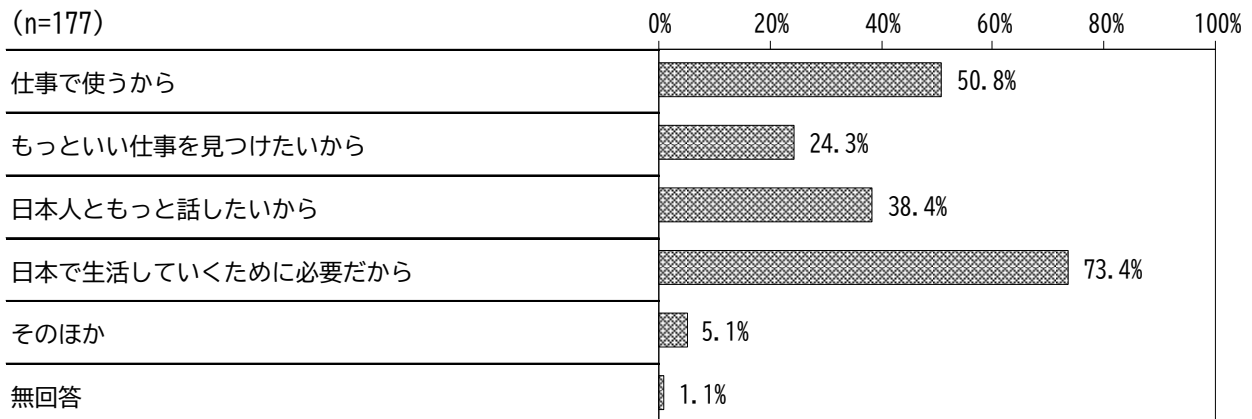
<調査結果>

在留資格別に見ると、留学、特定技能、技能実習、経営・管理、特定活動、そのほかの在留資格では「はい」が、それ以外の在留資格では「いいえ」が最も高くなっています。

## (23) 日本語を勉強している理由

Q23. Q22 で「はい」と答えた方:なぜ日本語を勉強していますか(○はいくつでも)

<図表 23>



### <調査結果>

Q22 で「はい」と答えた方になぜ日本語を勉強しているか聞いたところ、「日本で生活していくために必要だから」(73.4%)が7割を超え最も高くなっています。次いで、「仕事で使うから」(50.8%)、「日本人ともっと話したいから」(38.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

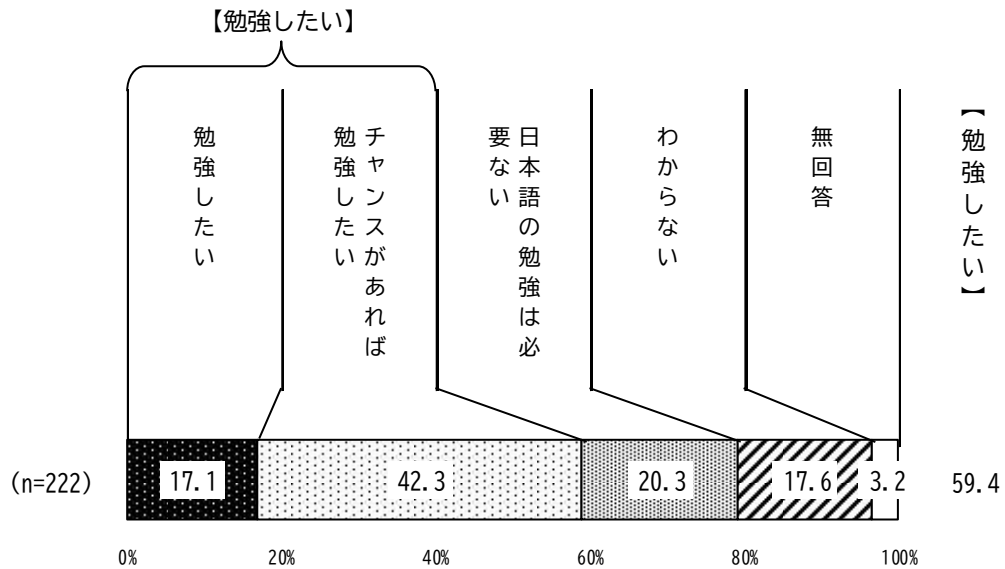
- ・ 高校生だからです。
- ・ 勉強するのが大好き
- ・ 資格を取りたいから
- ・ こどものために (学校の連絡)
- ・ 日本文化をもっと詳しく知り日本人の心の奥にあるものを経験したい。

など

## (24) 日本語を勉強したいか

Q24. Q23で「いいえ」と答えた方:これから、日本語を勉強したいですか

<図表 24-1>

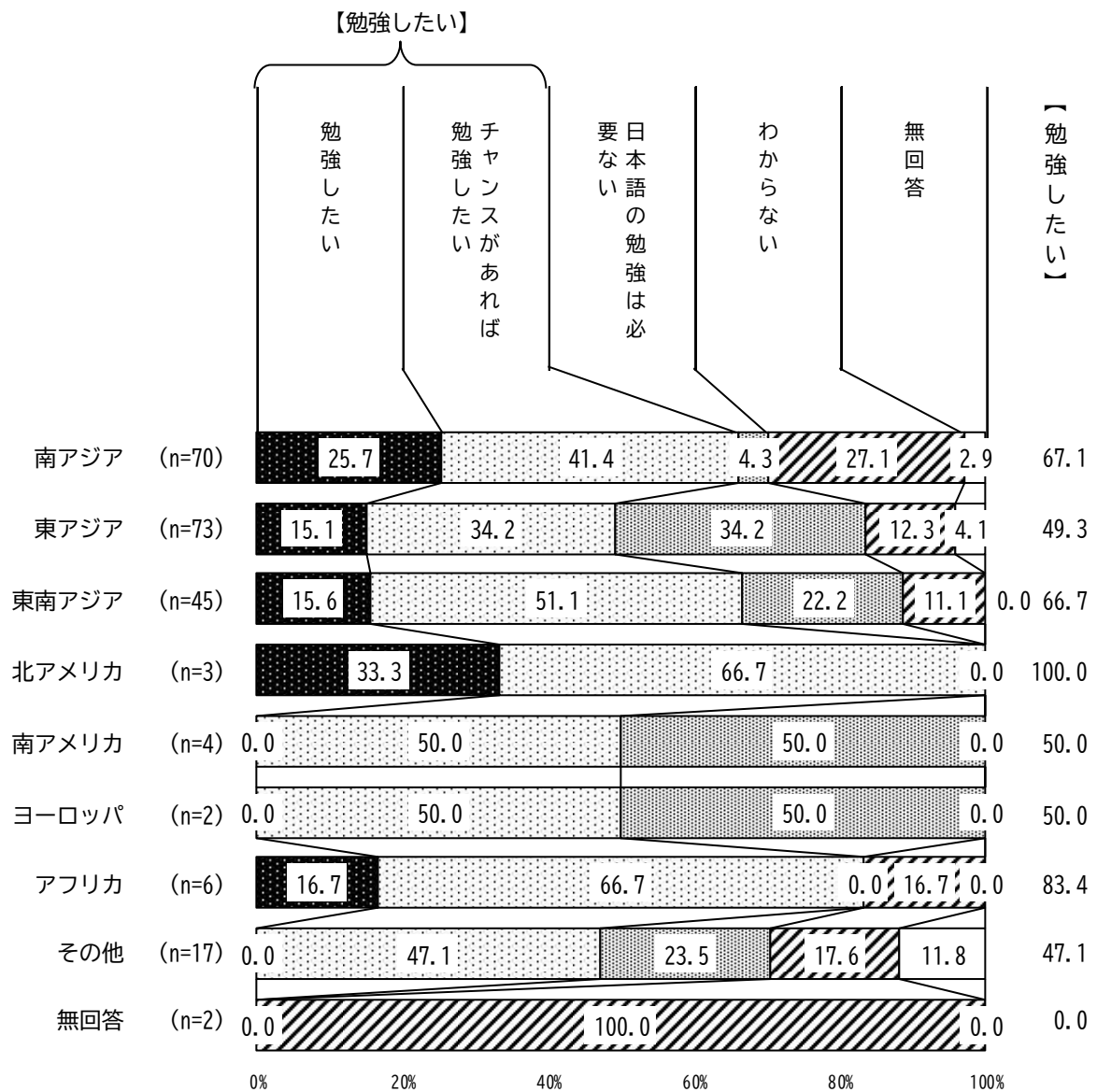


### <調査結果>

これから日本語を勉強したいか聞いたところ、「チャンスがあれば勉強したい」(42.2%)が4割を超え最も高くなっています。【勉強したい】割合は約6割となっています。



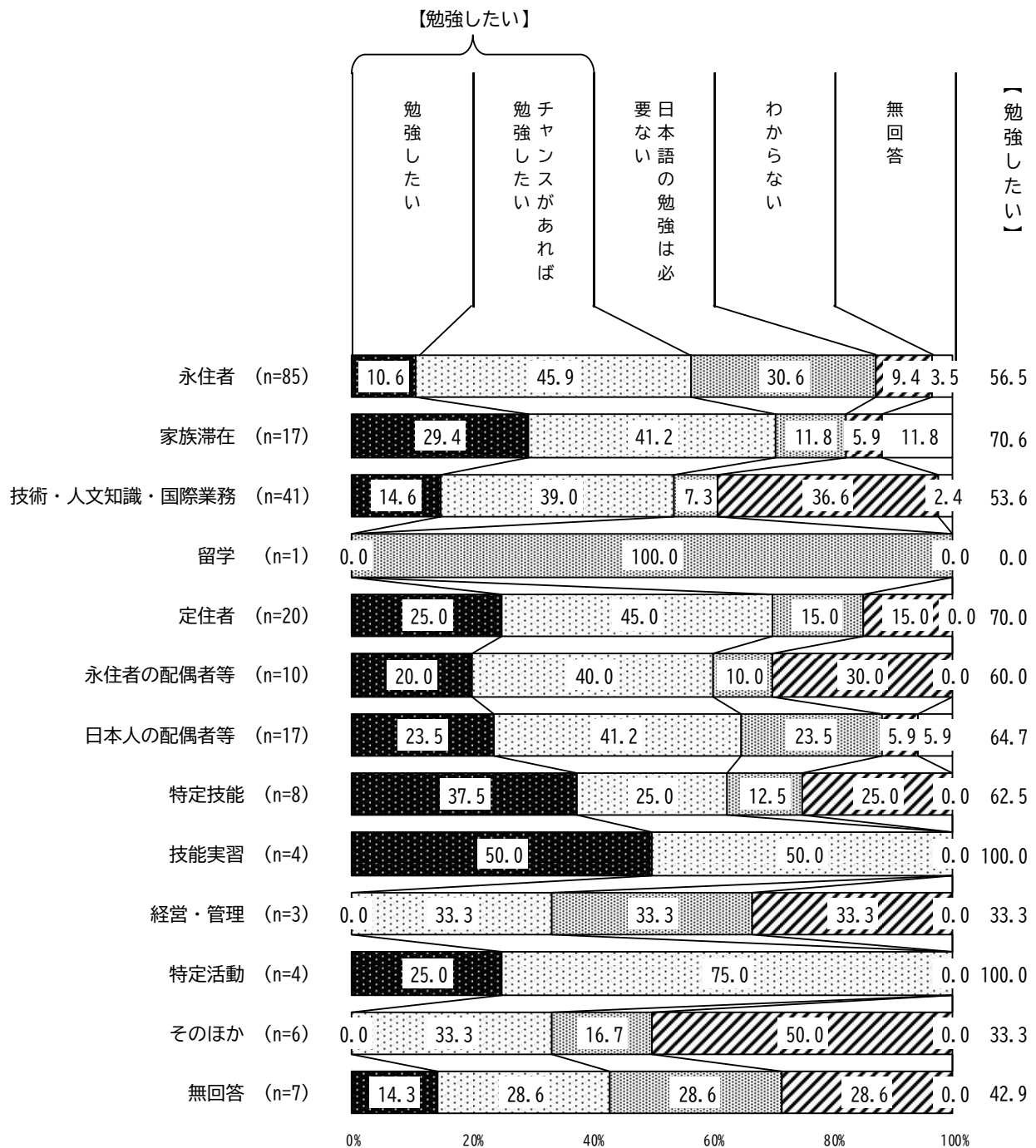
<図表 24 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身とその他の国籍地域出身では【勉強したい】割合は5割を下回っていますが、それ以外の国籍地域では【勉強したい】割合は5割を超えています。

<図表 24 - 3> 在留資格別



<調査結果>

在留資格別に見ると、留学、経営・管理、そのほかの在留資格では【勉強したい】割合は5割を下回っていますが、それ以外の在留資格では【勉強したい】割合は5割を超えています。

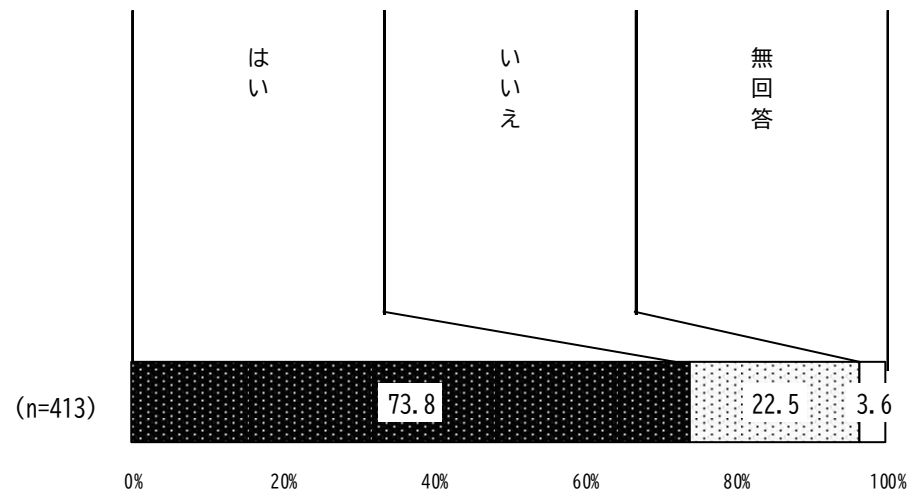
## 4 あなたの仕事について

### (25) 就労状況

---

Q25. あなたは、今は仕事をしていますか。

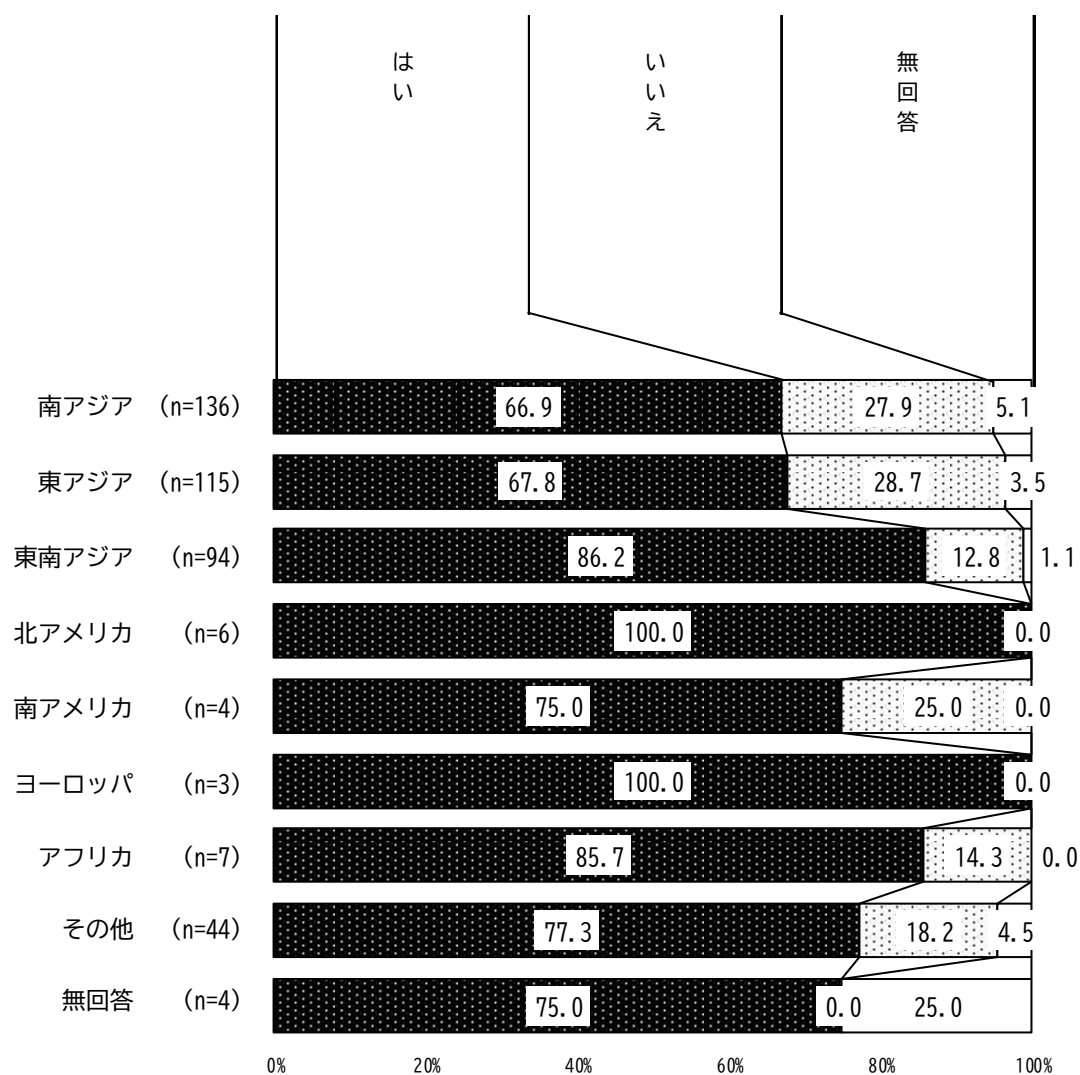
<図表 25-1>



#### <調査結果>

今は仕事をしているか聞いたところ、「はい」(73.8%)が7割を超え最も高くなっています。

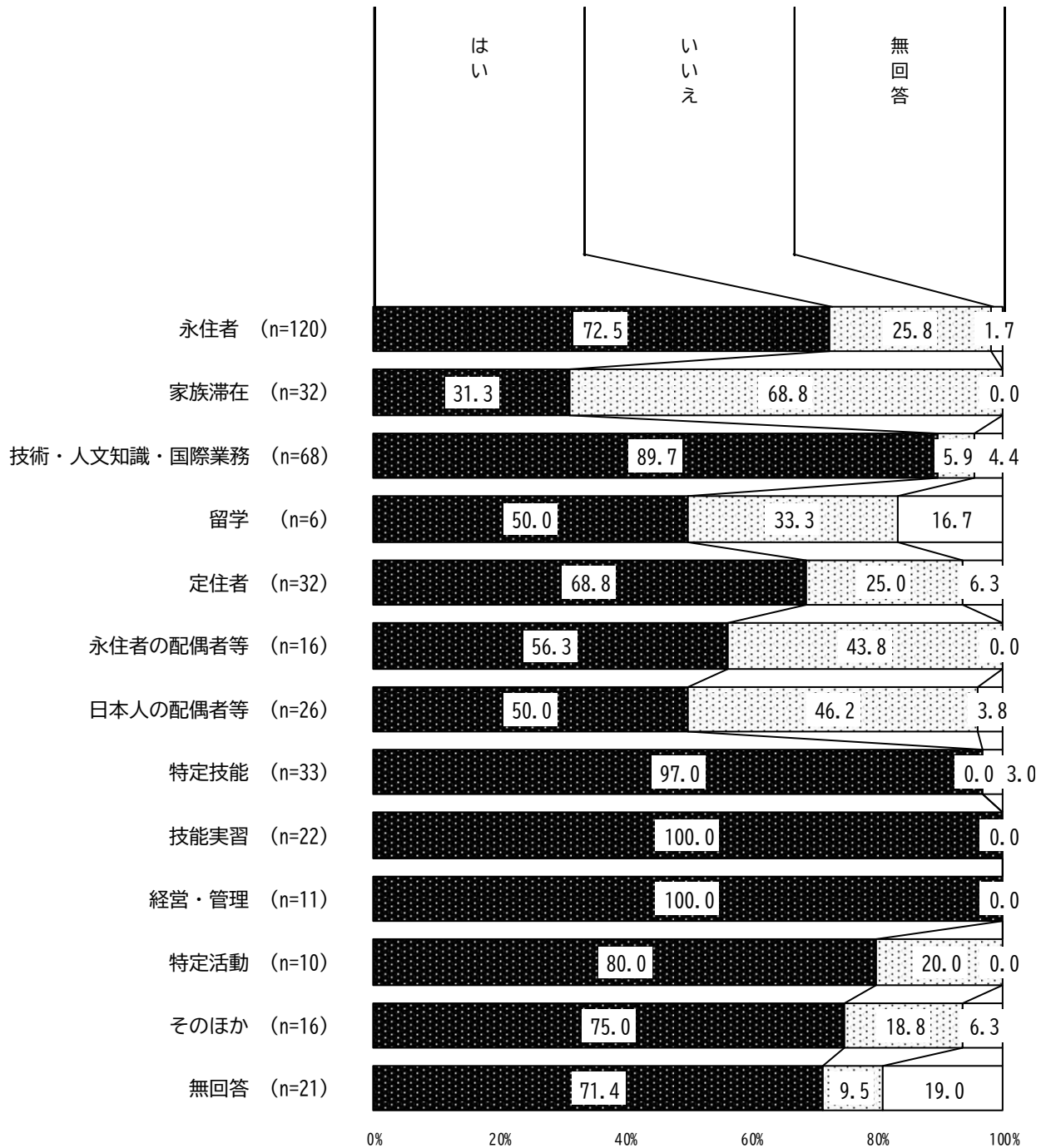
<図表 25 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、すべての国籍地域で「はい」が最も高くなっています。

<図表 25 - 3> 在留資格別



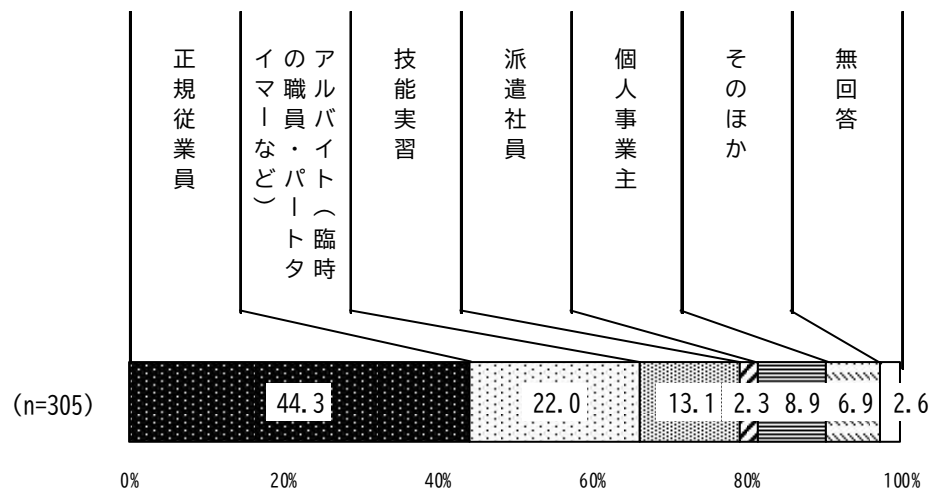
<調査結果>

在留資格別に見ると、家族滞在では「いいえ」が、それ以外の在留資格では「はい」が最も高くなっています。

## (26) 雇用形態

Q26. Q25 で「はい」と答えた方:あなたは、どのような立場で仕事をしていますか。

<図表 26-1>



### <調査結果>

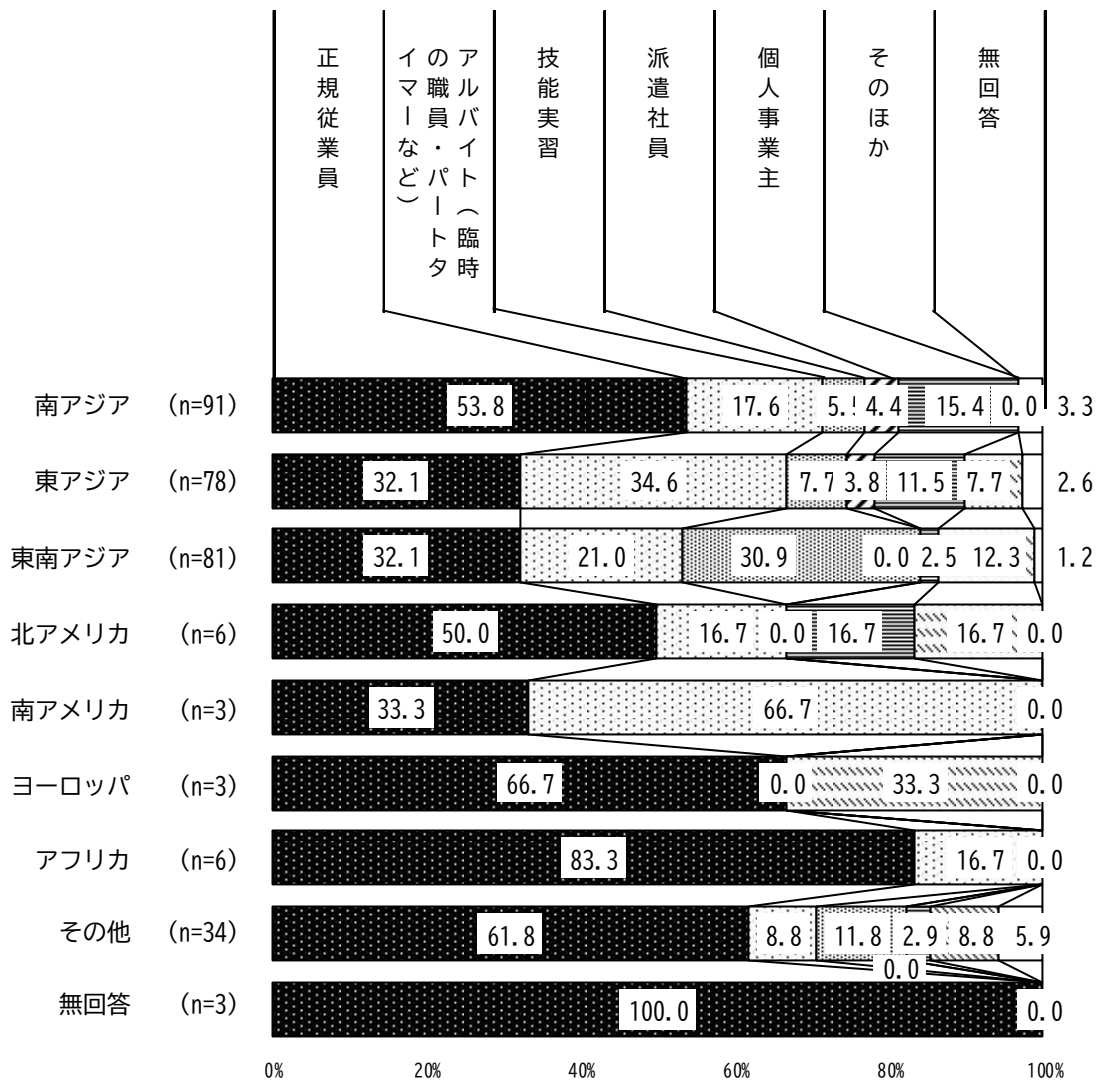
どのような立場で仕事をしているか聞いたところ、「正規従業員」（44.3％）が4割半ばで最も高くなっています。次いで「アルバイト（臨時の職員・パートタイマーなど）」（22.0％）、「技能実習」（13.1％）となっています。

「その他」の内容には、以下のものがありました。

- ・ 鳶職
- ・ 介護職
- ・ 会社役員
- ・ 特定技能1号

など

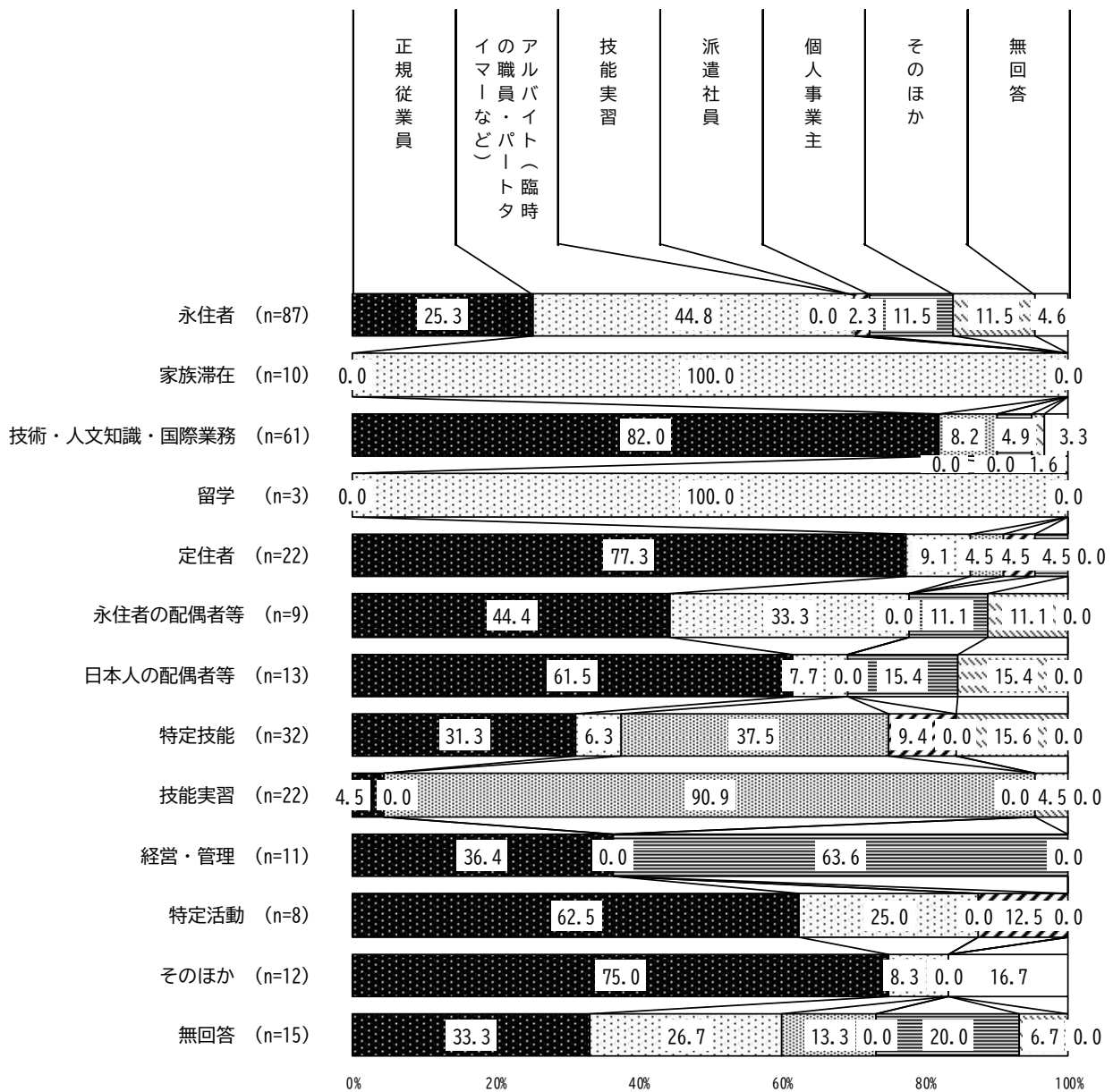
<図表 26 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身と南アメリカ出身では「アルバイト（臨時の職員・パートタイマーなど）」が最も高くなっており、それ以外の国籍地域出身では「正規従業員」が最も高くなっています。

<図表 26 - 3>在留資格別



<調査結果>

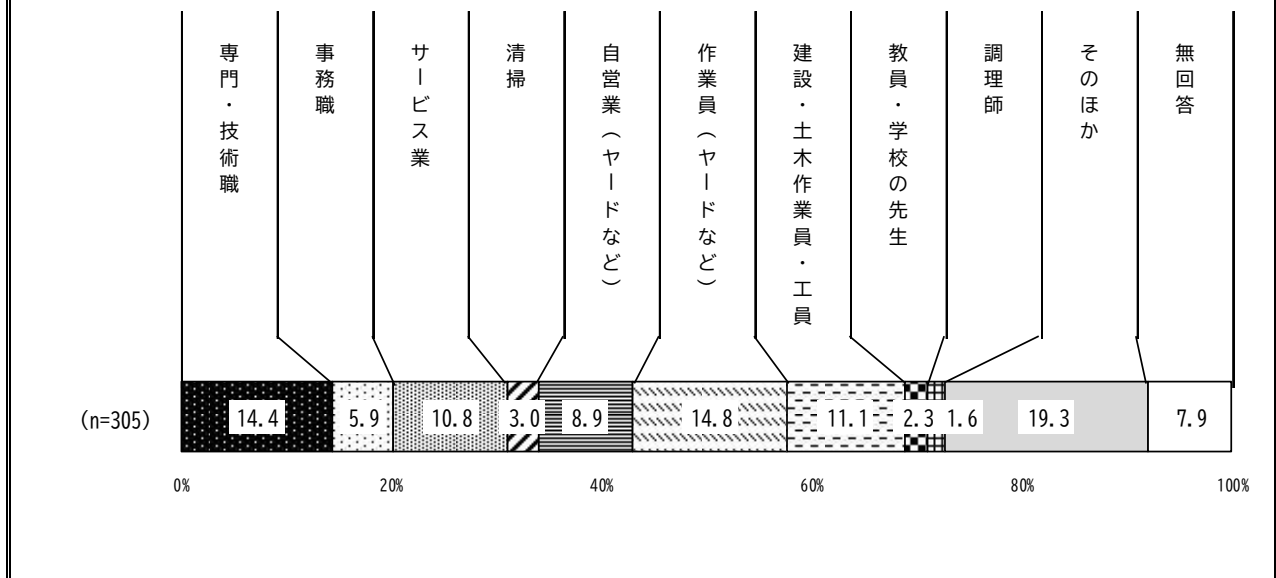
在留資格別に見ると、技術・人文知識・国際業務、定住者、永住者の配偶者等、日本人の配偶者等、特定活動、その他の在留資格では「正規従業員」が、永住者、家族滞在、留学では「アルバイト」が、特定技能と技能実習では「技能実習」が、経営・管理では「個人事業主」が最も高くなっています。



## (27) 仕事内容

Q27. Q25 で「はい」と答えた方:あなたの仕事はどれですか

<図表 27-1>



### <調査結果>

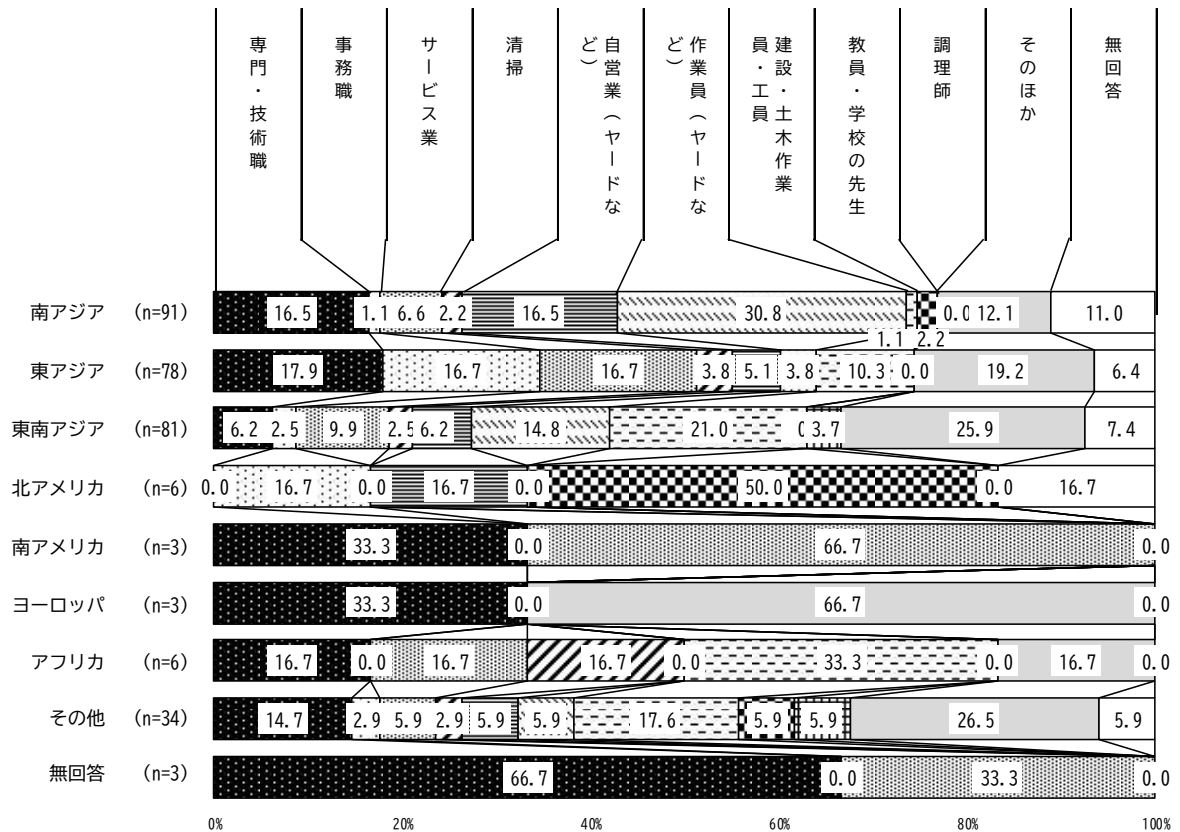
仕事の内容を聞いたところ、「そのほか」(19.3%)が約2割で最も高くなっています。次いで「作業員 (ヤードなど)」(14.8%)、「専門・技術職」(14.4%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ 成田空港でのセキュリティチェック
- ・ 運送業
- ・ 介護デイサービス
- ・ 語学指導員
- ・ 建設管理
- ・ 小説家・英語家庭教師 (個人・グループ) 和英翻訳家

など

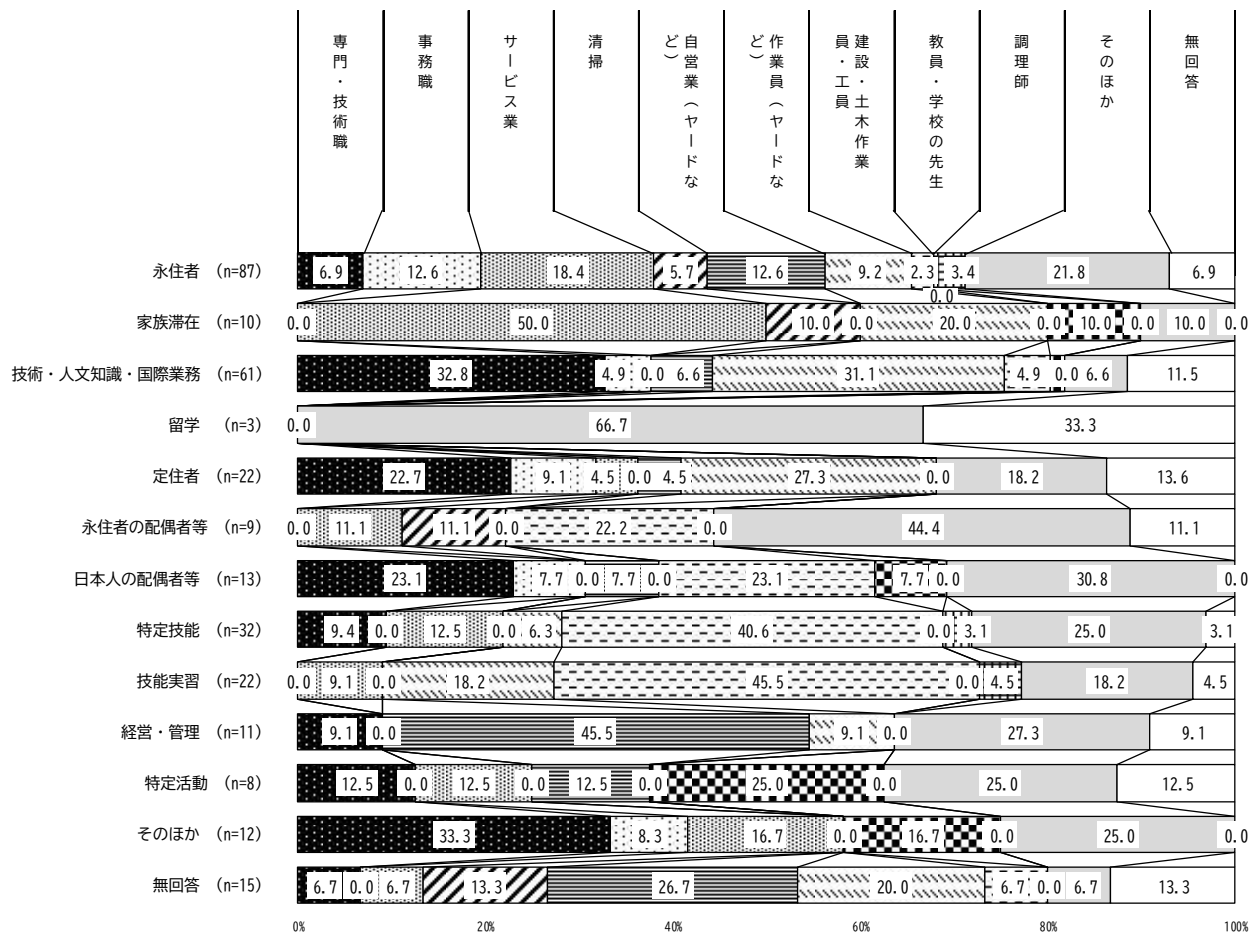
<図表 27 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アメリカ出身では「サービス業」が、南アジア出身では「作業員（ヤードなど）」が、アフリカ出身では「建設・土木作業員・工員」が、北アメリカ出身では「教員・学校の先生」が、それ以外の国籍地域出身では「そのほか」が最も高くなっています。

<図表 27 - 3> 在留資格別



<調査結果>

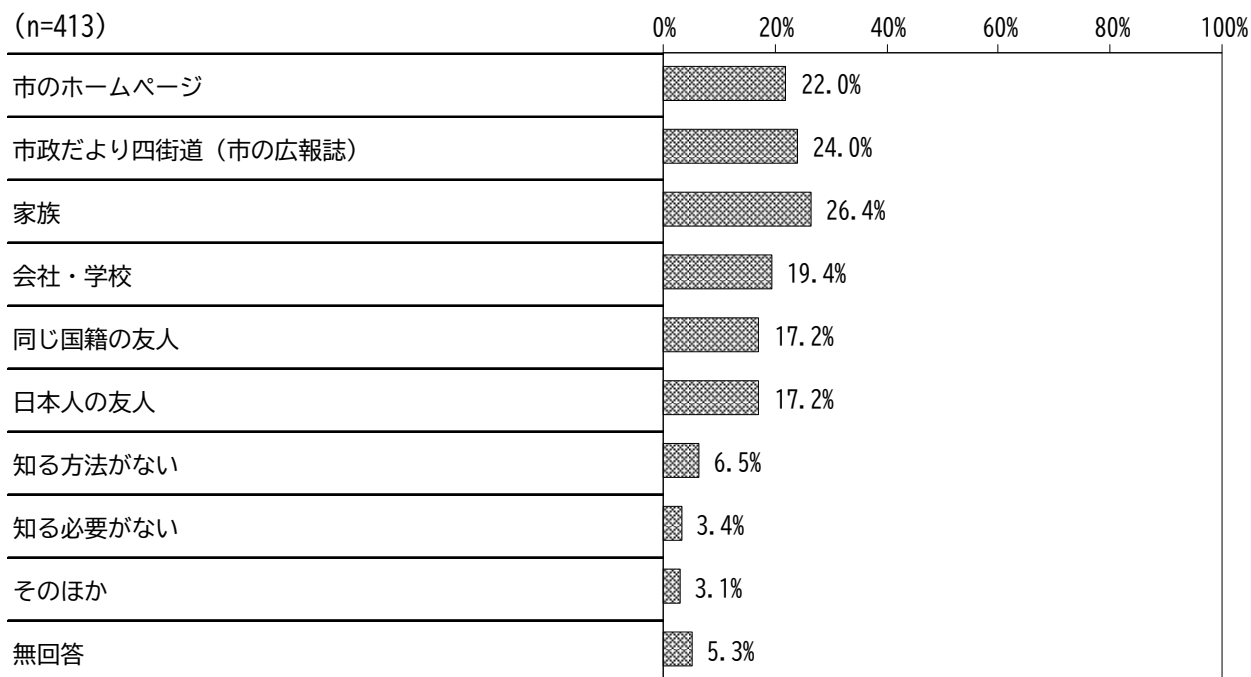
在留資格別に見ると、永住者、留学、永住者の配偶者等、日本人の配偶者等では「そのほか」が、家族滞在では「サービス業」が、技術・人文知識・国際業務、そのほかの在留資格では「専門・技術職」が、定住者では「作業員（ヤードなど）」が、特定技能、技能実習では「建設・土木作業員・工員」が、経営・管理では「自営業（ヤードなど）」が最も高くなっています。

## 5 情報、インフォメーションについて

### (28) 四街道市の情報をどうやって知るか

Q28. あなたは、四街道市の情報をどうやって知りますか(○はいくつでも)

<図表 28>



#### <調査結果>

四街道市の情報をどうやって知るか聞いたところ、「家族」(26.4%)が2割半ばで最も高くなっています。次いで、「市政だより四街道(市の広報誌)」(24.0%)、「市のホームページ」(22.0%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

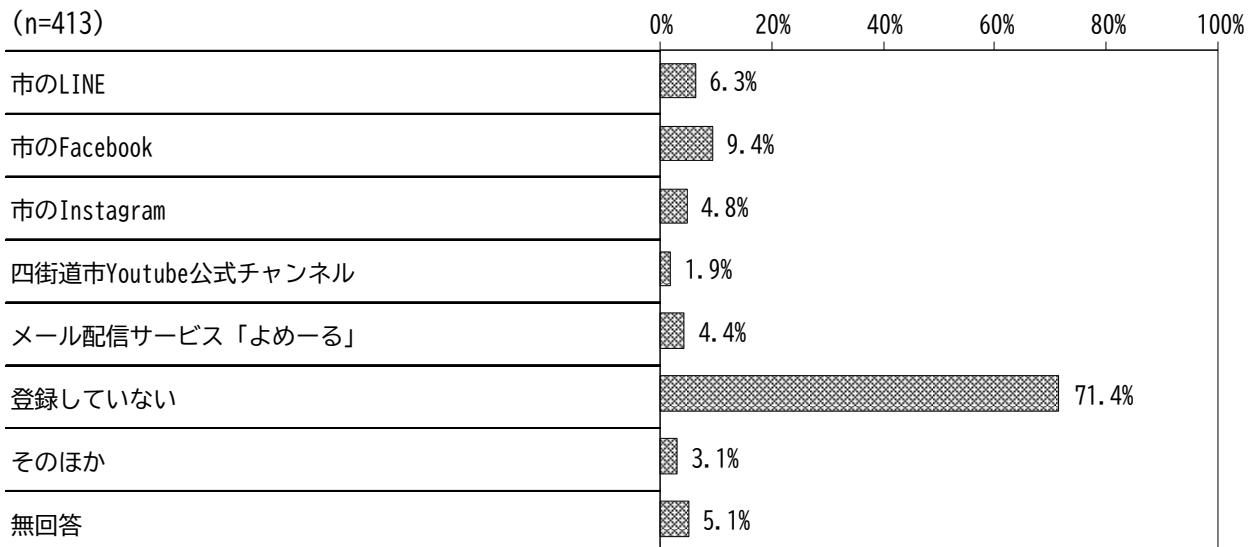
- ・インターネット
- ・ぜんぜんわからないです。
- ・市役所
- ・ケーブルテレビ局の放送

など

## (29) 市の公式 SNS などへの登録状況

Q29. あなたは、どれに登録していますか(○はいくつでも)

<図表 29>



### <調査結果>

市の公式 SNS などへの登録状況を聞いたところ、「登録していない」(71.4%)が7割を超え最も高くなっています。次いで、「市の Facebook」(9.4%)、「市の LINE」(6.3%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

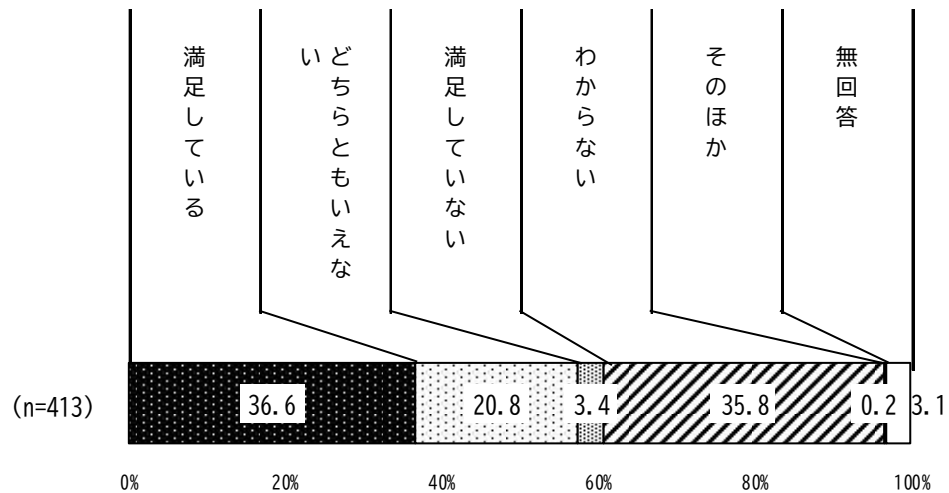
- ・ Google
- ・ このことについて何も知りません
- ・ Wechat
- ・ そうした市の SNS があることを全く知りません。

など

### (30) 四街道市の情報の発信について

Q30. 四街道市の情報の発信についてどう思いますか

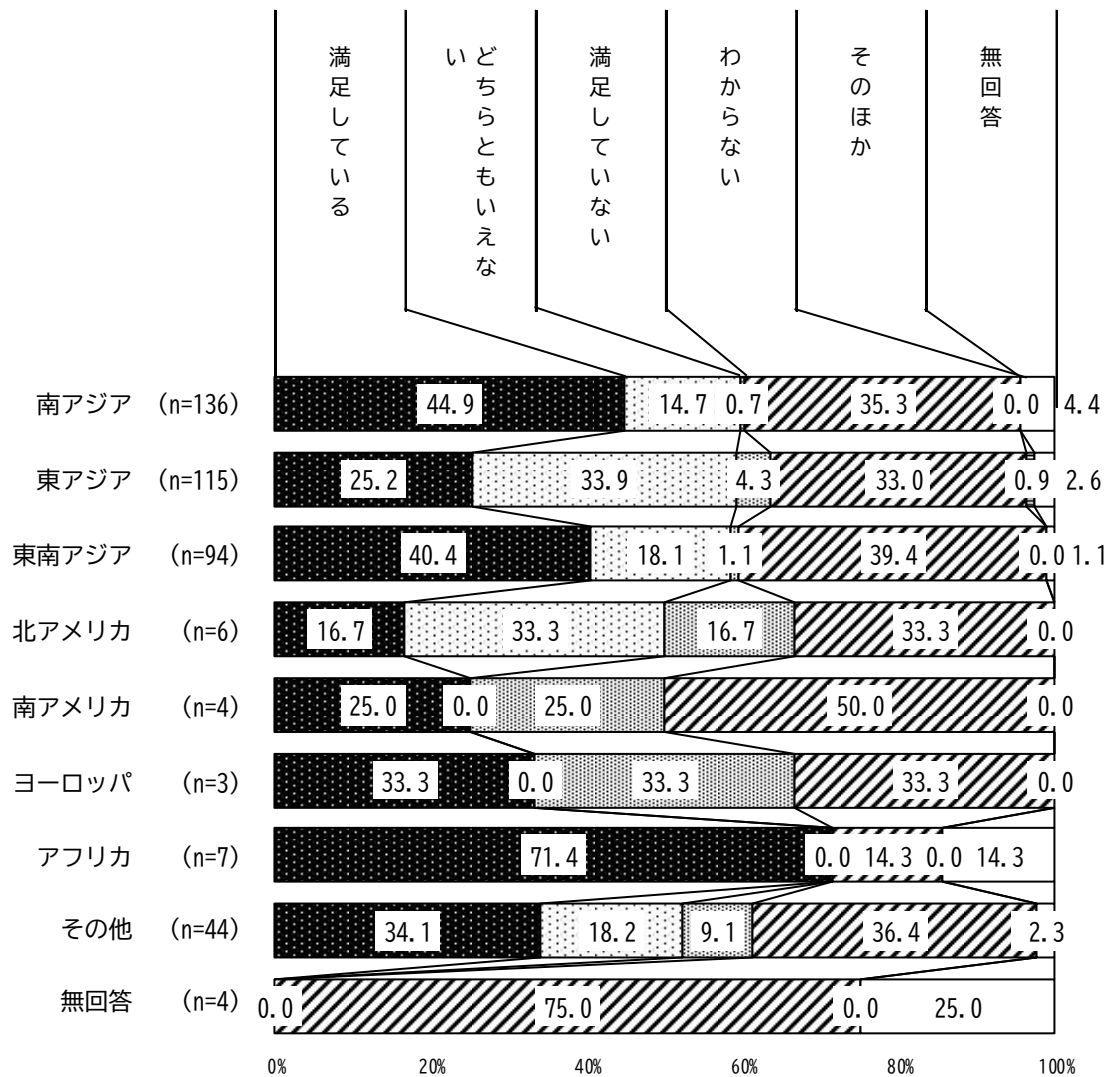
<図表 30-1>



#### <調査結果>

四街道市の情報の発信についてどう思うか聞いたところ、「満足している」(36.6%)が3割半ばを超え最も高くなっています。次いで「わからない」(35.8%)、「どちらともいえない」(20.8%)となっています。

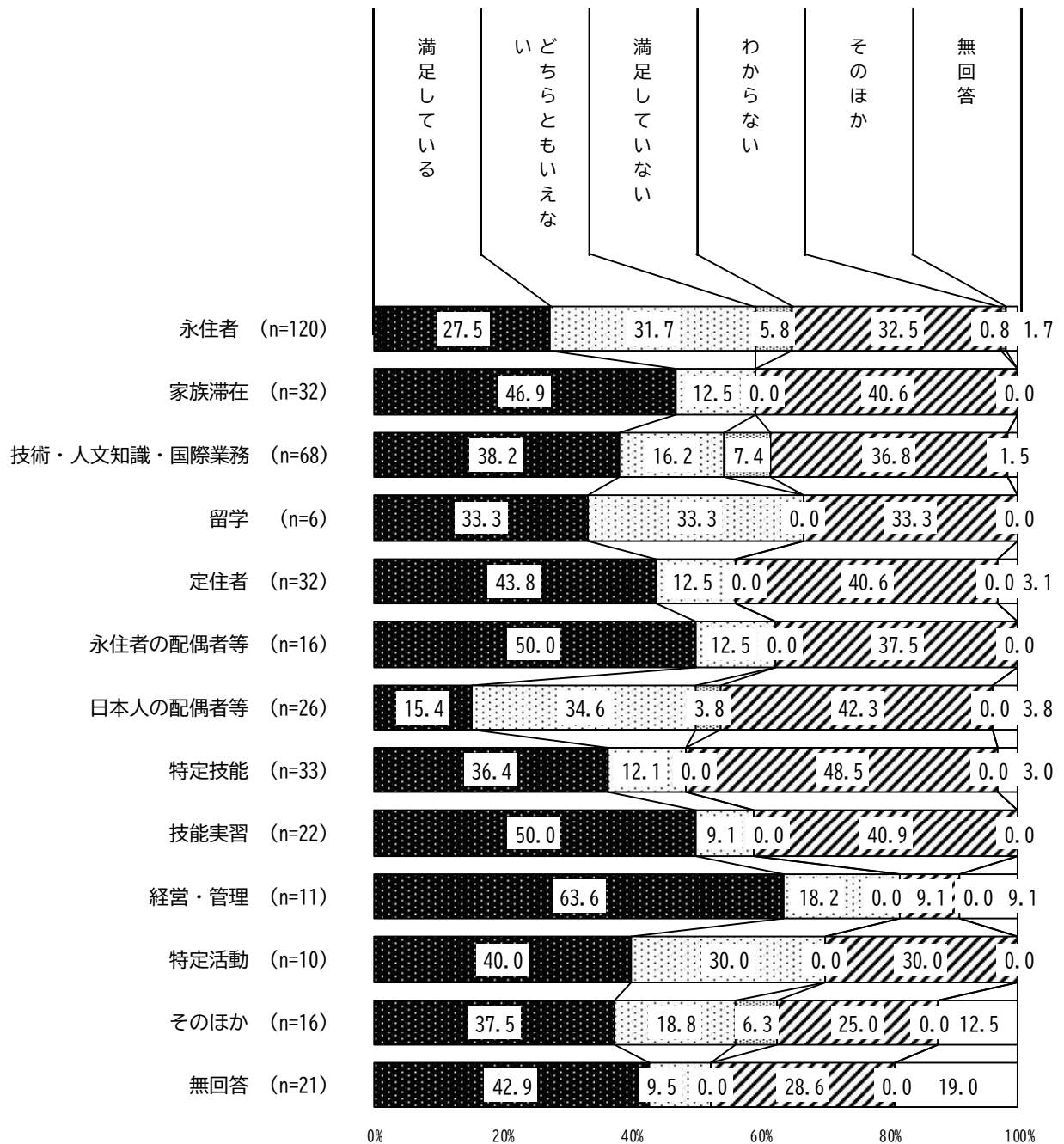
<図表 30 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アジア出身、東南アジア出身、アフリカ出身では「満足している」が、東アジア出身では「どちらともいえない」が、南アメリカ出身、その他の国籍地域出身では「わからない」が最も高くなっている。

<図表 30 -3> 在留資格別



<調査結果>

在留資格別に見ると、家族滞在、技術・人文知識・国際業務、定住者、永住者の配偶者等、技能実習、経営・管理、特定活動、そのほかの在留資格では「満足している」が最も高くなっている。

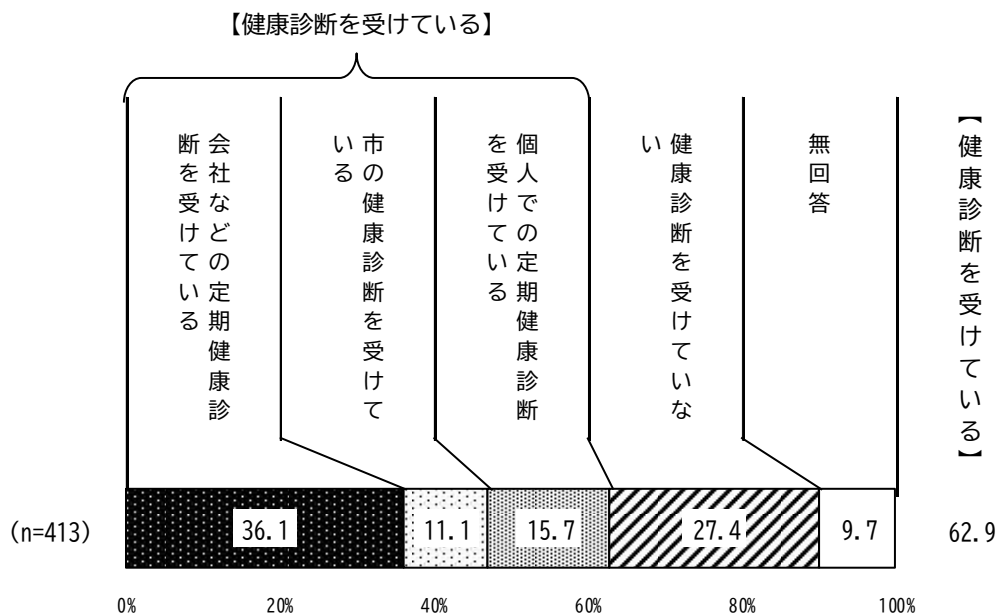


## 6 健康診断や病院でのことばについて

### (31) 定期健康診断の受診状況

Q31. 1年に1回の定期健康診断を受けていますか

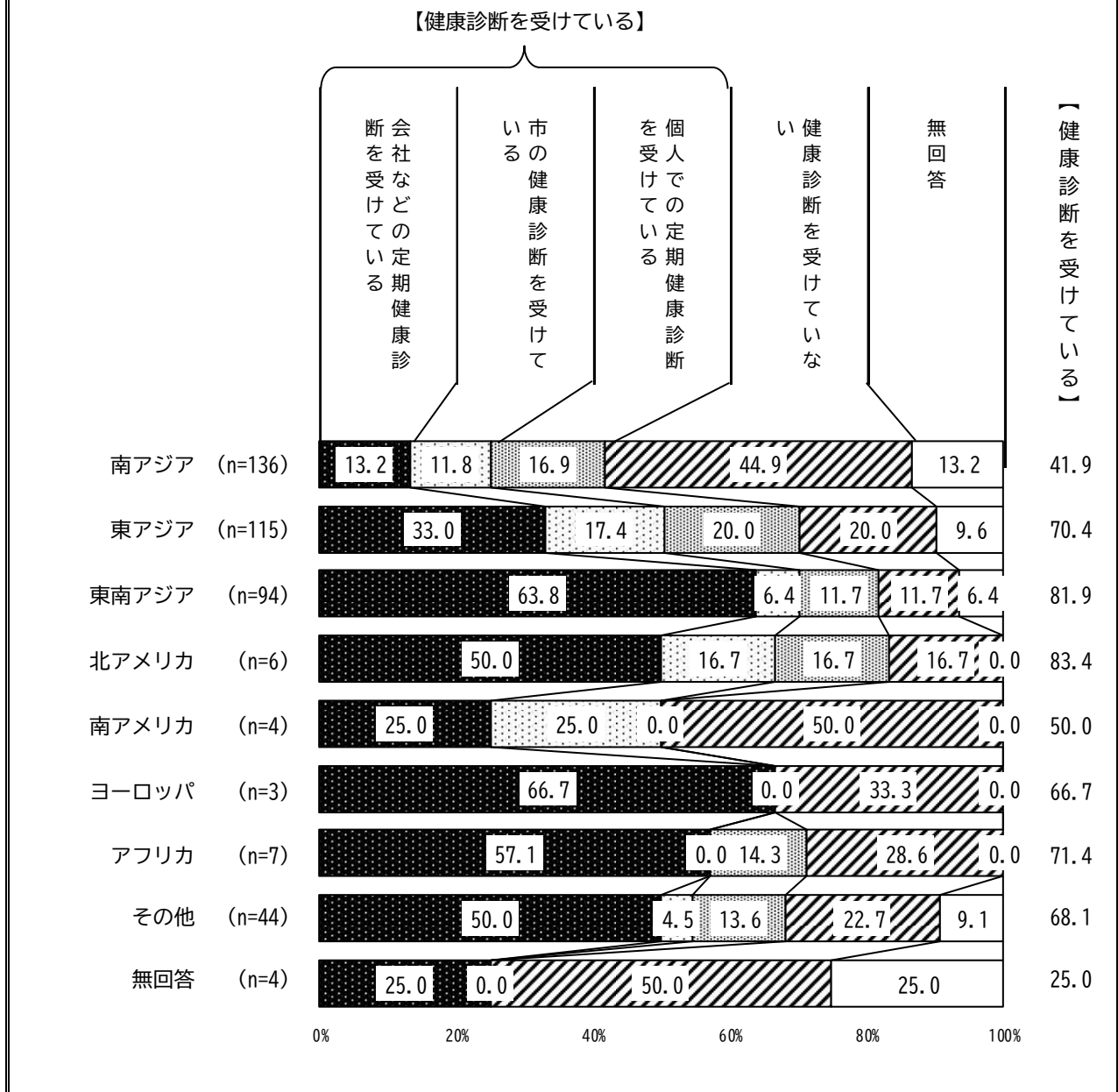
<図表 31-1>



#### <調査結果>

1年に1回の定期健康診断を受けているか聞いたところ、「会社などの定期健康診断を受けている」(36.1%)が3割半ばで最も高くなっています。次いで「健康診断を受けていない」(27.4%)、「個人での定期健康診断を受けている」(15.7%)となっています。

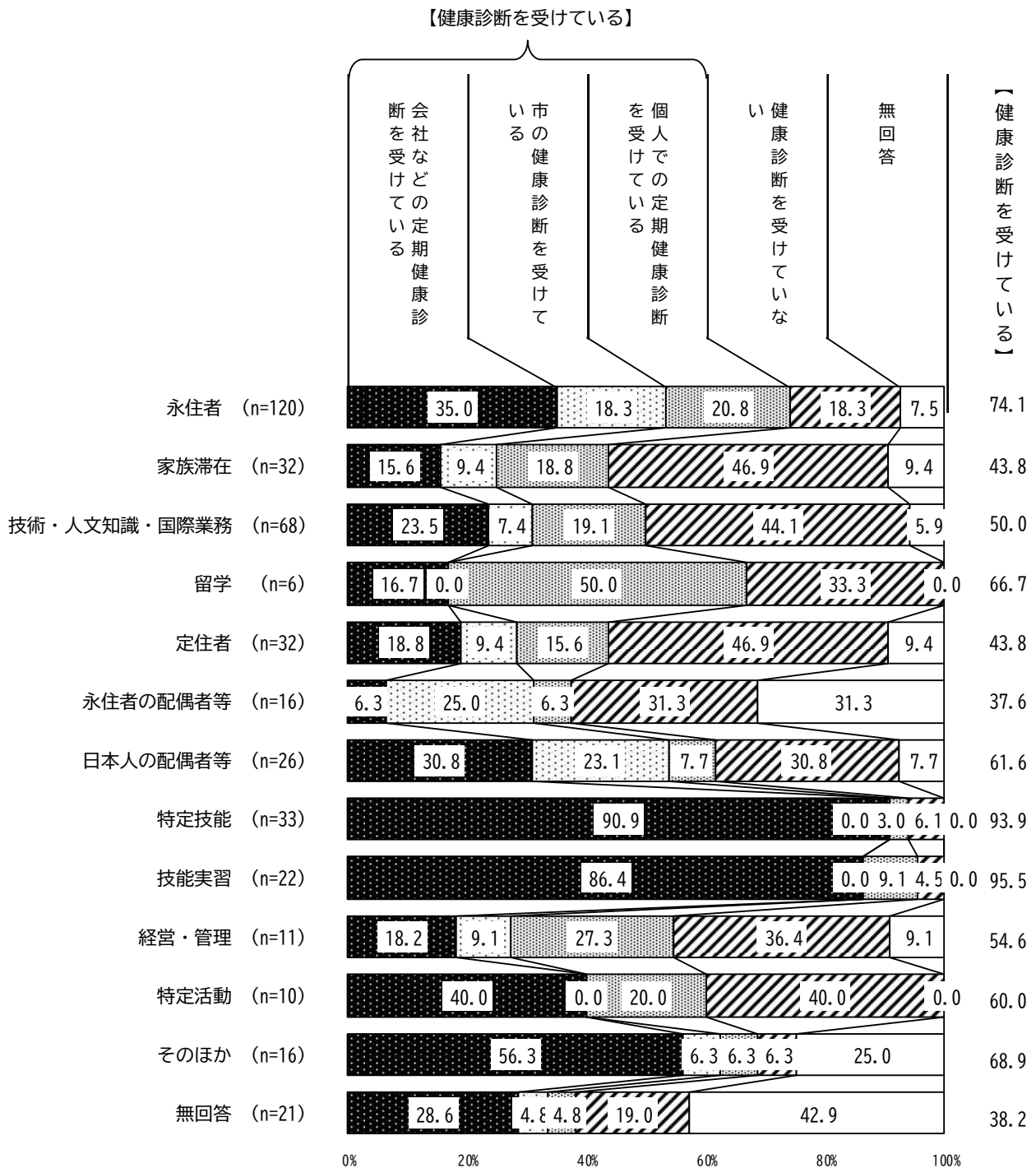
<図表 31 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アメリカ出身では受診状況に差はありませんが、南アジア出身では「健康診断を受けていない」が最も高く、それ以外の国籍地域出身では【健康診断を受けている】が高くなっています。

<図表 31 - 3>在留資格別



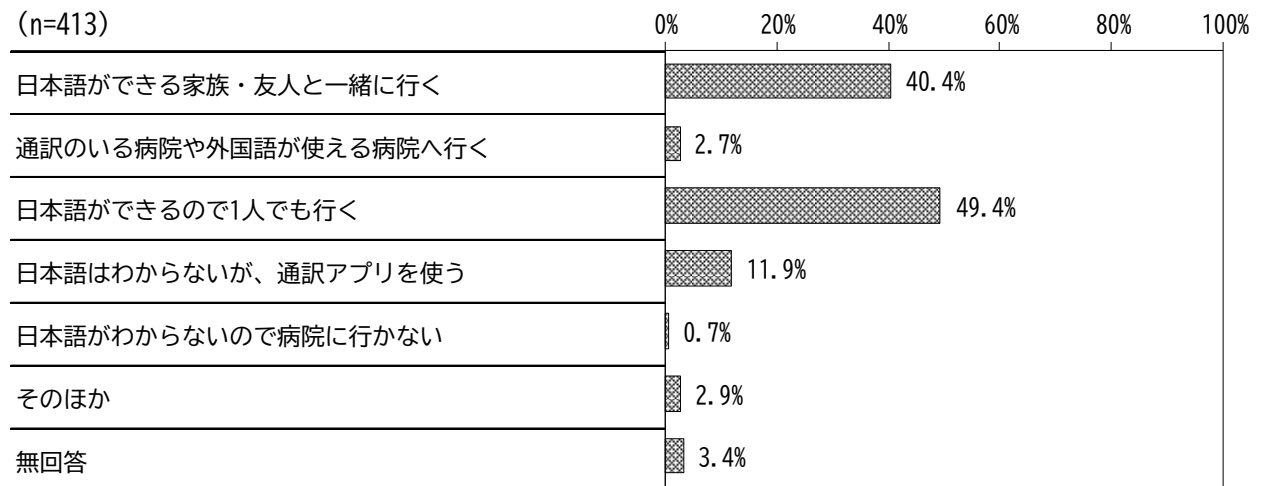
<調査結果>

在留資格別に見ると、家族滞在、定住者では「健康診断を受けていない」が最も高く、それ以外の在留資格では【健康診断を受けている】が最も高くなっています。

### (32) 病院に行く場合について

Q32. 病院に行くときはどうしていますか(○はいくつでも)

<図表 32>



#### <調査結果>

病院に行くときはどうしているか聞いたところ、「日本語ができるので1人でも行く」(49.4%)が約5割で最も高くなっています。次いで、「日本語ができる家族・友人と一緒にいく」(40.4%)、「日本語はわからないが、通訳アプリを使う」(11.9%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・組合の人と行く
- ・会社の人といっしょにいく
- ・社長といっしょにいく
- ・他の人に電話をかけて通訳してもらう

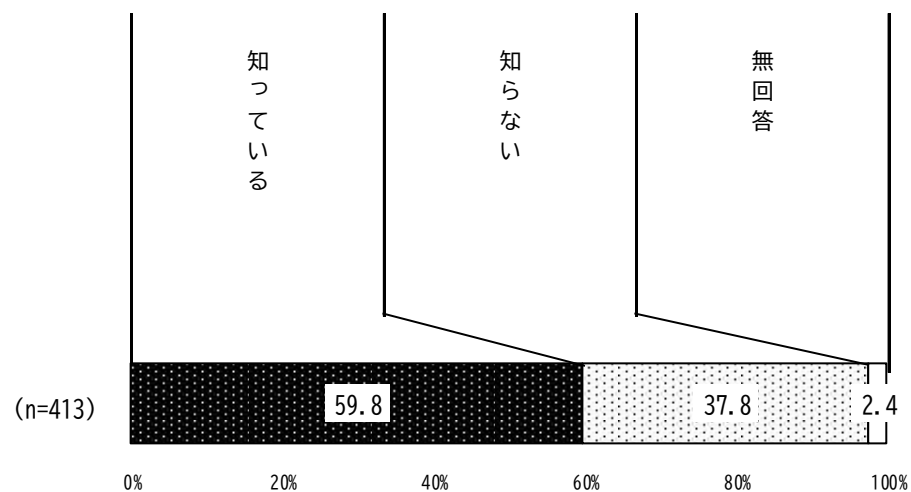
など

## 7 地震や台風について

### (33) 地震や台風のときに逃げるところ

Q33. 地震や台風のときに逃げるところを知っていますか

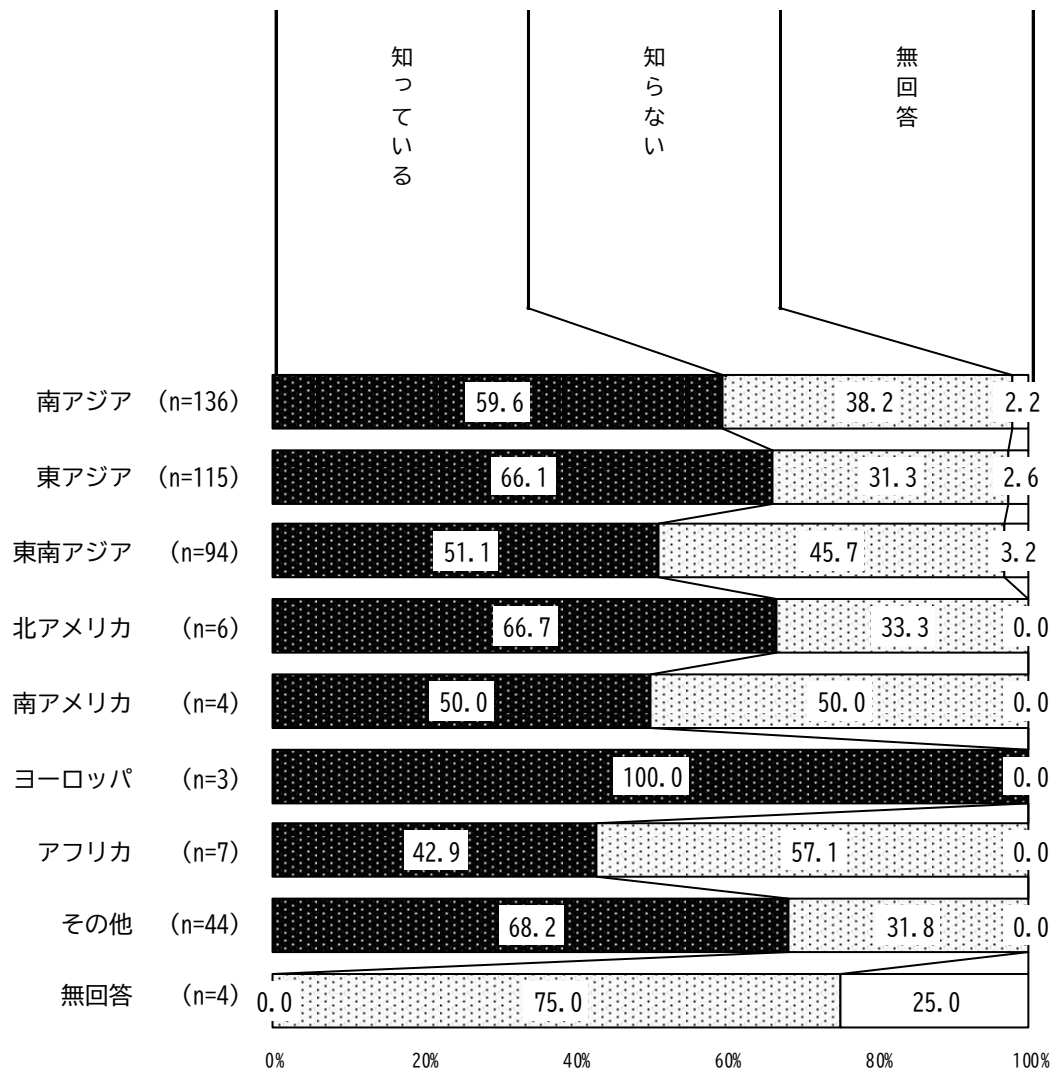
<図表 33-1>



#### <調査結果>

地震や台風のときに逃げるところを知っているか聞いたところ、「知っている」(59.8%)が約6割で最も高くなっています。

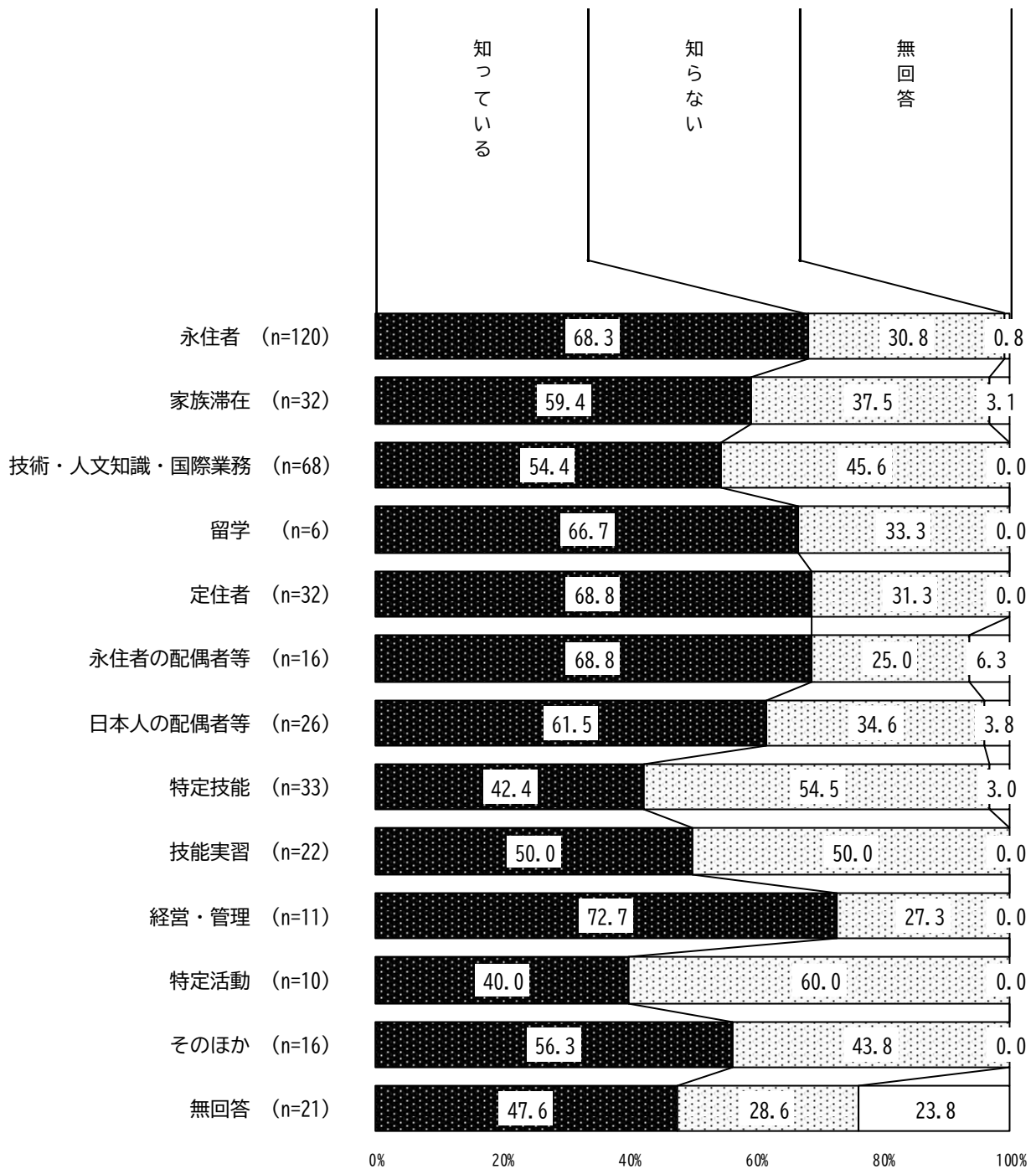
<図表 33 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アメリカ出身では回答に差はありませんでしたが、アフリカ出身では「知らない」が最も高く、それ以外の国籍地域出身では「知っている」が最も高くなっています。

<図表 33 - 3> 在留資格別



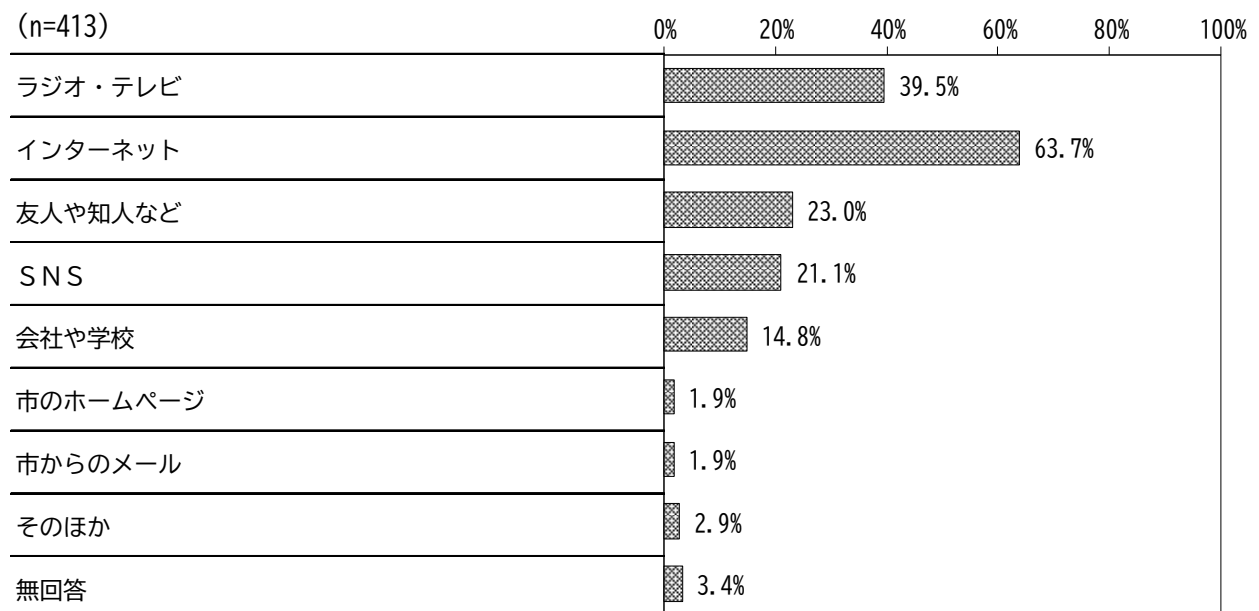
<調査結果>

在留資格別に見ると、技能実習では回答に差はありませんでしたが、特定技能、特定活動では「知らない」が、それ以外の在留資格では「知っている」が最も高くなっています。

### (34) 地震や台風のことを知る方法

Q34. 地震や台風のこととはどうやって知りますか(○はいくつでも)

<図表 34>



#### <調査結果>

地震や台風のこととはどうやって知るか聞いたところ、「インターネット」(63.7%)が6割を超え最も高くなっています。次いで、「ラジオ・テレビ」(39.5%)、「友人や知人など」(23.0%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・ YouTube
- ・ 家族
- ・ 四街道市の防災速報
- ・ 新聞
- ・ NHK のアプリ

など

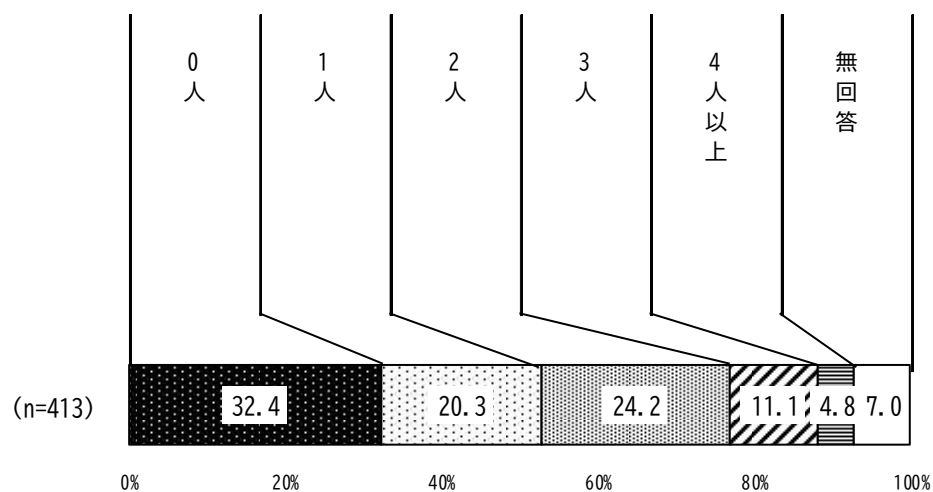


## 8 子どものことについて

### (35) 子どもの人数

Q35. 子どもは何人いますか

<図表 35>



#### <調査結果>

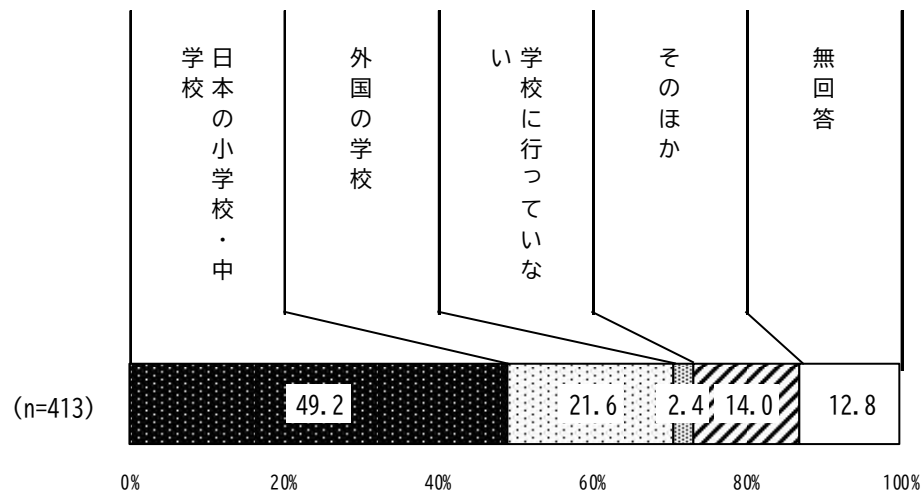
子ども人数聞いたところ、「0 人」(32.4%) が 3 割を超え最も高くなっています。

### (36) 子どもの勉強する場（1人目の子ども）

Q36. 子どもが6歳～15歳のとき、どこで勉強していますか・していましたか

Q35で2～5を選んだ方:1人目の子ども

<図表 36-1>



#### <調査結果>

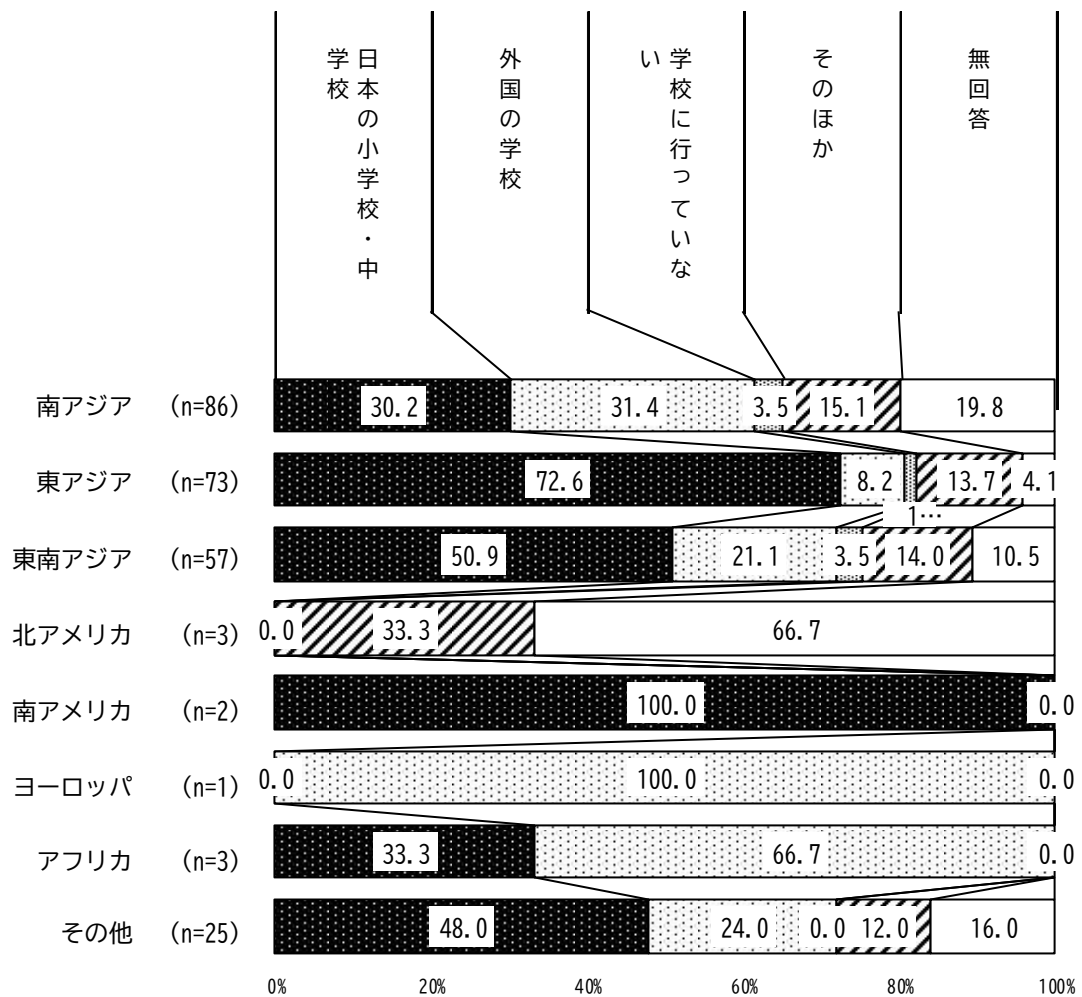
1人目の子どもが6歳～15歳のとき、どこで勉強しているか、またはしていたか聞いたところ、「日本の小学校・中学校」(49.2%)が約5割で最も高くなっています。次いで「外国の学校」(21.6%)、「そのほか」(14.0%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

- ・中国の小学校、日本の中学、高校、大学
- ・インターナショナルスクール
- ・台湾の小学校と中学校で学びました
- ・中国で学び、暮らした。

など

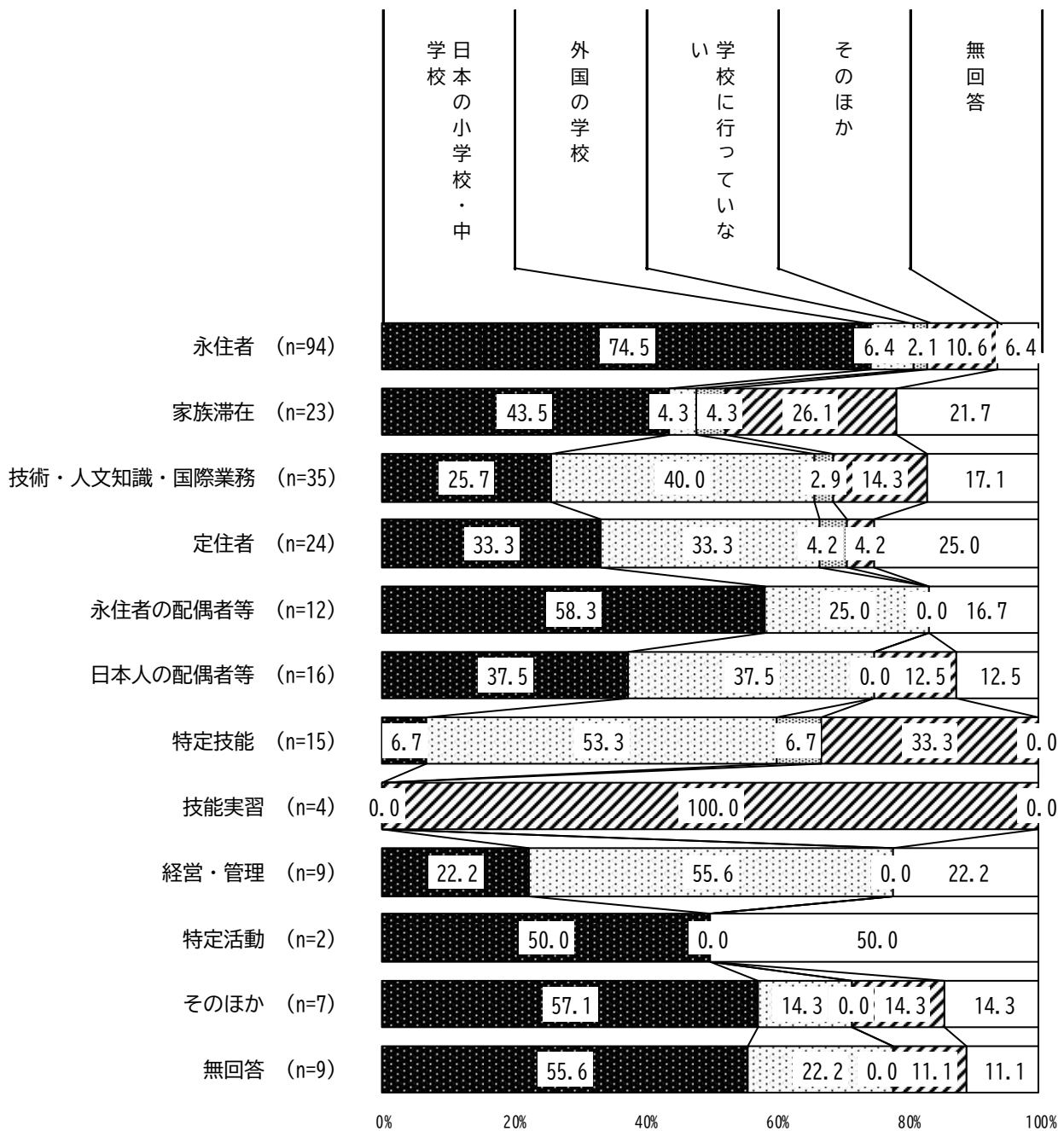
<図表 36 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身、東南アジア出身、南アメリカ出身、その他の国籍地域出身では「日本の小学校・中学校」が最も高くなっており、南アジア出身、ヨーロッパ出身、アフリカ出身では「外国の学校」が最も高くなっています。

<図表 36 - 3> 在留資格別



<調査結果>

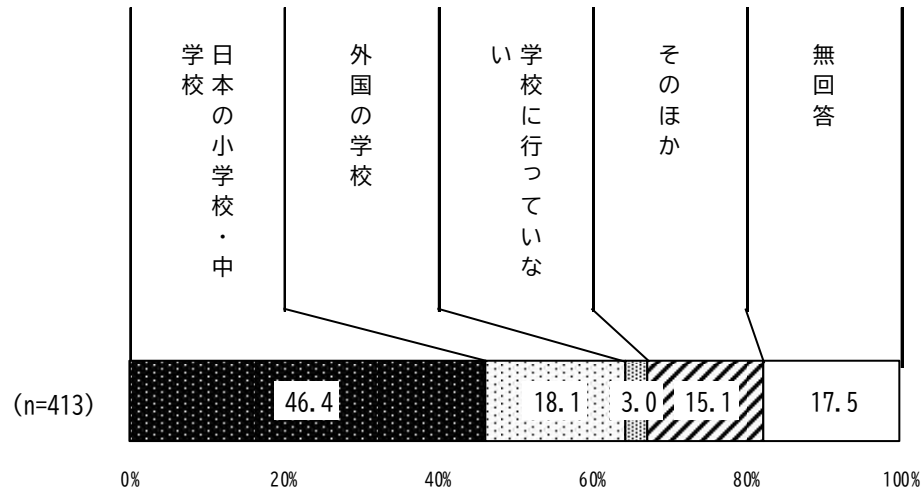
在留資格別に見ると、永住者、家族滞在、永住者の配偶者等、その他の在留資格では「日本の小学校・中学校」が最も高くなっています。

### (37) 子どもの勉強する場（2人目の子ども）

Q37. 子どもが6歳～15歳のとき、どこで勉強していますか・していましたか

問35で3～5を選んだ方:2人目の子ども

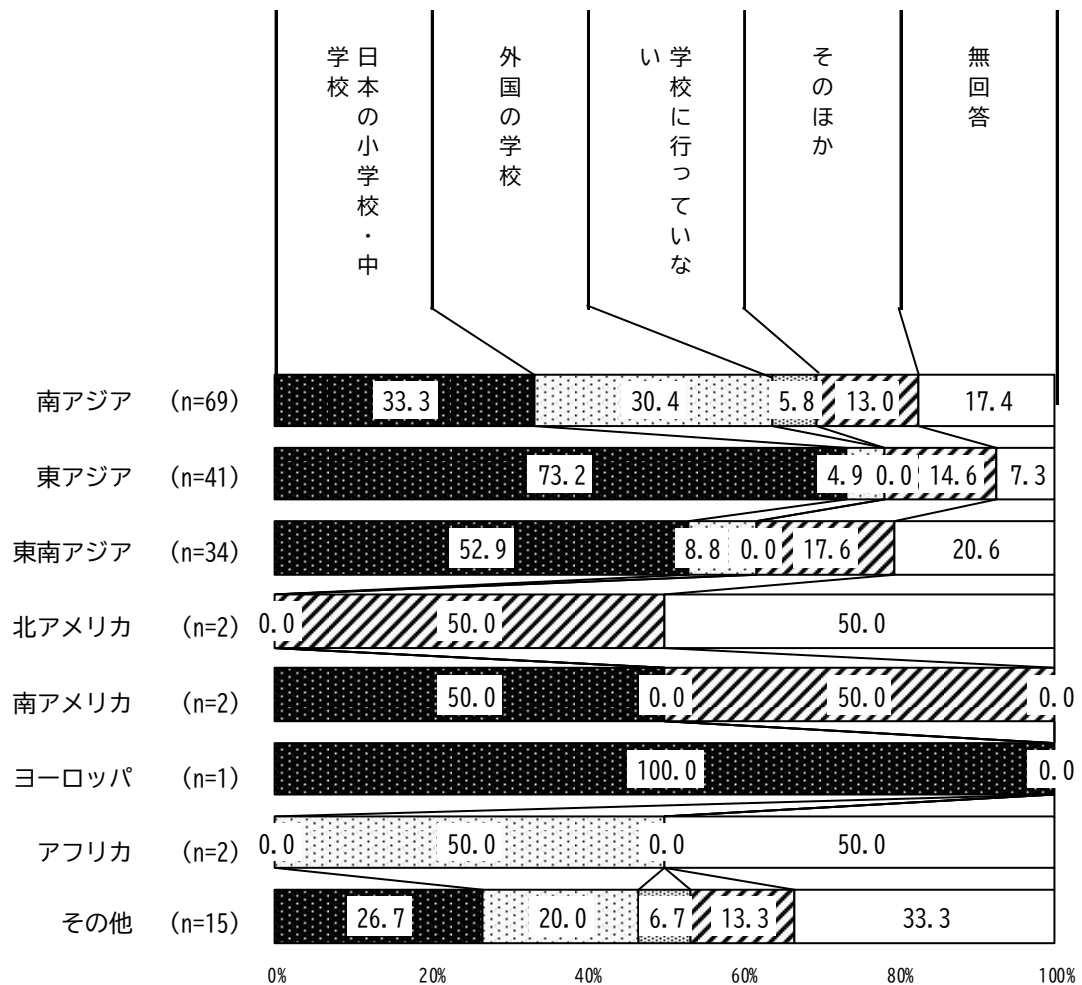
<図表 37-1>



#### <調査結果>

2人目の子どもが6歳～15歳のとき、どこで勉強しているか、またはしていたか聞いたところ、「日本の小学校・中学校」(46.4%)が5割半ばで最も高くなっています。次いで「外国の学校」(18.1%)、「そのほか」(15.1%)となっています。

<図表 37 - 2>国籍地域別

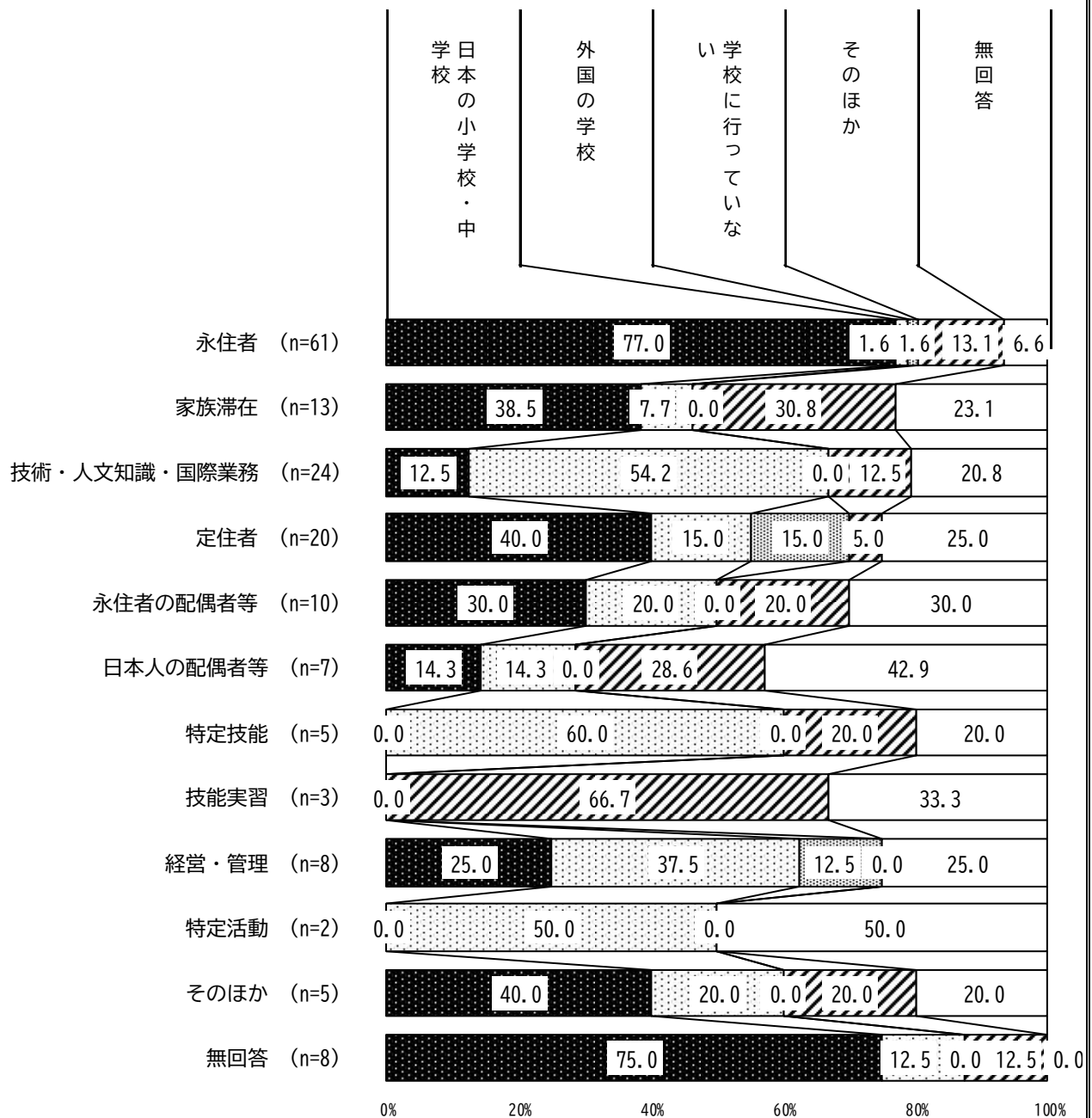


<調査結果>

国籍地域別に見ると、東アジア出身、東南アジア出身、その他の国籍地域出身では「日本の小学校・中学校」が最も高くなっており、南アジア出身では「外国の学校」が最も高くなっています。

北アメリカ出身、南アメリカ出身、アフリカ出身では回答に差がありませんでした。

<図表 37 - 3>在留資格別



<調査結果>

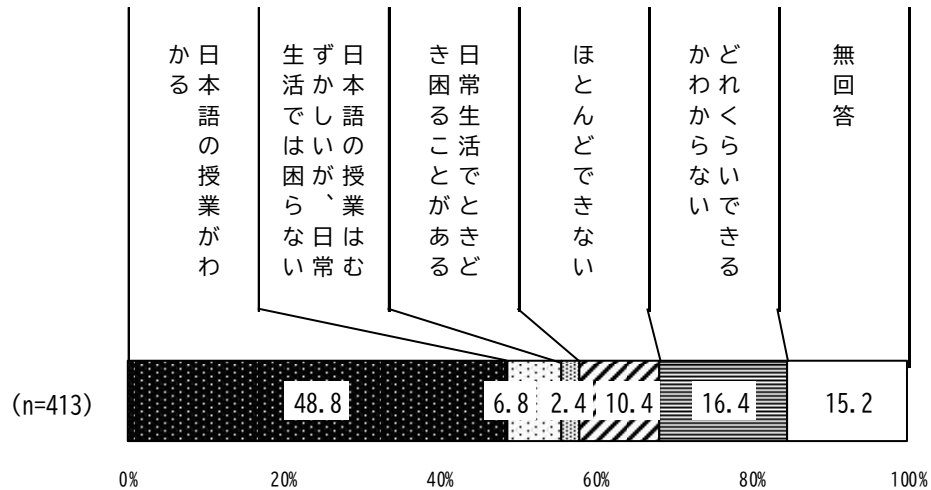
在留資格別に見ると、永住者、家族滞在、定住者、その他の在留資格では「日本の小学校・中学校」が最も高くなっています。

### (38) 子どもの日本語について（1人目の子ども）

Q38. あなたの子どもは日本語はどのくらいできますか

問 35 で 2～5 を選んだ方:1人目の子ども

<図表 38-1>

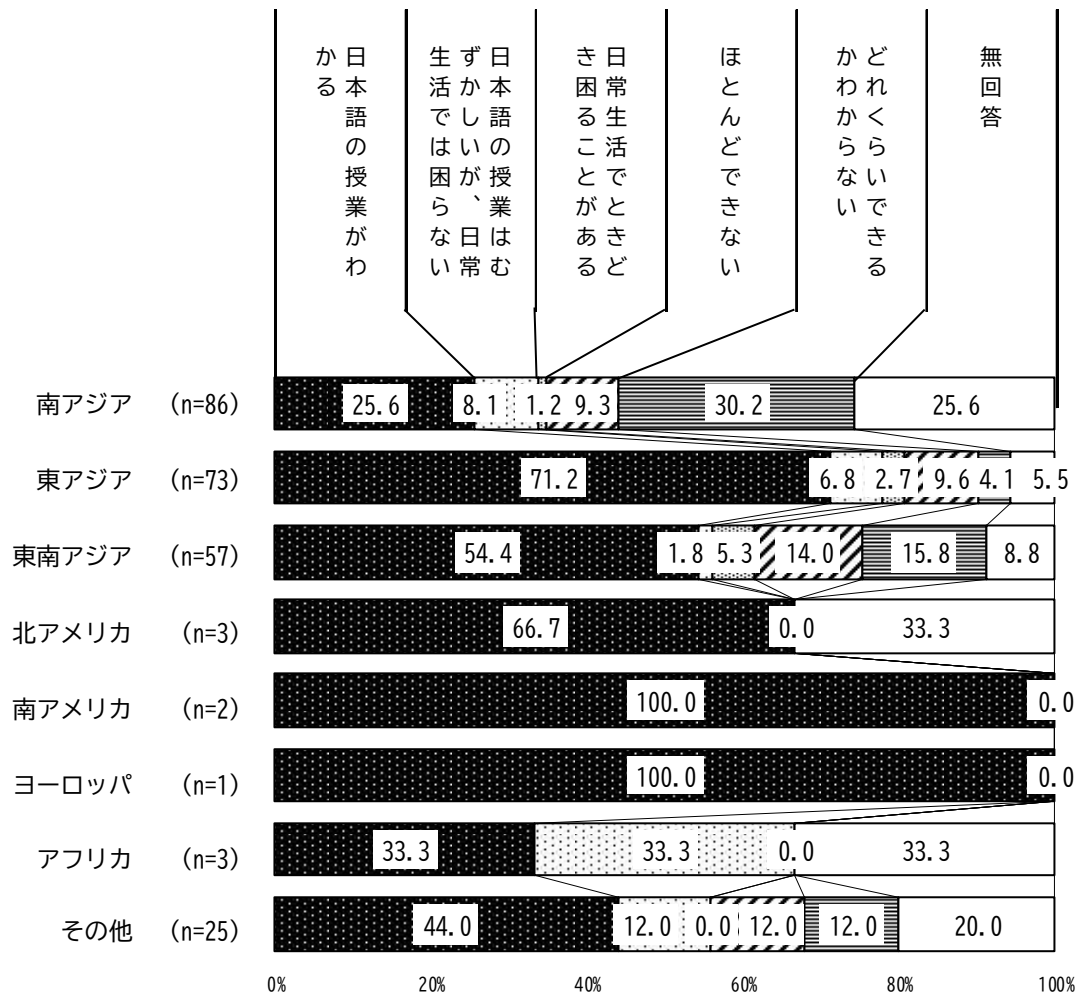


#### <調査結果>

1人目の子どもの日本語の習熟度を聞いたところ、「日本語の授業がわかる」（48.8%）が5割近くで最も高くなっています。次いで「どれくらいできるかわからない」（16.4%）、「ほとんどできない」（10.4%）となっています。



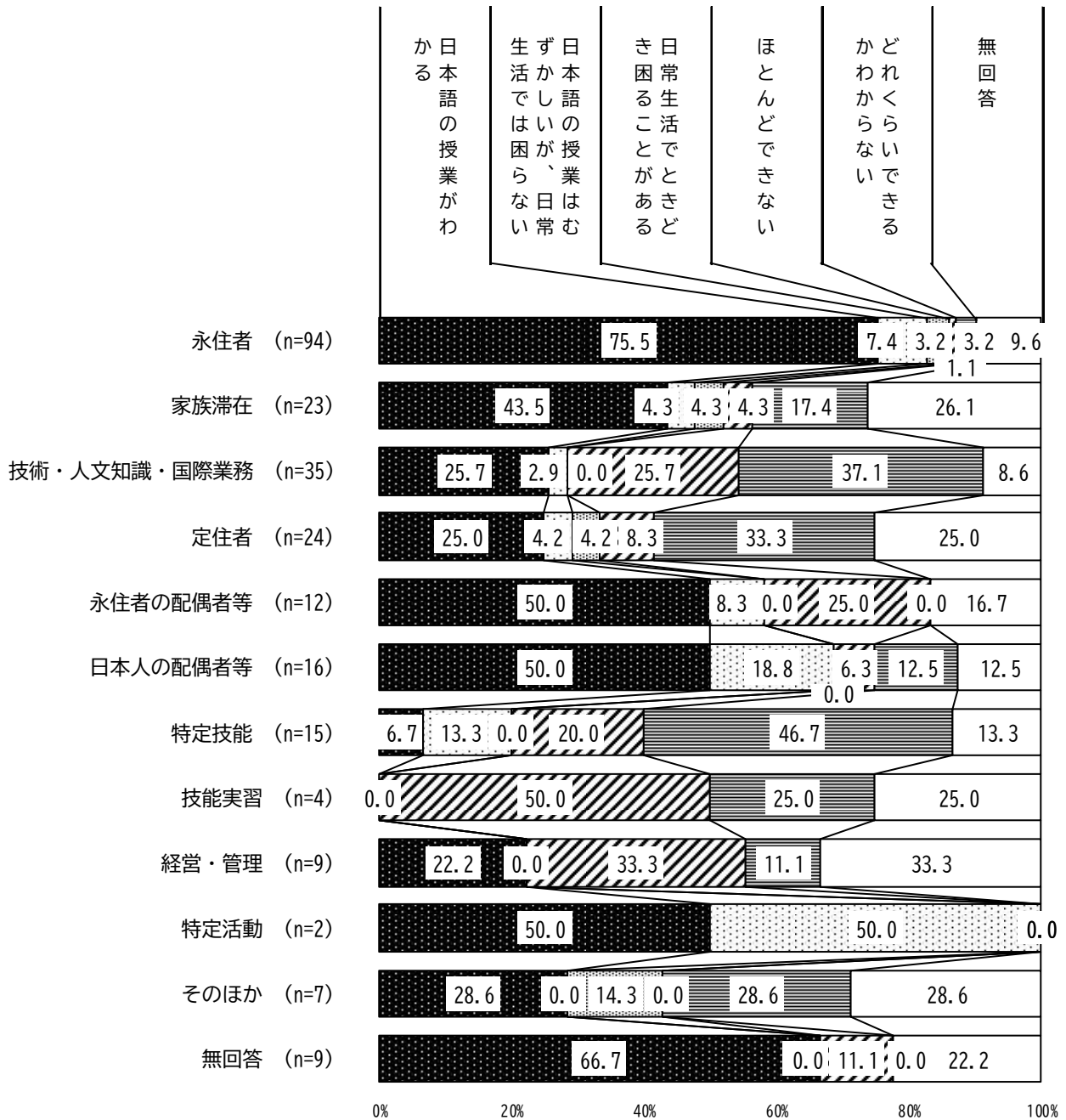
<図表 38 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アジア出身では「どれくらいできるかわからない」が最も高くなっており、それ以外の国籍地域出身では「日本語の授業がわかる」が最も高くなっています。なお、アフリカ出身では回答に差がありませんでした。

<図表 38 - 3>在留資格別



<調査結果>

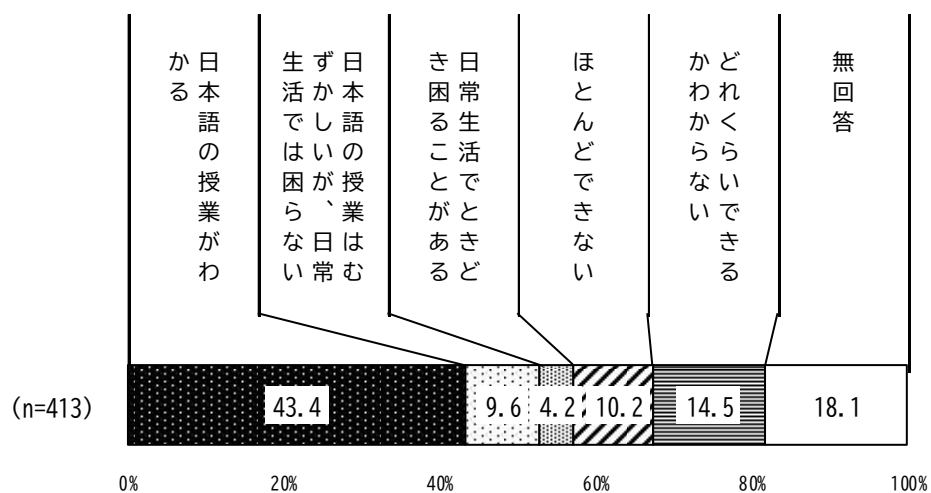
在留資格別に見ると、永住者、家族滞在、永住者の配偶者等、日本人の配偶者等では「日本語の授業がわかる」が最も高くなっています。

### (39) 子どもの日本語について（2人目の子ども）

Q39. あなたの子どもは日本語はどのくらいできますか

問 35 で 3～5 を選んだ方:2 人目の子ども

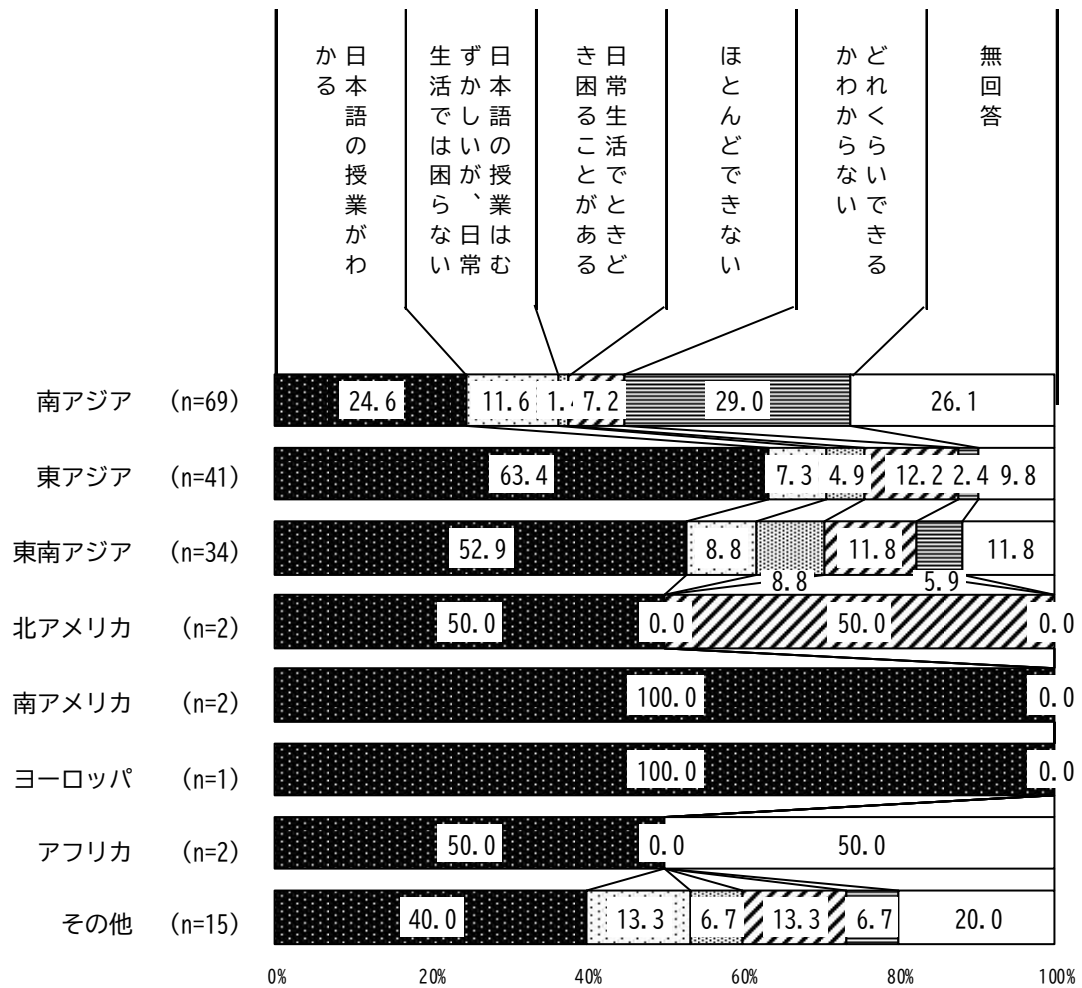
<図表 39-1>



#### <調査結果>

2人目の子どもの日本語の習熟度を聞いたところ、「日本語の授業がわかる」（43.4％）が4割を超え最も高くなっています。次いで「どれくらいできるかわからない」（14.5％）、「ほとんどできない」（10.2％）となっています。

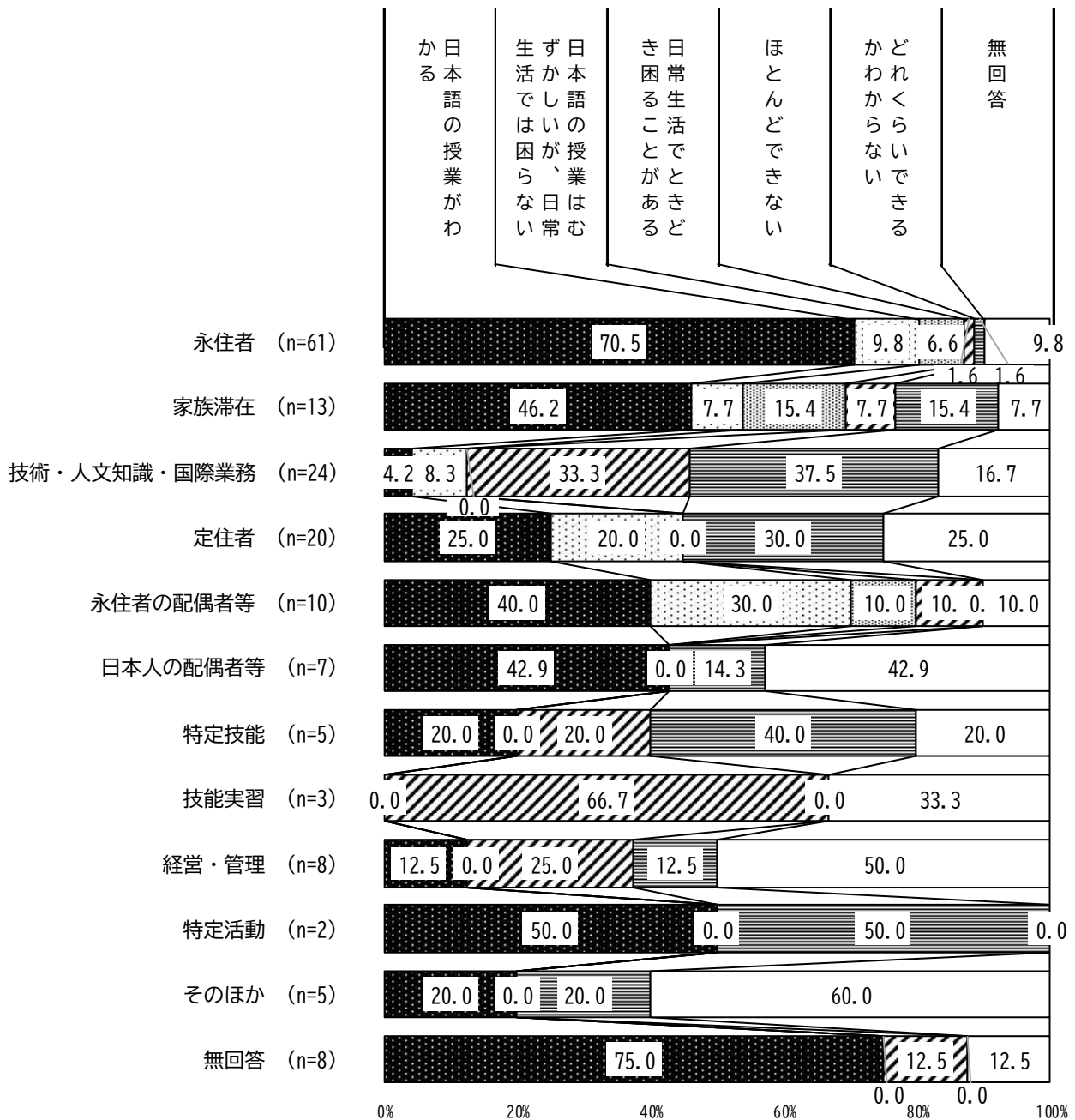
<図表 39 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、南アジア出身では「どれくらいできるかわからない」が最も高くなっており、それ以外の国籍地域出身では「日本語の授業がわかる」が最も高くなっています。なお、北アメリカ出身とアフリカ出身では回答に差がありませんでした。

<図表 39 - 3> 在留資格別



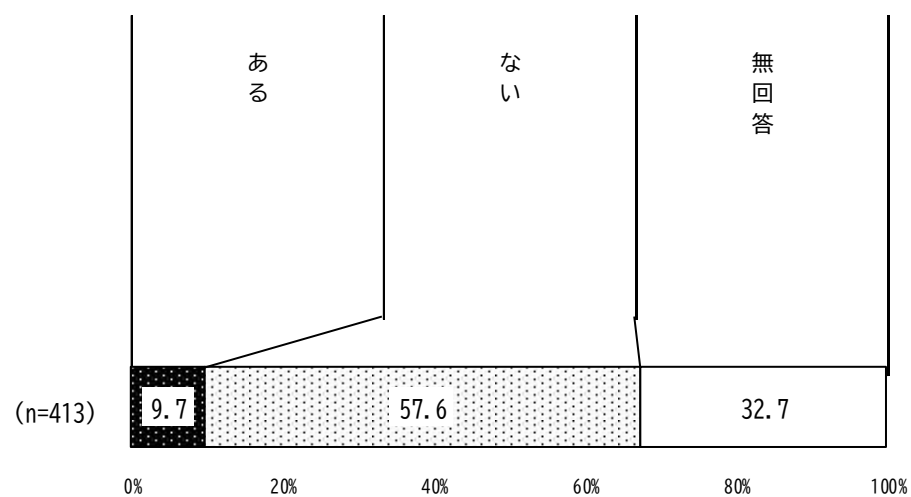
<調査結果>

在留資格別に見ると、永住者、家族滞在、永住者の配偶者等では「日本語の授業がわかる」が最も高くなっています。

## (40) 家族の中での言葉の問題

Q40. 家族の中で、ことばのもんだいを感じたことはありますか

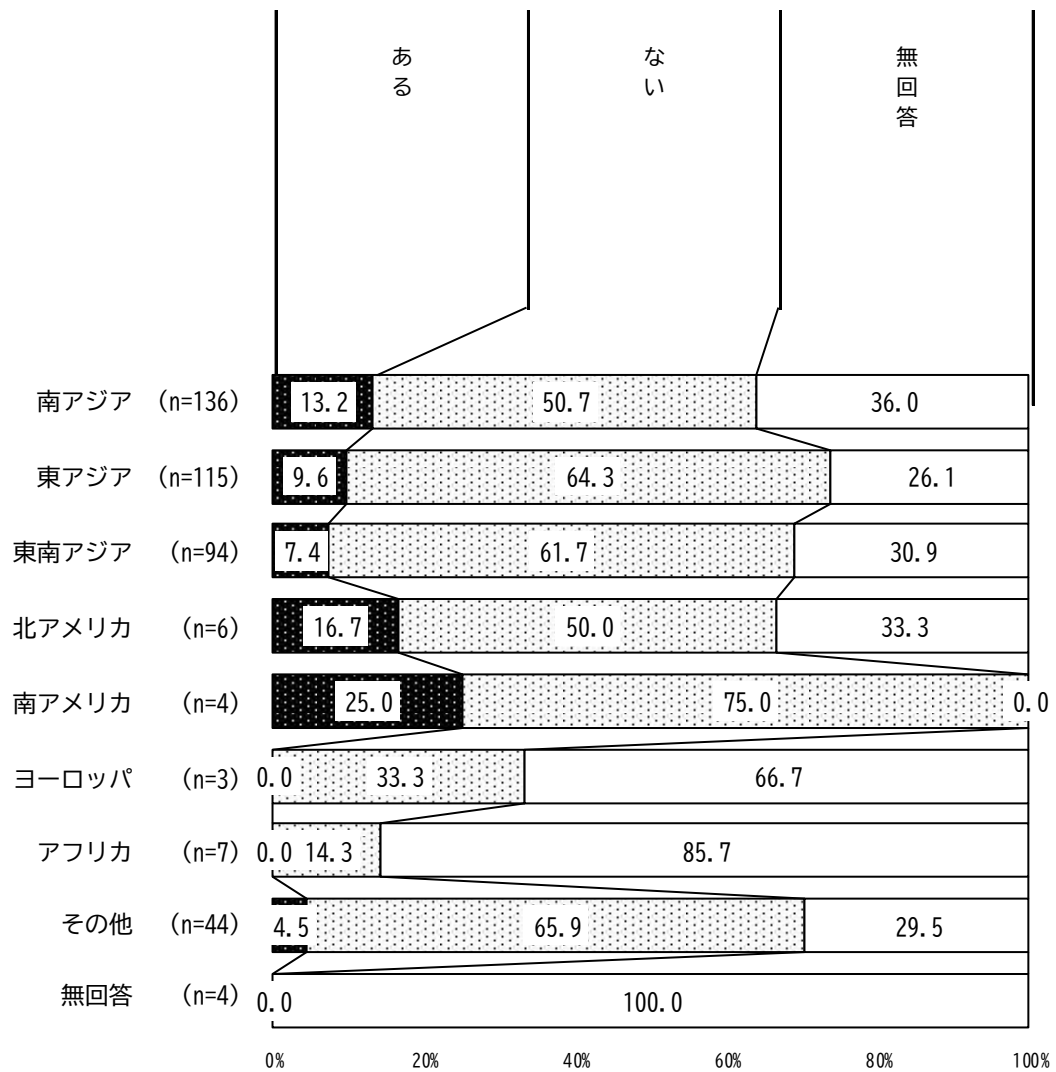
<図表 40-1>



### <調査結果>

家族の中で、言葉の問題を感じたことはあるか聞いたところ、「ない」(57.6%)が5割半ばを超え最も高くなっています。

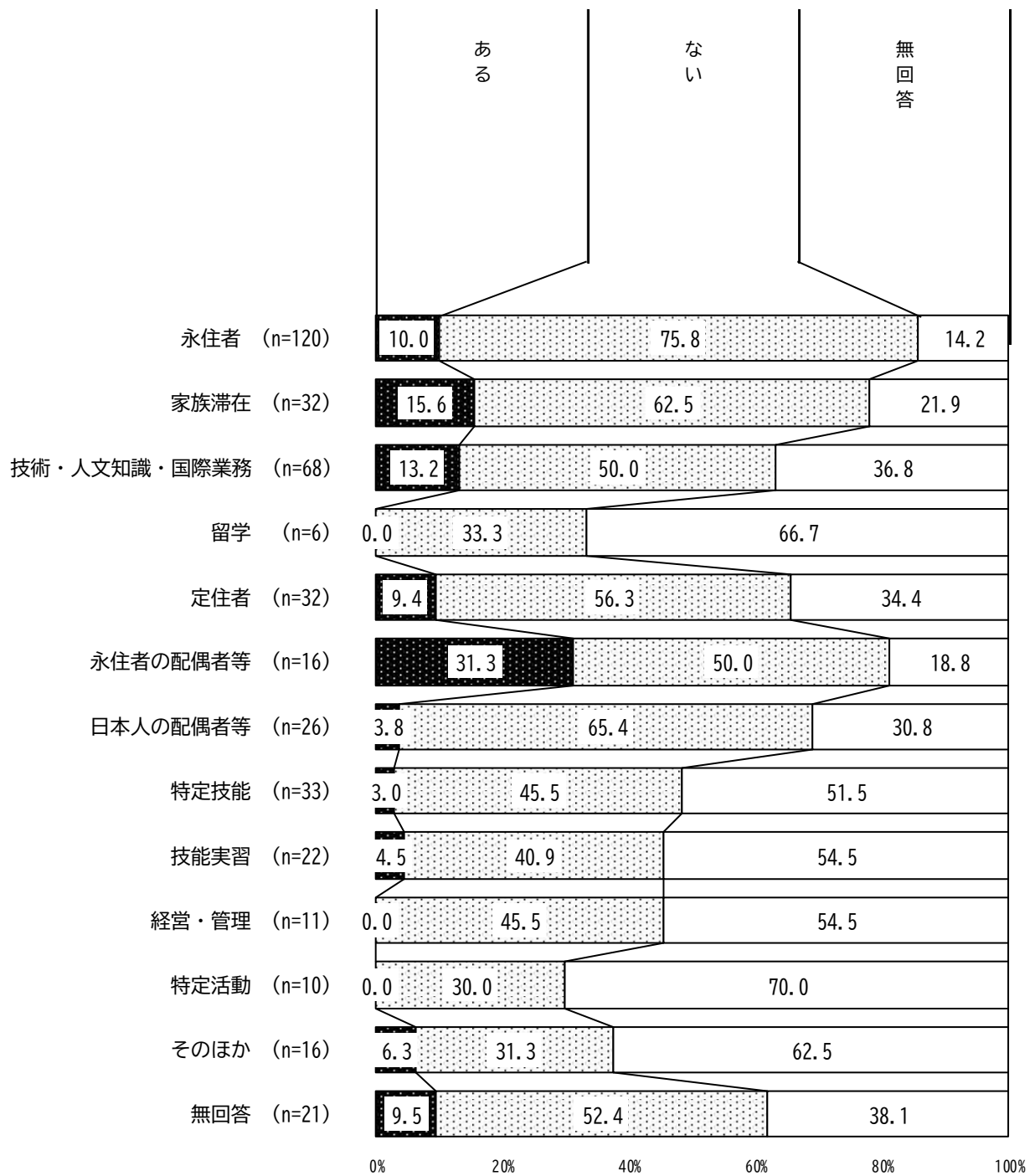
<図表 40 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、すべての国籍地域で「ない」が最も高くなっています。

<図表 40 - 3> 在留資格別



<調査結果>

在留資格別に見ると、すべての在留資格では「ない」が最も高くなっています。



## (41) 家族の中での言葉の問題の具体的な内容

---

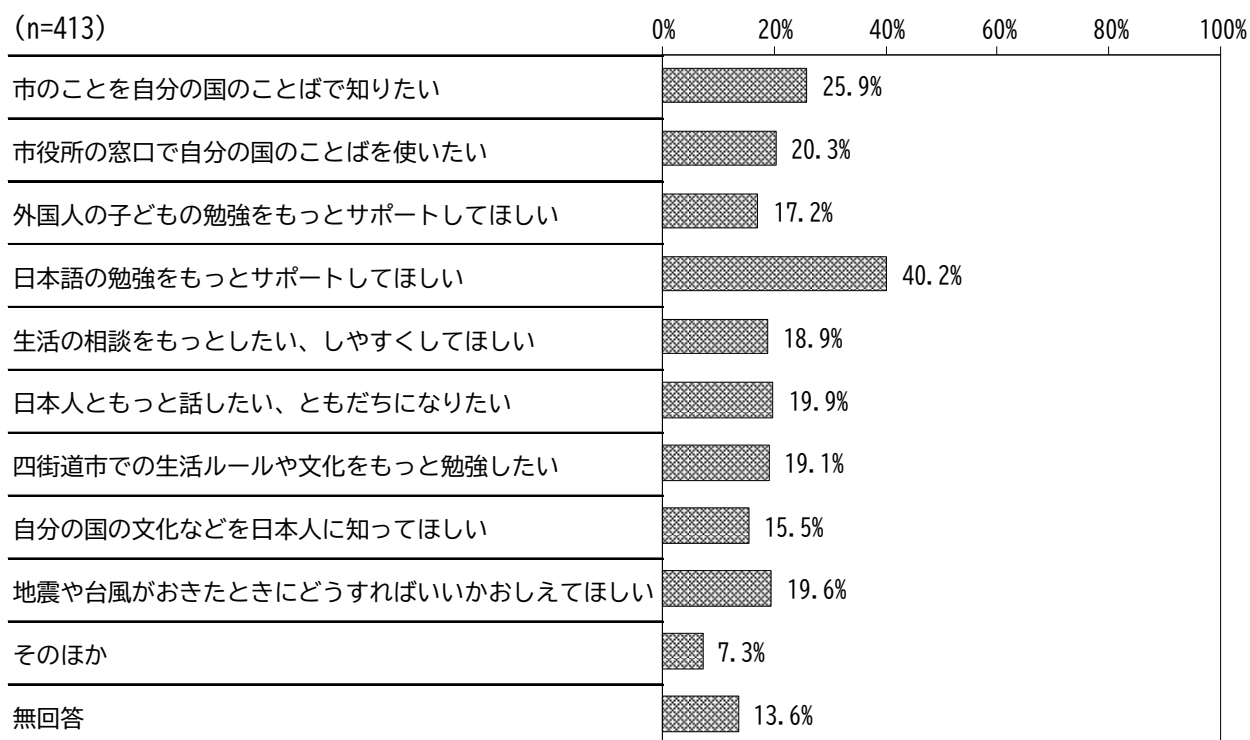
- ・今では子供は日本語と中国語を話します、一番上手。
- ・私たちは相手が理解するまで優しくゆっくり話してコミュニケーションを取ります。
- ・日本語にはわからない言葉がたくさんあります。例えば病院とか市役所で記入する書類のようなものです。でも一日の終わりに私は（家族から日本語の）助けを得ることができました。家族は私が日本語が苦手であることをわかっていても助けてくれようとします。私はこのアンケートが私のような他の外国人が生活しやすくなるために役立つことを願っています。また、ふりがなや連絡先の電話番号、英語で話すことができる補助（員）があればより助けになるでしょう。英語は世界中で使われているからです。私のメッセージを読んでもくださりありがとうございました。頑張ってください。
- ・私が難しい日本語がわからないときは、いつも娘が意味を教えてください。
- ・難しい日本語があるときは、理解するように最善をつくします。グーグル翻訳で訳したり、友達助けを求めたり、インターネットで検索したりします。
- ・子供は来日したばかりなので日本語が未だ聞き取れない。
- ・家族は海外にいます。
- ・家族は海外に住んでいるからです。
- ・病院、市役所、学校。
- ・どこにでも問題があります。私は日本語を話せないし、子供が小さいからです。
- ・日本語を話すのが難しいです。
- ・日本に住んでいても他の国にすんでいても、その国の言葉を学ぶのは大切なことです。
- ・時々産婦人科の診察と問診で。

## 9 行政サービス、市のサービスについて

### (42) 四街道市に望むサービス

Q42. どのようなサービスがほしいですか(○はいくつでも)

<図表 42>



#### <調査結果>

四街道市に望むサービスを聞いたところ、「日本語の勉強をもっとサポートしてほしい」(40.2%)が約4割で最も高くなっています。次いで、「市のことを自分の国のことばで知りたい」(25.9%)、「市役所の窓口で自分の国のことばを使いたい」(20.3%)となっています。

「そのほか」の内容には、以下のものがありました。

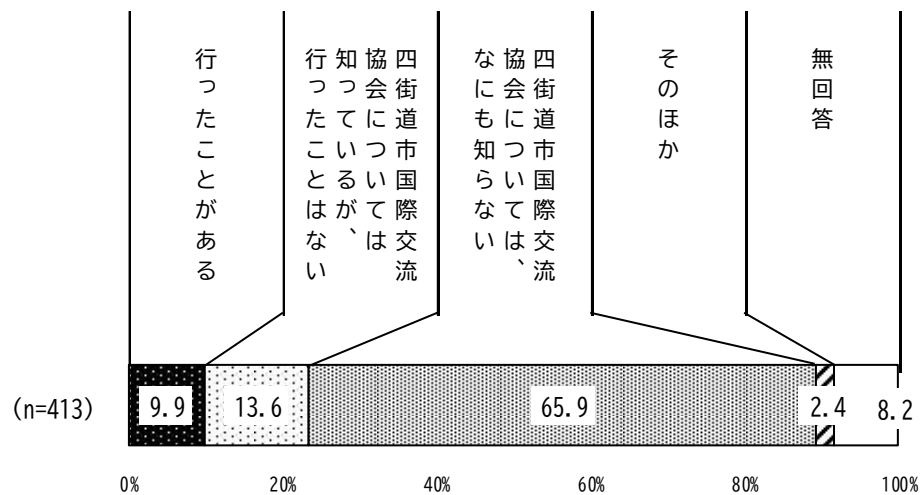
- ・外国人向けのサービスを提供できるダリー語や英語を話せる人。
- ・日本人の配偶者が永住者の申請をするための手助けについて。
- ・学校で子供たちにハラル給食を提供すること。
- ・子供たちが夜中に病気になったとき、どうすればよいか、誰に電話すればよいか。

など

#### (43) 四街道市国際交流協会（YOCCA）の認知度

Q43. 四街道市国際交流協会（YOCCA）を知っていますか

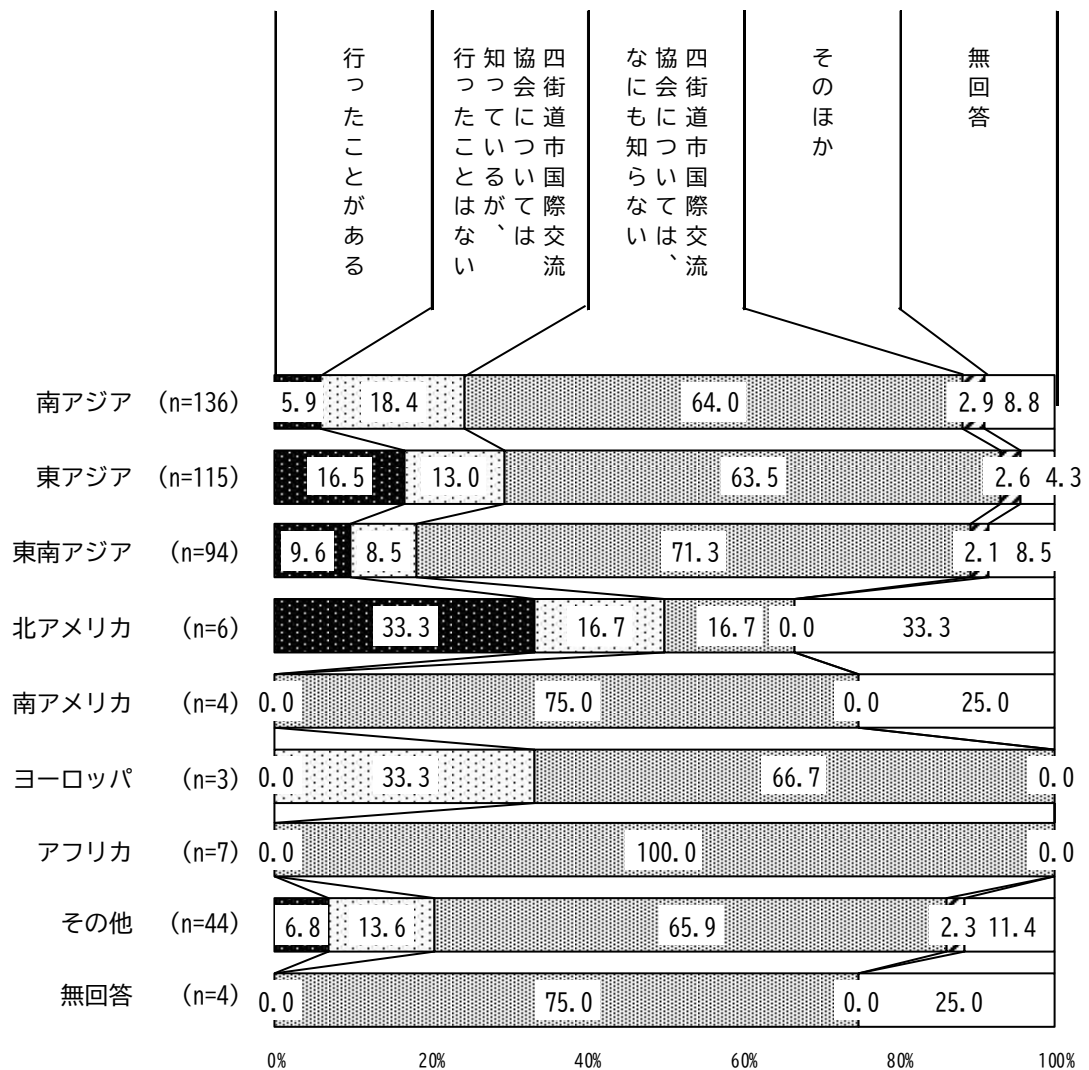
<図表 43-1>



#### <調査結果>

四街道市国際交流協会（YOCCA）を知っているか聞いたところ、「四街道市国際交流協会については、なにも知らない」（65.9%）が6割半ばで最も高くなっています。次いで「四街道市国際交流協会については知っているが、行ったことはない」（13.6%）、「行ったことがある」（9.9%）となっています。

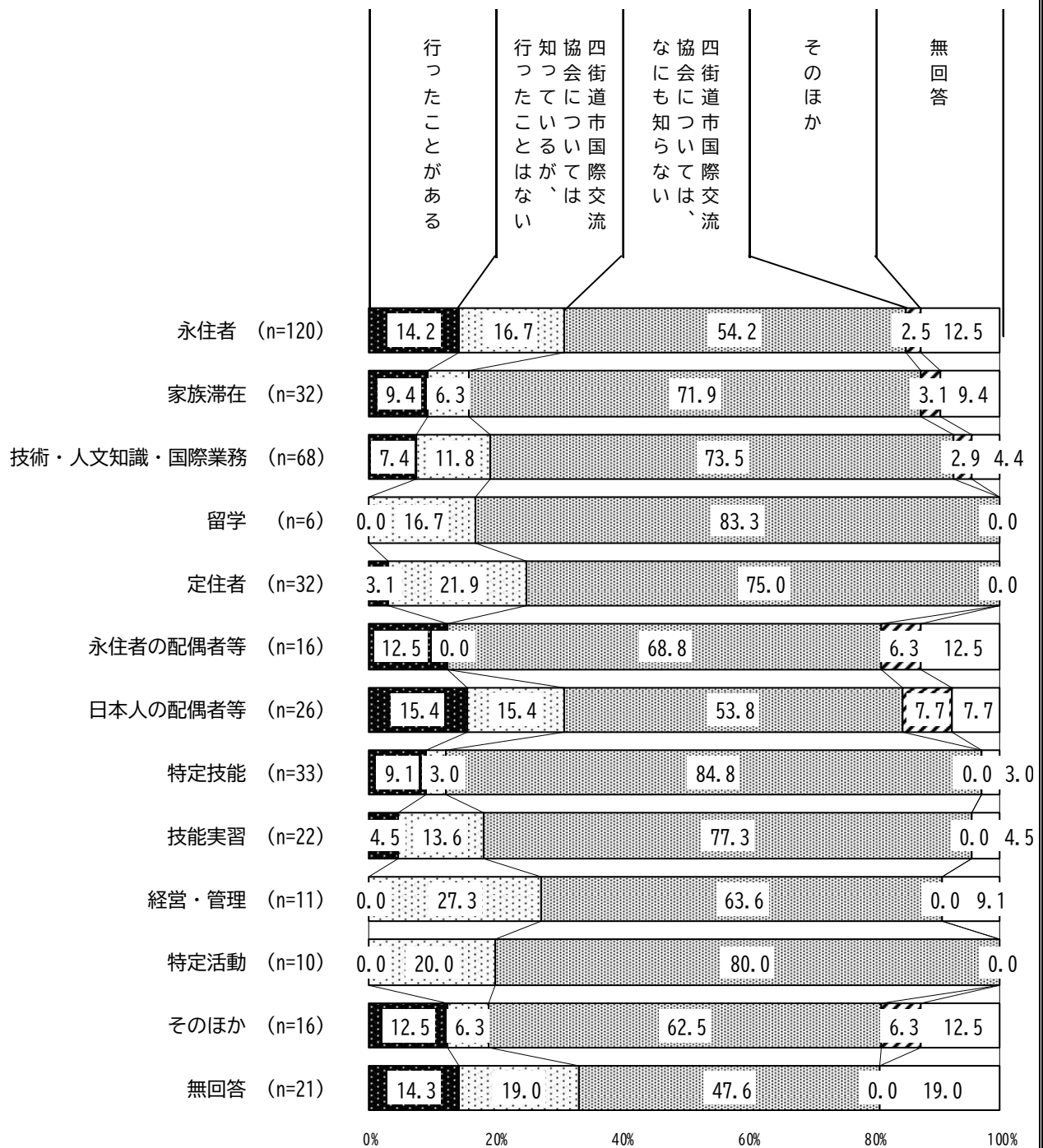
<図表 43 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、北アメリカ出身では「行ったことがある」が最も高くなっており、それ以外の国籍地域出身では「四街道市国際交流協会については、なにも知らない」が最も高くなっています。

<図表 43 - 3> 在留資格別



<調査結果>

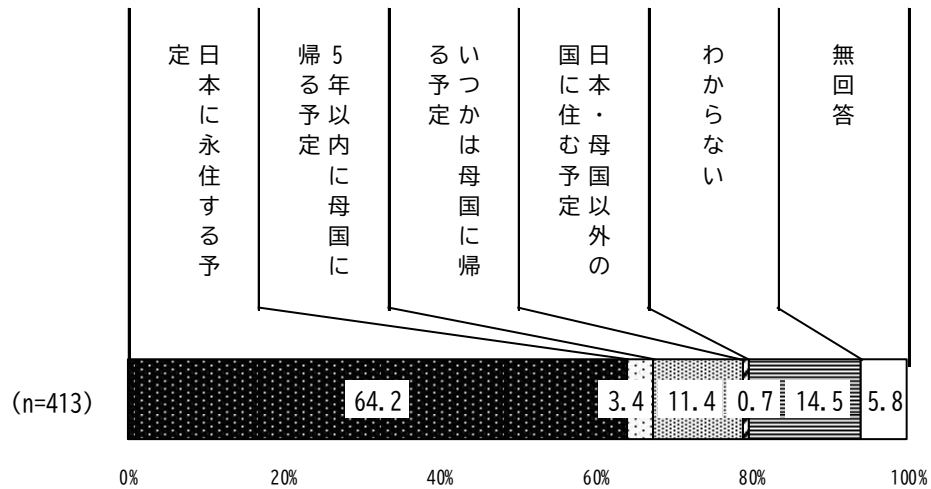
在留資格別に見ると、すべての在留資格で「四街道市国際交流協会については、なにも知らない」が最も高くなっています。

## 10 そのほか

### (44) これからの日本での予定

Q44. これからの日本での予定を教えてください

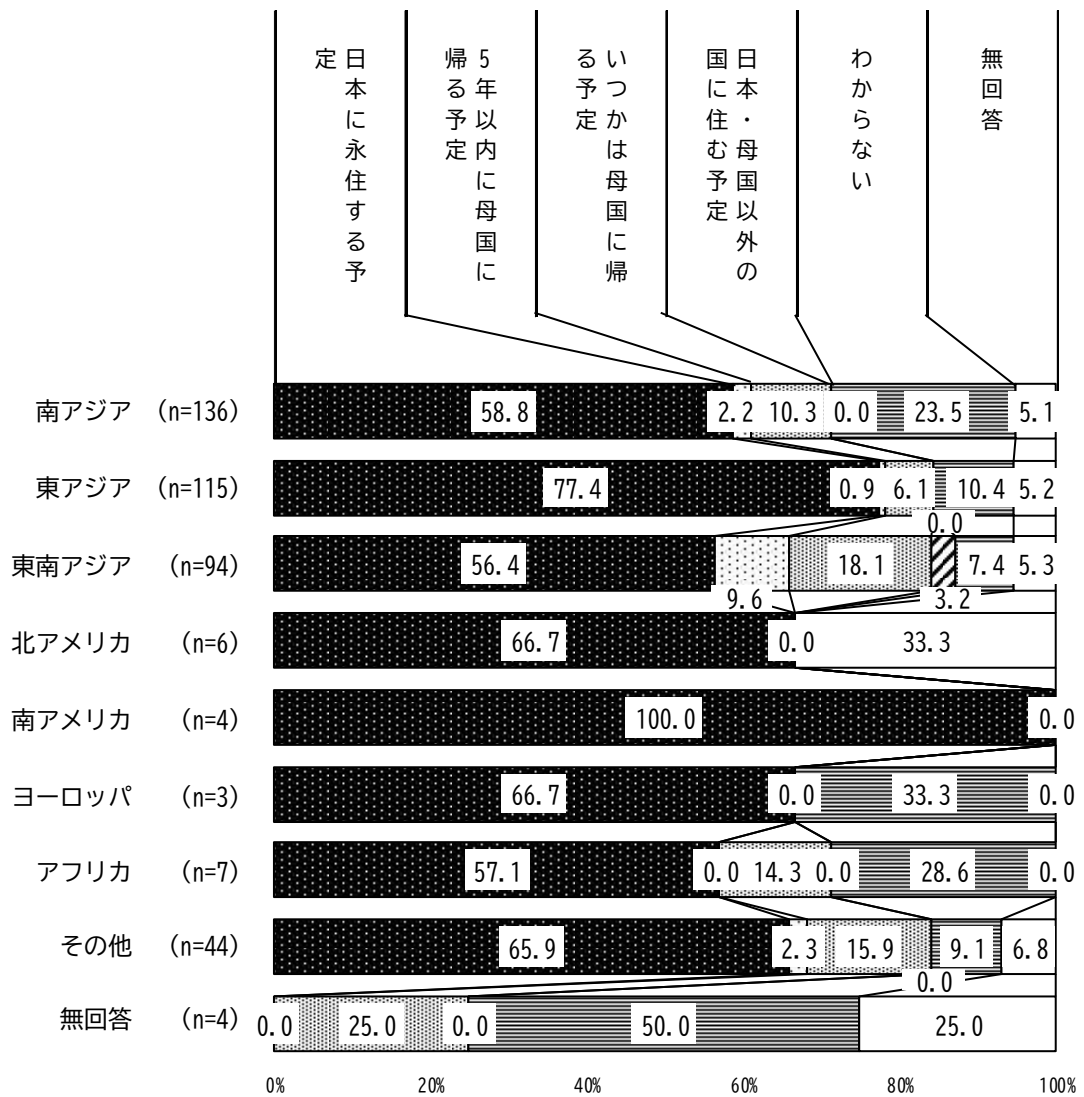
<図表 44-1>



#### <調査結果>

これからの日本での予定を聞いたところ、「日本に永住する予定」(64.2%)が6割半ばで最も高くなっています。次いで、「わからない」(14.5%)、「いつかは母国に帰る予定」(11.4%)が1割超えとなっています。

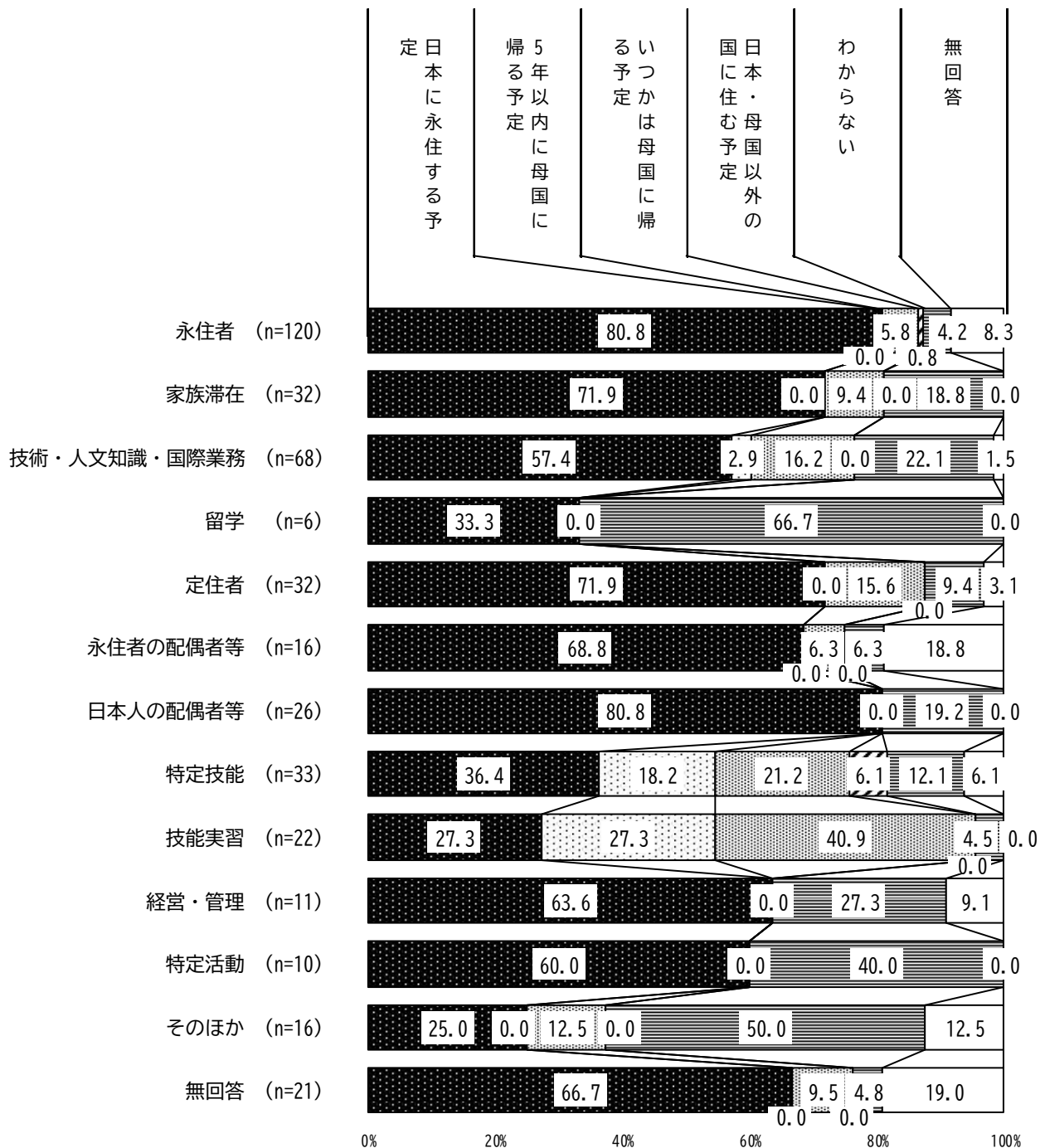
<図表 44 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、すべての国籍地域で「日本に永住する予定」が最も高くなっています。

<図表 44 - 3> 在留資格別



<調査結果>

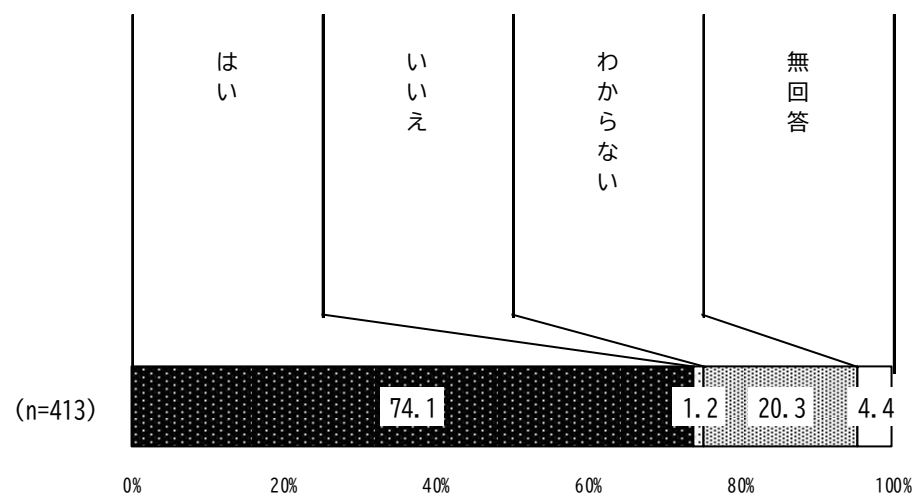
在留資格別に見ると、留学、そのほかの在留資格では「わからない」が、技能実習では「いつかは母国に帰る予定」が、それ以外の在留資格では「日本に永住する予定」が最も高くなっています。



## (45) 四街道市への定住意向

Q45. これからも四街道市に住み続けたいですか

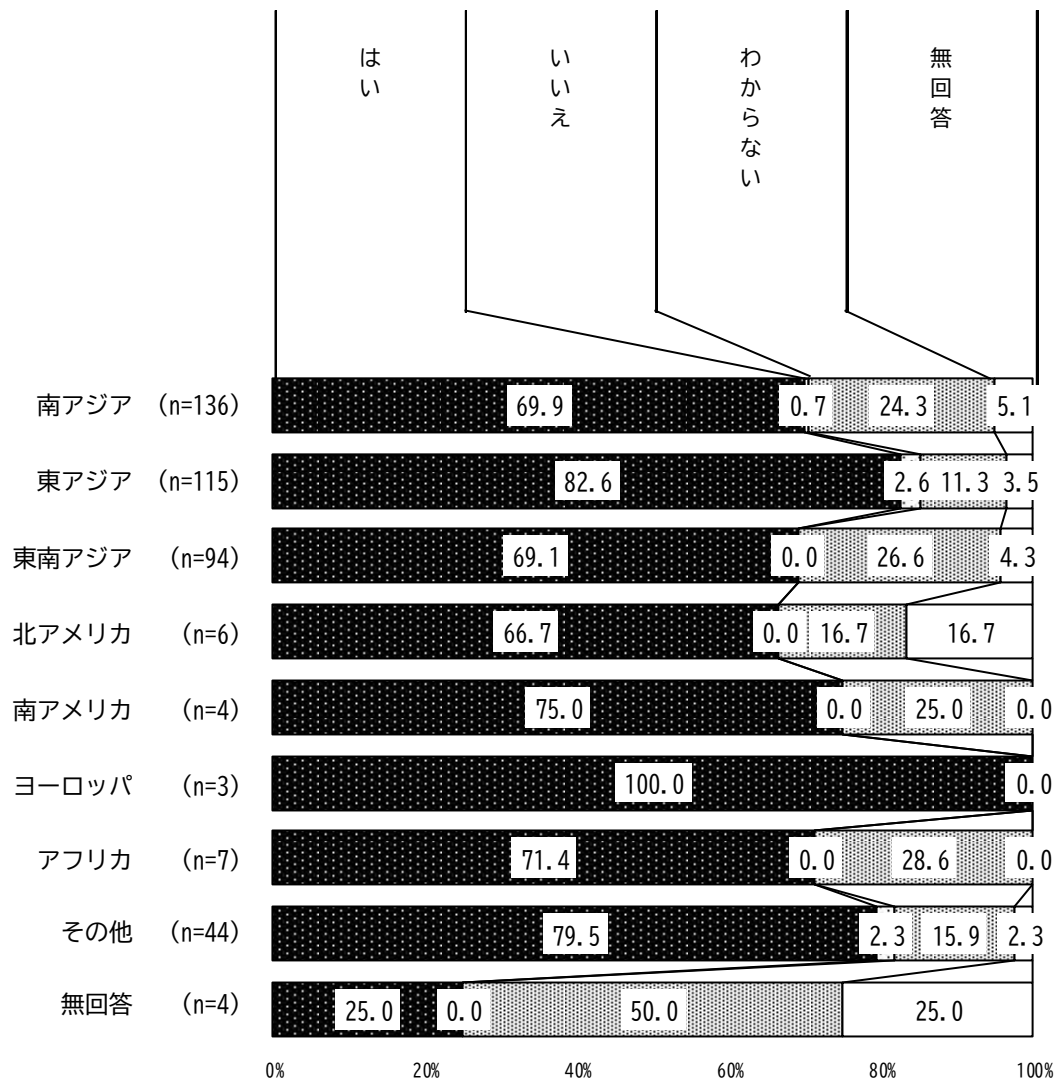
<図表 45-1>



### <調査結果>

これからも四街道市に住み続けたいか聞いたところ、「はい」(74.1%)が7割半ばで最も高くなっています。

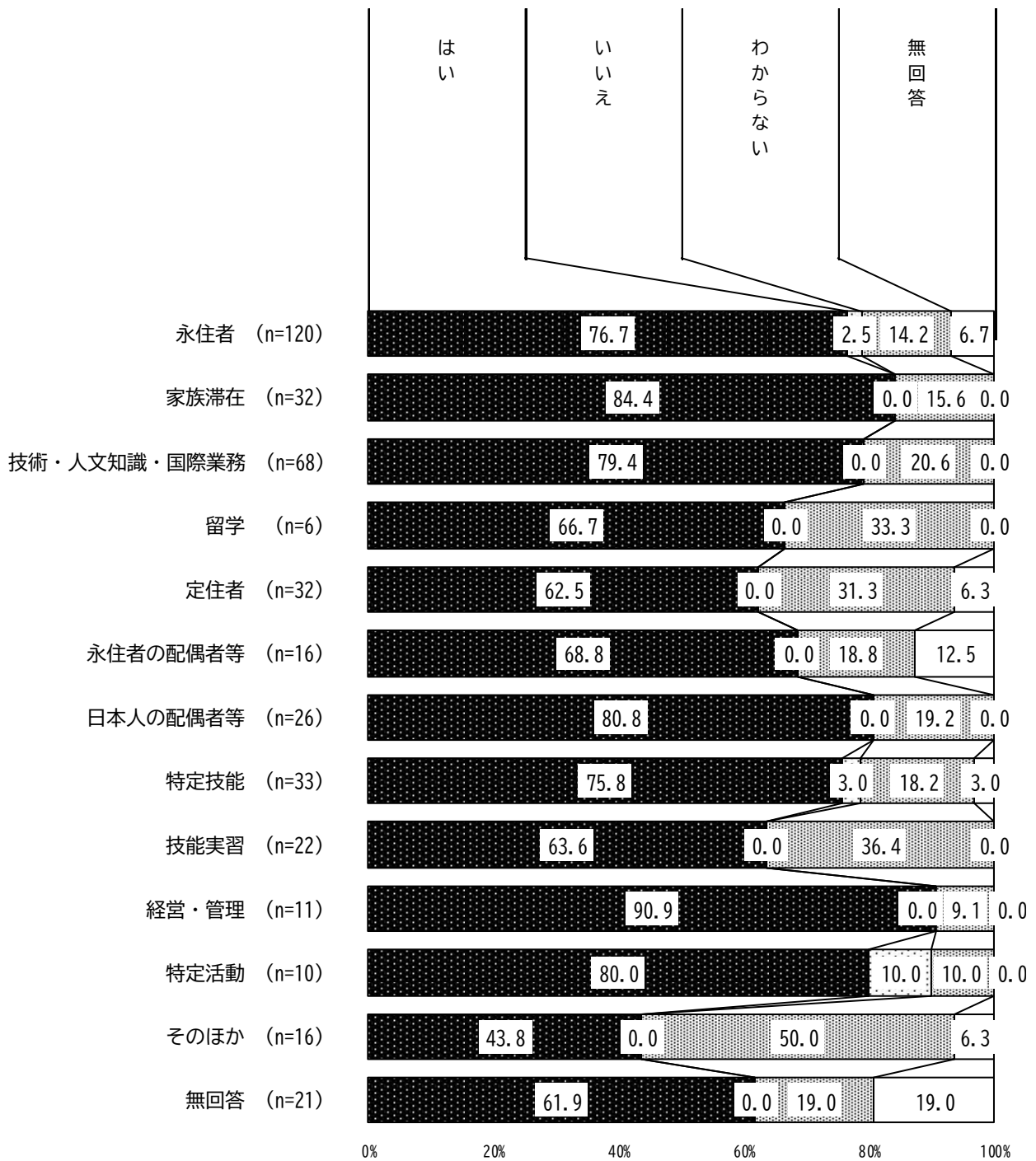
<図表 45 - 2>国籍地域別



<調査結果>

国籍地域別に見ると、すべての国籍地域で「はい」が最も高くなっています。

<図表 45 - 3> 在留資格別



<調査結果>

在留資格別に見ると、そのほかの在留資格では「いいえ」が若干上回っていますが、それ以外の在留資格では「はい」が最も高くなっています。

## 四街道市 多文化共生市民意識調査 調査報告書

令和7年3月発行

発 行

四街道市役所 地域共創部 みんなで課

所在地：〒284-8555

千葉県四街道市鹿渡無番地

T E L : 043-421-2111 (代表)

U R L : <https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>

四街道市  
多文化共生に関する区・自治会長向けアンケート調査  
報 告 書

令和7年3月  
四 街 道 市

## I. 調査目的

四街道市の方向性を示すうえで地域の現況や多文化共生に対する認識を把握し、より市の現状に合ったプランの策定のための重要な基礎資料として活用することを目的とする。

## II. 調査の実施状況

調査時期: 令和6年12月19日～令和7年1月10日

調査対象者: 区・自治会長87自治会

調査方法: 郵送配布、郵送回収

回収数: 86件

回収率: 98.9%

## III. 本集計結果を読む際の留意点

- ・各設問の回答率(%)は、小数点第二位を四捨五入し、小数第一位まで表記しているため、単数回答の設問の回答率の合計が100%にならない場合があります。
- ・回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は回答率が100%を超える場合があります。なお、複数回答の設問の回答率の合計欄はブランクとします。
- ・図表中の「n」は、その設問への回答対象数を表しています。

## IV. 集計結果

### 1. 自治会の状況

問1. 貴区・自治会に外国籍住民はいますか

(n=86)

| No. | 選択肢   | 回答数 | 回答率    |
|-----|-------|-----|--------|
| 1   | はい    | 43  | 50.0%  |
| 2   | いいえ   | 24  | 27.9%  |
| 3   | わからない | 19  | 22.1%  |
| -   | 無回答   | 0   | 0.0%   |
| 合計  |       | 86  | 100.0% |

問1-2. (問1で「1. はい」の方) 貴区・自治会に外国籍住民は加入していますか？

(n=43)

| No. | 選択肢   | 回答数 | 回答率    |
|-----|-------|-----|--------|
| 1   | はい    | 27  | 62.8%  |
| 2   | いいえ   | 13  | 30.2%  |
| 3   | わからない | 3   | 7.0%   |
| -   | 無回答   | 0   | 0.0%   |
| 合計  |       | 43  | 100.0% |

問1-3. (問1-2で「1. はい」の方) 貴区・自治会に加入している外国籍住民の世帯数と国籍を教えてください。

\* 複数回答可

(n=27)

| No. | 選択肢     | 回答数 | 回答率   |
|-----|---------|-----|-------|
| 1   | アフガニスタン | 8   | 29.6% |
| 2   | 中国      | 11  | 40.7% |
| 3   | ベトナム    | 1   | 3.7%  |
| 4   | フィリピン   | 4   | 14.8% |
| 5   | 台湾      | 1   | 3.7%  |
| 6   | インドネシア  | 1   | 3.7%  |
| 7   | 韓国      | 3   | 11.1% |
| 8   | タイ      | 0   | 0.0%  |
| 9   | スリランカ   | 0   | 0.0%  |
| 10  | ネパール    | 0   | 0.0%  |
| 11  | ミャンマー   | 0   | 0.0%  |
| 12  | バングラデシュ | 1   | 3.7%  |
| 13  | ウガンダ    | 0   | 0.0%  |
| 14  | マレーシア   | 1   | 3.7%  |
| 15  | パキスタン   | 1   | 3.7%  |
| 16  | モンゴル    | 1   | 3.7%  |
| 17  | ウズベキスタン | 0   | 0.0%  |
| 18  | ブラジル    | 1   | 3.7%  |
| 19  | ロシア     | 0   | 0.0%  |
| 20  | インドネシア  | 0   | 0.0%  |
| 21  | そのほか    | 3   | 11.1% |
| -   | 無回答     | 4   | 14.8% |
| 合計  |         | 41  |       |

問1-3. そのほかの回答

(n=3)

|       |
|-------|
| バルト三国 |
| 欧米    |
| アラブ系  |
| 中華系   |

## 2. 外国籍住民とのつきあいについて

問2. 区・自治会として貴区・自治会で生活する外国籍住民と交流する機会がありますか(または過去にありましたか)。

(n=86)

| No. | 選択肢   | 回答数 | 回答率    |
|-----|-------|-----|--------|
| 1   | ある    | 22  | 25.6%  |
| 2   | ない    | 51  | 59.3%  |
| 3   | わからない | 11  | 12.8%  |
| -   | 無回答   | 2   | 2.3%   |
| 合計  |       | 86  | 100.0% |

問2-2. (問2で「1. ある」の方)どのような交流か教えてください。

(n=22)

|                            |
|----------------------------|
| 地区の夏祭り、盆踊り、もちつき大会等の行事      |
| 区神社初詣                      |
| 区費納入                       |
| ゴミゼロ運動、集積所の掃除当番、小中学校での雑草刈り |
| 防災訓練、避難訓練                  |
| 街区の班長をになってもらった             |
| 子供会への参加                    |
| 理事会に招待し、自治会活動の話をする(予定)     |

問3. 外国籍住民のことで困っていること(または過去に困った経験)、地域住民からの意見や苦情等がありますか。

(n=86)

| No. | 選択肢   | 回答数 | 回答率    |
|-----|-------|-----|--------|
| 1   | ある    | 23  | 26.7%  |
| 2   | ない    | 43  | 50.0%  |
| 3   | わからない | 11  | 12.8%  |
| -   | 無回答   | 9   | 10.5%  |
| 合計  |       | 86  | 100.0% |

問3-2. (問3で「1. ある」の方)それはどのようなことですか。

\* 複数回答可

(n=23)

| No. | 選択肢          | 回答数 | 回答率   |
|-----|--------------|-----|-------|
| 1   | ゴミの問題        | 19  | 82.6% |
| 2   | 騒音や地域での過ごし方  | 7   | 30.4% |
| 3   | 自治会への未加入     | 6   | 26.1% |
| 4   | ペットの飼育       | 0   | 0.0%  |
| 5   | コミュニケーションの問題 | 9   | 39.1% |
| 6   | そのほか         | 4   | 17.4% |
| -   | 無回答          | 0   | 0.0%  |
| 合計  |              | 45  |       |

問3-2. そのほかの回答

(n=4)

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 区在住者でない自動車ヤードの経営者及びそこでの就労者による騒音、ゴミ投げ捨て等 |
| 交通マナー、違法駐車                              |
| 回覧板が回らず代わりに回さなければならない                   |

問3-3. (問3で「1. ある」の方)問3-2の問題解決のために貴区・自治会で行っている(または過去に行った)対応策はありますか。

(n=23)

| No. | 選択肢 | 回答数 | 回答率   |
|-----|-----|-----|-------|
| 1   | ある  | 13  | 56.5% |
| 2   | ない  | 9   | 39.1% |
| -   | 無回答 | 1   | 4.3%  |
| 合計  |     | 23  | 99.9% |



問3-3. (「1. ある」の方)どのような対応ですか。 (n=13)

|                     |
|---------------------|
| ゴミの問題に関する外国籍住民への説明  |
| 市役所発行の多言語版ゴミ捨て案内の配布 |
| 看板の設置による注意喚起        |
| 対応言語での説明書等の作成、説明    |
| アパートのオーナーに注意喚起等の要請  |
| 騒音を発する家への訪問、注意喚起    |
| 警察への相談              |

問3-3. (「2. ない」の方)何らかの対応を検討されていれば教えてください。 (n=9)

|                                  |
|----------------------------------|
| 自動車解体ヤード等、ヤードの事業の増加を抑制すること       |
| 社員寮、研修生寮として使用しているため、困った時は会社へ連絡する |

問3-4. (問3で「2. ない」の方)貴区・自治会において今後起こりうる困りごとや心配ごとはありますか。

\* 複数回答可  
(n=43)

| No. | 選択肢          | 回答数 | 回答率   |
|-----|--------------|-----|-------|
| 1   | ゴミの問題        | 21  | 48.8% |
| 2   | 騒音や地域での過ごし方  | 7   | 16.3% |
| 3   | 自治会への未加入     | 20  | 46.5% |
| 4   | ペットの飼育       | 2   | 4.7%  |
| 5   | コミュニケーションの問題 | 19  | 44.2% |
| 6   | そのほか         | 1   | 2.3%  |
| 7   | 特にない         | 9   | 20.9% |
| -   | 無回答          | 3   | 7.0%  |
| 合計  |              | 82  |       |

問3-4. そのほかの回答 (n=1)

|                 |
|-----------------|
| 自然災害時の対応策、言葉の問題 |
|-----------------|

### 3. 区・自治会長としてのご意向

問4. 貴区・自治会で生活している外国籍住民に対し、区・自治会長としてどのようにお考えですか。

貴区・自治会に外国籍住民がいない場合は、今後外国籍住民が転入してきた場合を想定して  
ご回答ください。\* 複数回答可

(n=86)

| No. | 選択肢                              | 回答数 | 回答率   |
|-----|----------------------------------|-----|-------|
| 1   | 外国の言葉、文化・習慣を知る機会が増えると感じる         | 33  | 38.4% |
| 2   | 外国籍住民と交流したいと感じる                  | 19  | 22.1% |
| 3   | 地域社会を担うパートナーが増え、地域が活性化すると感じる     | 10  | 11.6% |
| 4   | 治安が悪化する可能性があり不安を感じる              | 28  | 32.6% |
| 5   | 習慣や文化の違いによる衝突が起こるかもしれないと不安を感じる   | 43  | 50.0% |
| 6   | 無関心や偏見により地域内に分断が生じるかもしれないと不安を感じる | 16  | 18.6% |
| 7   | 特にない                             | 14  | 16.3% |
| 8   | そのほか                             | 7   | 8.1%  |
| -   | 無回答                              | 1   | 1.2%  |
| 合計  |                                  | 171 |       |

問4. そのほかの回答 (n=7)

|                              |
|------------------------------|
| ゴミや駐車問題などが増えそうである。           |
| 災害時の対応への不安がある。               |
| 自治会の存在自体を知らなかった。             |
| 安心して生活できる環境を作ってあげたい。         |
| 自治会に入会する意義の説明や言葉の違いに難しさを感じる。 |
| 高齢者とのコミュニケーション               |
| 自動車ヤードの出入者とその活動に問題がある。       |

問5. 貴区・自治会で生活している外国籍住民とともに暮らしやすい地域・社会にするため、貴区・自治会として外国籍住民にどのようなことを期待しますか。外国籍住民がいない場合は、外国籍住民が転入してきた場合を想定してお答えください。\* 複数回答可 (n=86)

| No. | 選択肢               | 回答数 | 回答率   |
|-----|-------------------|-----|-------|
| 1   | 日本の文化や習慣などを理解すること | 52  | 60.5% |
| 2   | 日本・地域の生活ルールを守ること  | 70  | 81.4% |
| 3   | 日本語を理解できるよう勉強すること | 34  | 39.5% |
| 4   | 地域のイベントなどに参加すること  | 37  | 43.0% |
| 5   | 母語や文化を紹介すること      | 15  | 17.4% |
| 6   | 区・自治会に参加すること      | 48  | 55.8% |
| 7   | 挨拶をすること           | 46  | 53.5% |
| 8   | 特になし              | 3   | 3.5%  |
| 9   | そのほか              | 1   | 1.2%  |
| -   | 無回答               | 0   | 0.0%  |
| 合計  |                   | 306 |       |

問5. そのほかの回答 (n=1)

区の住民については特に問題はない。

問6. 貴区・自治会で生活している外国籍住民とともに暮らしやすい地域・社会にするため、貴区・自治会ができることはありますか。外国籍住民がいない場合は、外国籍住民がいない場合は、外国籍住民が転入してきた場合を想定してお答えください。\* 複数回答可 (n=86)

| No. | 選択肢                          | 回答数 | 回答率   |
|-----|------------------------------|-----|-------|
| 1   | 外国籍住民との異文化交流会の開催             | 9   | 10.5% |
| 2   | 外国籍住民を交えた地域ルール検討会の開催         | 19  | 22.1% |
| 3   | 外国籍住民とともに参加する防災訓練の実施         | 37  | 43.0% |
| 4   | 外国籍住民に対する区・自治会の紹介・加入促進       | 34  | 39.5% |
| 5   | 外国籍住民に対する区・自治会主催のイベントへの参加促進  | 39  | 45.3% |
| 6   | 外国籍住民に対する交通安全教室の実施           | 5   | 5.8%  |
| 7   | 外国籍住民に対するゴミ出しや近所づきあいの生活情報の提供 | 60  | 69.8% |
| 8   | 外国籍住民に対する日本語教室の実施            | 1   | 1.2%  |
| 9   | 日本国籍住民に対する異文化理解の啓発           | 4   | 4.7%  |
| 10  | 区・自治会として特にできることはない           | 8   | 9.3%  |
| 11  | そのほか                         | 2   | 2.3%  |
| -   | 無回答                          | 2   | 2.3%  |
| 合計  |                              | 220 |       |

問6. そのほかの回答 (n=2)

ヤード経営者およびそこでの就労者、出入するトラック運転者との意思疎通を図ること  
現在の自治会では新たな創造は困難であり、既存の活動に理解・参加してもらいたい

問6-2. 問6で選択したことを実現するために、どのような支援が必要だと考えますか。 (n=86)

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| 自治会の紹介、加入促進                                               |
| イベントに参加した外国籍住民との積極的なコミュニケーション活動の実施                        |
| 市内各自治体の文化財に関する、多言語による説明と注意喚起の表示                           |
| 外国籍住民が気軽に参加できる行事等の実施                                      |
| 地域のルール説明、日常生活や地域の集まりの際のコミュニケーション                          |
| 市主催の外国籍住民を交えた交流会の開催、外国人交流イベントへの補助金交付                      |
| 通訳等のボランティア派遣、日本語教室の実施、多言語版文書による情報提供                       |
| 言語、文化、習慣の障壁をとり除くことに関する支援                                  |
| 市によるゴミ出し方法の周知や自治会加入促進等の働きかけの定期的な実施                        |
| 学校でのイベントへの参加等、子どもを通しての交流の促進                               |
| 外国籍住民の地域差が大きい為、多い地区には転入制限を加える等の対応                         |
| 市のホームページを(現在の4か国語の他に)多言語への翻訳が可能になればホームページを使用し様々なことを説明できる。 |
| 外国籍住民の努力あるのみ                                              |

問7. 地域の外国籍住民に対し、貴区・自治会に加入してほしいと思われませんか。

\* 複数回答可  
(n=86)

| No. | 選択肢       | 回答数 | 回答率   |
|-----|-----------|-----|-------|
| 1   | 強く思う      | 13  | 15.1% |
| 2   | まあ思う      | 36  | 41.9% |
| 3   | どちらとも言えない | 26  | 30.2% |
| 4   | あまり思わない   | 5   | 5.8%  |
| 5   | まったく思わない  | 2   | 2.3%  |
| 6   | わからない     | 5   | 5.8%  |
| 7   | そのほか      | 1   | 1.2%  |
| -   | 無回答       | 3   | 3.5%  |
| 合計  |           | 91  |       |

問7-2. 問7の回答の理由を教えてください。

(n=82)

|                                           |        |
|-------------------------------------------|--------|
| 1・2を選択した方                                 | (n=49) |
| 自治会に国籍は関係ないため、四街道市民であるため                  |        |
| 自治会員として伝達、要求が行いやすい                        |        |
| 地域の人々との交流を促進するため、共に生活し互いに支え合うため           |        |
| 一方通行の支援ではなく本人自ら相談等に来てもらうため                |        |
| コミュニケーション不足によるトラブルを防止するため                 |        |
| ほぼ全世帯が加入しているため                            |        |
| 共通認識、地域のルールの理解を深めるため                      |        |
| 地域で国際的な視点を生み出すため、多国の文化や考え方にふれる機会を増やすため    |        |
| 3を選択した方                                   | (n=26) |
| 話のタネがみつからないため、相手のことがよくわからないため             |        |
| 外国籍住民が人目を避け人前に出てこないため                     |        |
| 長期滞在者には加入して欲しいが、短期滞在者に求めるのは難しいと考えるため      |        |
| トラブルが起こるかもしれないから                          |        |
| 相手が加入を望まないのに促すべきではないと思うから、国籍に関わらず加入は任意だから |        |
| 外国籍住民の数が少なくあまり影響がないため                     |        |
| 現在、外国籍住民がおらず判断できないため                      |        |
| 4・5を選択した方                                 | (n=7)  |
| 昔ながらの行事が多いため                              |        |
| 外国籍住民と関わりたいと思わないため                        |        |
| 新興住宅地域ではないため                              |        |
| 文化や習慣の差、考え方等あるため、いきなり親しくすることは難しいと考えるため    |        |

#### 4. 四街道市に期待すること

問8. 貴区・自治会で生活している外国籍住民とともに暮らしやすい地域・社会にするため、市はどのようなことをしたらよいと思いますか。

\* 複数回答可  
(n=86)

| No. | 選択肢                                                  | 回答数 | 回答率   |
|-----|------------------------------------------------------|-----|-------|
| 1   | 区・自治会が外国籍住民に関する事項について相談できる市の窓口の設置                    | 43  | 50.0% |
| 2   | 外国籍住民が相談できる市の窓口の設置                                   | 52  | 60.5% |
| 3   | 多言語版文書の情報提供                                          | 47  | 54.7% |
| 4   | 日本国籍住民に対する多文化共生や外国籍住民に関する勉強会の開催                      | 12  | 14.0% |
| 5   | 日本国籍住民に対する多文化共生・異文化理解に関する啓発情報の提供                     | 15  | 17.4% |
| 6   | 日本国籍住民と外国籍住民がともに参加する防災訓練の実施                          | 28  | 32.6% |
| 7   | 区・自治会や日本国籍住民に対する「やさしい日本語」勉強会の開催                      | 21  | 24.4% |
| 8   | 区・自治会が作成した文書を多言語翻訳する支援                               | 26  | 30.2% |
| 9   | 区・自治会や日本国籍住民と外国籍住民の異文化交流の機会の提供                       | 14  | 16.3% |
| 10  | 外国籍住民に対するゴミ出しや近所づきあいなどの日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどに関する勉強会の開催 | 55  | 64.0% |
| 11  | 外国籍住民に対する区・自治会への加入促進                                 | 32  | 37.2% |
| 12  | 外国籍住民に対する日本語の学習機会の提供                                 | 17  | 19.8% |
| 13  | そのほか                                                 | 6   | 7.0%  |
| -   | 無回答                                                  | 1   | 1.2%  |
| 合計  |                                                      | 369 |       |

問8. そのほかの回答

(n=6)

|                                     |
|-------------------------------------|
| なんらかの形で全て必要あると考えるが、優先順位の設定が必要       |
| 既存の自動車解体ヤードから生じる騒音に対する指導監督の強化       |
| 第三者の設置、ガス抜き                         |
| 3～6、10、12の取組を日本語学習機会の提供に集約し、定期的実施する |

問8-2. (問8で「3. 多言語版文書の情報提供」の方) 具体的にどのような情報が必要だと思いますか。

\* 複数回答可  
(n=47)

| No. | 選択肢                         | 回答数 | 回答率   |
|-----|-----------------------------|-----|-------|
| 1   | ゴミ出しポスター、ゴミ出し情報             | 46  | 97.9% |
| 2   | 防災マップ、防災案内                  | 32  | 68.1% |
| 3   | 交通ルール、交通事故に関する情報            | 19  | 40.4% |
| 4   | 区・自治会に関する情報                 | 35  | 74.5% |
| 5   | 地域での過ごし方に関する情報              | 22  | 46.8% |
| 6   | 警察や救急などの緊急時に関する情報           | 22  | 46.8% |
| 7   | 病気やけが、病院、保険などの医療、健康に関する情報   | 23  | 48.9% |
| 8   | 引越しや住宅に関する情報                | 6   | 12.8% |
| 9   | 雇用、労働に関する情報                 | 7   | 14.9% |
| 10  | 災害発生時の避難情報                  | 27  | 57.4% |
| 11  | 戸籍、福祉、税金、学校教育など市や国の制度に関する情報 | 15  | 31.9% |
| 12  | そのほか                        | 2   | 4.3%  |
| -   | 無回答                         | 0   | 0.0%  |
| 合計  |                             | 256 |       |

問8-2. そのほかの回答

(n=2)

|           |
|-----------|
| 騒音に関する情報  |
| すべての設問が必要 |

問9. 地域における多文化共生を推進していくために、自由なご意見をお聞かせください。 (n=86)

|                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外国籍住民が増加傾向にあると思うが、現状は地域住民と殆ど関わらないと思われる。このような状態が続くと、互いの文化の違い、誤解、偏見等により分断化が危惧される。地域住民との融合なくしてお互い安堵な生活が送れないため、先ず、地域の自治会、区会の入会を推進し、少しずつなじんでもらう他ない。市行政としてもこの辺を是非応援してほしい。                                                                    |
| 建売住宅が増えてそれらの人を区に加入させるのは無理なことと思う。また勧誘しても直ぐ意味がないと退会される。農村地区の人とは考えそのものが違うのかもしれないと思う。                                                                                                                                                      |
| 町内としては、空き家をもっと活用してほしい。                                                                                                                                                                                                                 |
| 四街道の市民憲章を教えればよいと考える。                                                                                                                                                                                                                   |
| 当地区は市街化調整区域であるため、転入は難しいことから、不安は少ない。                                                                                                                                                                                                    |
| 外国籍住民が多くなっている中、治安、道徳等守れない？わからない方が多いと思う。地域に住んでいるので地域のことを理解してほしい。事件がないことを願うばかりです。コミュニケーションが必要だと思う。                                                                                                                                       |
| 異なる文化や習慣との交わる経験の乏しい日本人市民には、その取組によくよくの理解が必要であり、行政から説明が重要と思う。                                                                                                                                                                            |
| 現実には外国の方がいないので、これからの問題として自治会の例会(毎月)等で、準備していく。外国籍のわかる方の調査等で対応していく。                                                                                                                                                                      |
| 集合住宅の多い地区では、新入居者の把握は難しい。市からの情報入手が必要と思う。                                                                                                                                                                                                |
| 今後多文化共生が必要となる場合は、先行する地域の情報入手の仲介や、全般的な御指導等市の御協力をお願いしたい。                                                                                                                                                                                 |
| 数年前と比べ外国籍の住民が多くなってきているため、多方面に渡る検討を行い共存していくことが重要と考える。                                                                                                                                                                                   |
| 早朝から夕方(AM7:00~19:00ごろ)までヤードの騒音、振動がひどく、多文化共生に関してはあまり気がすまない。又、地区のゴミステーションでは外国籍住民による不法投棄、分別されていないゴミ、などで困っている。                                                                                                                             |
| 外国籍の方がそれぞれの国毎に、どんな考え方をするのが全く理解できていない。国籍毎の解説があれば提供してほしい。                                                                                                                                                                                |
| 自治会としては、国籍に関係なく、良好な隣人関係、地域でのつきあいが重要と考える。また、今後も自治会で国籍や出身地を把握する機会ほぼ無いと思う。                                                                                                                                                                |
| 外国人との日頃からの交流、コミュニケーションの強化。                                                                                                                                                                                                             |
| 自治会内に外国人が転入して来た際には本人達には地域コミュニケーション向上の見地から「自治会に転入を伝える」事を承諾してもらい自治会長あてに「国、言語、家族構成」などを教えて欲しい。ほとんどの場合、地区のウワサ→班長から報告→注視して状況把握(この頃にはクレームが来始める・・・主にゴミ。)→対応策検討となる。子供がいれば、子供を通して日本語で話せる事が多く、言語がわかれば対策対応が可能。肌の色が違ったり、衣服文化の違う姿を見るだけで恐れてしまう高齢者も多い。 |
| 日本人は「郷に入っては郷に従え」とその土地ごとの習慣や風習を尊重し地域に合わせた生活をするが、共生する最低限のマナーを理解してもらう学習は住民登録する条件としてはいかがか。                                                                                                                                                 |
| 外国籍住民イコール「トラブルメーカー」とは考えない姿勢が大切と思う。もし、トラブルがあった場合にすぐ対応できる窓口が市にあった方がよい                                                                                                                                                                    |
| 自治会としては、外国籍の方が多くなるほど問題が多くなる。自治会としてはメリットはない。                                                                                                                                                                                            |
| 基本的には「郷に入れば郷に従え」の日本的な考えが必要で、表面的な、多文化共生や多様性を強調して推し進めると、トラブルや混乱が多発する恐れがある。この点に注意して、多文化共生の市政を行って欲しいと思う。                                                                                                                                   |
| 埼玉県川口市のように外国籍の住民と日本国籍の住民とのトラブル・暴力事件が多発しないよう慎重に進めるよう要望する。                                                                                                                                                                               |
| 日本の法律・ルール・生活習慣・文化を尊重し破壊しないことを基本としてほしい。                                                                                                                                                                                                 |
| 日本語を話せない方も多く意思の疎通がむずかしく、一緒に活動していくのはむずかしいと感じる。自治会は毎年、代表がかわるところが多く、代表の方針によっても対応が変わってくると思う。できれば、一貫性をもたせた対応があった方がよい。そのあたりを市で主導していただければ。                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>外国籍住民と一緒に地域で生活するためにはコミュニケーションをとることが一番大切だと思う。やはり、言葉で理解できるのが良いが、簡単ではないと思う。そこで、防災訓練、交通安全、スポーツイベント等、共通で参加できるイベント等から、つながりができるかも知れない。面識ができれば、少しずつ親密度、親近感が出てくると思われる。</p>                                                                                                                                                   |
| <p>同じ地域に居住する外国籍住民とも仲良く暮らし、安心して安全なコミュニティを維持できればと思う。そのために自治会に加入してもらい、交流する機会を通じて相互理解を深められればと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
| <p>外国人が住民登録をする際に、日本の生活ルール、習慣などの集合的な勉強会を開催してほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>住民どうしの相互理解、交流、また市によるそのサポート</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>自治会という組織のバージョンアップが必要だと思う。<br/>         国籍問わず自治会加入への意識は下がっているが、地域における自治会の役割は高齢化、多様化によってさらに増えてくると思われる。自治会の中核を担う人材がいらないのに役割は増えていく状況を改善しないと、地域のまとまりが維持できなくなり、多文化共生の推進は難しいと思う。<br/>         多文化共生の推進に重点を置くのであれば、優先度の低いところから削っていく、止めていくことが必要。業務の効率化、自治会加入のメリットを全面に出す、自治会未加入者にも寛容になり根気よく加入をお誘いするなど新しい自治会の形が求められるのだと思う。</p> |
| <p>地域に外国籍の方、外国にルーツを持つ方が増えることは悪いことではないと思う。ただ、日本人でも外国人でも、生活する上でのルール、特に身近なゴミの捨て方、騒音、交通ルールは誰でも守らなければならないことだが、言葉の壁があるとお互いに言えない、理解できないことは多くなると思う。個人や自治会でルールを説明することのハードルは高いと思うため、市で外国語の資料を公開して「正しいルールが伝えられるように、理解できるようにするなどの取り組みは継続してほしいと思う。</p>                                                                              |
| <p>お互いの文化を尊重するも条例や様々ルールは理解が必要だと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                 |